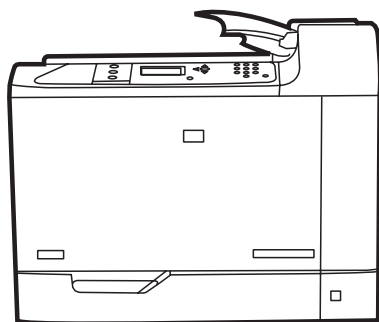
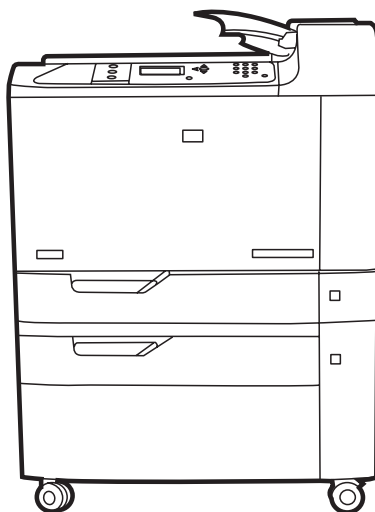
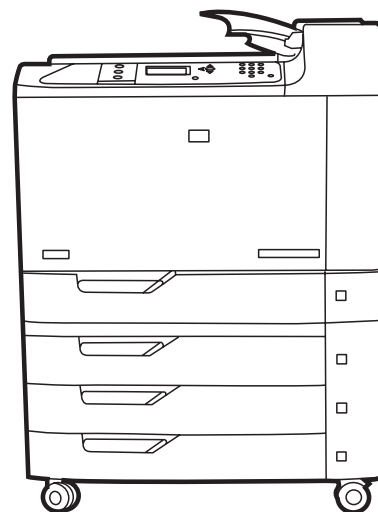
HP Color LaserJet CP6015 シリーズ プリンタ

ユーザーズ ガイド

HP Color LaserJet CP6015
ユーザーズ ガイド

著作権およびライセンス

パーツ番号: Q3931-90972

Edition 1, 04/2008

商標表示

目次

8 製品機能の使用

9 印刷タスク

10 カラーの使用

11 プリンタの管理とメンテナンス

12 問題の解決

付録 A サプライ品とアクセサリ

1　製品の基本情報

製品比較

表 1-1 製品一覧

機種	機能
HP Color LaserJet CP6015n	● 100 枚多目的給紙トレイ (トレイ 1) ● 500 枚給紙トレイ (トレイ 2) ● 10/100Base-TX ネットワーク接続用 HP Jetdirect 内蔵プリント サーバー ● 512MB のランダム アクセス メモリ (RAM)
HP Color LaserJet CP6015dn	● 100 枚多目的給紙トレイ (トレイ 1) ● 500 枚給紙トレイ (トレイ 2) ● 10/100Base-TX ネットワーク接続用 HP Jetdirect 内蔵プリント サーバー ● 512MB のランダム アクセス メモリ (RAM) ● 両面印刷ユニット
HP Color LaserJet CP6015de	● 100 枚多目的給紙トレイ (トレイ 1) ● 500 枚給紙トレイ (トレイ 2) ● 10/100Base-TX ネットワーク接続用 HP Jetdirect 内蔵プリント サーバー ● 512MB のランダム アクセス メモリ (RAM) ● 両面印刷ユニット ● ENERGY STAR® ガイドライン バージョン 1.0 に適合
HP Color LaserJet CP6015x	● 100 枚多目的給紙トレイ (トレイ 1) ● 500 枚給紙トレイ 2 個 (トレイ 2 と 3) ● 10/100Base-TX ネットワーク接続用 HP Jetdirect 内蔵プリント サーバー ● 512MB のランダム アクセス メモリ (RAM) ● 両面印刷ユニット
HP Color LaserJet CP6015xh	● 100 枚多目的給紙トレイ (トレイ 1) ● 500 枚給紙トレイ 4 個 (トレイ 2、3、4、および 5) ● 10/100Base-TX ネットワーク接続用 HP Jetdirect 内蔵プリント サーバー ● 512MB のランダム アクセス メモリ (RAM) ● 両面印刷ユニット ● 40GB のハード ドライブ

製品の機能

表 1-2 機能

速度とスループット	● 印刷速度は、レター サイズで最大 40 ページ/分 (ppm)、A4 サイズで最大 41 ページ/分 (ppm) ● 最初のページを印刷するまでの時間は 11 秒未満 ● 推奨する最大印刷量 4,000 ～ 17,000 ページ/月 ● 835MHz (メガヘルツ) のマイクロプロセッサ ● バナーの印刷 ● 高速両面印刷
解像度	● 600dpi、ImageREt (Image Resolution Enhancement technology：超解像技術) 4800 採用、全体的な品質を最適化 ● 細い線や小さな文字もきれいに印刷できる 1200 x 600dpi
メモリ	● 512MB のランダム アクセス メモリ (RAM) ● MEt (Memory Enhancement Technology：メモリ強化テクノロジ) により自動的にデータを圧縮し、RAM を効率的に使用
ユーザー インタフェース	● コントロール パネル上の 4 行構成のグラフィック ディスプレイ ● 内蔵 Web サーバーからサポートおよびサプライ品の注文にアクセス可能 (ネットワーク接続対応製品の場合) ● HP Easy Printer Care ソフトウェア (Web ベースのステータスおよびトラブルシューティング ツール) ● HP Easy Printer Care ソフトウェアと内蔵 Web サーバを使用した、インターネットでのサプライ品注文機能
用紙処理	● **給紙** ◦ **トレイ 1 (多目的トレイ)**： 普通紙、OHP フィルム、ラベル、バナー用紙、封筒、および他の用紙に対応する汎用トレイ。用紙の種類の一覧は、88 ページの 「サポート対象の用紙タイプ」を参照してください。最大で用紙 100 枚、OHP フィルム 50 枚、または封筒 10 枚をセットできます。85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。 ◦ **トレイ 2、3、4、および 5**： 500 枚給紙トレイ。標準用紙サイズを自動検出し、カスタム サイズの用紙も印刷可能です。トレイ 2 には、最大 279 x 432mm (11 x 17 インチ) および A3 サイズの用紙を、トレイ 3、4、5 には、最大 305 x 457mm (12 x 18 インチ) および SRA3 をセットできます。サポートしている用紙サイズの一覧は、85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。サポートしている用紙の種類の一覧は、88 ページの 「サポート対象の用紙タイプ」を参照してください。 ◦ **両面印刷**： 自動的に用紙の両面に印刷します。HP Color LaserJet CP6015n では両面印刷できません。自動両面印刷機能付きにアップグレードすることもできません。

表 1-2 機能 (続き)

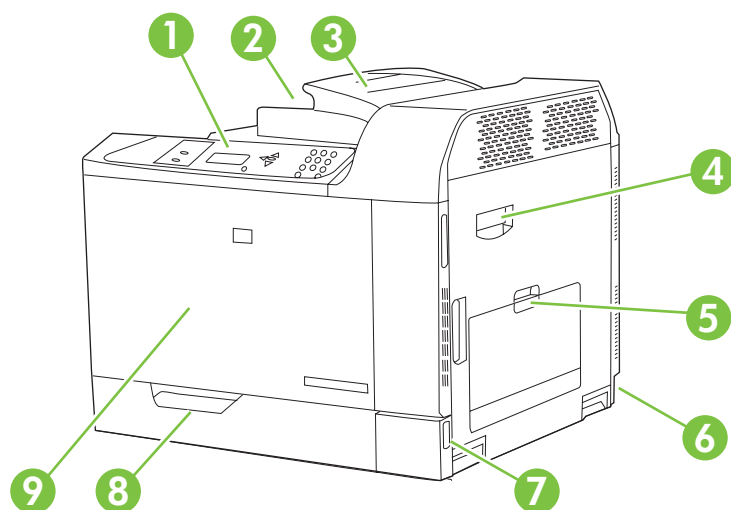
	自動両面印刷できる用紙のサイズは、175mm ～ 320mm (6.9 ～ 12.6 インチ) x 210mm ～ 457mm (8.3 ～ 18 インチ) です。重量は、60 ～ 220g/m² (16 ～ 58 ポンド) です。 ● **排紙** ◦ **標準排紙ビン**： 標準の排紙ビンは、プリンタの上部にあります。500 枚までの用紙を収容できます。ビンがいっぱいになったことを検出するセンサーが付いています。 ◦ **オプションの 3 ビン ステイプラ/スタッカ**： 複数の排紙ビンに分けて排紙、便利なステイプル留め (50 枚まで)、ジョブのオフセット、排紙容量の追加を行えます。スタッカには、 100 枚、500 枚、および 1000 枚用の 3 種類のビンが備わっています。 ◦ **オプションのブックレット メーカー フィニッシャ**： 便利なステイプル留め (50 枚まで)、中綴じ (15 枚まで)、1 枚の谷折り、ジョブの分割とオフセット、排紙容量の追加を行えます。ブックレット メーカー フィニッシャには、 1000 枚用ビンが 2 つと、中綴じブックレットを最大 25 部収容できるビンが 1 つ備わっています。 注記： 排紙ビンの収容枚数は、75g/m² の用紙で計算しています。これより重い用紙では、枚数が少なくなります。
言語とフォント	● HP プリンタ制御言語 (PCL) 6 ● HP Universal Printer Driver (UPD) PCL 5 ● HP UPD PostScript (PS) ● プリンタ管理言語 ● HP PCL ドライバでスケーラブルな 93 個の TrueType フォントを内蔵。 HP Postscript レベル 3 エミュレーション (ヨーロッパ記号を内蔵) でスケーラブルな 93 個のフォントを内蔵。 他社製のフラッシュ メモリ製品を使用すると、他のフォント ソリューションも利用可能。
プリント カートリッジとイメージ ドラム (各 4 個)	● トナーとイメージ システム ● 黒プリント カートリッジは、16,500 ページまで印刷可能。シアン、マゼンタ、またはイエローのプリント カートリッジは、それぞれ 21,000 ページまで印刷可能。 ● イメージ ドラムは、印字率 5% で 35,000 ページまで印刷可能 ● HP 純正プリント カートリッジ検出 ● 自動トナー テープ リムーバー
対応オペレーティング システム	● Microsoft® Windows® 2000、Windows® XP、および Windows Vista™ ● Macintosh OS X、バージョン 10.2.8、10.3、10.4、10.5 およびそれ以上 ● Novell NetWare ● Unix® ● Linux
接続	● 内蔵 HP Jetdirect プリント サーバー用の LAN (Local area network) コネクタ (RJ-45) ● 拡張 I/O (EIO) スロット 2 基 ● USB 2.0 接続

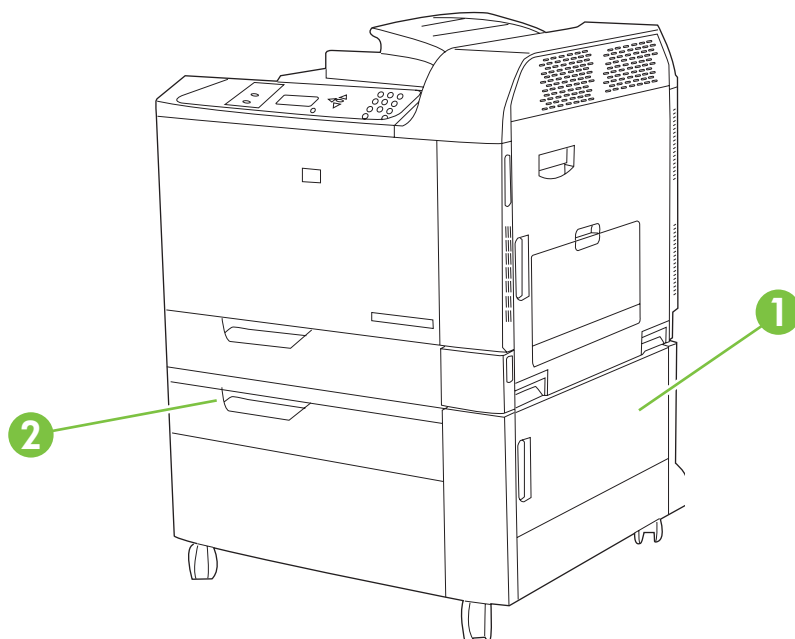
表 1-2 機能 (続き)

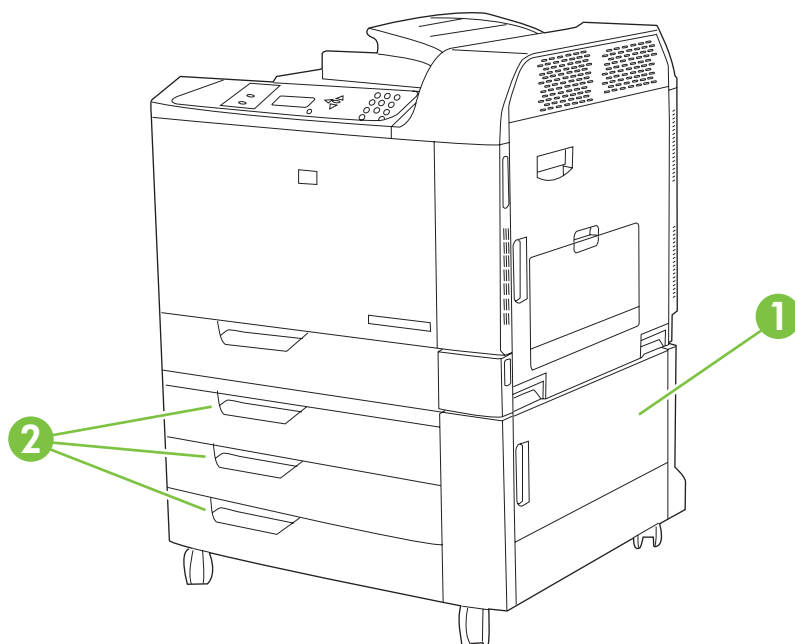
環境への配慮	● スリープ設定による省エネルギー ● 再利用可能な部品や素材を多く使用
セキュリティ機能	● セキュア ディスク消去モード ● セキュリティ ロック (オプション) ● ジョブ保持 ● 保存ジョブのユーザーの PIN 認証 ● IPv6 セキュリティ

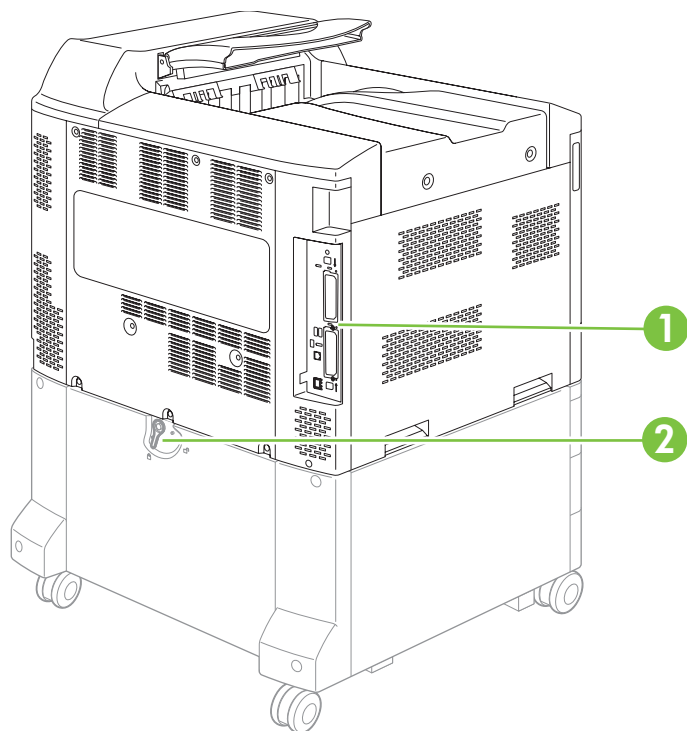
各部の名称

正面図

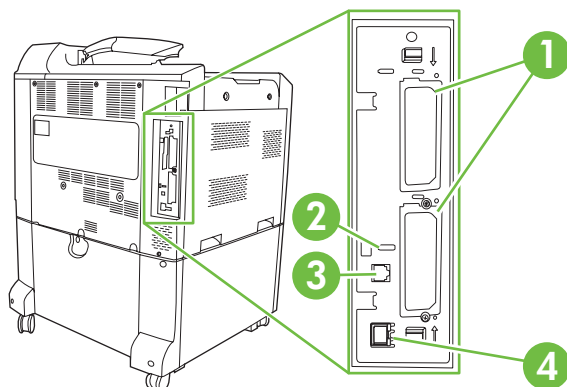
HP Color LaserJet CP6015n、HP Color LaserJet CP6015dn、および HP Color LaserJet CP6015de

1	コントロール パネル ディスプレイ
2	排紙ビン (約 500 枚収容可能)
3	両面印刷スイッチバック トレイ (HP Color LaserJet CP6015dn と HP Color LaserJet CP6015de のみ)
4	右側ドア (紙詰まりの除去や部品交換時に開く)
5	トレイ 1 (100 枚多目的トレイ)
6	電源コード差込口
7	オン/オフ スイッチ
8	トレイ 2 (500 枚給紙トレイ)
9	正面ドア (プリント カートリッジやイメージ ドラムの着脱時に開く)

HP Color LaserJet CP6015x

1	右下ドア
2	トレイ 3 (500 枚給紙トレイ)

HP Color LaserJet CP6015xh

1	右下ドア
2	トレイ 3、4、および 5 (500 枚給紙トレイ)

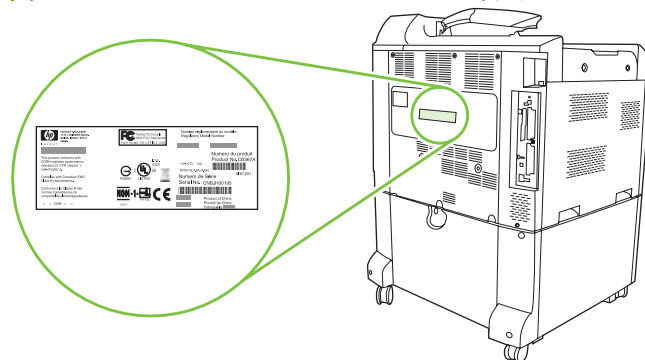
背面図

1	インターフェイス ポート
2	増設給紙トレイのロック レバー (HP Color LaserJet CP6015x と HP Color LaserJet CP6015xh のみ)

インタフェース ポート

プリンタには、コンピュータまたはネットワークに接続するための最大 4 つのポートが付いています (2 つは標準)。これらのポートは、背面の左隅にあります。

1	EIO インタフェース拡張スロット 2 基
2	Kensington ロック用アクセス ポート
3	USB 2.0 ポート
4	ネットワーク接続 (内蔵 HP Jetdirect プリント サーバー)

シリアル番号とモデル番号の位置

モデル番号とシリアル番号は、プリンタ背面の ID ラベルに記載されています。シリアル番号には、生産国/地域、バージョン、製造コードと製造番号が含まれています。

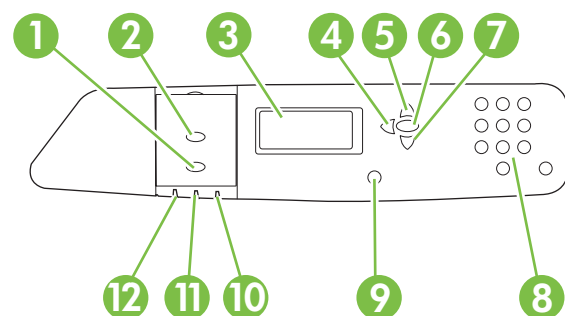
図 1-1 サンプル モデルおよびシリアル番号ラベル

モデル名	モデル番号
HP Color LaserJet CP6015n	Q3931A
HP Color LaserJet CP6015dn	Q3932A
HP Color LaserJet CP6015de	Q3935A
HP Color LaserJet CP6015x	Q3933A
HP Color LaserJet CP6015xh	Q3934A

2 コントロール パネル

コントロール パネルの使用

コントロール パネルには、プリンタの全機能にアクセスできるテキスト ディスプレイがあります。ボタンと数字キーパッドを使用して、ジョブとステータスを制御します。プリンタのステータスを示すランプも付いています。

コントロール パネルのレイアウト

コントロール パネルには、テキスト ディスプレイ、ジョブ コントロール ボタン、数字キーパッド、3 つの LED ステータス ランプが付いています。

1	停止 ボタン	現在の印刷ジョブを停止します。印刷を再開するかキャンセルするかを選択でき、詰まった用紙を取り出したり、ジョブのエラーを修正したりできます。印刷中でないときに押すと、プリンタが一時停止します。
2	メニュー ボタン	メニューを開いたり閉じたりします。
3	ディスプレイ	ステータス情報、メニュー、ヘルプ情報、およびエラー メッセージを表示します。
4	左矢印 (⮌) ボタン	メニューで前に選択していた項目に戻ります。
5	上矢印 (▲) ボタン	ディスプレイのメニューやテキストを移動したり、表示された数値を増やしたりします。
6	チェックマーク (✓) ボタン	選択の確定、エラー修正後の印刷再開、HP 以外のプリント カートリッジのエラー メッセージの解除に使用します。
7	下矢印 (▼) ボタン	ディスプレイのメニューやテキストを移動したり、表示された数値を減らしたりします。
8	数字キーパッド	PIN や他の数値を入力できます。
9	ヘルプ (?) ボタン	メッセージやメニューについての詳しい情報を表示します。
10	注意ランプ	ユーザーの操作が必要であることを示します。たとえば、用紙トレイが空の場合やエラー メッセージが表示されている場合などです。
11	データランプ	プリンタがデータを受信中であることを示します。
12	印字可ランプ	ジョブの処理を開始する準備が整っていることを示します。

コントロール パネルの表示ランプの説明

表示	オン	オフ	点滅
印字可 (緑色)	プリンタがオンラインです(データを受け入れて処理できます)。	プリンタがオフラインか電源が入っていません。	印刷を停止し、オフラインに移ろうとしています。
データ (緑色)	処理済みのデータがありますが、ジョブを終了するにはデータが不足しています。	データの処理も受け取りも行っていません。	データを処理中でデータを受け取っています。
注意 (オレンジ色)	重大なエラーが発生しました。何らかの措置が必要です。	注意する必要はありません。	エラーが発生しました。何らかの措置が必要です。

コントロール パネルのメニュー

コンピュータのプリンタ ドライバまたはソフトウェア アプリケーションを使用して通常のほとんどの印刷タスクを行うことができます。これは、プリンタを操作する一番便利な方法で、コントロール パネルの設定が上書きされます。詳しくは、ソフトウェアのヘルプ ファイルを参照してください。プリンタ ドライバへのアクセスについては、49 ページの 「Windows 用ソフトウェア」、または61 ページの 「Macintosh でのプリンタの使用」を参照してください。

プリンタのコントロール パネルで、設定を変更することもできます。プリンタ ドライバやソフトウェア アプリケーションでサポートされていない機能にアクセスしたり、トレイの用紙サイズやタイプを設定するには、コントロール パネルを使用します。

基本的なセットアップ

- メニュー ボタンを押してメニューを表示します。
- チェックマーク ボタン ✓ を使用してメニュー項目を選択します。
- 上下の矢印ボタン ▲▼ を使用して、メニューの中を移動します。また、表示された数値を増減することもできます。ボタンを押したままにすると、速くスクロールします。
- 左矢印ボタン ⮌ を押すと、メニューで前に選択した項目に戻ります。また、プリンタを設定するときに数値を選択することもできます。
- すべてのメニューを終了するには、メニュー ボタンを押します。
- 60 秒間キーを押さないと、プリンタが **印字可** 状態になります。

メニュー階層

次の表には、各メニューの階層がリストされています。

メニューを開く

メニュー ボタンを押します。

上矢印ボタン ▲ または下矢印 ▼ ボタンを押してリスト内を移動します。

チェックマーク ボタン ✓ を押して適切なオプションを選択します。

一番上のレベルのメニューは、次のとおりです。

- **手順の表示**： 詳しくは、16 ページの 「[手順の表示] メニュー」を参照してください。
- **ジョブ取得**： 詳しくは、17 ページの 「ジョブ取得メニュー」を参照してください。
- **情報**： 詳しくは、18 ページの 「情報メニュー」を参照してください。
- **用紙処理**： 詳細については、19 ページの 「用紙処理メニュー」を参照してください。
- **デバイスの設定**： 詳しくは、20 ページの 「デバイスの設定メニュー」を参照してください。
- **診断**： 詳しくは、43 ページの 「診断メニュー」を参照してください。
- **サービス**： 詳しくは、47 ページの 「サービス メニュー」を参照してください。

[手順の表示] メニュー

手順の表示 メニューを選択すると、プリンタの詳しい情報を示すページが印刷されます。

表示方法： メニュー ボタンを押し、**手順の表示** を選択します。

項目	説明
印刷ヘルプ ガイド	Web 上の追加ヘルプへのリンクに関するページが印刷されます。

ジョブ取得メニュー

ジョブ取得 メニューを使用すると、保存されたすべてのジョブのリストを表示できます。

表示方法： メニュー ボタンを押し、**ジョブ取得** を選択します。

項目	サブメニュー	オプション	説明
ユーザー <X>			保存されているジョブのあるユーザーがリストされます。ユーザーを選択すると、そのユーザーの保存されているジョブがリストされます。
	すべてのプライベート ジョブ		このメッセージは、PIN を必要とする保存ジョブに対して表示されます。
	<ジョブ名>		各ジョブの名前が表示されています。
		印刷	保存したジョブを印刷します。プライベート ジョブを印刷するときは、PIN の入力を求められます。
		部数	印刷するジョブの部数。デフォルトは 1 です。
		削除	保存したジョブを削除します。プライベート ジョブを削除するときは、PIN の入力を求められます。

情報メニュー

特定のプリンタ情報にアクセスして印刷するには、**情報** メニューを使用します。

表示方法： メニュー ボタンを押し、**情報** を選択します。

項目	説明
メニュー マップの印刷	コントロール パネルのメニュー マップを印刷します。これは、コントロール パネルのメニュー項目のレイアウトと現在の設定を示したものです。
設定の印刷	プリンタの設定と取り付けられているアクセサリを示す設定ページを印刷します。
サプライ品ステータス ページの印刷	サプライ品の推定寿命、印刷したページとジョブの総数の統計情報、シリアル番号、ページ数、および保守点検情報を印刷します。
サプライ品のステータス	プリント カートリッジ、イメージ ドラム、フューザ キット、ローラー キット、およびトランスファー キットのステータスをスクロール可能な一覧に表示します。
使用状況ページの印刷	プリンタで処理したすべての用紙サイズの総数、片面、両面、白黒、およびカラー印刷したページ数の一覧を印刷します。
カラー使用状況ジョブ ログ	プリンタのカラー使用状況を印刷します。
デモ印刷	デモンストレーション ページを印刷します。
RGB サンプルの印刷	各 RGB 値の色見本を印刷します。色見本は、印刷された色との色合わせの目安にします。
CMYK サンプルの印刷	各 CMYK 値の色見本を印刷します。色見本は、印刷された色との色合わせの目安にします。
ファイル ディレクトリの印刷	プリンタに保存されたファイルの名前とディレクトリを印刷します。
PCL フォント リストの印刷	使用可能な PCL フォントを印刷します。
PS フォント リストの印刷	使用可能な PS フォントを印刷します。

用紙処理メニュー

用紙のサイズや種類に基づいて給紙トレイを設定します。初めて印刷する場合は、その前にこのメニューを使用してトレイを正しく設定する必要があります。

表示方法： メニュー ボタンを押し、**用紙処理** を選択します。

注記： HP の他の LaserJet プリンタを使用していた場合は、トレイ 1 を**最初** モードか**カセット** モードに設定したことがあるかもしれません。HP Color LaserJet CP6015 シリーズ プリンタでは、トレイ 1 を **任意のサイズ** か **任意のタイプ** に設定することが**最初** モードに相当します。それ以外は、**カセット** モードに相当します。

メニュー項目	値	説明
トレイ 1 サイズ	使用可能なサイズの一覧が表示されます。	トレイ 1 の用紙サイズを設定します。デフォルトは **任意のサイズ** です。使用可能なサイズの一覧については、85 ページの「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。
トレイ 1 タイプ	使用可能なタイプの一覧が表示されます。	トレイ 1 の用紙タイプを設定できます。デフォルトは **任意のタイプ** です。使用可能なタイプの一覧については、88 ページの「サポート対象の用紙タイプ」を参照してください。
トレイ X サイズ X は、2 またはオプションの 3、4、5	使用可能なサイズの一覧が表示されます。	トレイ 2、またはオプションのトレイ 3、4、5 の用紙サイズを設定できます。デフォルトは、国/地域によって**レター**か **A4** になります。用紙サイズは、トレイのガイドによって検出されます。使用可能なサイズの一覧については、85 ページの「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。
トレイ X タイプ X は、2 またはオプションの 3、4、5	使用可能なタイプの一覧が表示されます。	トレイ 2、またはオプションのトレイ 3、4、5 の用紙タイプを設定できます。デフォルトは **普通紙** です。使用可能なタイプの一覧については、88 ページの「サポート対象の用紙タイプ」を参照してください。

デバイスの設定メニュー

デバイスの設定 メニューを使用して、デフォルト印刷設定の変更、印刷品質の調整、システム設定や I/O オプションの変更、およびデフォルト設定のリセットを行うことができます。

印刷メニュー

これらの設定は識別されたプロパティのないジョブのみに影響を与えます。ほとんどのジョブがすべてのプロパティを識別し、このメニューから設定された値を上書きします。

表示方法： メニュー ボタンを押し、**デバイスの設定**、**印刷** の順に選択します。

メニュー項目	値	説明
部数	範囲： 1 ～ 32000	印刷するデフォルトの部数を設定できます。デフォルトは **[1]** です。
デフォルトの用紙サイズ	使用可能なサイズの一覧が表示されます。	デフォルトの用紙サイズを設定できます。
デフォルトのカスタム用紙サイズ ● **計測単位** ● **X の寸法** ● **Y の寸法**		カスタムの印刷ジョブにデフォルトのサイズを設定できます。デフォルトの計測単位は、ミリメートルです。
A4/レター置き換え	**いいえ** **はい**	A4 の用紙がセットされていないときに、A4 の印刷ジョブでレターサイズを使用するように設定できます。デフォルトは **はい** です。
手差し	**オフ** **オン**	デフォルトは **オフ** です。**オン** に設定すると、[手差し] がトレイを選択していないジョブのデフォルトになります。この設定は、プリンタ ドライバの設定で上書きできます。
COURIER フォント	**標準** **濃い**	Courier フォントのバージョンを選択することができます。デフォルトは **標準** です。
ワイド A4	**いいえ** **はい**	10 ピッチの文字を 1 行に 80 文字印刷できるように、A4 用紙の印刷可能範囲を変更することができます。デフォルトは **いいえ** です。
PS エラーの印刷	**オフ** **オン**	PS エラー ページの印刷を選択することができます。デフォルトは **オフ** です。
PDF エラーの印刷	**オフ** **オン**	PDF エラー ページの印刷を選択することができます。デフォルトは **オフ** です。

PCL サブメニュー

プリンタ制御言語を設定します。

表示方法： メニュー ボタンを押し、**デバイスの設定**、**印刷**、**PCL サブメニュー** の順に選択します。

項目	説明
用紙の長さ	デフォルトの用紙サイズに対する縦の間隔を 5 ～ 128 行に設定します。
印刷の向き	デフォルトの印刷の向きを縦または横に設定できます。
フォント ソース	フォントのソースを選択します。
フォント番号	各フォントに番号が割り当てられ、その番号が PCL フォント リストに表示されます。範囲は、0 ～ 999 です。
フォント ピッチ	フォント ピッチを選択します。選択したフォントによっては、この項目が表示されない場合があります。範囲は、0.44 ～ 99.99 です。
シンボル セット	コントロール パネルでシンボル セットを 1 つ選択します。シンボル セットとは、特定フォント内のすべての文字を他と区別できるようにグループ化したものです。線描画文字には PC-8 または PC-850 をお勧めします。
LF に CR を追加	テキストのみのジョブやジョブ コントロールなしの旧バージョンと互換性のある PCL ジョブでは、**はい** を選択すると、改行の後にキャリッジリターンが追加されます。環境によっては、新しい行を改行のコントロール コードのみで表します。このオプションにより、各行末に必要なキャリッジ リターンを追加できます。
ブランク ページを作らない	独自の PCL を出力するとき、空白ページが印刷されるように余分の紙送りが入ります。**はい** を選択すると、ページが空白の場合は紙送りが無視されます。
メディアのソース マッピング	PCL5 の **メディアのソース マッピング** コマンドは、利用できるトレイやフィーダに割り当てられた番号を使用して給紙トレイを選択します。

印刷品質メニュー

表示方法： メニュー ボタンを押し、**デバイスの設定** 、**印刷品質**の順に選択します。

項目	サブメニュー	値	説明
カラー調節	**ハイライト** ● **シアン濃度** ● **マゼンタ濃度** ● **イエロー濃度** ● **黒濃度**	**+5** ～ **-5** デフォルトは **0** です。	印刷ページのハイライトの暗さまたは明るさを調整します。値を小さくすると印刷ページのハイライトが明るくなり、値を大きくすると印刷ページのハイライトが暗くなります。
	中間トーン ● **シアン濃度** ● **マゼンタ濃度** ● **イエロー濃度** ● **黒濃度**	**+5** ～ **-5** デフォルトは **0** です。	印刷ページの中間トーンの暗さまたは明るさを調整します。値を小さくすると印刷ページの中間トーンが明るくなり、値を大きくすると印刷ページの中間トーンが暗くなります。
	影 ● **シアン濃度** ● **マゼンタ濃度** ● **イエロー濃度** ● **黒濃度**	**+5** ～ **-5** デフォルトは **0** です。	印刷ページのシャドウの暗さまたは明るさを調整します。値を小さくすると印刷ページのシャドウが明るくなり、値を大きくすると印刷ページのシャドウが暗くなります。
	カラー値の復元		各カラーの濃度値をリセットして元の設定に戻します。
登録の設定			画像がページの上下左右の中央に位置するように余白を調整します。表面の画像を裏面に印刷された画像に合わせて配置することもできます。
	テスト ページの印刷		登録を設定する場合、テスト ページを印刷します。
	ソース	**すべてのトレイ** **トレイ 1** **トレイ 2** **トレイ <X>** (X は 3、4、または 5)	**登録の設定** テスト ページを印刷するための給紙トレイを選択します。
	トレイ <X> の調節 ● **X1 シフト** ● **X2 シフト** ● **Y シフト**	X または Y 軸に沿って -20 ～ 20 の範囲で位置を調整します。**0** がデフォルトです。	各トレイの位置を調整します。 イメージを作成するときに、プリンタにシートが上から下へに送られてくるに従って、ページが横方向にスキャンされます。 スキャンの方向は、X として表されます。X1 は、両面ページの表面のスキャン方向です。X2 は、両面ページの裏面のスキャン方向です。給紙の方向は Y で表されます。

項目	サブメニュー	値	説明
自動感知モード	**トレイ 1 感知**	**フル感知** **拡張感知** **OHP フィルムのみ**	**自動感知** モードを使用してトレイ 1 の用紙タイプを感知するオプションを設定します。 **[フル感知]** が選択されている場合は、普通紙、厚手の用紙、光沢紙、耐久紙、および OHP フィルムが認識されます。 [**拡張感知**] が選択されている場合は、普通紙、厚手の用紙、光沢紙、耐久紙、および OHP フィルムが認識されます。 OHP フィルム以外の最初のページのみが感知されます (OHP フィルムは、すべてのページが感知されます)。この機能は、すべてのトレイ (1 〜 5) に備わっています。 **OHP フィルムのみ** を選択すると、OHP フィルムかどうかだけが識別されます。
	トレイ <X> 感知	**フル感知** **拡張感知** **OHP フィルムのみ**	**自動感知** モードを使用してトレイ 2 またはオプションのトレイ 3、4、5 の用紙タイプを感知するオプションを設定します。 [**拡張感知**] が選択されている場合は、普通紙、光沢紙、耐久紙、および OHP フィルムが認識されます。 **OHP フィルムのみ** を選択すると、OHP フィルムかどうかだけが識別されます。
用紙の種類の調節 ● **<種類>** – 用紙の種類の一覧			印刷品質を上げるために、特定の種類の用紙や環境に対応するように設定を調節しなければならない場合があります。 特定の種類の用紙に合わせて、出荷時のデフォルトの印刷モードを上書きするには、その設定を選択して、次の 3 つのモードのいずれかを適用します。 また、HP 以外の用紙を、対応しない印刷モードに割り当てることもできますが、これはお勧めしません。
	光沢紙ベスト モード	**オフ** (デフォルト) **オン**	この設定を **オン** にすると、光沢紙モードの印刷が安定しますが、 印刷速度が下がります。
	抵抗モード	**標準** (デフォルト) **増** **減**	**標準** がデフォルトです。 **増** に設定すると、二次転写濃度が上がります。特定の種類の用紙で画像が薄い場合やトナーが飛び散る場合は、[増] に設定します。この問題は、両面印刷の裏面で目立つことがあります。また、高温多湿の環境やコート紙でよく発生します。 低温少湿の環境で軽い用紙や薄手の用紙を使用しており、まだら模様が多く出たり、たわんだり、イメージがまだらになったりトナーが途切れたりする場合は、**減** に設定します。この場合は、二次転写濃度が下がります。
	放電モード	**標準** (デフォルト) **オン**	トナーが凝集したり、飛び散ったりする場合は、**オン** を選択します。この問題は、低温少湿の環境で軽い用紙や薄手の用紙を使用している場合に発生することがあります。また、両面印刷で発生する可能性が高い問題です。

項目	サブメニュー	値	説明
	印刷モード	**自動感知モード** (デフォルト) **標準** **OHP フィルム モード** **<その他の印刷モード>**	HP 以外の用紙の印刷モードを変更できますが、印刷品質に影響することがあります。 **自動感知モード** を有効にすると、プリンタのメディア センサーが最適な印刷モードを選択します。
モードの復元			すべての印刷モード設定を出荷時のデフォルトに戻します。
最適化	**用紙カール**	**標準** (デフォルト) **短縮**	用紙が曲がらないようにするには、**短縮** に設定します。印刷の最高速度が 40ppm から 10ppm に、3/4 速度が 30ppm から 7.5ppm に下がります。
	定義済みの回転	**オフ** (デフォルト) **オン**	ページに水平方向の線ができる場合は、この機能を **オン** に設定します。ただし、プリンタが起動するのに時間がかかります。
	フューザ温度	**標準** (デフォルト) **代替 1** **代替 2** **代替 3**	フューザの温度を下げて、熱による裏写りを防ぎます。 印刷した画像が同じページの下部または次のページにぼんやりとした影となって繰り返し写る場合は、用紙タイプやプリント モードの設定がご使用の用紙と合っているかをまず確認します。それでも問題が解決しない場合は、代替設定のいずれかに変更します。まず 代替 1 設定を試し、問題が解決するかを確認します。解決しない場合は [代替 2]、[代替 3] の順に試します。[代替 2] や [代替 3] に設定すると、1 つの印刷ジョブから次のジョブまでの間隔が大幅に延びる場合があります。
	トレイ 1	**標準** (デフォルト) **代替**	トレイ 1 から印刷しているときに用紙の裏面にしみができる場合は、モードを **代替** に設定します。この設定にすると、クリーニングの頻度が上がります。
	光沢モード	**標準** (デフォルト) **高**	安定した高い光沢が必要な場合に選択します。 写真などの光沢仕上げの印刷ジョブで、2 ページ目以降の光沢が落ちる場合は、この機能を **高** に設定します。この設定にすると、どの種類の用紙でも印刷速度が下がります。
	薄手メディア	**自動** (デフォルト) **オン**	薄手の用紙を使用しているときに、ヒューザに用紙が巻き込まれるのを防ぎます。 薄手の用紙に印刷したりトナーの使用量の多い印刷を行っているときに、特に、フューザ遅延またはフューザへの紙の巻き込みによる紙詰まりのメッセージが頻繁に表示される場合は、この機能を **オン** に設定します。
	メディア温度	**標準** (デフォルト) **短縮**	用紙がくっついて排紙される場合は、この機能を **短縮** に設定します。
	環境	**オフ** (デフォルト) **オン**	周りの温度が非常に低い場合に、パフォーマンスを最適化します。

項目	サブメニュー	値	説明
			温度が低い場所に設置しているプリンタで、印刷した画像にブリスタ (気泡状の印刷不良) などの問題が発生する場合は、**オン** に設定します。
	ラインの電圧	**オフ** (デフォルト) **オン**	電圧が低い場合に、パフォーマンスを最適化します。 供給電圧が低い場所に設置しているプリンタで、印刷画像にブリスタ (気泡状の印刷不良) などの問題が発生する場合は、**オン** に設定します。
	クリーニング頻度	**標準** (デフォルト) **代替**	出力したページに 38mm 間隔で繰り返し印刷不良が見られる場合は、**代替** に設定します。これにより、C ローラーのクリーニング頻度が上がりますが、 逆に印刷速度が低下したり消耗品の交換頻度が上がることがあります。
	ダブルブレード バイアス	**標準** (デフォルト) **代替**	出力したページに白く短い縦線が現れる場合は、**代替** に設定します。これにより、印刷出力に黒っぽい点が発生することがあります。何回か印刷を行って、この設定でいいかどうか確認してください。
	ごみ箱	**標準** (デフォルト) **代替**	印字率の低い印刷ジョブで、特に、出力の長さ方向に縞模様が発生する場合は、**代替** に設定します。
	背景	**オフ** (デフォルト) **オン**	印刷したページの背景の陰影が濃い場合は、**オン** を選択します。この機能を使用すると、光沢が下がることがあります。
	厚手モード	**30 PPM** (デフォルト) **24 PPM**	デフォルトは、**30 PPM** です。**24 PPM** を選択すると、印刷速度は落ちますが、厚手の用紙でのトナーの溶解処理が向上します。
	トラッキング コントロール	**オン** (デフォルト) **オフ**	転写電圧を調整して、カラーの安定性を向上します。この設定は、**オン** にしておく必要があります。
	最適化モードの復元		[最適化] メニューのすべての設定を出荷時のデフォルトに戻します。
今すぐクイック校正			プリンタの部分的な校正を行います。
今すぐ完全に校正			プリンタの完全校正を行います。

項目	サブメニュー	値	説明
中間色校正	**校正元**	**トレイ 1 <サイズ/タイプ>** **トレイ 2 <サイズ/タイプ>** **トレイ <X> <サイズ/タイプ>**	このメニューの設定は、カラー印刷で無彩色を最適化するためのトナーの混合に影響します。特殊なセンサーが、選択したトレイから特別に印刷した 3 枚のページのカラーを計測して、カラー パラメータを調整します。これにより、シアン、マゼンタ、イエロー、または黒のトナーの量が調節され、カラーの一貫性が向上します。 校正ページの給紙トレイ、用紙の種類とサイズを選択します。 複数の種類の用紙で校正するには、それぞれの用紙をトレイにセットし、このメニュー項目を選択して、対応するトレイを指定します。
	校正タイプ	**<タイプ>**	この項目は、トレイのタイプを [任意のタイプ] に設定した場合だけ選択できます。
	校正サイズ	**<サイズ>**	この項目は、トレイのサイズを [任意のサイズ] または [任意のカスタム] に設定した場合だけ選択できます。
	計測単位	**インチ** **ミリメートル**	用紙のカスタムサイズを指定するときに使用する計測単位。この項目は、用紙サイズを [カスタム] に設定した場合だけ選択できます。
	X の寸法		カスタムサイズの用紙の X 方向の長さ。この項目は、用紙サイズを [カスタム] に設定した場合だけ選択できます。
	Y の寸法		カスタムサイズの用紙の Y 方向の長さ。この項目は、用紙サイズを [カスタム] に設定した場合だけ選択できます。
中間色の自動校正		**オン** **オフ**	自動的に**中間色の校正** を行うかどうかを指定します。**オン** を選択すると、構成が必要な状況になると自動的に校正が行われます。校正ページが 3 ページ印刷されます。校正が完了したら、これらのページをリサイクルできます。
解像度		**Image REt 4800** (デフォルト) **1200 x 600dpi**	印刷時の解像度を設定します。デフォルトは、[Image REt 4800] です。細い線や小さな文字の印刷品質を上げるには、[1200 x 600dpi] に設定します。
エッジ コントロール		**オフ** **薄め** **標準** (デフォルト) **最大**	エッジ コントロール 設定は、エッジのレンダリング方法を指定します。エッジ コントロールには、 適合ハーフトーンとトラッピングという 2 つの設定があります。適合ハーフトーン設定は、エッジの鮮明度を上げます。トラッピングとは、隣接するオブジェクトのエッジをわずかに重ね合わせることによって、見当ずれを抑える方法です。 ● **オフ** は、トラッピングと適合ハーフトーンの両方をオフにします。 ● **薄め** は、最低レベルのトラッピングを設定し、適合ハーフトーンをオンにします。

項目	サブメニュー	値	説明
			● デフォルトのトラッピング設定は、**標準** です。トラッピングは、中レベル、適合ハーフトーンはオンになっています。 ● **最大** は、最も強力なトラッピング設定です。適合ハーフトーンはオンになっています。
クリーニング ページの処理			フューザの加圧ローラーに付着した余分なトナーを除去するクリーニング ページを印刷します。クリーニング時には、空白ページが印刷されます。このページは破棄してかまいません。

システムのセットアップメニュー

システム セットアップ メニューを使用して、スリープ モード、パーソナリティ (言語)、紙詰まり復旧などのデフォルト設定を変更できます。

表示方法： メニュー ボタンを押し、**デバイスの設定**、**システム セットアップ** の順に選択します。

項目	サブメニュー	値	説明
日付/時刻	**日付**	**----/[MMM]/[YY] 年=** **[YYYY]/---/[DD] 月=** **[YYYY]/[MMM]/-- 日=**	正しい日付を設定します。
	日付形式	**YYYY/MMM/DD** **MMM/DD/YYYY** **DD/MMM/YYYY**	年、月、日の順序を選択します。
	時刻	**--:[MM] [PM] 時=** **[HH]:-- [PM] 分=** **[HH]:[MM] -- 午前/午後=**	**時刻** の形式を選択します。選択した **時刻形式** によって、異なるウィザードが表示されます。
	時刻形式	**12 時間制** **24 時間**	**12 時間制** または **24 時間** 制を選択します。
ジョブ保存限界		**連続した値** 範囲： 1 ～ 100 デフォルトは 32	プリンタに保存するクイック コピー ジョブの数を指定します。デフォルトは 32 です。指定できる最大保存数は 100 です。
ジョブ保留タイムアウト		**オフ** **4 時間** **1 日** **1 週**	キューに入ったクイック コピー ジョブが自動的に削除されるまでの時間を設定します。このメニュー項目は、ハード ディスクが取り付けられている場合だけ表示されます。デフォルトは **オフ** です。
アドレスの表示		**自動** **オフ**	プリンタの IP アドレスを **印字可** メッセージと一緒に表示するかど

項目	サブメニュー	値	説明
			うかを決めます。デフォルトは **オフ** です。
カラーの使用制限		**カラー有効** **権限がある場合はカラーを使用** **カラー無効**	カラーを使えなくするか、使用を制限します。デフォルトは **カラー有効** です。**権限がある場合はカラーを使用** 設定を使用するには、内蔵 Web サーバ、HP Easy Printer Care、または Web Jetadmin でユーザーの権限を設定します。57 ページの 「サポートされているユーティリティ (Windows)」を参照してください。
カラー/黒混合		**自動** **ほぼカラー ページ** **ほぼ黒ページ**	パフォーマンスを最大にし、プリント カートリッジを長持ちさせるために、カラー印刷とモノクロ印刷 (白黒) を切り替える方法を設定します。 **自動** は、出荷時のデフォルトにリセットします。デフォルトは **自動** です。 ほとんどのジョブで、ページ全面にカラーで印刷する場合は、**ほぼカラー ページ** を選択します。 ほとんどモノクロ、またはカラーとモノクロを組み合わせる場合は、**ほぼ黒ページ** を選択します。
トレイの設定			プリンタが、用紙トレイ、およびコントロール パネルの関連メッセージを処理する方法を制御します。
	要求されたトレイを使用	**優先** **最初**	ユーザーによって特定の給紙トレイが指定されたジョブを処理する方法を指定します。次の 2 つのオプションがあります。 ● **優先**： ユーザーが特定のトレイを使用するように指定した場合、デバイスはそのトレイが空であっても別のトレイを選択しません。これが工場出荷時のデフォルト設定です。 ● **最初**： 指定したトレイが空の場合は、別のトレイから給紙します。
	手差しプロンプト	**常に使用** **セットしてから使用**	ユーザーが指定したトレイとジョブのタイプまたはサイズが一致しないため、多目的用トレイから給紙するときにメッセージを表示す

項目	サブメニュー	値	説明
			るかどうかを指定します。次の 2 つのオプションがあります。 ● **常に使用**： 多目的用トレイを使用する前に常にメッセージを表示します。これが工場出荷時のデフォルト設定です。 ● **セットしてから使用**： 多目的用トレイが空の場合だけメッセージを表示します。
	PS メディア遅延	**有効** **無効**	Adobe PS プリンタ ドライバを使用するときに、用紙を処理する方法を設定します。 ● **有効** に設定すると、HP の用紙処理方法が使われます。 ● **無効** にすると、Adobe PS の用紙処理方法が使われます。
	サイズ/タイプ プロンプト	**ディスプレイ** **非表示**	トレイを閉じるたびにトレイ設定メッセージが表示されるようにするかどうかを指定します。次の 2 つのオプションがあります。 ● **ディスプレイ**： このオプションを選択すると、トレイが閉じられているときにトレイ設定メッセージが表示されます。このメッセージから直接トレイの設定を選択できます。 ● **非表示**： このオプションを選択すると、トレイ設定メッセージが自動的に表示されなくなります。
	別のトレイを使用	**有効** **無効**	指定したトレイが空の場合に、別のトレイを選択するように促すメッセージをコントロール パネルに表示するかどうかを指定します。次の 2 つのオプションがあります。 ● **有効**： このオプションを選択すると、選択したトレイに用紙を補充するか、別のトレイを選択するように指示するプロンプトが表示されます。これが工場出荷時のデフォルト設定です。 ● **無効**： このオプションを選択すると、別のトレイを選択するためのプロンプトは表示されません。初めに選択したトレイに用紙を補充するように指示するプロンプトが表示されます。

項目	サブメニュー	値	説明
	空白ページを両面印刷	**自動** **はい**	プリンタが両面印刷ジョブを処理する方法を制御します。次の 2 つのオプションがあります。 ● **自動** に設定すると、スマート両面印刷が有効になり、裏面が空白の場合は両面とも処理されなくなります。これにより、印刷速度が上がります。 ● **はい** に設定すると、スマート両面印刷が無効になり、片面しか印刷しない用紙も裏返されます。このオプションは、レターヘッドや穴あき用紙などを使用する特定のジョブで有効に機能します。
	イメージ印刷の向き	**左から右** **右から左** **代替**	ステイプラで上隅が綴じられるように、オプションの排紙アクセサリ (通常、幅の狭い) に送る画像を 180° 回転させます。
スリープ遅延		**1 分** **15 分** **30 分** **45 分** **60 分** **90 分** **2 時間** **4 時間**	プリンタを使用しないまま一定の時間が経過するとスリープ モードにして、消費電力を節約します。デフォルトは、**60 分** です。
スリープ復帰時刻	<曜日>	**オフ** **カスタム**	毎日のスリープ復帰時刻を設定して、ウォーム アップや校正を待たなくてよいようにします。曜日を選択してから、**カスタム** を選択します。選択した日のスリープ復帰時刻を指定し、毎日同じ時刻にするかどうかを選択します。
最適速度/エネルギー使用状況		**最初のページ (高速)** **省エネルギー** **省エネルギー最大**	フューザの冷却方法を設定します。 **[最初のページ (高速)]** が選択されている場合、ジョブの間でフューザへの電源は切れません。 これは最初のページが印刷される時間に影響しません。 **[省エネルギー]** が選択されている場合、アイドルになってから 55 分が経過すると、フューザへの電源が切れます。 このため、最初のページが印刷される時間に及ぼす影響は最小限に抑えられます。

項目	サブメニュー	値	説明
			[省エネルギー最大] が選択されている場合、各ジョブの終了後にフューザへの電源が切れます。 このため、最初のページが印刷される時間に多大な影響を及ぼします。
ディスプレイの輝度		範囲は 1 ～ 10 です。	コントロール パネル ディスプレイの明るさを設定します。デフォルトは **5** です。
パーソナリティ		**自動** **PCL** **PDF** **PS**	デフォルトのパーソナリティを、自動切り替え、PCL、PDF、または PS モードに設定します。デフォルトは **自動** です。
解除可能な警告		**ジョブ** **オン**	他のジョブが送信されたときに、コントロール パネルで警告を解除するかどうかを設定します。デフォルトは **オン** です。
自動継続		**オフ** **オン**	システムで自動継続エラーが発生した場合のプリンタの動作を設定します。デフォルトは **オン** です。
サプライ品交換		**残量少で停止** **空で停止** **空を無視 1** **空を無視 2**	カートリッジのトナーの残量が少なくなったときのプリンタの動作を設定します。デフォルトは **残量少で停止** です。このオプションを選択すると、カラー トナーがまったくなくなるまで印刷が続きます。**空で停止** に設定すると、カラー トナーが補充されるまで印刷を一時停止します。 サプライ品の残量が少なくなると「サプライ品の注文」メッセージが表示され、サプライ品が空に近くなると「サプライ品の交換」メッセージが表示されます。 印刷の品質を保つために、「サプライ品の交換」メッセージが表示された時点でサプライ品を交換することをお勧めします。 この時点でサプライ品を交換しておくと、そのまま使用を続けて印刷の質が落ちた場合に印刷し直す必要がないので、用紙や他のサプライ品を無駄にしません。 [空を無視] オプションを選択すると、交換時期に達したプリント カートリッジ、イメージ ドラム、ローラー キット、イメージ フューザ キットなどのカラー トナーを使用して印刷が続行されます。 注意： 印刷の質が低下したり、一部の機能 (トナーの残量情報など) が使用できなくなることがあります。

項目	サブメニュー	値	説明
			注意： HP のサプライ品を [空を無視] モードで使用したことが原因で、素材や品質で問題が発生しても、HP のプリント カートリッジとイメージ ドラムの限定保証条項にある材料および製造上の瑕疵とはみなされません。 保証については、265 ページの 「プリント カートリッジとイメージ ドラムの限定保証書条項」 を参照してください。 [空を無視] オプションは、いつでも有効または無効にでき、カラー トナーごとに設定し直す必要はありません。 カラー トナーが交換時期に達しても、印刷が自動的に続行されます。 カラー トナーを「空を無視」モードで使用している場合は、コントロール パネルに「サプライ品交換 - [空を無視] を使用中」というメッセージが表示されます。 カラー トナーを交換すると、新しいカラー トナーが交換時期に達するまで、[空を無視] が無効になります。 **空を無視 1** に設定すると、カラー トナーが切れても印刷が続行されますが、警告メッセージが表示されます。プリンタの部品を損傷する可能性がある場合は、印刷が停止します。 **空を無視 2** に設定した場合も、カラー トナーが切れても印刷が続行され、警告メッセージが表示されます。ただし、プリンタの部品を損傷する可能性があっても印刷は停止されません。
サプライ品情報	**残りページ数** **注文メッセージ** **残量表示**	**オン** **オフ**	
発注レベル		0 ～ 100%	サプライ品の残量がどの程度になると、**発注レベル** メッセージが表示されるようにするかを指定します。デフォルトは 5% です。
カラー サプライがなくなりました		**停止** **黒で自動継続**	カラー トナーがなくなったときのプリンタの動作を設定します。**黒で自動継続** に設定すると、黒のトナーだけで印刷が続行されます。デフォルトは **停止** です。

項目	サブメニュー	値	説明
紙詰まり復旧		**自動** **オフ** **オン**	紙詰まりの後で、詰まったページをもう一度印刷するかどうかを設定します。デフォルトは **自動** です。
言語		使用可能な言語の一覧が表示されます。	デフォルトの言語を設定します。デフォルトは、**英語** です。

排紙セットアップメニュー

このメニューとサブメニューは、オプションの排紙アクセサリを取り付けている場合だけ表示されます。

表示方法： メニュー ボタンを押し、**デバイスの設定** 、**排紙セットアップ** の順に選択します。

項目	サブメニュー	値	説明
排紙セットアップ			このメニューは、HP 3 ビン ステイプラ/スタッカまたは HP ブックレット メーカー/フィニッシャが取り付けられている場合に表示されます。
マルチ機能フィニッシャ または **MBM-3 ビン ステイプラ**	**動作モード**	**メールボックス** **スタッカ**	デフォルトの動作モードを設定します。**メールボックス** は、ユーザーまたはユーザーのグループを各排紙ビンに割り当てます。**スタッカ** は、すべての排紙ビンを 1 つの大型ビンとして扱います。1 つのビンがいっぱいになると、ジョブが自動的に次のビンに排紙されます。
	ステイプル	**なし** **左に 1 箇所、斜め** **右に 1 箇所、斜め** **左に 2 箇所** **右に 2 箇所** **上に 2 箇所**	排紙される文書のステイプルの値が指定されていない場合のデフォルトの綴じ方を選択します。
	ステイプラの針なし	**停止** **継続**	ステイプル留めを指定している場合に、針がなくなったときのデフォルトの動作を設定します。**停止** は、針がなくなると印刷を停止します。**継続** は、針がなくなっても印刷を続行します。
	オフセット	**オフ** **オン**	ジョブのオフセット機能のオン/オフを切り替えます。複数部数を印刷したときに、排紙ビン内で各部がずらされて配置されます。
	A4/レター ステイプル	**標準**	ステイプラ バッファを使用して、紙詰まりが起きないように

項目	サブメニュー	値	説明
		代替 1 **代替 2**	印刷エンジンの速度を調節します。 **標準** にすると、エンジンの速度を標準にして、ステイプラ バッファが使用されます。 **代替 1** に設定すると、エンジンが自動感知モードのときに、紙詰まりが起きないように速度を下げます。自動感知モードでない場合は、ステイプラ バッファを使用しますが、標準の速度になります。 **代替 2** に設定すると、常に低速になり、ステイプラ バッファは使用されません。
	折りたたみ (LTR-R & A4-R)	**-4.0mm** **-3.5mm** **-3.0mm** **-2.5mm** **-2.0mm** **-1.5mm** **-1.0mm** **-0.5mm** **0.0mm** **0.5mm** **1.0mm** **1.5mm** **2.0mm** **2.5mm** **3.0mm** **3.5mm** **4.0mm**	レターおよび A4 の用紙を折りたたむ位置を調整します (ブックレット メーカーのみ)。
	折りたたみ (リーガル & JISB4)	**-4.0mm** **-3.5mm** **-3.0mm** **-2.5mm** **-2.0mm** **-1.5mm**	リーガルと JIS B4 の用紙を折りたたむ位置を調整します (ブックレット メーカーのみ)。

項目	サブメニュー	値	説明
		-1.0mm	
		-0.5mm	
		0.0mm	
		0.5mm	
		1.0mm	
		1.5mm	
		2.0mm	
		2.5mm	
		3.0mm	
		3.5mm	
		4.0mm	
	折りたたみ (11x17 & A3)	**-4.0mm**	11x17 と A3 の用紙を折りたたむ位置を調整します (ブックレット メーカーのみ)。
		-3.5mm	
		-3.0mm	
		-2.5mm	
		-2.0mm	
		-1.5mm	
		-1.0mm	
		-0.5mm	
		0.0mm	
		0.5mm	
		1.0mm	
		1.5mm	
		2.0mm	
		2.5mm	
		3.0mm	
		3.5mm	
		4.0mm	

I/O メニュー

I/O メニューの項目は、プリンタとコンピュータの通信を設定するのに使用します。HP JetDirect プリント サーバがインストールされているプリンタでは、このサブメニューを使って基本的なネットワーク パラメータを設定できます。これらのパラメータは、HP Web Jetadmin サーバと内蔵 Web サーバでも設定できます。

これらのオプションについて詳しくは、78 ページの 「ネットワーク設定」を参照してください。

表示方法： メニュー ボタンを押し、**デバイスの設定**、**I/O** の順に選択します。

項目	サブメニュー	値	説明
I/O タイムアウト		**15 秒** 範囲： 5 ～ 300	プリンタの **I/O タイムアウト** を秒単位で設定します。 この設定を使って、パフォーマンスを最大限に引き出すようにタイムアウトを調整します。印刷ジョブの途中で他のポートからデータが出力される場合は、タイムアウトを長くします。
内蔵 Jetdirect メニュー	オプションの一覧は、次の表に続く。		

表 2-1 **[内蔵 Jetdirect] メニューと [EIO <X> Jetdirect] メニュー**

項目	サブメニュー	値	説明
TCP/IP	**有効**	**オフ**	**オフ**： TCP/IP プロトコルを無効にします。
		オン	**オン***： TCP/IP プロトコルを有効にします。
	ホスト名		プリンタを示す 32 文字までの英数字。この名前は HP Jetdirect の設定ページに表示されます。デフォルトのホスト名は NPIxxxxxx です。この xxxxxx は LAN ハードウェア (MAC) アドレスの下 6 桁です。
	IPV4 設定	**設定方法** ● **BOOTP** ● **DHCP** ● **IP の自動割り当て** ● **手動**	TCP/IPv4 パラメータを HP Jetdirect プリント サーバに設定する方法を指定します。 BootP サーバから自動設定する場合は、BootP (Bootstrap Protocol) を使用します。 DHCPv4 サーバから自動設定する場合は、DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) を使用します。この項目を使用し、DHCP リースが存在する場合は、**DHCP リリース** メニューと **DHCP の更新** メニューを使用して DHCP リース オプションを設定できます。 自動的にローカルの IPv4 アドレスを使用する場合は、[IP の自動割り当て] を選択します。169.254.x.x という形式のアドレスが自動的に割り当てられます。 TCP/IPv4 パラメータを設定するには、**手動** メニューを使用します。
		デフォルトの IP ● **IP の自動割り当て** ● **旧**	強制的な TCP/IP の再設定時に、プリント サーバがネットワークから IP アドレスを取得できない場合のデフォルトの IP アドレスを指定します (たとえば、手動で BootP または DHCP を使用する設定にした場合)。 **IP の自動割り当て**： リンクのローカル IP アドレス、169.254.x.x が設定されます。 **旧**： HP Jetdirect の旧バージョンに合わせて、192.0.0.192 というアドレスが設定されます。

表 2-1 [内蔵 Jetdirect] メニューと [EIO <X> Jetdirect] メニュー (続き)

項目	サブメニュー	値	説明
		DHCP リリース • **いいえ** • **はい**	**設定方法** が **DHCP** に設定され、プリント サーバの DHCP リースが存在する場合に、このメニューが表示されます。 **いいえ***: 現在の DHCP リースが保存されます。 **はい**: 現在の DHCP リースとリースされた IP アドレスが解放されます。
		DHCP の更新 • **いいえ** • **はい**	**設定方法** が **DHCP** に設定され、プリント サーバの DHCP リースが存在する場合に、このメニューが表示されます。 **いいえ***: プリント サーバからは DHCP リースの更新は要求されません。 **はい**: プリント サーバから、現在の DHCP リースの更新が要求されます。
		手動 • **IP アドレス** • **サブネット マスク** • **Syslog サーバ** • **デフォルト ゲートウェイ** • **アイドル タイムアウト**	(**設定方法** を **手動** に設定している場合だけ使用できます) プリンタのコントロール パネルからパラメータを直接設定します。 **IP アドレス**: プリンタ固有の IP アドレス。この n の値は 0 ～ 255 です。 **サブネット マスク**: プリンタのサブネット マスク。この m の値は 0 ～ 255 です。 **Syslog サーバ**: syslog メッセージの受信と記録に使用される syslog サーバの IP アドレス。 **デフォルト ゲートウェイ**: 他のネットワークとの通信に使用されるゲートウェイまたはルーターの IP アドレス。 **アイドル タイムアウト**: TCP プリント データ接続がアイドルになってから閉じられるまでの期間 (秒)。デフォルトは 270 秒。0 を指定するとタイムアウトしなくなります。
		プライマリ DNS	プライマリ DNS サーバの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。
		セカンダリ DNS	セカンダリ DNS サーバの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。
	IPV6 設定	**有効** • **オフ** • **オン**	プリント サーバで IPv6 操作を有効または無効にするには、この項目を使用します。 **オフ***: IPv6 が無効になります。 **オン**: IPv6 が有効になります。
		アドレス • **手動** • **アドレス**	手動で IPv6 アドレスを設定するにはこの項目を使用します。 TCP/IPv6 アドレスを有効にし、手動で設定するには、**手動** メニューを使用します。 手動設定を有効にするには、**有効** を **オン** に設定します。手動設定を無効にするには、**オフ** に設定します。

表 2-1 [内蔵 Jetdirect] メニューと [EIO <X> Jetdirect] メニュー (続き)

項目	サブメニュー	値	説明
			アドレス: 32 桁の 16 進数の IPv6 ノード アドレス (コロンありの 16 進構文を使用します) を入力するには、この項目を使用します。
		DHCPV6 ポリシー • **ルーターが指定されました** • **ルーターが使用できません** • **常に使用**	**ルーターが指定されました**: プリント サーバが使用するステートフルな自動設定方法は、ルーターで決定されます。ルーターは、プリント サーバが DHCPv6 サーバからアドレス、設定情報、またはその両方のいずれを取得するかを指定します。 **ルーターが使用できません**: ルーターが使用できない場合、プリント サーバは DHCPv6 サーバからステートフル設定を取得する必要があります。 **常に使用**: ルーターが使用できるかどうかにかかわらず、プリント サーバは DHCPv6 サーバからステートフル設定を常に取得します。
		プライマリ DNS	プリント サーバが使用するプライマリ DNS サーバの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。
		セカンダリ DNS	プリント サーバが使用するセカンダリ DNS サーバの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。
	プロキシ サーバ		内蔵アプリケーションで使用するプロキシ サーバを指定します。通常、プリント サーバはインターネット アクセスするネットワーク クライアントが使用します。プリント サーバには Web ページがキャッシュされ、クライアントに対して、ある程度のインターネット セキュリティを提供しています。 プリント サーバを指定するには、IPv4 アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。名前の長さは 255 オクテットまでです。 ネットワークによっては、インターネット サービス プロバイダ (ISP) にプロキシ サーバのアドレスを問い合わせなければならないことがあります。
	プロキシ サーバのポート		クライアントのにプリント サーバが使用するポート番号を入力します。このポート番号は、ネットワーク上のプロキシ処理用に予約するポートです。値は 0 ～ 65535 です。
IPX/SPX	**有効**	**オフ** **オン**	**オフ**: IPX/SPX プロトコルを無効にします。 **オン***: IPX/SPX プロトコルを有効にします。
	フレーム タイプ	**自動** **EN_8023** **EN_II** **EN_8022** **EN_SNAP**	ネットワークのフレーム タイプ設定を選択します。 **自動**: フレーム タイプに自動的に設定し、最初に検出されたフレーム タイプに制限します。 **EN_8023**、**EN_II**、**EN_8022**、および **EN_SNAP** は、Ethernet ネットワークのフレーム タイプです。この中から選択します。
APPLETALK	**有効**	**オフ** **オン**	**オフ**: AppleTalk プロトコルを無効にします。 **オン***: AppleTalk プロトコルを有効にします。
DLC/LLC	**有効**	**オフ**	**オフ**: DLC/LLC プロトコルを無効にします。

表 2-1 [内蔵 Jetdirect] メニューと [EIO <X> Jetdirect] メニュー (続き)

項目	サブメニュー	値	説明
		オン	**オン***： DLC/LLC プロトコルを有効にします。
セキュリティ	**セキュリティ ページ印刷**	**はい** **いいえ**	**はい**： HP Jetdirect プリント サーバの現在のセキュリティ設定が記載されたページを印刷します。 **いいえ***： セキュリティ設定ページは印刷されません。
	安全な WEB	**HTTPS が必須** **HTTP/HTTPS はオプション**	設定の管理に、内蔵 Web サーバが HTTPS (セキュア HTTP) のみを使用する通信を受け入れるか、HTTP と HTTPS の両方を受け入れるかを指定します。 **HTTPS が必須**： 安全で暗号化された通信のためには、HTTPS アクセスのみを受け入れます。プリント サーバは保護されたサイトと表示されます。 **HTTP/HTTPS はオプション**： HTTP または HTTPS を使用したアクセスが許可されます。
	IPSEC	**維持** **無効**	プリント サーバ上に IPsec または ファイアウォール を指定します。 **維持**： IPsec/ファイアウォールのステータスは、現在の設定と同じままです。 **無効**： プリント サーバ上の IPsec/ファイアウォール操作は無効になります。
	セキュリティのリセット	**いいえ** **はい**	プリント サーバの現在のセキュリティ設定を保存するか、工場出荷時の設定にリセットするかを設定します。 **いいえ***： 現在のセキュリティ設定が維持されます。 **はい**： セキュリティ設定は出荷時のデフォルト設定にリセットされます。
診断	**内部テスト**	**実行**	複数のテストを使って、ネットワーク ハードウェアや TCP/IP ネットワーク接続の問題を診断します。 内部テストは、発生した問題の原因がプリンタの内部か外部かを調べるのに便利です。内部テストを使用して、プリント サーバのハードウェアと通信経路を確認します。テストを選択して有効にし、実行時間を設定した後は、**実行** を選択してテストを開始します。 実行時間の設定によって、テストがプリンタの電源を切るまで続くか、エラーが発生したら診断ページが印刷されるかのどちらかになります。
		LAN HW テスト	注意： この内部テストを実行すると、TCP/IP 設定は消去されます。 このテストによって、内部ループバック テストが実行されます。内部ループバック テストでは、内部ネットワーク ハードウェア上でのみパケットが送受信されます。ネットワークで外部の伝送はありません。 このテストを実施するには、**はい** を、実施しない場合は **いいえ** を選択します。
		HTTP テスト	定義済みのページをプリンタから取得して HTTP の動作を確認し、内蔵 Web サーバをテストします。

表 2-1 [内蔵 Jetdirect] メニューと [EIO <X> Jetdirect] メニュー (続き)

項目	サブメニュー	値	説明
			このテストを実施するには、**はい** を、実施しない場合は **いいえ** を選択します。
		SNMP テスト	プリンタの定義済み SNMP オブジェクトにアクセスして、SNMP 接続の動作を確認します。 このテストを実施するには、**はい** を、実施しない場合は **いいえ** を選択します。
		データ経路テスト	HP PostScript Level 3 をエミュレートするプリンタのデータの経路と障害を見つけるのに便利です。定義済みの PS ファイルがプリンタに送信されますが、このファイルは印刷されません。 このテストを実施するには、**はい** を、実施しない場合は **いいえ** を選択します。
		すべてのテストを選択	内部テストをすべて実行するには、この項目を選択します。すべてのテストを実施するには **はい** を、テストのいずれかを実施しない場合は **いいえ** を選択します。
		実行時間 [時]	内部テストを実行する期間 (時間単位) を指定するには、この項目を使用します。1 ～ 60 時間の値を選択できます。ゼロ (0) を選択すると、エラーが発生するかプリンタの電源を切るまでテストが続きます。 HTTP、SNMP、データ経路の各テストの結果データは、テストの完了後に印刷されます。
		実行	**いいえ***： 選択したテストを開始しません。 **はい**： 選択したテストを開始します。
	Ping テスト		このテストは、ネットワーク通信を確認するときに使用されます。このテストで、リンクレベルのパケットがリモート ネットワーク ホストに送信され、適切な応答が待機されます。
		排紙先タイプ	対象デバイスが IPv4 または IPv6 ノードかを指定します。
		排紙先 IPV4	IPv4 アドレスを入力します。
		排紙先 IPV6	IPv6 アドレスを入力します。
		パケット サイズ	リモート ホストに送信する各パケットのサイズをバイト単位で指定します。最小値は 64 (デフォルト)、最大値は 2048 です。
		タイムアウト	リモート ホストからの応答を待機する期間を秒単位で指定します。デフォルトは 1 で最大値は 100 です。
		カウント	このテストで送信する Ping テスト パケット数を指定します。1 ～ 100 の値を選択します。テストを継続的に行う場合は、0 を選択します。
		結果の印刷	Ping テストが継続的な操作として設定されなかった場合、テスト結果を印刷できます。結果を印刷するには、**はい** を選択します。**いいえ** (デフォルト) を選択すると、結果は印刷されません。
		実行	Ping テストを開始するかどうかを指定します。Ping テストを実施するには **はい** を、実施しない場合は **いいえ** を選択します。

表 2-1 [内蔵 Jetdirect] メニューと [EIO <X> Jetdirect] メニュー (続き)

項目	サブメニュー	値	説明
	Ping の結果		Ping テストのステータスと結果をコントロール パネルのディスプレイで表示するには、この項目を使用します。
		送信したパケット	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモート ホストに送信されたパケット数 (0 ～ 65535) を表示します。
		受信したパケット	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモート ホストから受信したパケット数 (0 ～ 65535) を表示します。
		消失率	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモート ホストから応答がなかった Ping テスト パケット送信の割合を表示します。
		RTT 最小	パケットの伝送と応答について、検出された RoundTrip-Time (RTT) の最小値 (0 ～ 4096 ミリ秒) を表示します。
		RTT 最大	パケットの伝送と応答について、検出された RoundTrip-Time (RTT) の最大値 (0 ～ 4096 ミリ秒) を表示します。
		RTT 平均	パケットの伝送と応答について、RoundTrip-Time (RTT) の平均値 (0 ～ 4096 ミリ秒) を表示します。
		Ping 進行中	Ping テストが進行中がどうかを表示します。**はい** はテストが進行中であることを、**いいえ** はテストが完了したか実施されていないことを示します。
		更新	Ping テスト結果を表示すると、この項目は最新の Ping テスト データに更新されます。データを更新するには **はい**、既存のデータを残しておくには **いいえ** を選択します。ただし、メニューがタイムアウトするか、手動でメイン メニューに戻すと、自動的に更新されます。
リンク速度		**自動** **10T 半二重**： 10 Mbps、半二重操作。 **10T 全二重**： 10 Mbps、全二重操作。 **100TX 半二重**： 100 Mbps、半二重操作。 **100TX 全二重**： 100 Mbps、全二重操作。 **100TX 自動**： 自動ネゴシエーションの最高リンク速度を 100 Mbps に制限します。 **1000TX 全二重**： 1000 Mbps、全二重操作。	プリント サーバのリンク速度と通信モードはネットワークに合わせる必要があります。使用できる設定は、プリンタ、およびインストール済みのプリント サーバによって異なります。次のリンク設定のいずれかを選択します。 注意： リンク設定を変更する場合、プリント サーバとネットワーク デバイスのネットワーク設定が失われる可能性があります。 **自動***： プリント サーバは、自動ネゴシエーション機能を使用して、許可されている中で最高のリンク速度と通信モードで設定します。自動ネゴシエーションが失敗すると、検出されたハブ/スイッチ ポートの検出済みリンク速度に応じて、100TX HALF または 10TX HALF が設定されます (1000T 半二重の選択には対応していません)。
プロトコル設定の印刷			次のプロトコルの設定を参照するには、この項目を使用します。IPX/SPX、Novell NetWare、AppleTalk、DLC/LLC。

リセット メニュー

リセット メニューを使用すると、出荷時のデフォルト設定へのリセット、スリープ モードの無効と有効の切り替え、新しいサプライ品を取り付けた後の製品のアップデートを行うことができます。

表示方法：メニュー ボタンを押し、**デバイスの設定**、**リセット** の順に選択します。

項目	値	説明
出荷時の設定に戻す		ページ バッファのクリア、壊れやすいパーソナリティ データすべての削除、印刷環境のリセット、およびすべてのデフォルト設定を出荷時のデフォルトに戻すことができます。
校正のリセット		フォーマッタの校正値をリセットします。
スリープ モード	**オフ** **低** **高**	**スリープ モード** を **オフ** にしている場合は、パワー セーブ モードにはなりません。ユーザーが **スリープ遅延** の時間を入力するときに、どの項目の横にもアスタリスクは表示されません。 **低** に設定すると、スリープ復帰時間が **高** よりも短くなります。デフォルトは、国/地域によって **低** か **高** になります。

診断メニュー

診断 メニューは、プリンタで発生した問題を調べるのに便利なテストを行うのに使います。

表示方法： メニュー ボタンを押し、**診断** を選択します。

項目	サブメニュー	値	説明
イベント ログの印刷			プリンタのイベント ログに最近記録された 50 個のエントリを含むレポートを印刷します。
イベント ログの表示			最近の 50 個のイベントを表示します。
印刷品質のトラブルの解決			手順、カラー、デモ、および構成の各情報を印刷します。印刷品質に関する問題の原因追求に役立つ情報です。
診断ページの印刷			プリンタの問題を診断するのに役立つ情報を印刷します。
カートリッジ確認を無効にする			問題の原因であるカートリッジを特定するためにプリント カートリッジを取り外すことができます。
用紙経路センサー			プリンタのセンサーが正常に動作しているかどうかをテストし、そのステータスを表示します。
用紙経路のテスト			トレイの設定などの用紙処理機能をテストします。
	テスト ページの印刷		用紙処理機能をテストするページを作成します。用紙の特定の経路をテストするために、テスト用の経路を定義する必要があります。
	ソース	**すべてのトレイ** **トレイ 1** **トレイ 2** (そのほかにもトレイがある場合は表示されます。)	テスト ページをすべてのトレイから印刷するか、特定のトレイから印刷するかを指定します。
	排紙先	**すべての排紙ビン** (追加のビンがある場合、それも表示されます。)	オプションの排紙アクセサリがプリンタに取り付けられているかどうかを表示します。 テスト ページの排紙オプションを選択します。テスト ページをすべての排紙ビンに送信することも、特定のビンだけに送信することもできます。
	両面印刷	**オフ** **オン**	両面印刷ユニットをテストに含めるかどうかを指定します。
	部数	**1** **10**	指定したトレイから印刷するテスト ページの数を指定します。

項目	サブメニュー	値	説明
		50 **100** **500**	
用紙経路のテストを終了中			この項目は、オプションのステイプラ/スタッカまたはブックレット メーカーが取り付けられている場合だけ表示されます。 排紙アクセサリの用紙処理機能をテストします。
	積み重ね	**排紙ビン** **メディア サイズ** **メディア タイプ** **部数** **両面印刷** **テスト ページの印刷**	ステイプラ/スタッカまたはブックレット メーカーの用紙経路をテストするためのオプションを設定します。 すべてのオプションを設定し終わったら、**テスト ページの印刷** を選択してテストを実施します。
	ステイプル	**仕上げオプション** **排紙ビン** **メディア サイズ** **メディア タイプ** **部数** **両面印刷** **テスト ページの印刷**	ステイプラ/スタッカまたはブックレット メーカーのステイプル留め機能をテストするためのオプションを設定します。 すべてのオプションを設定し終わったら、**テスト ページの印刷** を選択してテストを実施します。
	ブックレット メーカー (ブックレット メーカーのみ)	**メディア サイズ** **メディア タイプ** **部数** **両面印刷** **テスト ページの印刷**	ブックレット メーカーの機能をテストするためのオプションを設定します。 すべてのオプションを設定し終わったら、**テスト ページの印刷** を選択してテストを実施します。
手動センサー テスト			用紙経路センサーの動作を確認するためのテストを実施します。
手動センサー テスト 2			用紙経路センサーの動作を確認するための追加のテストを実施します。
コンポーネント テスト	**トランスファー モーター** **ベルトのみ** **イメージ ドラムモーター** **黒レーザ スキャナ** **シアン レーザ スキャナ**		部品を別々に動作させて、雑音や液漏れなどのハードウェアの問題を識別します。

項目	サブメニュー	値	説明
	マゼンタ レーザ スキャナ **イエロー レーザ スキャナ** **フューザ モーター** **フューザ圧力解放モーター** **黒エイリエネーション モーター** **シアン エイリエネーション モーター** **マゼンタ エイリエネーション モーター** **イエロー エイリエネーション モーター** **ITB 接触/エイリエネーション** **用紙転送モーター** **トレイ 1 ピックアップ ソレノイド** **トレイ 2 ピックアップ モーター** **トレイ 2 ピックアップ ソレノイド** **トレイ 3 ピックアップ モーター** **トレイ 3 ピックアップ ソレノイド** **トレイ 4 ピックアップ モーター** **トレイ 4 ピックアップ ソレノイド** **トレイ 5 ピックアップ モーター** **トレイ 5 ピックアップ ソレノイド** **両面印刷ユニット リバース モーター** **両面印刷ユニット再給紙モーター**		
	繰り返し	**1 回** (デフォルト) **連続**	テストを繰り返す回数を指定できます。停止 を押すと、いつでもテストを中止できます。
印刷/停止テスト		範囲は 0 ～ 60,000 ミリ秒です。デフォルトは 0 です。	印刷過程の途中でテストを停止して、画像がどこで劣化し始めているかを特定します。詰まった紙を取り除く必要があるというメッセージが表示されることがあります。このテストは、サービス エンジニア以外は実行しないでください。
カラー バンド テスト	**テスト ページの印刷**		高圧電源のアーク放電を調べるカラーバンド テスト ページを印刷します。
	部数	範囲は 1 ～ 30 です。デフォルトは 1 です。	内部情報ページの印刷部数を指定します。

項目	サブメニュー	値	説明
フィニッシャ テスト			オプションのステイプラ/スタッカまたはブックレット メーカーを取り付けている場合は、このメニューを使って、特定のセンサーや部品をテストします。取り付けているアクセサリによって、表示される値が異なります。
	手動センサー テスト	**すべて一括読み込み** **連続読み込み**	ステイプラ/スタッカまたはブックレットメーカーのセンサーの診断テストを開始します。
	コンポーネント テスト	**M1 - 送信モーター** (ブックレット メーカーのみ) **M2 - 折りたたみモーター** (ブックレット メーカーのみ) **M3 - ガイド モーター** (ブックレット メーカーのみ) **M4 - ガイド プレート モーター** (ブックレット メーカーのみ) **M9 - 給紙モーター** (ブックレット メーカーのみ) **M31 - エントランス モーター** **M36 - スウィング モーター** **M37 - トレイ 1 モーター** **M38 - トレイ 2 モーター** **M39 - 処理モーター** **SL1 - フラッパー 1 ソレノイド** (ブックレット メーカーのみ) **SL2 - フラッパー 2 ソレノイド** (ブックレット メーカーのみ) **SL4 - ブックレット ソレノイド** (ブックレット メーカーのみ) **SL5 - スイッチ ソレノイド** (ブックレット メーカーのみ) **SL31 - ローラー 1A ソレノイド** **SL32 - バッファ ソレノイド** **SL33 - 排紙ソレノイド** **SL34 - ガイド ソレノイド**	選択したモーター またはソレノイドの診断テストを開始します。

サービス メニュー

サービス メニューはロックされており、アクセスするには PIN を入力する必要があります。このメニューは、正規サービス担当者が使用することを前提にしています。

3 Windows 用ソフトウェア

対応オペレーティング システム (Windows)

本製品は、次の Windows オペレーティング システムに対応します。

- Windows XP (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows Server 2003 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows 2000
- Windows Vista

対応プリンタ ドライバ (Windows)

- HP PCL 6
- HP PostScript エミュレーション Universal Print Driver (HP UPD PS)
- HP PCL 5 UPD Universal Print Driver (HP UPD PCL 5)

プリンタ ドライバには、一般的な印刷タスクの操作手順と、プリンタ ドライバ内のボタン、チェックボックス、およびドロップダウン リストに関するオンライン ヘルプが含まれています。

注記： UPD についての詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。

HP ユニバーサル プリンタ ドライバ (UPD)

Windows 用 HP ユニバーサル プリンタ ドライバ (UPD) は、任意の場所から事実上すべての HP LaserJet 製品にすぐにアクセスできる単一のドライバです。製品ごとに別個のドライバをダウンロードする必要はありません。 実証された HP プリンタ ドライバ テクノ ロジを基礎とし、徹底的にテストされ、多くのソフトウェア プログラムで使用されています。 長期にわたり、一貫して動作する強力なソリューションです。

HP UPD は、各 HP 製品と直接通信し、設定情報を収集してから、その製品に固有の機能を表示するようにユーザー インタフェースをカスタマイズします。 両面印刷やステイプル留めなど、その製品に使用可能な機能が自動的に有効になるので、手動で有効にする必要がありません。

詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。

UPD インストール モード

従来モード	● CD から 1 台のコンピュータにドライバをインストールする場合は、このモードを使用します。 ● このモードでインストールした場合、UPD は従来のプリンタ ドライバのように動作します。 ● このモードを使用する場合、コンピュータごとに UPD を別個にインストールする必要があります。
動的モード	● モバイル コンピュータにドライバをインストールする場合は、このモードを使用すると、任意の場所にある HP 製品を検出してその製品で印刷できます。 ● ワークグループ用に UPD をインストールする場合は、このモードを使用します。 ● このモードを使用するには、インターネットから UPD をダウンロードします。 詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。

適切なプリンタ ドライバの選択 (Windows)

プリンタ ドライバから製品の機能にアクセスできます。また、ドライバによってコンピュータと製品間の通信が可能になります (プリンタ言語を使用)。追加のソフトウェアと言語について詳しくは、プリンタの CD に収録されているインストール ノートと readme ファイルを参照してください。

HP PCL 6 ドライバの説明

- デフォルトのドライバ
- すべての Windows 環境での印刷に推奨
- ほとんどのユーザーにとって、速度、印刷品質、製品機能のサポートが最高
- Windows グラフィック デバイス インタフェース (GDI) を使用することで Windows 環境で最高の速度を実現
- PCL 5 ベースのサードパーティまたはカスタム ソフトウェア プログラムと完全な互換性がない場合がある

HP UPD PS ドライバの説明

- プリンタの CD に収録、www.hp.com/go/cljcp6015_software でも入手可能
- **[プリンタの追加]** ウィザードでインストールする
- Adobe® のソフトウェア プログラムや、その他のグラフィックス処理ソフトウェア プログラムからの印刷に推奨
- PostScript エミュレーションからの印刷、または PostScript フラッシュ フォントをサポート

HP UPD PCL 5 ドライバの説明

- プリンタの CD に収録、www.hp.com/go/cljcp6015_software でも入手可能
- **[プリンタの追加]** ウィザードでインストールする
- Windows 環境での一般的なオフィス印刷に推奨
- PCL の旧バージョンと古い HP LaserJet 製品と互換性がある
- サードパーティまたはカスタム ソフトウェア プログラムからの印刷に最適な選択
- 異機種混在環境で使用する場合の最適な選択 (UNIX、Linux、メインフレーム)。この場合、製品を PCL 5 に設定する必要があります
- 企業の Windows 環境で、この単一のドライバを複数のプリンタ モデルに使用可能
- モバイル Windows コンピュータから複数のプリンタ モデルで印刷する場合に推奨

印刷設定の優先度

印刷設定の変更は、変更が行われた場所によって優先度が決まります。

注記： コマンドおよびダイアログ ボックスの名前は、ソフトウェア プログラムによって異なる場合があります。

- **[ページ設定] ダイアログ ボックス**： ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスで変更された設定は、他のどの場所で変更された設定よりも優先されます。
- **[印刷] ダイアログ ボックス**： ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[印刷]**、**[ページ設定]**、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで変更された設定は優先度が低いため、**[ページ設定]** ダイアログ ボックスで変更した設定より*優先されることはありません*。
- **[プリンタのプロパティ] ダイアログ ボックス (プリンタ ドライバ)**： **[印刷]** ダイアログ ボックスの **[プロパティ]** をクリックすると、プリンタ ドライバが開きます。**[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで変更された設定は、印刷を行うソフトウェアの他の場所で変更された設定に置き換えられます。
- **プリンタ ドライバのデフォルト設定**： プリンタ ドライバのデフォルト設定は、**[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで設定が*変更されない限り*、すべての印刷ジョブで使用されます。
- **プリンタのコントロール パネルの設定**： プリンタのコントロール パネルで変更した設定は、他の場所で行った変更よりも優先度が低くなります。

プリンタ ドライバ設定の変更 (Windows)

すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)	すべての印刷ジョブのデフォルト設定を変更する	製品の設定を変更する
1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。 2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。 手順は変わることがあり、共通ではありません。	1. **Windows XP と Windows Server 2003 (標準の [スタート] メニューの場合)**: **[スタート]**、**[プリンタと FAX]** の順にクリックします。 **または** **Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 (クラシック [スタート] メニューの場合)**: **[スタート]**、**[設定]**、**[プリンタ]** の順にクリックします。 **または** **Windows Vista**: **[スタート]**、**[コントロール パネル]** の順にクリックし、**[ハードウェアとサウンド]** カテゴリで **[プリンタ]** をクリックします。 2. ドライバ アイコンを右クリックし、**[印刷設定]** を選択します。	1. **Windows XP と Windows Server 2003 (標準の [スタート] メニューの場合)**: **[スタート]**、**[プリンタと FAX]** の順にクリックします。 **または** **Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 (クラシック [スタート] メニューの場合)**: **[スタート]**、**[設定]**、**[プリンタ]** の順にクリックします。 **または** **Windows Vista**: **[スタート]**、**[コントロール パネル]** の順にクリックし、**[ハードウェアとサウンド]** カテゴリで **[プリンタ]** をクリックします。 2. ドライバ アイコンを右クリックし、**[プロパティ]**を選択します。 3. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。

ソフトウェアの削除 (Windows)

1. **[スタート]**、**[すべてのプログラム]** の順にクリックします。
2. **[HP]** 、**[HP Color LaserJet CP6015 シリーズ 製品]** の順にクリックします。
3. **[HP Color LaserJet CP6015 シリーズ 製品 のアンインストール]** をクリックし、画面に表示される指示に従って、ソフトウェアを削除します。

サポートされているユーティリティ (Windows)

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin は、イントラネット内の HP Jetdirect 接続プリンタ用のブラウザ ベースの管理ツールで、ネットワーク管理者のコンピュータにのみインストールされます。

最新版の HP Web Jetadmin をダウンロードしたり、対応ホストシステムの最新のリストを参照したりするには、www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスしてください。

ホスト サーバにインストールされると、Windows クライアントはサポートされている Web ブラウザ (Microsoft® Internet Explorer 4.x または Netscape Navigator 4.x 以降など) を使用し、HP Web Jetadmin ホストに移動して、HP Web Jetadmin にアクセスできます。

内蔵 Web サーバ

デバイスには、デバイスおよびネットワークのアクティビティに関する情報にアクセスできる内蔵 Web サーバが装備されています。この情報は、Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator、Apple Safari、Firefox などの Web ブラウザで表示されます。

内蔵 Web サーバはデバイスに組み込まれています。ネットワーク サーバにはロードされません。

内蔵 Web サーバが提供するインタフェースは、ネットワークに接続されている任意のコンピュータから標準の Web ブラウザを使用してそれにアクセスできます。特別なソフトウェアがインストールまたは設定されることはありませんが、サポートされている Web ブラウザがコンピュータにインストールされている必要があります。内蔵 Web サーバにアクセスするには、ブラウザのアドレス行にデバイスの IP アドレスを入力します (IP アドレスを確認するには、設定ページを印刷します。設定ページの印刷方法については、142 ページの 「情報ページ」を参照してください)。

内蔵 Web サーバの機能の詳しい説明については、146 ページの 「内蔵 Web サーバ」を参照してください。

HP Easy Printer Care

HP Easy Printer Care ソフトウェアは、以下の作業に使用できるプログラムです。

- 製品のステータスを確認する
- サプライ品のステータスを確認し、HP SureSupply を使用してサプライ品をオンラインで購入する
- 警告を設定する
- 製品の使用状況レポートを表示する
- 製品マニュアルを表示する
- トラブルシューティングおよび保守ツールにアクセスする
- HP Proactive Support を使用して印刷システムを定期的にスキャンし、問題を防ぐ。HP Proactive Support を使用すると、ソフトウェア、ファームウェア、および HP プリンタ ドライバを更新できます。

HP Easy Printer Care ソフトウェアは、製品が直接コンピュータに接続されている場合、またはネットワークに接続されている場合に表示できます。

対応オペレーティング システム	● Microsoft® Windows 2000 ● Microsoft Windows XP Service Pack 2 (Home および Professional) ● Microsoft Windows Server 2003 ● Microsoft Windows Vista™
対応ブラウザ	● Microsoft Internet Explorer 6.0 または 7.0

HP Easy Printer Care ソフトウェアをダウンロードするには、www.hp.com/go/easyprintercare にアクセスしてください。この Web サイトには、対応ブラウザと、HP Easy Printer Care ソフトウェアに対応している HP 製品のリストに関する最新情報もあります。

HP Easy Printer Care ソフトウェアの詳しい使用方法については、143 ページの 「HP Easy Printer Care」 を参照してください。

その他のオペレーティング システムに対応したソフトウェア

OS	ソフトウェア
UNIX	HP-UX および Solaris ネットワークの場合は、UNIX 用の HP Jetdirect プリンタ インストーラを www.hp.com/support/go/jetdirectunix_software からダウンロードします。 最新機種のスクリプトについては、www.hp.com/go/unixmodelscripts を参照してください。
Linux	詳細については、www.hp.com/go/linuxprinting を参照してください。

4 Macintosh でのプリンタの使用

Macintosh 用ソフトウェア

対応オペレーティング システム (Macintosh)

このデバイスは、次の Macintosh オペレーティング システムに対応しています。

- Mac OS X V10.2.8、V10.3、V10.4 以降

注記： Mac OS V10.4 以降では、PPC および Intel Core Processor Macs に対応しています。

対応プリンタ ドライバ (Macintosh)

HP インストーラでは、PostScript® プリンタ記述 (PPD) ファイル、プリンタ ダイアログ機能拡張 (PDE)、および Macintosh コンピュータで使用する HP Printer ユーティリティが利用できます。

PPD は Apple PostScript プリンタ ドライバと組み合わせることで、デバイス機能にアクセスできます。コンピュータに付属の Apple PostScript プリンタ ドライバを使用してください。

Macintosh オペレーティング システムからのソフトウェアの削除

Macintosh コンピュータからソフトウェアを削除するには、PPD ファイルをゴミ箱にドラッグします。

印刷設定の優先度 (Macintosh)

印刷設定の変更は、変更が行われた場所によって優先度が決まります。

注記： コマンドおよびダイアログ ボックスの名前は、ソフトウェア プログラムによって異なる場合があります。

- **[ページ設定] ダイアログ ボックス**： ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。ここで変更した設定内容が、他の場所で変更した設定内容に優先します。
- **[印刷] ダイアログ ボックス**： ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[印刷]**、**[ページ設定]**、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで変更された設定は優先度が低いため、**[ページ設定]** ダイアログ ボックスで変更した設定より*優先されることはありません*。
- **プリンタ ドライバのデフォルト設定**： プリンタ ドライバのデフォルト設定は、**[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで設定が*変更されない限り*、すべての印刷ジョブで使用されます。
- **プリンタのコントロール パネルの設定**： プリンタのコントロール パネルで変更した設定は、他の場所で行った変更よりも優先度が低くなります。

プリンタ ドライバ設定の変更 (Macintoss)

すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)	すべての印刷ジョブのデフォルト設定を変更する	製品の設定を変更する
1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。 2. さまざまなメニューで設定を変更します。	1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。 2. さまざまなメニューで設定を変更します。 3. **[プリセット]** メニューで **[別名で保存]** をクリックし、プリセットの名前を入力します。 これらの設定が **[プリセット]** メニューに追加されます。新しい設定を使用するには、プログラムを起動して印刷するたびに、保存したプリセット オプションを選択する必要があります。	**Mac OS X V10.2.8 の場合** 1. Finder の **[移動]** メニューで、**[アプリケーション]** をクリックします。 2. **[ユーティリティ]** を開き、**[プリント センター]** を開きます。 3. 印刷キューをクリックします。 4. **[プリンタ]** メニューで **[設定]** をクリックします。 5. **[インストール可能なオプション]** メニューをクリックします。 注記： Classic モードでは構成設定を変更できない場合があります。 **Mac OS X V10.3 または Mac OS X V10.4 の場合** 1. Apple メニューで、**[システム環境設定]**、**[プリントとファクス]** の順にクリックします。 2. **[プリンタ設定]** をクリックします。 3. **[インストール可能なオプション]** メニューをクリックします。 **Mac OS X V10.5 の場合** 1. Apple メニューで、**[システム環境設定]**、**[プリントとファクス]** の順にクリックします。 2. **[オプションとサプライ品]** (オプションとサプライ品) をクリックします。 3. **[ドライバ]** メニューをクリックします。 4. リストからドライバを選択して、オプションを設定します。

Macintosh コンピュータ用ソフトウェア

HP Printer ユーティリティ

HP プリンタ ユーティリティを使用して、プリンタ ドライバでは使用できない製品機能を設定します。

HP プリンタ ユーティリティは、製品でユニバーサル シリアル バス (USB) ケーブルを使用している場合、または製品が TCP/IP ベースのネットワークに接続されている場合に使用できます。

HP Printer ユーティリティを開く

Mac OS X バージョン 10.2.8 で HP Printer ユーティリティを開く

1. Finder を開いて **[アプリケーション]** をクリックします。
2. **[ライブラリ]** をクリックし、**[プリンタ]** をクリックします。
3. **[hp]** をクリックし、**[ユーティリティ]** をクリックします。
4. **[HP Printer Selector]** をダブルクリックして、HP Printer Selector を開きます。
5. 選択する製品を選択して、**[ユーティリティ]** をクリックします。

Mac OS X V10.3 および V10.4 で HP Printer ユーティリティを開く

1. Finder を開き、**[アプリケーション]**、**[ユーティリティ]** の順にクリックし、**[プリンタ設定ユーティリティ]** をダブルクリックします。
2. 選択する製品を選択して、**[ユーティリティ]** をクリックします。

Mac OS X V10.5 で HP Printer ユーティリティを開く

▲ **[プリンタ]** メニューで **[プリンタ ユーティリティ]** をクリックします。

または

[プリンタ キュー] で **[ユーティリティ]** アイコンをクリックします。

HP Printer ユーティリティ機能

HP Printer ユーティリティは、**[構成設定]** リストでクリックして開くページで構成されています。以下の表では、これらのページで実行できるタスクを説明します。

項目	説明
[設定ページ]	設定ページを印刷します。
[サプライ品のステータス]	デバイスのサプライ品のステータスを表示します。そこからサプライ品のオンライン注文リンクにアクセスできます。
[HP サポート]	技術的なサポート、サプライ品のオンライン注文、オンライン登録、リサイクルと返品についての情報にアクセスできます。
[ファイルのアップロード]	コンピュータからデバイスにファイルを転送します。
[フォントのアップロード]	コンピュータからデバイスにフォントを転送します。
[ファームウェアのアップデート]	コンピュータからデバイスにアップデートされたファームウェアを転送します。
[両面印刷モード]	自動両面印刷モードをオンにします。
[Economode とトナー密度]	[EconoMode] 設定をオンにしてプリンタのトナーを節約したり、トナー濃度を調節します。
[解像度]	REt 設定などの解像度設定を変更します。
[リソースのロック]	ハード ディスクなどの記憶装置をロックまたはロック解除します。
[保存ジョブ]	デバイスのハードディスクに保存されている印刷ジョブを管理します。
[トレイの設定]	デフォルトのトレイ設定を変更します。

項目	説明
[IP 設定]	デバイスのネットワーク設定を変更し、内蔵 Web サーバにアクセスできるようにします。
[Bonjour 設定]	Bonjour サポートのオンとオフの切り替え、またはネットワーク上にリストされたデバイス サービス名の変更ができます。
[その他の設定]	内蔵 Web サーバにアクセスできるようにします。
[電子メール警告]	デバイスを設定して、特定のイベントに対して電子メール通知を送信します。

サポートされているユーティリティ (Macintosh)

内蔵 Web サーバ

デバイスには、デバイスおよびネットワークのアクティビティに関する情報にアクセスできる内蔵 Web サーバが装備されています。詳細については、147 ページの 「内蔵 Web サーバのセクション」を参照してください。

Macintosh プリンタ ドライバでの機能の使用

印刷

印刷機能のプリセットの作成および使用 (Macintosh)

印刷機能のプリセットを使用して現在のプリンタ ドライバの設定を保存すると、同じ設定を再利用できます。

印刷機能のプリセットの作成

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. 印刷設定を選択します。
4. **[プリセット]** ボックスで **[別名で保存...]** をクリックし、プリセットの名前を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。

印刷機能のプリセットの使用

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. **[プリセット]** ボックスで、使用する印刷機能のプリセットを選択します。

注記： プリンタ ドライバのデフォルト設定を使用するには、**[標準]** を選択します。

文書のサイズ変更またはカスタム用紙サイズへの印刷

さまざまなサイズの用紙に合うように文書を拡大縮小できます。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. **[用紙処理]** メニューを開きます。
3. **[出力用紙のサイズ]** のエリアで **[Scale to fit paper size]** を選択し、ドロップダウン リストからサイズを選択します。
4. 文書よりも小さな用紙だけを使用する場合は、**[縮小のみ]** を選択します。

表紙の印刷

「社外秘」などのメッセージを表紙に印刷できます。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. **[表紙ページ]** メニューを開き、表紙ページを **[書類の前]** または **[書類の後]** のどちらに印刷するかを選択します。
4. **[表紙の種類]** メニューで、表紙に印刷するメッセージを選択します。

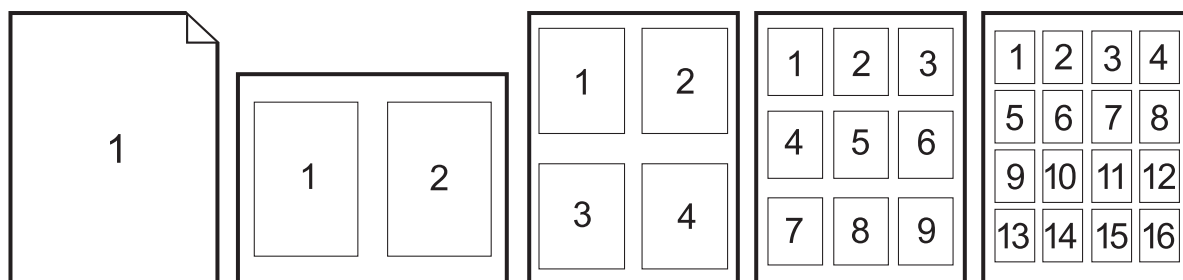
   注記： 空白の表紙を印刷するには、**[表紙の種類]** で **[標準]** を選択します。

透かしの使用

透かしとは、文書の各ページの背景に「社外秘」などのように印刷される情報です。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. **[透かし]** メニューを開きます。
3. **[モード]** の横で、使用する透かしの種類を選択します。半透明のメッセージを印刷するには、**[透かし]** を選択します。透明でないメッセージを印刷するには、**[オーバーレイ]** を選択します。
4. **[ページ]** の横で、全ページに透かしを印刷するか、最初のページだけに透かしを印刷するかを選択します。
5. **[テキスト]** の横で、いずれかの標準メッセージを選択するか、あるいは **[カスタム]** を選択して、ボックスに新しいメッセージを入力します。
6. 残りの設定のオプションを選択します。

1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Macintosh)

1 枚の用紙に複数のページを印刷できます。この機能は、ドラフト ページを印刷する際のコスト削減に役立ちます。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. **[レイアウト]** メニューを開きます。
4. **[ページ数/枚]** の横で、1 枚の用紙に印刷するページ数 (1、2、4、6、9、または 16) を選択します。
5. **[レイアウト方向]** の横で、用紙に印刷するページの順序と位置を選択します。
6. **[境界線]** の横で、用紙の各ページの周囲に印刷する境界線の種類を選択します。

両面印刷

自動両面印刷の使用

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。
   - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
   - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
2. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
3. **[レイアウト]** メニューを開きます。
4. **[両面]** の隣にある **[ロング エッジ綴じ込み]** または **[ショート エッジ綴じ込み]** のどちらかを選択します。
5. **[印刷]** をクリックします。

手動両面印刷

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。
   - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
   - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。

△ 注意： 紙詰まりを防止するには、105g/m^2 (28 ポンドのボンド紙) より厚手の用紙はセットしないでください。

2. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
3. **[レイアウト]** メニューで、**[手差し両面印刷]** を選択します。
4. **[印刷]** をクリックします。印刷された用紙をトレイ 1 にセットし直して裏面を印刷する前に、画面上のポップアップ ウィンドウに表示される指示に従います。
5. プリンタの設置場所に移動して、トレイ 1 から、印刷されていない用紙をすべて取り除きます。
6. トレイ 1 で、印刷されたほうの面を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。裏面はトレイ 1 から印刷する*必要が*あります。
7. 指示が表示される場合、適切なコントロール パネル ボタンを押して処理を続行します。

ステイプル留めオプションの設定

ステイプラを備えた仕上げデバイスが設置されている場合は、文書のステイプル留めが可能です。

1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. **[レイアウト]** メニューを開きます。
3. **[ステイプル留めオプション]** ドロップダウン リストで、使用するステイプル留めオプションを選択します。

ジョブの保存

製品にジョブを保存すると、いつでも印刷できます。保存したジョブは、他のユーザと共有するか、プライベートに設定できます。

1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. **[ジョブ保存]** メニューを開きます。
3. **[ジョブ保存]** ドロップダウン リストで、保存するジョブの種類を選択します。
4. 保存ジョブの **[保存ジョブ]**、**[プライベート ジョブ]**、**[プライベート保存ジョブ]** の各タイプについて、保存ジョブの名前を **[ジョブ名]** の横のボックスに入力します。

   別の保存ジョブが同じ名前の場合に使用するオプションを選択します。

   - **[ジョブ名と 1 ～ 99 までの数値を使用する]** を選択すると、ジョブ名の末尾に固有の番号が付加されます。
   - **[既存のファイルを置換]** を選択すると、既存の保存ジョブに新しいジョブが上書きされます。
5. 手順 3 で **[保存ジョブ]** または **[プライベート ジョブ]** を選択した場合は、**[印刷用暗証番号 (0000 - 9999)]** の横のボックスに 4 桁の数値を入力します。他のユーザがこのジョブを印刷しようとすると、この PIN 番号の入力を求められます。

カラー オプションの設定

[カラー オプション] ポップアップ メニューで、ソフトウェア プログラムでのカラーの解析および印刷方法をコントロールします。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. **[カラー オプション]** ポップアップ メニューを開きます。
4. **[詳細オプションの表示]** をクリックします。
5. テキスト、グラフィックス、写真の設定を個別に調整します。

[サービス] メニューの使用

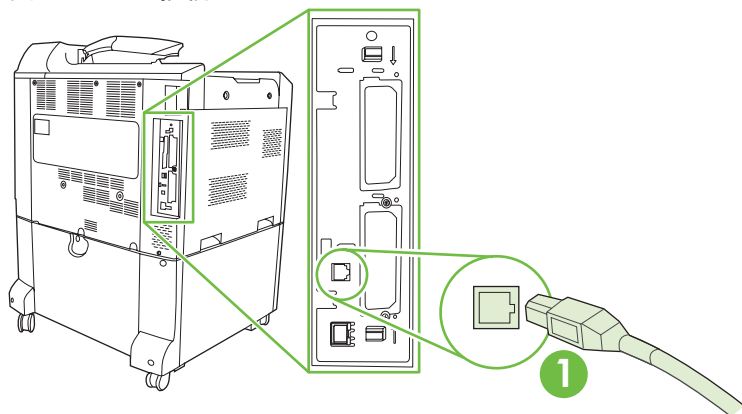
製品がネットワークに接続されている場合は、**[サービス]** メニューを使用して、製品およびサプライ品のステータス情報を取得します。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. **[サービス]** メニューを開きます。
3. 内蔵 Web サーバーを開いて保守作業を行うには、次の操作を行います。
   a. **[プリンタのメンテナンス]** を選択します。
   b. ドロップダウン リストから作業を選択します。
   c. **[開始]** をクリックします。
4. このデバイスのさまざまなサポート Web サイトに進むには、次の操作を行います。
   a. **[インターネット上のサービス]** を選択します。
   b. **[インターネット サービス]** を選択し、ドロップダウン リストからオプションを選択します。
   c. **[Go!]** をクリックします。

5 接続

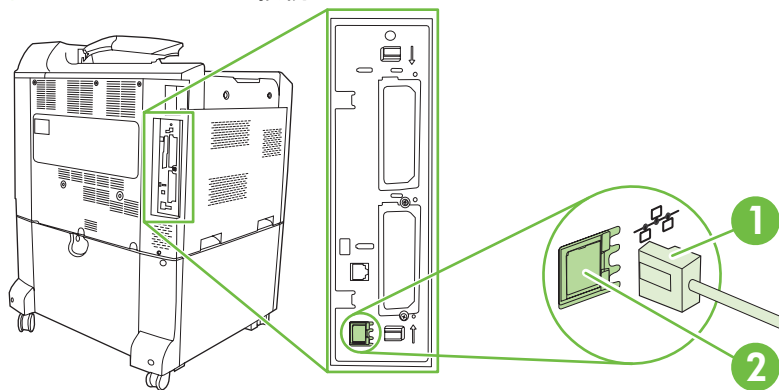
USB 接続

USB 2.0 接続がサポートされています。USB ポートは、プリンタの背面にあります。長さが 2m (6.56 フィート) 以内の A to B タイプの USB ケーブルを使用してください。

図 5-1 USB 接続

1	USB 2.0 ポート

ネットワーク接続

HP Color LaserJet CP6015 以外のどの機種にも、HP Jetdirect プリント サーバが内蔵されています。このサーバは、製品の背面にあるローカル エリア ネットワーク (LAN) コネクタ (RJ-45) を使用してネットワークに接続します。ネットワークに接続するプリンタの設定方法については、75 ページの 「ネットワークの設定」を参照してください。

図 5-2 ネットワーク接続

1	ネットワーク ケーブル
2	ネットワーク ポート

6 ネットワークの設定

ネットワーク接続の利点

プリンタをネットワークに接続すると、次のような点で便利です。

- すべてのネットワーク ユーザーが同じプリンタを共有できます。
- 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用して、ネットワークのどのコンピュータからでも、プリンタをリモートで管理できます。
- HP Easy Printer Care Software を使用して、ネットワークに接続されているすべての HP 製品のサプライ品の使用状況を表示できます。これにより、交換用カートリッジやその他のサプライ品の注文を簡単に一括管理できます。
- 大規模な組織では、プリンタのリモート管理に HP Web Jetadmin を使用すると便利です。

サポートされているネットワーク プロトコル

このプリンタは、TCP/IP プロトコルに対応しています。TCP/IP は、最も広く使用されている標準のネットワーク プロトコルです。多数のネットワーク サービスがこのプロトコルを利用しています。詳しくは、78 ページの 「TCP/IP」を参照してください。次の表はサポートされているネットワーク サービスとプロトコルを示しています。

表 6-1 印刷時

サービス名	説明
ポート 9100 (ダイレクト モード)	印刷サービス
LPD (Line printer daemon)	印刷サービス

表 6-2 ネットワーク デバイス検出

サービス名	説明
SLP (Service Location Protocol)	ネットワーク デバイスの検出と設定に役立つデバイス検出プロトコル。主に Microsoft ベースのプログラムに使用されます。
Bonjour	ネットワーク デバイスの検出と設定に役立つデバイス検出プロトコル。主に Apple Macintosh ベースのプログラムに使用されます。

表 6-3 メッセージングと管理

サービス名	説明
HTTP (Hyper Text Transfer Protocol)	Web ブラウザで内蔵 Web サーバとの通信を可能にします。
EWS (内蔵 Web サーバ)	ユーザーが Web ブラウザでプリンタを管理できます。
SNMP (Simple Network Management Protocol)	ネットワーク アプリケーションで、プリンタを管理するために使用します。SNMP v1 および標準 MIB-II (Management Information Base) オブジェクトがサポートされています。

表 6-4 IP アドレス指定

サービス名	説明
DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)	IP アドレスの自動割り当てに使用されます。DHCP サーバがプリンタに IP アドレスを割り当てます。通常、DHCP サーバから IP アドレスを取得するために、ユーザーが操作する必要はありません。
BOOTP (Bootstrap Protocol)	IP アドレスの自動割り当てに使用されます。BOOTP サーバがプリンタに IP アドレスを割り当てます。プリンタがサーバから IP アドレスを取得するために、管理者が BOOTP サーバ上でプリンタの MAC ハードウェア アドレスを入力する必要があります。
Auto IP	IP アドレスの自動割り当てに使用されます。DHCP サーバも BOOTP サーバもない場合に、プリンタがこのサービスを使用して、固有の IP アドレスを生成します。

ネットワーク設定

プリンタでネットワーク パラメータを設定しなければならない場合があります。これらのパラメータは、インストール ソフトウェア、コントロール パネル、内蔵 Web サーバ、または管理ソフトウェア (HP Web Jetadmin など) で設定できます。

使用可能なネットワークとネットワーク設定ツールの詳細については、*HP Jetdirect プリント サーバー管理者用ガイド*を参照してください。このガイドは、HP Jetdirect プリント サーバーがインストールされているプリンタに付属しています。

TCP/IP

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) は、人が互いにコミュニケーションを交わすために使用する共通の言語と同じように、コンピュータとデバイスがネットワーク経由で相互に通信する方法を定めるように設計された一連のプロトコルです。

インターネット プロトコル (IP)

情報がネットワーク経由で送信される場合、データは小さなパケットに分割されます。それぞれのパケットは独立して、送信されます。それぞれのパケットは、送信者と受信者の IP アドレスなどの IP 情報でコード化されています。IP パケットはルーターおよびゲートウェイ (ネットワークを他のネットワークと接続するデバイス) 経由で配信されます。

IP 通信には接続は不要です。IP パケットが送信されるときに、パケットが正しいシーケンスで宛先に届かない場合があります。しかし、高次のプロトコルとプログラムがパケットを正しいシーケンスに置くため、IP 通信は効率的です。

ネットワーク上で通信するノードまたはデバイスごとに IP アドレスが必要です。

TCP (Transmission Control Protocol)

TCP はデータをパケットに分割し、ネットワーク上の別のノードへのコネクション型の信頼できる、保証された配信サービスを提供することにより、受信端でデータを再結合します。データ パケットが宛先で受信されると、TCP は各パケットのチェックサムを計算して、データが壊れていないことを確認します。パケット内のデータが伝送中に壊れている場合、TCP はそのパケットを破棄して、パケットの再送信を要求します。

IP アドレス

IP ネットワーク上のすべてのホスト (ワークステーションまたはノード) に各ネットワーク インタフェース向けの固有の IP アドレスが必要です。このアドレスは、そのネットワーク上にあるネットワークと特定のホストの両方を識別するために使用されます。ホストは、プリンタの起動時 (DHCP および BOOTP を使用するなど) にサーバに IP アドレスを問い合わせます。

IP アドレスには 4 バイトの情報が含まれ、それぞれ 1 バイトを含むセクションに分かれています。IP アドレスには、以下のフォーマットがあります。

xxx.xxx.xxx.xxx

注記： IP アドレスを割り当てる場合は、必ず IP アドレス管理者に相談してください。誤ったアドレスを設定すると、ネットワーク上で動作する他の装置が動作しなくなったり、通信が妨げられたりする場合があります。

IP パラメータの設定

TCP/IP 設定パラメータは手動で設定でき、またプリンタの電源を入れるたびに DHCP または BOOTP を使用して、自動的にダウンロードできます。

電源を入れたときに、ネットワークから有効な IP アドレスを取得できない新しいプリンタには、自動的にデフォルトの IP アドレスが割り当てられます。プリンタの IP アドレスは、プリンタの設定ページとネットワーク レポートに載っています。142 ページの 「情報ページ」を参照してください。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

DHCP により、デバイスのグループで DHCP サーバにより維持される IP アドレスのセットを使用できます。プリンタがサーバに要求を送信し、IP アドレスを使用できる場合は、サーバはその IP アドレスをプリンタに割り当てます。

BOOTP

BOOTP は、ネットワーク サーバから設定パラメータとホスト情報をダウンロードするために使われるブートストラップ プロトコルです。

クライアントは、プリンタのハードウェア アドレスを含むブート要求パケットを送信します。サーバは、プリンタが設定に必要とするブート応答パケットを送り返します。

サブネット

特定のネットワーク クラスの IP ネットワーク アドレスがある組織に割り当てられている場合、その場所には複数のネットワークは装備されていません。ローカルのネットワーク管理者は、サブネットを使用して、ネットワークを複数の異なるサブネットワークにパーティション分割します。ネットワークをサブネットに分割すると、パフォーマンスが向上し、限られたネットワーク アドレス空間をより有効に使用できる場合があります。

サブネット マスク

サブネット マスクは、1 つの IP ネットワークを複数の異なるサブネットワークに分割するために使用されるメカニズムです。特定のネットワーク クラスでは、IP アドレスの通常はノードの識別に使われる部分がサブネットワークの識別に使われます。各 IP アドレスにサブネットワークに使われる部分とノードの識別に使われる部分を指定するサブネット マスクが適用されます。

ゲートウェイ

ゲートウェイ (ルーター) はネットワーク同士を接続するために使われます。ゲートウェイとは、同じ通信プロトコル、データ フォーマット、構造、言語、アーキテクチャを使用しないシステム間の変換機の役割を果たすデバイスのことです。ゲートウェイはデータ パケットを再パッケージして、宛先のシステムに合うように構文を変更します。ネットワークがサブネットに分割される場合、ゲートウェイは 1 つのサブネットを別のサブネットに接続する必要があります。

デフォルト ゲートウェイ

デフォルト ゲートウェイとは、ネットワーク間でパケットを移動させるゲートウェイまたはルーターの IP アドレスのことです。

複数のゲートウェイまたはルーターが存在する場合、デフォルトのゲートウェイは通常 1 番目、または最も近いゲートウェイまたはルーターのアドレスです。ゲートウェイまたはルーターが存在しない場合は、デフォルトのゲートウェイは、通常、ネットワーク ノード (ワークステーションやプリンタなど) の IP アドレスになります。

コントロール パネルを使用した IPv4 TCP/IP パラメータの手動設定

内蔵 Web サーバを使用する他に、コントロール パネルのメニューを使って、IPv4 アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイを設定することもできます。

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン▼を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
3. 下矢印ボタン▼を押して **I/O** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
4. 下矢印ボタン▼を押して **内蔵 JetDirect メニュー** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
5. チェックマーク ボタン✓ を押して **TCP/IP** を選択します。
6. 下矢印ボタン▼を押して **IPV4 設定** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
7. チェックマーク ボタン✓ を押して **設定方法** を選択します。
8. 下矢印ボタン▼を押して **手動** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
9. 下矢印ボタン▼を押して **手動** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
10. 下矢印ボタン▼を押して **IP アドレス** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。

    または

    下矢印ボタン▼を押して **サブネット マスク** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。

    または

    下矢印ボタン▼を押して **デフォルト ゲートウェイ** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
11. 数字キーパッドを使用するか、上矢印ボタン▲または下矢印ボタン▼を押して、IP アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイの最初のバイト数を増減します。
12. チェックマーク ボタン✓ を押して次の数値セットに移動します。前の数値セットに戻るには、左矢印ボタン⮌ を押します。
13. 手順 11 と 12 を繰り返して IP アドレス、サブネット マスク、またはデフォルト ゲートウェイを入力し終わったら、チェックマーク ボタン✓ を押して設定を保存します。
14. メニュー ボタンを押して **印字可** に戻ります。

コントロール パネルを使用した IPv6 TCP/IP パラメータの手動設定

内蔵 Web サーバを使用する他に、コントロール パネルのメニューを使って、IPv6 アドレスを設定することもできます。

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン▼を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
3. 下矢印ボタン▼を押して **I/O** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
4. 下矢印ボタン▼を押して **内蔵 JetDirect メニュー** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。

5. チェックマーク ボタン ✓ を押して **TCP/IP** を選択します。
6. 下矢印ボタン ▼ を押して **IPV6 設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
7. 下矢印ボタン ▼ を押して **アドレス** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
8. 下矢印ボタン ▼ を押して **手動** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
9. 下矢印ボタン ▼ を押して **有効** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
10. 下矢印ボタン ▼ を押して **オン** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
11. 下矢印ボタン ▼ を押して **アドレス** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
12. 数字キーパッドを使用するか、上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押して、アドレスを入力します。チェックマーク ボタン ✓ を押します。

    注記： 矢印ボタンを使用する場合は、各桁を入力した後にチェックマーク ボタン ✓ を押す必要があります。

13. メニュー ボタンを押して **印字可** に戻ります。

ネットワーク ユーティリティ

ネットワークに接続したプリンタを簡単に監視・管理できるユーティリティが付属しています。

- HP Web Jetadmin : 57 ページの 「HP Web Jetadmin」を参照してください。
- 内蔵 Web サーバ : 57 ページの 「内蔵 Web サーバ」を参照してください。
- HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) : 57 ページの 「HP Easy Printer Care」を参照してください。

その他のコンポーネントおよびユーティリティ

Windows	Macintosh OS
● ソフトウェア インストーラ - 印刷システムのインストールを自動化します。 ● オンライン Web 登録	● HP Printer ユーティリティ : デバイス設定の変更、ステータスの表示、Mac からのプリンタのイベント通知のセットアップなどを行います。このユーティリティは、Mac OS X V10.2 以降に対応しています。

7　用紙および印刷メディア

用紙および印刷メディアの使用について

本製品は、本ユーザー ガイドのガイドラインに従う場合に限り、さまざまな用紙や印刷メディアをサポートしています。本ガイドラインに従って用紙または印刷メディアを使用しないと、次のような問題が発生する場合があります。

- 印刷画質が低い
- 紙詰まりの回数が増える
- 耐用期間が経過する前に製品が損耗し、修理が必要になる

最良の印刷結果が得られるよう、レーザージェットまたマルチユース用に製造された HP ブランドの用紙および印刷メディアのみを使用してください。インクジェット プリンタ用に製造された用紙または印刷メディアは使用しないでください。HP では、他のブランドのメディアの画質を制御できないため、使用を推奨できません。

用紙が本ユーザ ガイドの全ガイドラインに適合していたとしても、十分な印刷結果が得られない場合があります。これは、不適切な操作、耐用温度または湿度レベル外での使用など、HP が管理できない環境下で使用したことが原因であると考えられます。

△ **注意：** HP の規格に適合しない用紙または印刷メディアを使用した場合、本製品に問題が発生し、修理が必要になる場合があります。このような条件下で発生した修理は、HP の保証またはサービス契約の適用外となります。

サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ

注記：　最良の印刷結果を得るために、印刷前に、適切な用紙のサイズとタイプをプリント ドライバで選択します。

表 7-1 サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ

サイズ	寸法	トレイ 1	トレイ 2	トレイ 3、4、5
レター	216 x 279mm	✓	✓[1]	✓[1]
レター (回転)	279 x 216mm	✓	✓[1]	✓[1]
リーガル	216 x 356mm	✓	✓[1]	✓[1]
A4	210 x 297mm	✓	✓[1]	✓[1]
A4 (回転)	297 x 210mm	✓	✓[1]	✓[1]
エグゼクティブ	184 x 267mm	✓	✓[1]	✓[1]
エグゼクティブ (JIS)	216 x 330mm	✓	✓	✓
A3	297 x 420mm	✓	✓[1]	✓[1]
A5	148 x 210mm	✓	✓[1]	✓[1]
11 x 17	279 x 432mm	✓	✓[1]	✓[1]
12 x 18	305 x 457mm	✓		✓
B4 (JIS)	257 x 364mm	✓	✓[1]	✓[1]
RA3	305 x 430mm	✓		✓
SRA3	320 x 450mm	✓		✓
B5 (JIS)	182 x 257mm	✓	✓[1]	✓[1]
8k	270 x 390mm	✓	✓	✓
16k	195 x 270mm	✓	✓	✓
8K	260 x 368mm	✓	✓	✓
16K	184 x 260mm	✓	✓	✓
8K	273 x 394mm	✓	✓	✓
16K	197 x 273mm	✓	✓	✓
バナー	99 ～ 320mm x 最大 915mm (4 ～ 12.6 x 最大 36 インチ)	✓		
カスタム	148 x 210mm ～ 297 x 432mm (5.8 x 8.2 ～ 11.7 x 17 インチ)[2]		✓	✓
カスタム	148 x 210mm ～ 297 x 457mm (5.8 x 8.2 ～ 12.6 x 18 インチ)[3]			✓

表 7-1 サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ (続き)

サイズ	寸法	トレイ 1	トレイ 2	トレイ 3、4、5
カスタム	99 x 140mm ～ 320 x 457mm (4 x 5.5 ～ 12.6 x 18 インチ)[3]	✓		

[1] トレイにセットされた用紙サイズは自動的に検出されます。

[2] トレイ 2 のカスタム範囲内の標準サイズ： 8.5 x 13、RA4、SRA4、8K (270 x 390)、8K (260 x 368)、8K (7.75 x 10.75)、16K (195 x 270)、16K (184 x 260)、16K (7.75 x 10.75)

[3] トレイ 3、4、および 5 のカスタム範囲内の標準サイズ： 8.5 x 13、RA4、SRA4、8K (270 x 390)、8K (260 x 368)、8K (7.75 x 10.75)、16K (195 x 270)、16K (184 x 260)、16K (7.75 x 10.75)、RA3、SRA3、12 x 18

表 7-2 サポートされる封筒およびはがき

サイズ	寸法	トレイ 1	トレイ 2、3、4、5
封筒 #9	98 x 225mm	✓	
封筒 #10	105 x 241mm	✓	
封筒 DL	110 x 220mm	✓	
封筒 C5	162 x 229mm	✓	
封筒 B5	176 x 250mm	✓	
封筒 C6	162 x 114mm (6.4 x 4.5 インチ)	✓	
封筒 Monarch	98 x 191mm	✓	
はがき	100 x 148mm[1]	✓	
倍サイズはがき	148 x 200mm	✓	
はがき (US)	88.9 x 139.7mm[1]		
はがき (ヨーロッパ)	105 x 148mm[1]	✓	
インデックスカード (US)	102 x 152mm (4 x 6 インチ)、127 x 177mm (5 x 7 インチ)、127 x 203mm (5 x 8 インチ)	✓	

[1] 重さが $160 g/m^2$ を超えると正常に動作しなくなる可能性がありますが、プリンタが損傷することはありません。

オプションの HP 3 ビン ステイプラ/スタッカと HP ブックレット メーカー/フィニッシャの各アクセサリでは、次の用紙サイズを使用できます。

表 7-3 オプションの HP 3 ビン ステイプラ/スタッカと HP ブックレット メーカー/フィニッシャ で使用可能な用紙と印刷メディアのサイズ

サイズ	寸法	積み重ね [2]	斜めにステイプル (左上)	斜めにステイプル (右上)	2 箇所をステイプル (上端または脇)	折り畳み	中綴じ
レター	216 x 279mm	✓	✓	✓	✓		
レター (回転)	279 x 216mm	✓	✓	✓		✓[1]	✓[1]
リーガル	216 x 356mm	✓	✓	✓		✓[1]	✓[1]
A4	210 x 297mm	✓	✓	✓	✓		
A4 (回転)	297 x 210mm	✓	✓	✓		✓[1]	✓[1]
エグゼクティブ	184 x 267mm	✓					

表 7-3 オプションの HP 3 ビン ステイプラ/スタッカと HP ブックレット メーカー/フィニッシャ で使用可能な用紙と印刷メディアのサイズ (続き)

サイズ	寸法	積み重ね [2]	斜めにステイプル (左上)	斜めにステイプル (右上)	2 箇所をステイプル (上端または脇)	折り畳み	中綴じ
エグゼクティブ (JIS)	216 x 330mm	✓					
A3	297 x 420mm	✓	✓	✓	✓	✓[1]	✓[1]
A5	148 x 210mm	✓					
A6	105 x 148mm	✓					
ステートメント	140 x 216mm	✓					
11 x 17 (タブロイド版)	279 x 432mm	✓	✓	✓	✓	✓[1]	✓[1]
12 x 18	305 x 457mm	✓					
B4 (JIS)	257 x 364mm	✓	✓	✓	✓	✓[1]	✓[1]
RA3	305 x 430mm	✓					
SRA3	320 x 450mm	✓					
JIS B5	257 x 182mm	✓					
B6 (JIS)		✓					
8K	270 x 390mm	✓					
16K	195 x 270mm	✓					
8K	260 x 368mm	✓					
16K	184 x 260mm	✓					
8K	273 x 393.7mm	✓					
16K	196.8 x 273mm	✓					
バナー		✓					
封筒 #9	98.4 x 225.4mm	✓					
封筒 #10	104.77 x 241.3mm	✓					
封筒 DL	110 x 220mm	✓					
封筒 C5	162 x 229mm	✓					
封筒 B5	176 x 250mm	✓					
封筒 C6	114 x 162mm (4.49 x 6.38 インチ)	✓					
封筒 Monarch	98.42 x 190.5mm	✓					
倍サイズはがき	148 x 200mm	✓					

[1] ブックレット メーカーのみ

[2] 積み重ねでは、ステイプラ/スタッカのビン 1、2、3 またはブックレット メーカーのビン 1、2 を使用します。

サポート対象の用紙タイプ

表 7-4 トレイ 1 で使用可能な用紙

タイプ	仕様	枚数	ドライバ設定	用紙の向き
用紙と厚紙 (標準サイズ)	範囲： 60g/m² ボンド紙～ 220g/m² ボンド紙	積み重ね可能な高さ：10mm 75g/m² ボンド紙 100 枚に相当	普通紙または指定なし	印刷済み用紙または穴あき用紙の場合、印刷面を下向きにし、用紙の下端をトレイの奥側に向けるかまたはプリンタの正面に向けてセット
封筒	60g/m² ボンド～ 90g/m² ボンド未満	最大 10 枚	封筒	短辺を先に、フラップをプリンタの背面に向けて、印刷面を上向きにセット
ラベル紙	厚さ 0.23mm 以下	積み重ね可能な高さ：10mm	ラベル紙	印刷面を下向きにセット
OHP フィルム	厚さ 0.13mm 以上	積み重ね可能な高さ：10mm	OHP フィルム	印刷面を下向きにセット
厚手	厚さ 0.13mm	積み重ね可能な高さ：10mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を下向きにセット
光沢紙	範囲： 75g/m² ボンド紙～ 220g/m² ボンド紙	積み重ね可能な高さ：10mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を下向きにセット
フォト用紙	60g/m² ボンド紙～ 220g/m² ボンド紙	積み重ね可能な高さ：10mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を下向きにセット
カット紙	60g/m² ボンド紙～ 220g/m² ボンド紙	積み重ね可能な高さ：10mm	普通紙または指定なし	印刷面を下向きにセット
耐久紙	60g/m² ボンド紙～ 220g/m² ボンド紙	積み重ね可能な高さ：10mm	HP 耐久紙	印刷面を下向きにセット
バナー用紙	範囲： 75g/m² ボンド紙～ 220g/m² ボンド紙	積み重ね可能な高さ：10mm	普通紙または指定なし	印刷面を下向きにセット

△ **注意：** 120 g/m² 以上厚手のバナー メディアは 3 ビン ステイプラ/スタッカとオプションのブックレット メーカー フィニッシャでは使用しないでください。 いずれの製品も厚手のバナー メディアには対応していません。

表 7-5 トレイ 2、3、4、5 で使用可能な用紙

タイプ	仕様	枚数	ドライバ設定	用紙の向き
用紙と厚紙 (標準サイズ)	範囲： 60g/m² ボンド紙～ 220g/m² ボンド紙	75g/m² ボンド紙 500 枚	普通紙または指定なし	印刷済み用紙または穴あき用紙の場合、印刷面を上向きにし、用紙の上端をトレイの奥側または左側に向けてセット
ラベル紙	厚さ 0.13mm 以下	積み重ね可能な高さ：54mm	ラベル紙	印刷面を上向きにセット

表 7-5 トレイ 2、3、4、5 で使用可能な用紙 (続き)

タイプ	仕様	枚数	ドライバ設定	用紙の向き
OHP フィルム	厚さ 0.13mm 以上	積み重ね可能な高さ：54mm	OHP フィルム	印刷面を上向きにセット
厚手	厚さ 0.13mm	積み重ね可能な高さ：54mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット
光沢紙	範囲： 75g/m^2 ボンド紙～220g/m^2 ボンド紙	積み重ね可能な高さ：54mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット
フォト用紙	60g/m^2 ボンド紙～220g/m^2 ボンド紙	積み重ね可能な高さ：54mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット
カット紙	60g/m^2 ボンド紙～220g/m^2 ボンド紙	積み重ね可能な高さ：54mm	普通紙または指定なし	印刷面を上向きにセット
耐久紙	60g/m^2 ボンド紙～220g/m^2 ボンド紙	積み重ね可能な高さ：54mm	HP 耐久紙	印刷面を上向きにセット

トレイ 2、3、4、5 の容量： 総容量は、高さ 54mm 以下または用紙 500 枚以下のいずれか少ないほうとします。サポートされているメディア タイプは、カット紙、ラベル紙、OHT、光沢紙、光沢フィルム、フォト用紙、および耐久紙です。基本重量は、60-220g/m^2 です。

両面印刷： このプリンタでは、自動両面印刷することができます。HP Color LaserJet CP6015n モデルは、両面印刷に対応していません。自動両面印刷が可能な用紙サイズは、175 ～ 320mm x 210 ～ 457mm、 重量は 60 ～ 220g/m^2 です。

注記： HP カラー レーザー プレゼンテーション用紙 (光沢) (Q2546A、Q2547A) は、このプリンタではサポートされていません。 この用紙を使用すると、フューザで紙詰まりが発生し、フューザの交換が必要になる場合があります。 代わりに、HP カラー レーザージェット プレゼンテーション用紙 (ソフト光沢) (Q6541A) または HP カラー レーザージェット ブローシャ用紙 (光沢) (Q6611A、Q6610A) をご利用ください。

注記： このプリンタで使用できる HP ブランド用紙の一覧は、www.hp.com/sbso/product/supplies に掲載されています。

特殊な用紙または印刷メディアに関するガイドライン

本製品は特殊なメディアでの印刷をサポートしています。十分な印刷結果が得られるよう、次のガイドラインに従ってください。特殊な用紙または印刷メディアを使用する場合は、最良の印刷結果が得られるよう、必ずプリンタ ドライバでその種類とサイズを指定するようにしてください。

△ **注意：** HP LaserJet では、乾燥したトナーの粒子をきわめて正確な点として用紙に付着させるためにフューザを使用します。HP レーザー用紙は、このような高温状態に耐えられるように製造されています。この技術の使用を目的として製造されていないインクジェット用紙を使用すると、プリンタに障害が発生する場合があります。

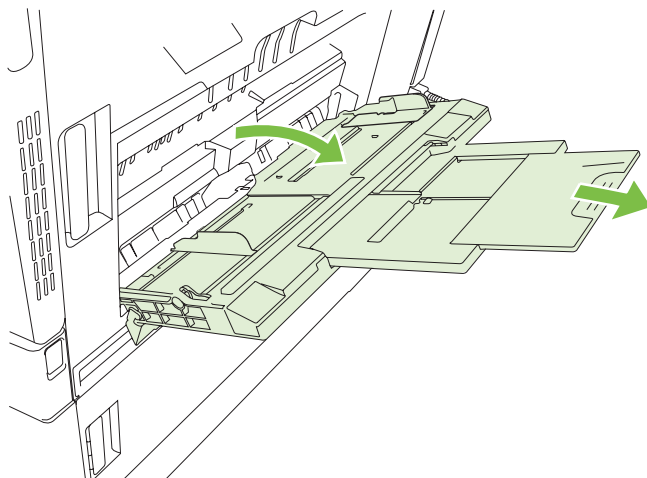
メディアの種類	推奨	禁止
封筒	● 封筒を平らな状態で保管。 ● 開口部が端まである封筒を使用。 ● レーザー プリンタでの使用が保証されている接着シールを使用。	● しわ、きざみ、接着部分、または損傷がある封筒を使用。 ● 留め金、スナップ、窓、またはコーティング加工済みの内張りがある封筒を使用。 ● 離型紙剥離タイプの接着剤などの合成素材を使用。
ラベル	● 裏張りが露出していないラベルのみを使用。 ● 平らになるラベルを使用。 ● ラベルのシート全体のみを使用。	● しわ、気泡、または損傷のあるラベルを使用。 ● ラベルのシートの一部を使用。
OHP フィルム	● レーザー プリンタでの使用が保証されている透明紙のみを使用。 ● 透明紙を製品から除去した後、平面上に置く。	● レーザー プリンタでの使用が保証されていない透明印刷メディアを使用。
レターヘッドまたは事前印刷用紙	● レーザー プリンタでの使用が保証されているレターヘッドまたは用紙のみを使用。	● 浮き彫りまたは金属加工が施されたレターヘッドを使用。
厚紙	● レーザー プリンタでの使用が保証され、本製品の重量規格に適合する厚紙のみを使用。	● 本製品での使用が許可されている HP レーザー紙を使用せず、本製品の推奨メディア規格より重い用紙を使用。
光沢紙またはコート紙	● レーザー プリンタでの使用が保証されている光沢紙またはコート紙のみを使用。	● インクジェット製品での使用を目的として製造された光沢紙またはコート紙を使用。

用紙と印刷メディアのセット

複数のトレイに異なるメディアをセットしておき、コントロール パネルを使用して、これらのメディアをサイズ別またはタイプ別に指定して使用できます。

トレイ 1 にセットする

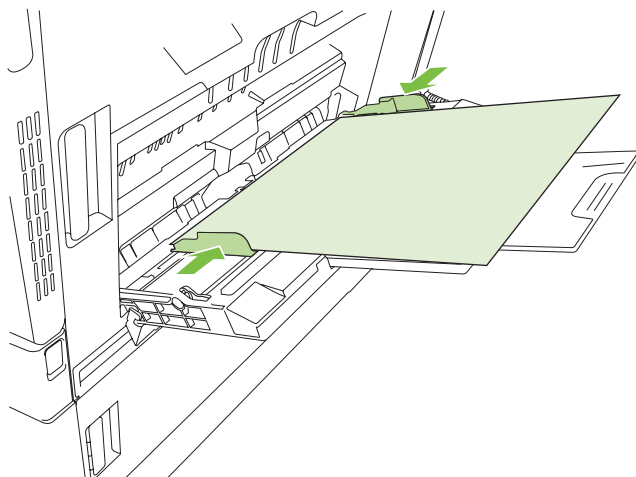
△ **注意：** 紙詰まりを避けるために、印刷中はトレイ 1 に用紙を追加したり、トレイ 1 から用紙を取り除いたりしないでください。

1. トレイ 1 を開きます。

2. 両側のガイドを用紙サイズに合わせ、トレイ拡張部を引き出します。

3. 印刷面を下向きにし、用紙の上端 (封筒の場合は切手を貼る位置の反対側) をプリンタの正面に向けて、トレイにセットします。

注記： レター (回転) または A4 (回転) の用紙を使用する場合は、印刷面を下向きにし、用紙の上端をプリンタに向けてセットします。

4. 用紙がガイドのタブの下部に収まり、用紙レベル インジケータを越えていないことを確認します。

5. 両側のガイドを調整して、用紙がたわまない程度に軽く用紙に触れるようにします。

封筒に印刷する

使用するソフトウェアが封筒を自動的に設定しない場合は、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで印刷の向きを **[横]** に指定します。以下のガイドラインを使用して、市販の #10 または DL 封筒の差出人と宛先アドレスのマージンを設定します。

住所のタイプ	左マージン	上部マージン
差出人	15mm	15mm
宛先	102mm	51mm

他のサイズの封筒を使用する場合は、封筒のサイズに合わせてマージンの設定を調整します。

トレイ 1 にバナー用紙をセットする

縦 457mm (18 インチ) ~ 915mm (36 インチ)、横 99mm (4 インチ) ~ 320mm (12.6 インチ) のバナーを印刷できます。119 ページの 「バナーの印刷」を参照してください。

△ **注意：** 120 g/m^2 以上厚手のバナー メディアは 3 ビン ステイプラ/スタッカとオプションのブックレット メーカー フィニッシャでは使用しないでください。 いずれの製品も厚手のバナー メディアには対応していません。

トレイ 2、3、4、5 への用紙のセット

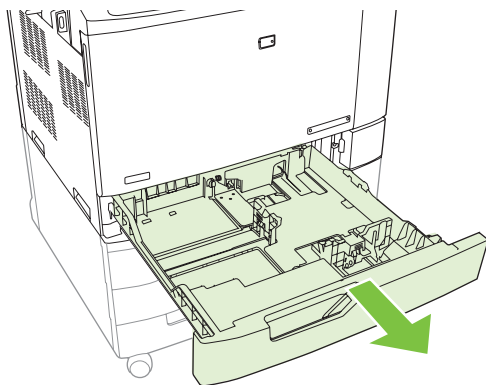
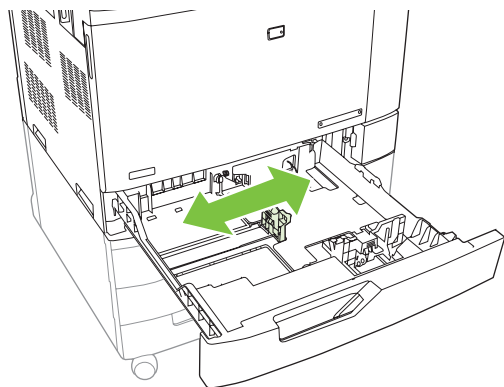
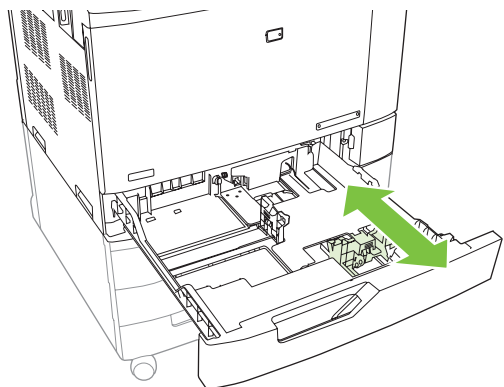
トレイ 2、3、4、5 には、標準的な用紙を最大 500 枚までセットできます。ラベル紙やその他の厚手の用紙は、高さ 54mm までセットできます。

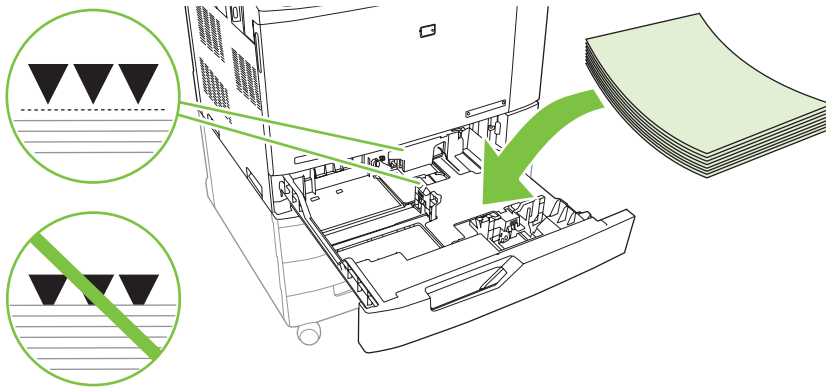
標準サイズの用紙をトレイ 2、3、4、5 にセットする

500 枚給紙トレイ内の標準サイズの用紙は自動的に検出されます。自動検出される用紙は、レター、レター (回転)、リーガル、エグゼクティブ、11x17、A3、A4、A4 (回転)、A5、B4 (JIS)、B5 (JIS) です。

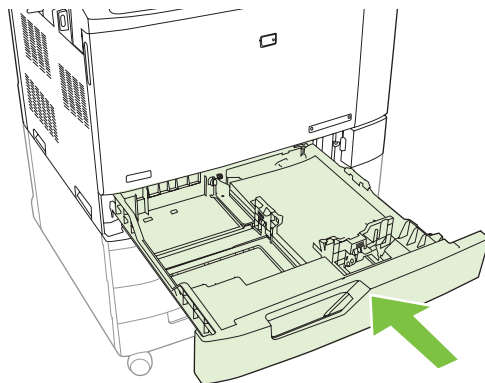
△ **注意：** 500 枚給紙トレイから、封筒やサポートされていないサイズの用紙を印刷しないでください。これらのタイプの用紙を印刷するには、トレイ 1 を使用してください。

1. プリンタからトレイを引き出します。

   注記： プリンタの使用中に給紙トレイを開かないでください。紙詰まりを起こす可能性があります。

2. 横方向用紙ガイドの調整ラッチを摘まんでスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。

3. 縦方向用紙ガイドの調整ラッチを摘まんでスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。

4. 用紙を上向きにしてトレイにセットします。ガイドを調整して、用紙がたわまない程度に軽く用紙に触れるようにします。

注記： 給紙トレイに用紙を入れすぎないでください。紙詰まりの原因となります。用紙束の高さがトレイの上限線を超えないようにしてください。

注記： 最良の印刷を行うために、用紙束を分割しないで全部をトレイに給紙してください。用紙束を分割するとマルチフィードの問題を引き起こす可能性があります。用紙トレイに収容できる枚数は変わります。たとえば、75g/m^2 用紙を使用する場合、トレイは 500 枚の用紙束を完全にセットできます。メディアが厚手の場合、トレイに用紙束の全部をセットできない場合があります。トレイに用紙を入れすぎないでください。

注記： トレイが正しく調整されていない場合、エラー メッセージが表示されるか、メディアが紙詰まりする場合があります。

5. トレイを製品に押し込みます。コントロール パネルに、トレイにセットされた用紙のタイプとサイズが表示されます。この設定が正しくない場合は、コントロール パネルのチェックマーク ボタン ✓ を押します。設定が正しい場合は、左矢印ボタン ⮌ を押します。

検出できない標準サイズの用紙をトレイ 2、3、4、 5 にセットする

以下の検出できない標準サイズのメディアは、500 枚給紙トレイでサポートされます。

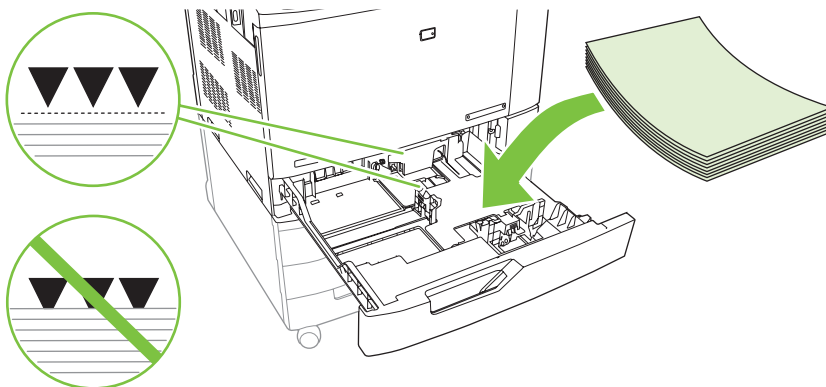
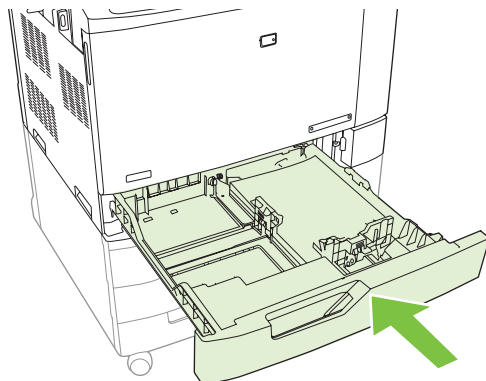
- エグゼクティブ (JIS) (8.5 x 13)
- 12 x 18 (トレイ 3、4、5 のみ)
- B4 (ISO)
- RA3 (トレイ 3、4、5 のみ)

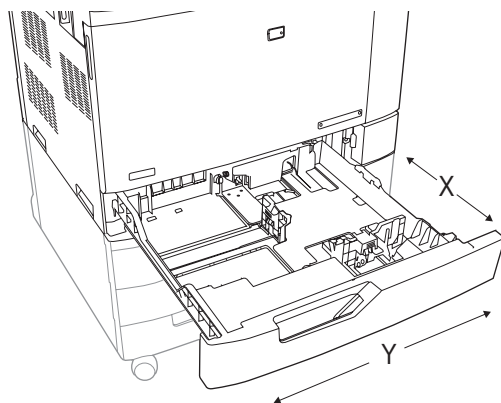
- SRA3 (トレイ 3、4、5 のみ)
- B5 (ISO)
- RA4
- SRA4
- 8K 270 x 390mm
- 16K 195 x 270mm
- 8K 260 x 368mm
- 16K 184 x 260mm
- 8K 273 x 394mm
- 16K 197 x 273mm

△ **注意：** 500 枚給紙トレイから、封筒やサポートされていないサイズの用紙を印刷しないでください。これらのタイプの用紙を印刷するには、トレイ 1 を使用してください。給紙トレイに用紙を入れすぎたり、使用中に開いたりしないでください。プリンタが紙詰まりを起こす可能性があります。

カスタム サイズの用紙をトレイ 2、3、4、5 にセットする

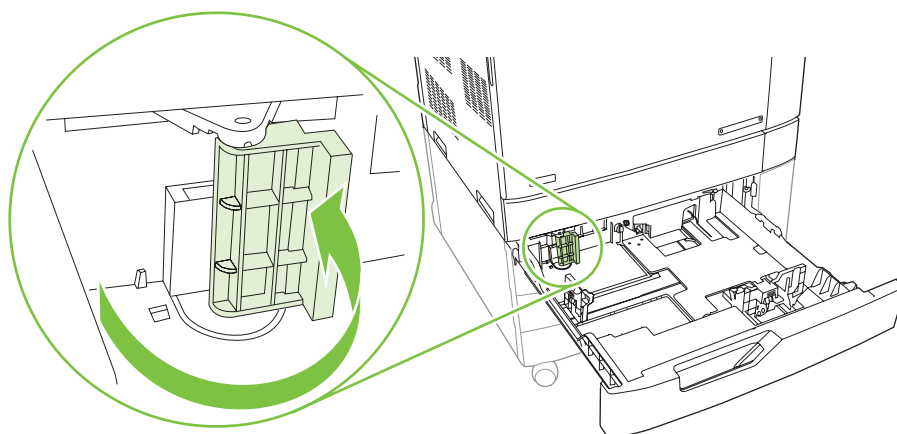
カスタム メディアを使用するには、コントロール パネルのサイズの設定を **カスタム** に変更し、単位、X 寸法、および Y 寸法を設定します。詳細については、「98 ページの 「印刷ジョブの設定に適合するようにトレイを設定する」」 を参照してください。

1. トレイをプリンタから引き出します。
2. 「標準サイズの用紙をトレイ 2、3、4、5 にセットする」セクションの手順 2 ～ 4 の説明に従って、印刷メディアをセットします。次に、このセクションの手順 3 に進みます。

3. トレイを製品に押し込みます。コントロール パネルに、トレイにセットされた用紙のタイプとサイズが表示されます。カスタム サイズを指定する場合や、表示されたタイプが正しくない場合は、サイズまたはタイプの変更を促すメッセージがコントロール パネルに表示されたときに、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

4. **カスタム** を選択し、カスタム用紙の X と Y の各寸法を入力します。

注記： X と Y の寸法を判断するには、用紙トレイのラベルや次の図を参考にしてください。

5. 設定が正しい場合は、左矢印ボタン ⮌ を押します。

大きいサイズの用紙をトレイ 3、4、5 にセットする

11x17、RA3、SRA3、12x18 の各サイズの用紙をトレイ 3、4、または 5 にセットする場合は、以下の手順に従います。

1. トレイ 3、4、または 5 を引き出します。
2. 横方向用紙ガイドの調整ラッチを摘まんでスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。
3. トレイに用紙をセットします。
4. 用紙のストップ レバーを、セットした用紙に適切な位置まで動かします。

- SRA3 サイズの用紙の場合は、レバーを左いっぱいに回します。
- A3 または 11x17 の各用紙の場合は、レバーを中央の位置まで回します。
- RA3 または 12x18 の各用紙の場合は、レバーを右いっぱいに回します。

5. トレイを製品に押し込みます。コントロール パネルに、トレイにセットされた用紙のタイプとサイズが表示されます。この設定が正しくない場合は、チェックマーク ボタン ✓ を押します。設定が正しい場合は、左矢印ボタン ⮌ を押します。

トレイの設定

以下の場合は、トレイの用紙タイプとサイズの設定を求めるメッセージが自動的に表示されます。

- トレイに用紙をセットしたとき
- プリンタ ドライバまたはソフトウェア プログラムを使用して、印刷ジョブのために特定のトレイまたはメディア タイプを指定した場合で、そのトレイの設定が印刷ジョブの設定に適合していない場合

コントロール パネルに、**トレイ <X> [タイプ] [サイズ]。サイズとタイプの変更は ✓ を押します。設定を受け入れるには ⮌ を押します** というメッセージが表示されます。

注記： **任意のカスタム** または **任意のタイプ** に設定したトレイ 1 から印刷する場合は、このメッセージは表示されません。

注記： これまでの HP LaserJet プリンタには、トレイ 1 を **[最初]** または **[カセット]** のいずれかのモードに設定できるモデルがありました。このプリンタのトレイ 1 を **任意のカスタム** に設定することは、**[最初]** モードに相当します。トレイ 1 を **任意のカスタム** 以外に設定することは、**[カセット]** モードに相当します。

用紙をセットするときにトレイを設定する

1. トレイに用紙をセットします。トレイ 2、3、4、または 5 を使用している場合は、トレイを閉めます。
2. トレイ設定メッセージが表示されます。
3. 左矢印ボタン ⮌ を押して検出されたサイズを確定するか、チェックマーク ボタン ✓ を押して別の用紙サイズを選択します。
4. トレイの設定を変更する場合は、下矢印ボタン ▼ を押して適切なサイズを選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

   注記： トレイ 2、3、4、5 にセットされた用紙サイズは、通常、自動的に検出されます。

5. トレイの設定を変更する場合は、下矢印ボタン ▼ を押して適切なタイプを選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

印刷ジョブの設定に適合するようにトレイを設定する

1. ソフトウェア プログラムで、ソース トレイ、用紙サイズ、および用紙タイプを指定します。
2. プリンタに印刷ジョブを送信します。

   トレイを設定する必要がある場合は、**トレイ X に <タイプ> <サイズ> をセット** というメッセージが表示されます。

3. 指定されたタイプとサイズの用紙をトレイにセットし、トレイを閉めます。下矢印ボタン ▼ を押してサイズを選択するか、**カスタム** を選択します。

   カスタムサイズを指定するにせ、まず下矢印ボタン ▼ を押して単位を選択します。数字キーパッドを使用して、X と Y の寸法を設定します。

4. **トレイ<X> サイズ=<サイズ>** というメッセージが表示された場合は、チェックマーク ボタン ✓ を押してサイズを確定します。

5. **トレイ<X> タイプ=<タイプ>**というメッセージが表示された場合は、チェックマーク ボタン ✓ を押してタイプを確定し、印刷を続行します。

[用紙処理] メニューを使用してトレイを設定する

設定を求めるメッセージが表示されない場合でも、トレイの用紙タイプとサイズを設定することができます。

1. メニュー ボタンを押します。

2. 下矢印ボタン ▼ を押して **用紙処理** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

3. 下矢印ボタン ▼ を押してトレイのサイズまたはタイプを選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

4. 上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▲ を押してサイズまたはタイプを選択します。カスタム タイプを選択する場合は、単位を選択し、数字キーパッドを使用して X と Y の各寸法を設定します。

5. チェックマーク ボタン ✓ を押して、設定を保存します。

6. 左矢印ボタン ⮌ を押します。

7. 左矢印ボタン ⮌ をもう一度押します。

自動メディア タイプ感知 (自動感知モード)

自動メディア タイプ感知センサーは、トレイが [任意のタイプ] に設定されている場合にのみ機能します。トレイをボンド紙や光沢紙などの別の種類用に設定すると、トレイのメディア センサーが無効になります。

HP Color LaserJet CP6015 シリーズ プリンタでは、用紙タイプが次のいずれかのカテゴリに自動的に分類されます。

- 標準
- OHP フィルム
- 光沢紙
- 光沢フィルム (耐久紙)
- 厚手

印刷ジョブまたはトレイで用紙タイプを詳細設定することもできます。

自動感知機能の設定

フル感知 (トレイ 1 でのみ使用可能)

- 普通紙、厚手の用紙、OHP フィルム、光沢紙、および耐久紙が認識されます。
- 印刷ジョブを開始するたびに、各ページで停止してタイプを感知します。
- これは最も低速のモードです。

拡張感知 (デフォルト) (すべてのトレイで使用可能)

- 普通紙、厚手の用紙、OHP フィルム、光沢紙、および耐久紙が認識されます。
- 印刷ジョブを開始するたびに、最初のページで停止してタイプを感知します。
- 2 ページ以降には最初のページと同じメディア タイプが使用されているものと見なされます。
- これは 2 番目に高速のモードであり、同じメディア タイプの用紙を使用する場合に適しています。

OHP フィルムのみ

- メディアが OHP フィルム (OHP フィルム モード) と紙 (通常モード) のどちらであるかが識別されます。この識別のために、印刷処理がいったん停止することはありません。
- これは、最高速モードであり、標準モードで大量印刷する場合に適しています。

これらのオプションの設定方法については、21 ページの 「印刷品質メニュー」を参照してください。

ソース、タイプ、またはサイズ別にメディアを選択する

Microsoft Windows オペレーティング システムでは、3 種類の設定が、印刷ジョブの送信時にプリンタ ドライバがメディアを引き出す方法に影響します。大部分のソフトウェア プログラムで、*ソース*、*タイプ*、および *サイズ* の設定が **[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[印刷のプロパティ]** ダイアログ ボックスに表示されます。これらの設定を変更しない限り、デフォルト設定に基づいて自動的にトレイが選択されます。

ソース

*ソース*を指定すると、特定のトレイから印刷されます。指定したトレイにセットされている用紙のタイプやサイズが印刷ジョブに適していない場合は、そのジョブに適したタイプまたはサイズの用紙をセットするようにメッセージが表示されます。トレイに適切な用紙をセットすると、自動的に印刷が開始します。

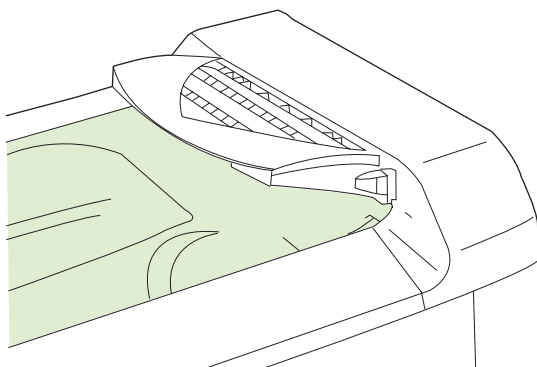
タイプとサイズ

*タイプ*または*サイズ*を指定して印刷すると、指定したタイプやサイズのメディアがセットされているトレイから印刷が行われます。ソースを選択する代わりにタイプを指定してメディアを選択することはトレイをロックしてしまうようなものなので、これにより特殊用紙が誤って使用されてしまうことを防げます。たとえば、普通紙を選択した場合、レターヘッドがセットされているトレイからは印刷されず、 普通紙がセット・設定されたトレイから印刷されます。タイプとサイズ別にメディアを選択すると、厚手の用紙、光沢紙、および OHP フィルムの印刷品質が大幅に向上します。間違った設定を使用すると、満足な印刷品質が得られないことがあります。ラベル紙や OHP フィルムなどの特殊な印刷メディアの場合は、必ず タイプ を指定して印刷してください。封筒はサイズ別に印刷してください (可能な場合)。

- タイプまたはサイズを指定して印刷するには、**[ページ設定]** ダイアログ ボックス、**[印刷]** ダイアログ ボックス、または **[印刷のプロパティ]** ダイアログ ボックスからタイプまたはサイズを選択します (どのダイアログ ボックスを使用するかは、ソフトウェア プログラムによって異なります)。
- 特定のタイプまたはサイズのメディアで頻繁に印刷する場合は、適当なトレイをそのタイプまたはサイズに設定しておきます。そうすれば、印刷時にそのタイプまたはサイズを選択すると、自動的に該当トレイから印刷されます。

排紙先の選択

標準排紙ビン

プリンタには、標準排紙ビンが備わっています。

コンピュータからプリンタに印刷ジョブを送信すると、標準排紙ビンか、オプションの排紙ビンのどちらかに排出されます。オプションの排紙ビンには、3 ビン ステイプラ/スタッカとブックレット メーカー フィニッシャがあります。

オプションの排紙アクセサリ

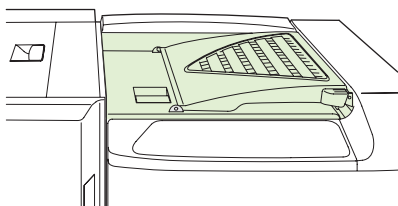
オプションのステイプラ/スタッカまたはブックレット メーカーをプリンタに取り付けることができます。オプションの排紙ビンを取り付ける場合は、その排紙ビンに排紙するために、排紙アクセサリ ブリッジもプリンタの上部に取り付けます。

3 ビン ステイプラ/スタッカの機能

表 7-6 3 ビン ステイプラ/スタッカの機能

ジョブのオフセット	複数部数を印刷したときに、排紙ビン内で各部がずらされて配置されます。(サポート対象の用紙サイズ： A3、A4、A4 (回転)、A5、B4、B5、タブロイド版、リーガル、レター、レター (回転)、ステートメント)
2 つの動作モード	メールボックス モードでは、各ビンがユーザーまたはユーザー グループに割り当てられます。スタッカ モードでは、3 つの排紙ビンすべてに排紙されます (1 つの排紙ビンがいっぱいになったら、次のビンに排紙されます)。
ステイプラ	内蔵のステイプラでは、最大 50 枚のサポート対象用紙をステイプル留めできます。前方/後方を 1 箇所留めるか、脇/上端を 2 箇所留めることができます。
大容量排紙ビン	100 枚、500 枚、および 1000 枚対応の 3 つの排紙ビンが備わっています。

ブックレット メーカー/フィニッシャの機能

表 7-7 ブックレット メーカー/フィニッシャの機能

ブックレットの作成	2 ～ 15 ページの印刷ジョブをステイプル留めして折り畳み、ブックレットを作成します。
折り畳み	1 ページの印刷ジョブは、自動的にページの中央で折り畳まれます。
ジョブのオフセット	複数部数を印刷したときに、排紙ビン内で各部がずらされて配置されます。(サポート対象の用紙サイズ： A3、A4、A4 (回転)、A5、B4、B5、タブロイド版、リーガル、レター、レター (回転)、ステートメント)
2 つの動作モード	メールボックス モードでは、各ビンがユーザーまたはユーザー グループに割り当てられます。スタッカ モードでは、両方の排紙ビンに排紙されます (上部の排紙ビンがいっぱいになったら、次のビンに排紙されます)。
ステイプラ	内蔵のステイプラでは、最大 50 枚のサポート対象用紙をステイプル留めできます。前方/後方を 1 箇所留めるか、脇/上端を 2 箇所留めることができます。
大容量排紙ビン	1000 枚対応の排紙ビン 2 つと、中綴じブックレットを 最大 25 部収容できるビンが 1 つ備わっています。

アクセサリの各部の名称

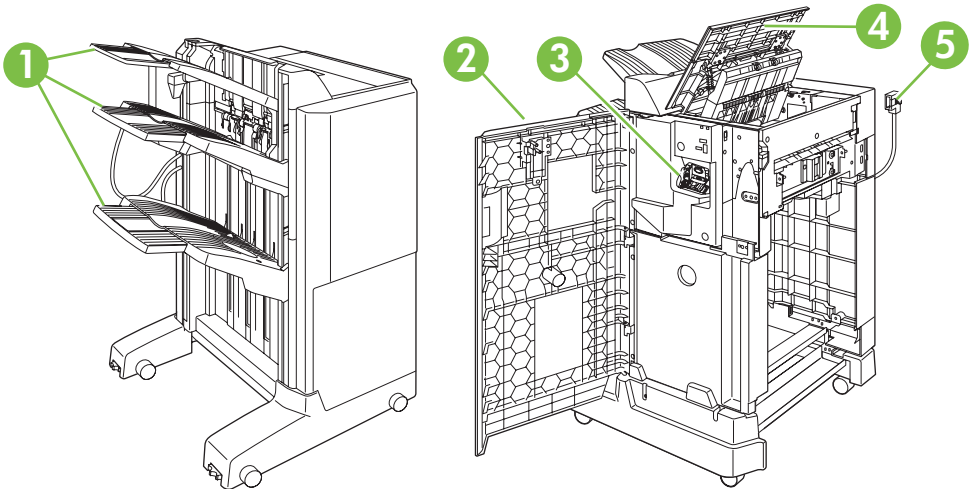
図 7-1 3 ビン ステイプラ/スタッカ

1	排紙ビン
2	正面ドア
3	ステイプラ ユニット
4	上部カバー
5	接続ケーブル

図 7-2 3 ビン ステイプラ/スタッカ アクセサリの寸法

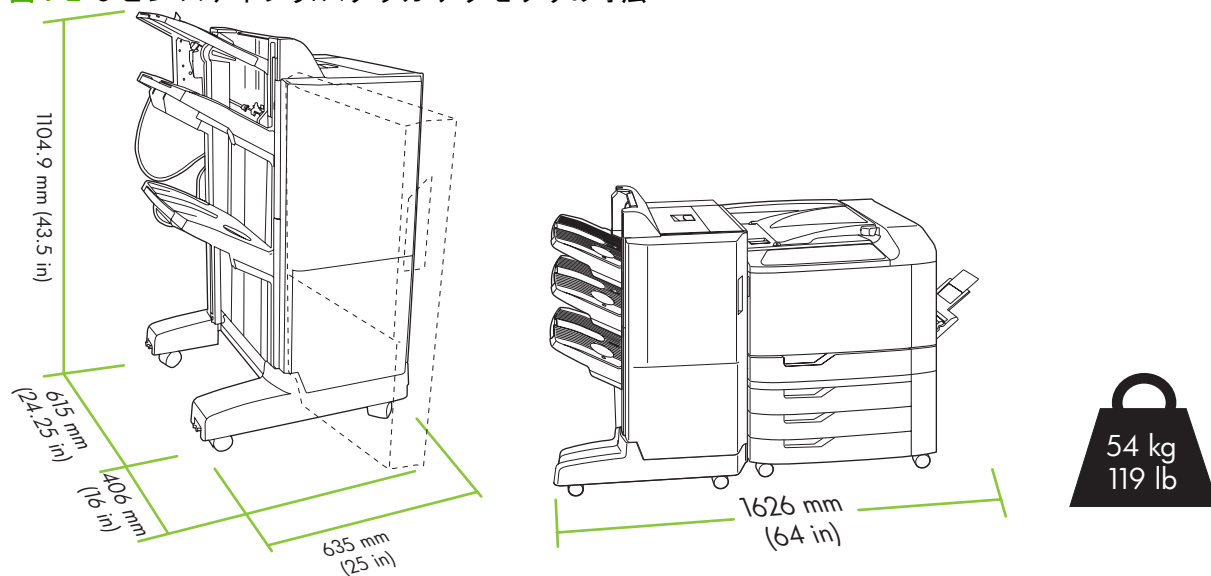



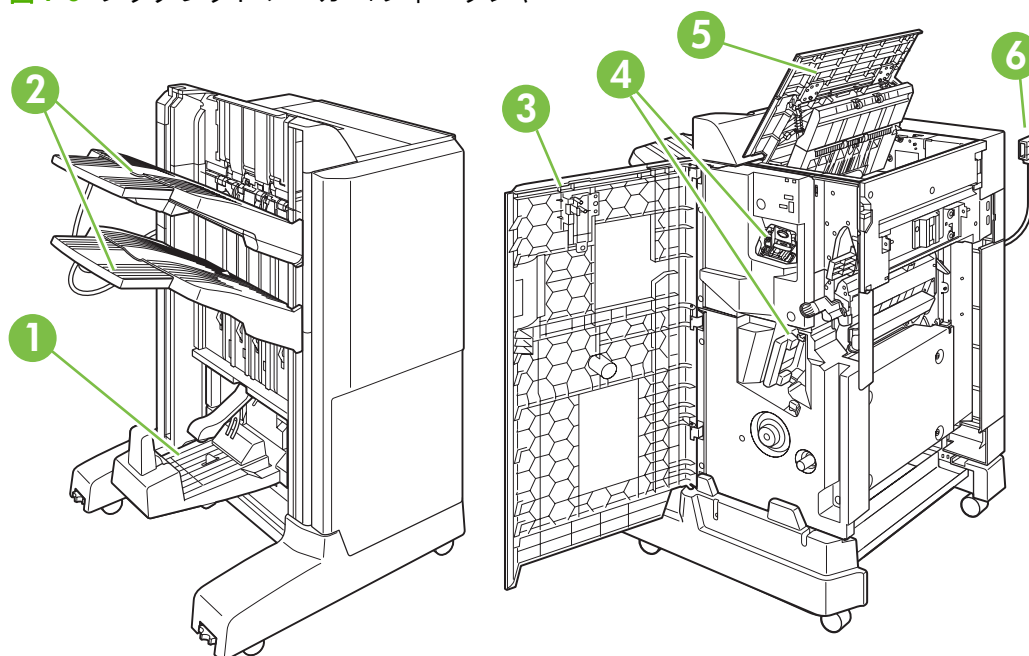
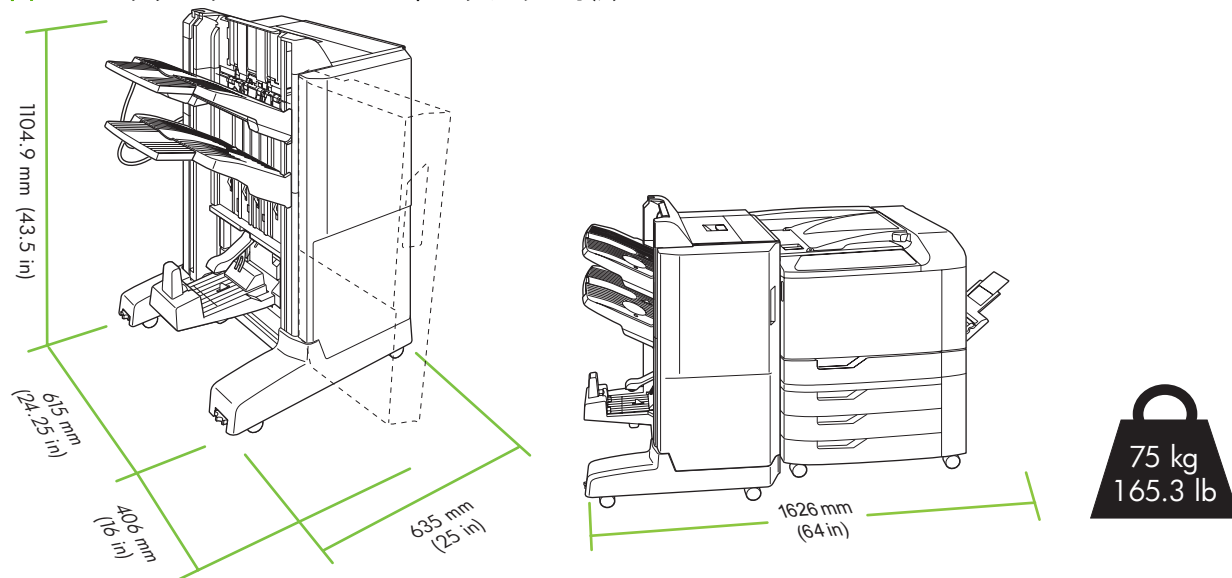
図 7-3 ブックレット メーカー/フィニッシャ

1	ブックレット排紙ビン
2	積み重ね用排紙ビン
3	正面ドア
4	ステイプラ ユニット
5	上部カバー
6	接続ケーブル

図 7-4 ブックレット メーカー フィニッシャの寸法

アクセサリの動作モードを設定する

コントロール パネルで動作モードを選択する

3 ビン ステイプラ/スタッカまたはブックレット メーカー フィニッシャの動作モードをコントロール パネルで設定できます。

1. コントロール パネルの メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** メニューを選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して **MBM-3 ビン ステイプラ** メニューまたは **マルチ機能フィニッシャ** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押して **動作モード** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
5. 使用する動作モードを選択します。
   - メールボックス モードでは、各ビンがユーザーまたはユーザー グループに割り当てられます。印刷ジョブを送信すると、そのユーザーに割り当てられたビンに排紙されます。
   - スタッカ モードでは、オプションの 3 ビン ステイプラ/スタッカが取り付けられている場合は、3 つのビンが 1 つのビンのように動作します。1 つのビンがいっぱいになると、ジョブは自動的に次のビンに排紙されます。ブックレット メーカー フィニッシャが取り付けられている場合は、2 つの上部ビンが 1 つのビンのように動作し、3 つ目のビンがブックレット処理に使用されます。

注記： 排紙ビンをユーザーまたはユーザー グループに割り当てるには、内蔵 Web サーバを使用してください。詳しくは、146 ページの 「内蔵 Web サーバ」を参照してください。

プリンタ ドライバ (Windows) で動作モードを選択する

1. **[スタート]** ボタンをクリックし、**[設定]** をポイントとして、**[プリンタ]** (Windows 2000 の場合) または **[プリンタと FAX]** (Windows XP の場合) をクリックします。
2. HP 製品のアイコンを右クリックし、**[プロパティ]** または **[印刷設定]** をクリックします。
3. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。
4. 以下の操作のいずれかを実行します。

   自動設定の場合、**[インストール可能オプション]** で、**[自動設定]** リスト内の **[今すぐ更新]** をクリックします。

   または

   手動設定の場合、**[インストール可能オプション]** で、**[アクセサリ排紙ビン]** リスト内の該当する動作モードを選択します。
5. **[適用]** をクリックして設定を保存します。

プリンタ ドライバ (Mac OS X) の動作モードを選択する

1. **[Apple]** メニューで、**[システム環境設定]** をクリックします。
2. **[システム環境設定]** ボックスで、**[プリントとファックス]** をクリックします。
3. **[プリンタの設定]** をクリックします。**[プリンタリスト]** が表示されます。
4. HP 製品を選択し、**[プリンタ]** メニューから **[情報を見る]** をクリックします。
5. **[インストール可能オプション]** パネルを選択します。
6. **[アクセサリ排紙ビン]** リストから、アクセサリを選択します。
7. **[メールボックス モード]** リストで、該当する動作モードを選択し、**[変更の適用]** をクリックします。

8　製品機能の使用

- エコノミー設定
- ステイプラの使用
- ジョブ保存機能の使用
- バナーの印刷
- 写真やマーケティング資料を印刷する
- 耐候性のある地図や屋外広告を印刷する
- 両面印刷の位置合わせを設定する

エコノミー設定

コントロール パネルまたは内蔵 Web サーバ (EWS) から、エコノミー設定を調整できます。

スリープ遅延

スリープ モードを設定することによって、製品がアクティブでないときに消費電力を節約できます。プリンタがスリープ モードに切り替わるまでの時間の長さは、**1 分**、**15 分**、**30 分**、**45 分**、**60 分**、**90 分**、**2 時間**、または **4 時間** から選択できます。デフォルトの設定は、**60 分**です。

注記： スリープ モードになると、プリンタのディスプレイが淡色表示になります。スリープ モードは、プリンタのウォームアップ時間には影響しません。

遅延時間の設定

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して **システム セットアップ** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押して **スリープ遅延** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
5. 上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押して時間を選択します。
6. チェックマーク ボタン ✓ を押して確定します。
7. メニューを押します。

スリープ モードの無効化/有効化

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して **リセット** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押して **スリープ モード** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
5. 上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押して、**低**、**高**、または **オフ** を選択します。**高** を選択すると、エネルギーが最も節約されます。
6. チェックマーク ボタン ✓ を押して、設定を保存します。
7. メニューを押します。

スリープ復帰時刻

スリープ モードから復帰する時間を曜日ごとに設定して、ウォームアップと校正処理にかかる時間を節約することができます。復帰時刻を設定するには **スリープ モード** をオンにする必要があります。

次にスリープ復帰時刻の設定および変更手順を説明します。

スリープ復帰時刻を設定します。

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して **システム セットアップ** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押して **スリープ復帰時刻** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
5. 上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押して曜日を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
6. 下矢印ボタン ▼ を押して **カスタム** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
7. 上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押して時間を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
8. 上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押して分を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
9. 上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押して **午前** または **午後** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
10. チェックマーク ボタン ✓ を押して **すべての日に適用** を表示します。
11. 上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押して **はい** または **いいえ** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
12. **いいえ** を選択した場合は、上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を使用して他の曜日の復帰時刻を設定し、チェックマーク ボタン ✓ を押して確定します。
13. メニューを押します。

EWS を使用してエコノミー モードの設定を行う

1. Web ブラウザから EWS を開きます。146 ページの 「内蔵 Web サーバ」を参照してください。
2. **[設定]**、**[スリープ復帰時刻]** の順に選択します。
3. スリープ モードから復帰する時間を曜日ごとに設定します。
4. プリンタのスリープ モードを有効にします。
5. **[適用]** をクリックします。

ステイプラの使用

自動的にステイプル留めするには、HP 3 ビン ステイプラ/スタッカまたは HP ブックレット メーカー/フィニッシャ のいずれかのオプション アクセサリが必要です。

左上または右上を斜めに留めるか、上端を 2 箇所留めるか、左右いずれかの脇を 2 箇所留めることができます。

- 60 ～ 220g/m^2 (16 ～ 148 ポンド) の重量の用紙をサポートしています。厚手の用紙の場合、ステイプル留めできる枚数が 50 枚以下になることがあります。
- オプションのステイプラ/スタッカでは、75g/m^2 (20 ポンド) の用紙を最大 50 枚ステイプル留めできます。積み重ね可能な最大枚数は、用紙 1000 枚、またはステイプル留めした束 30 部です。
- オプションのブックレット メーカーでは、75g/m^2 (20 ポンド) の用紙を最大 50 枚ステイプル留めできます。最大 15 枚をステイプル留めして折り畳み、ブックレットを作成することもできます。積み重ね可能な最大枚数は、用紙 1000 枚、ステイプル留めした束 30 部、または中綴じブックレット 25 部です。
- 印刷ジョブが 1 枚に収まる場合、または 50 枚を超える場合は、ビンに排紙されますが、ステイプル留めされません。
- ステイプラは、用紙のみをサポートしています。封筒、OHP フィルム、ラベル紙など、その他のタイプの印刷メディアをステイプル留めしないでください。

文書をステイプル留めするか折り畳む場合は、ソフトウェアで適切なオプションを選択します。通常、ステイプラはプログラムまたはプリンタ ドライバで選択できますが、オプションによってはプリンタ ドライバでしか選択できないものもあります。選択する場所と方法は、使用しているプログラムまたはプリンタ ドライバによって異なります。

プログラムまたはプリンタ ドライバでステイプラやブックレット メーカー フィニッシャを選択できない場合は、プリンタのコントロール パネルで選択します。

ステイプラは、ステイプラの針が入っていない場合も印刷ジョブを受け付けますが、ページをステイプル留めしません。ステイプラ カートリッジが空になったら印刷を停止するようにプリンタを設定することができます。

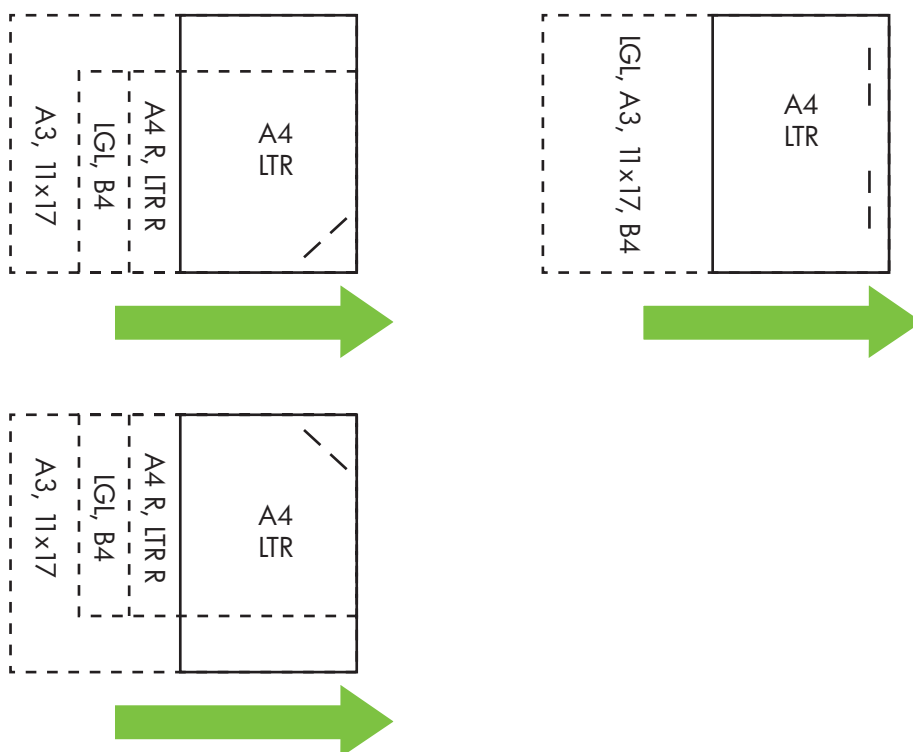
ステイプル留め可能な用紙サイズ

用紙をステイプル留めするには、サポートされているサイズの用紙を正しい向きにセットしてください。

用紙の角のステイプル留めがサポートされているのは、A4、A4 (回転)、レター、レター (回転)、リーガル、A3、11x17、B4 (JIS) です。

上端または両脇の 2 箇所のステイプル留めがサポートされているのは、A4、レター、リーガル、A3、11x17、B4 (JIS) です。

中綴じブックレットがサポートされているのは、A4 (回転)、レター (回転)、リーガル、A3、11x17、B4 (JIS) です。

用紙は正しい向きでトレイにセットする必要があります。次の図の矢印は、用紙がプリンタの用紙経路を移動する方向を示しています。

用紙サイズや方向が不適切な場合は、印刷は実行されますが、ステイプル留めされません。

ステイプル留め

プリンタ ドライバでの印刷ジョブのステイプラの選択 (Windows)

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューから **[印刷]** を選択します。
2. HP Color LaserJet CP6015 シリーズプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[印刷設定]** をクリックします。
3. **[ステイプル]** ドロップダウン リストからステイプル オプションを選択します。
4. **[OK]** をクリックして設定を保存し、**[OK]** をクリックして印刷します。

注記： 適切な設定でショートカットを作成できます。

プリンタ ドライバでの印刷ジョブのステイプラの選択 (Macintosh)

プリンタ ドライバで新しいプリセットを作成してステイプラを選択します。

1. プリンタ ドライバを開きます。63 ページの 「プリンタ ドライバ設定の変更 (Macintoss)」を参照してください。
2. 新しいプリセットを作成します。

ステイプル カートリッジが空の場合に処理を停止するかどうかを設定する

ステイプル カートリッジが空の場合に、印刷を停止するか、ステイプル留めせずに印刷を継続するかを指定できます。

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** メニューを選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して **MBM-3 ビン ステイプラ** または **マルチ機能フィニッシャ** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押して **ステイプラの針なし** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
5. 下矢印ボタン ▼ を押して、以下のいずれかのオプションを選択します。
   - ステイプル カートリッジが交換されるまですべての印刷を停止する場合は、**停止** を選択します。
   - ステイプル留めせずに印刷ジョブを継続する場合は、**継続** を選択します。

ジョブ保存機能の使用

印刷ジョブに次のようなジョブ保存機能を使用できます。

- **試し刷り後のジョブ保留**。すばやく簡単にジョブを 1 部試し刷りし、その後で必要な部数を印刷できます。
- **個人ジョブ**： コントロール パネルで個人識別番号 (PIN) を入力するまで印刷されません。
- **クイック コピー ジョブ**： 指定した部数だけ印刷してから、プリンタのハード ディスクにジョブを保存します。ジョブを保存することで、後でジョブの追加コピーを印刷できます。この機能を使用するには、プリンタにハード ディスクが必要です。
- **保存ジョブ**： 社内の共通フォームや勤務表、カレンダーなどをプリンタに保存しておき、誰でも必要なときに印刷することができます。保存したジョブを PIN で保護することもできます。この機能を使用するには、プリンタにハード ディスクが必要です。

コンピュータからジョブ保存機能を使用するには、このセクションの手順に従ってください。作成するジョブ タイプに該当するセクションを参照してください。

△ 注意： プリンタの電源を切ると、クイック コピー、試し刷り後の保留ジョブ、および個人ジョブはすべて削除されます。

ジョブ保存機能にアクセスする

Windows の場合

1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. **[プロパティ]** をクリックし、**[ジョブ保存]** タブをクリックします。
3. 使用するジョブ保存モードを選択します。

Macintosh の場合

新しいドライバの場合、 **[印刷]** ダイアログ ボックスのプルダウン メニューで **[ジョブ保存]** を選択します。古いドライバの場合、**[プリンタ固有のオプション]** を選択します。

試し刷り後の保留機能の使用

試し刷り後の保留機能を使用して、すばやく簡単にジョブを 1 部試し刷りして、その後で必要な部数を印刷できます。

ジョブを永久保存し、何らかの理由で空き容量が必要になったときでも削除されないようにするには、ドライバで **[保存ジョブ]** オプションを選択します。

試し刷り後に保留ジョブの作成

△ 注意： 新しい試し刷り後に保留ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古い試し刷り後に保留ジョブから削除されます。ジョブを永久的に保存して、容量が足りなくなったときに削除されないようにするには、ドライバで **[試し刷り後に保留]** オプションではなく **[保存ジョブ]** オプションを選択します。

ドライバの **[試し刷り後に保留]** オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。

試し刷りとしてジョブが 1 部印刷されます。

試し刷り後の保留

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **ジョブ取得** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して自分のユーザー名を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押してジョブ名を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

   印刷 が強調表示されます。
5. チェックマーク ボタン ✓ を押して **印刷** を選択します。
6. 上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押して部数を選択します。
7. チェックマーク ボタン ✓ を押して、印刷を実行します。

試し刷り後に保留したジョブの削除

既存の保存ジョブと同じユーザー名とジョブ名でジョブを保存すると、以前のジョブは上書きされます。プリンタの空き容量が不足している場合に新規の保存ジョブを送信すると、最も古い保存ジョブから順に削除されます。デフォルトでは、最大 32 件のジョブを保存できます。保存可能なジョブの数は、コントロール パネルから変更できます。ジョブの保存制限の詳しい設定方法については、20 ページの 「デバイスの設定メニュー」を参照してください。

ジョブは、コントロール パネル、内蔵 Web サーバー、または HP Web Jetadmin からも消去できます。コントロール パネルからジョブを消去するには、次の手順を実行します。

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **ジョブ取得** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して自分のユーザー名を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押して **ジョブ名**を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
5. 下矢印ボタン ▼ を押して **削除** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
6. チェックマーク ボタン ✓ を押して、ジョブを削除します。

パーソナル ジョブ機能の使用

個人ジョブ機能を使用すると、プリンタからの印刷を保留することができます。ジョブはいったんプリンタに保存され、プリンタのコントロール パネルから印刷を実行するまで印刷されません。印刷が終わったジョブは、プリンタから自動的に削除されます。個人ジョブは、4 桁の個人識別番号 (PIN) を付けて保存することも、付けないで保存することもできますが、 他のユーザーが印刷できないようにするには、PIN を使用してください。

個人ジョブの作成方法については、Macintosh の場合は69 ページの 「ジョブの保存」、Windows の場合は129 ページの 「ジョブ保存オプションの設定」を参照してください。

個人ジョブの印刷

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン▼を押して **ジョブ取得** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン▼を押して自分のユーザー名を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン▼を押してジョブ名を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

   印刷 が強調表示されます。
5. チェックマーク ボタン ✓ を押して **印刷** を選択します。
6. PIN が必要な場合は、コントロール パネルのキーパッドを使用して PIN を入力し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
7. 上矢印ボタン▲または下矢印ボタン▼を押して部数を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押して印刷を開始します。

個人ジョブの削除

個人ジョブを削除するには、プリンタのコントロール パネルを使用します。ジョブは、印刷せずに消去することもできますが、印刷が完了すると自動的に消去されます。

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン▼を押して **ジョブ取得** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン▼を押して自分のユーザー名を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン▼を押してジョブ名を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
5. 下矢印ボタン▼を押して **削除** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
6. コントロール パネルのキーパッドを使用して PIN を入力し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
7. チェックマーク ボタン ✓ を押して、ジョブを削除します。

クイック コピー機能の使用

クイック コピー機能を使用すると、指定した部数だけ印刷してから、プリンタのハード ディスクにジョブを保存することができます。後でジョブの追加のコピーを印刷できます。この機能は、プリンタ ドライバでオフにすることができます。

デフォルトでは、最大 32 件のクイック コピー ジョブを保存できます。コントロール パネルでこのデフォルト値を変更できます。12 ページの 「コントロール パネルの使用」を参照してください。

クイック コピー ジョブの作成

△ **注意：** 新しいクイック コピー ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古いクイック コピー ジョブから削除されます。 ジョブを永久的に保存して、容量が足りなくなったときに削除されないようにするには、ドライバで **[クイック コピー]** オプションではなく **[ジョブ保存]** オプションを選択します。

ドライバの **[クイック コピー]** オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。

印刷するジョブをデバイスに送信すると、ドライバに設定した部数が印刷されます。 デバイスのコントロール パネルで多数のクイック コピーを印刷する方法については、「116 ページの 「クイック コピー ジョブの印刷」」を参照してください。

クイック コピー ジョブの印刷

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **ジョブ取得** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して自分のユーザー名を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押してジョブ名を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

   印刷 が強調表示されます。
5. チェックマーク ボタン ✓ を押して **印刷** を選択します。
6. 上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押して部数を選択します。
7. チェックマーク ボタン ✓ を押して、印刷を開始します。

クイック コピー ジョブの削除

不要になったクイック コピー ジョブは、プリンタのコントロール パネルから削除します。プリンタの空き容量が不足している場合に新規のクイック コピー ジョブを保存すると、最も古いクイック コピー ジョブから順に削除されます。

ジョブは、コントロール パネル、内蔵 Web サーバー、または HP Web Jetadmin からも消去できます。コントロール パネルからジョブを消去するには、次の手順を実行します。

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **ジョブ取得** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して自分のユーザー名を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押してジョブ名を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

5. 下矢印ボタン ▼ を押して **削除** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
6. チェックマーク ボタン ✓ を押して、ジョブを削除します。

保存ジョブ機能の使用

ジョブを印刷せずにプリンタのハード ディスクに保存しておくことができます。その後、プリンタのコントロール パネルからいつでもジョブを印刷できます。たとえば、他のユーザーがいつでも印刷することができる個人フォーム、カレンダー、タイムシート、または会計フォームなどをダウンロードすることができます。

印刷ジョブの保存

ドライバの **[保存ジョブ]** オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。 デバイスのコントロール パネルで印刷を指示するまでジョブは印刷されません。 「118 ページの 「保存ジョブの印刷」」を参照してください。

保存ジョブの印刷

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン▼を押して **ジョブ取得** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
3. 下矢印ボタン▼を押して自分のユーザー名を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
4. 下矢印ボタン▼を押してジョブ名を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。

   印刷 が強調表示されます。
5. チェックマーク ボタン✓ を押して **印刷** を選択します。
6. PIN が必要な場合は、コントロール パネルのキーパッドを使用して PIN を入力し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
7. 上矢印ボタン▲または下矢印ボタン▼を押して部数を選択します。
8. チェックマーク ボタン✓ を押して、印刷を開始します。

保存したジョブの削除

プリンタに保存したジョブは、コントロール パネルで削除できます。

1. メニューを押します。
2. 下矢印ボタン▼を押して **ジョブ取得** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
3. 下矢印ボタン▼を押して自分のユーザー名を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
4. 下矢印ボタン▼を押してジョブ名を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
5. 下矢印ボタン▼を押して **削除** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
6. チェックマーク ボタン✓ を押して、ジョブを削除します。

バナーの印刷

バナー サイズの用紙は、トレイ 1 から印刷できます。縦 457mm ～ 915mm、横 99mm ～ 320mm の バナーを印刷できます。グラフィックス ソフトウェア プログラムからバナーを印刷する場合は、カ スタム ページ サイズを設定してください。

△ 注意： 3 ビン ステイプラ/スタッカまたはオプションのブックレット メーカー フィニッシャでは、120g/m^2 よりも重いバナー用紙は使用しないでください。 これらの製品では、重いバナー用紙はサポートされていません。

バナーをトレイ 1 から印刷する

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューから **[印刷]** を選択します。
2. HP Color LaserJet CP6015 シリーズプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[印刷設定]** をクリックします。
3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[用紙オプション]** の下の **[カスタム]** をクリックします。
5. カスタム名と、カスタム用紙の縦横の長さを入力して **[OK]** をクリックし、もう一度 **[OK]** をクリックして、カスタム用紙サイズを保存します。
6. もう一度 **[プロパティ]** または **[印刷設定]** をクリックし、前の手順で作成したカスタム用紙サイズを [用紙サイズ] リストから選択します。
7. **OK** をクリックし、もう一度 **[OK]** をクリックして、バナーを印刷します。
8. バナー用紙をセットするために、プリンタに移動します。コントロール パネルに、用紙サイズと、バナーをトレイ 1 にセットするよう促すメッセージが表示されます。
9. バナーの上端をトレイ 1 にそっと置きます。プリンタが用紙を引き込み始めるまで、手を放さないでください。

   注記： プリンタが用紙を引き込み始めるまで、用紙をトレイ 1 の用紙センサーに向けて支えてください。用紙をプリンタに押し込んだり引っ張り出したりすると、紙詰まりを起こす可能性があります。

10. プリンタがバナーを引き込み始めたら、用紙から手を放し、自動的に給紙します。紙詰まりが起きた場合は、221 ページの 「バナー用紙印刷時の紙詰まりを取り除く」を参照してください。

写真やマーケティング資料を印刷する

HP Color LaserJet CP6015 シリーズ プリンタを使用して、高品質のカラー写真やマーケティング資料、その他のカラー文書を光沢紙に印刷できます。最高の品質を得るためには、次の点に注意してください。

- 適切な用紙を選択する
- 用紙トレイを正しく設定する
- プリンタ ドライバを正しく設定する

使用可能な光沢紙

HP 製の光沢紙	コード	サイズ	コントロール パネルとプリンタ ドライバの設定
HP カラー レーザー プレゼンテーション用紙 (ソフト光沢)	Q6541A	レター	**HP ソフト光沢紙 120g**
HP カラー レーザー プロフェッショナル用紙 (ソフト光沢)	Q6542A	A4	**HP ソフト光沢紙 120g**
HP カラー レーザー ブローシャ用紙 (光沢)	Q6611A、Q6610A	レター	**HP 光沢紙 160g**
HP カラー レーザー ハイグレード用紙 (光沢)	Q6616A	A4	**HP 光沢紙 160g**
HP カラー レーザー フォト用紙 (光沢)	Q6607A、Q6608A	レター	**HP 光沢紙 220g**
HP カラー レーザー フォト用紙 (光沢)	Q6614A	A4	**HP 光沢紙 220g**
HP カラー レーザー フォト用紙 (光沢、4x6)	Q8842A	101.6 x 152.4mm	**HP 光沢紙 220g**
HP カラー レーザー フォト用紙 (光沢、10 x 15cm)	Q8843A	101.6 x 152.4mm	**HP 光沢紙 220g**

△ **注意：** HP カラー レーザー プレゼンテーション用紙 (光沢) (Q2546A、Q2547A) は、このプリンタではサポートされていません。 この用紙を使用すると、フューザで紙詰まりが発生し、フューザの交換が必要になる場合があります。 この用紙の代わりに、HP Color LaserJet プレゼンテーション用紙 (ソフト光沢) (Q6541A) および HP Color LaserJet ブローシャ用紙 (光沢) (Q6611A、Q6610A) の使用をお勧めします。

用紙トレイを設定する

用紙トレイを適切な用紙タイプに設定します。

1. 用紙をトレイ 2、3、4、または 5 にセットします。
2. トレイを閉めると、用紙サイズとタイプの設定を促すメッセージがコントロール パネルに表示されます。チェックマーク ボタン ✓ を押してサイズとタイプを設定します。

3. 正しいサイズが表示されたら、チェックマーク ボタン ✓ を押して確定します。または、上矢印ボタン ▲ か下矢印ボタン ▼ を押して別の用紙サイズを選択します。

4. 用紙タイプの設定を促すメッセージが表示されたら、上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押して用紙タイプを選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押して確定します。上記の表を参照して、適切な用紙タイプを選択してください。

ドライバを設定する

グラフィックス ソフトウェア プログラムから光沢紙に印刷するには、次の手順に従います。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューから **[印刷]** を選択します。

2. HP Color LaserJet CP6015 シリーズプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[印刷設定]** をクリックします。

3. **[用紙タイプ]** ドロップダウン リストから、プリンタのコントロール パネルで設定したのと同じ用紙タイプを選択します。

4. **[OK]** をクリックして設定を保存し、**[OK]** をクリックして印刷します。光沢紙用に設定したトレイから自動的に印刷されます。

耐候性のある地図や屋外広告を印刷する

HP Color LaserJet CP6015 シリーズで HP 耐久紙を使用すると、耐水性や耐候性を備えた地図や広告、レストランメニューなどを印刷できます。HP 耐久紙は、耐候性を備えた、にじまないサテン仕上げの用紙です。過酷な環境や天候にさらされても、豊かで鮮やかなカラーと鮮明度を保てます。これにより、ラミネートにコストや手間隙をかけずに済みます。最高の品質を得るためには、次の点に注意してください。

- 適切な用紙を選択する
- 用紙トレイを正しく設定する
- プリンタ ドライバを正しく設定する

使用可能な耐久紙

HP 用紙名	コード	サイズ	コントロール パネルとプリンタ ドライバの設定
HP レーザージェット耐久紙	Q1298A	レター	HP 耐久紙
HP レーザージェット耐久紙	Q1298B	A4	HP 耐久紙

用紙トレイを設定する

用紙トレイを適切な用紙タイプに設定します。

1. 用紙をトレイ 2、3、4、または 5 にセットします。
2. トレイを閉めると、用紙サイズとタイプの設定を促すメッセージがコントロール パネルに表示されます。チェックマーク ボタン ✓ を押してサイズとタイプを設定します。
3. 正しいサイズが表示されたら、チェックマーク ボタン ✓ を押して確定します。または、上矢印ボタン ▲ か下矢印ボタン ▼ を押して別の用紙サイズを選択します。
4. 用紙タイプの設定を促すメッセージが表示されたら、上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押して用紙タイプを選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押して確定します。上記の表を参照して、適切な用紙タイプを選択してください。

ドライバを設定する

グラフィックス ソフトウェア プログラムから耐久紙に印刷するには、次の手順に従います。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューから **[印刷]** を選択します。
2. HP Color LaserJet CP6015 シリーズプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[印刷設定]** をクリックします。
3. **[用紙タイプ]** ドロップダウン リストから、プリンタのコントロール パネルで設定したのと同じ用紙タイプを選択します。
4. **[OK]** をクリックして設定を保存し、**[OK]** をクリックして印刷します。耐久紙用に設定したトレイから自動的に印刷されます。

両面印刷の位置合わせを設定する

パンフレットなどを両面印刷する場合は、裏表の印刷位置を揃えるために、印刷前にトレイの位置合わせを行います。

1. メニューを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して **印刷品質** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押して **登録の設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
5. 下矢印ボタン ▼ を押して **テスト ページの印刷** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
6. テスト ページの指示に従って、位置合わせを行います。

9 印刷タスク

印刷ジョブのキャンセル

コントロール パネルまたはソフトウェア プログラムを使用して、印刷要求を停止できます。ネットワーク上のコンピュータから印刷要求を停止する方法については、特定のネットワーク ソフトウェアのオンライン ヘルプを参照してください。

注記： 印刷ジョブをキャンセルしてからすべての印刷が解除されるまでにはしばらく時間がかかります。

コントロール パネルからの現在の印刷ジョブの取り消し

▲ コントロール パネルで 停止 を押します。

ソフトウェア プログラムから現在の印刷ジョブの取り消し

しばらくの間、印刷ジョブをキャンセルするためのオプションがあるダイアログ ボックスが画面に表示されます。

複数の印刷要求がユーザー自身のソフトウェアからデバイスに送信されている場合、要求は印刷キュー (Windows プリント マネージャなど) 内で待機状態になります。 コンピュータから印刷要求をキャンセルする手順については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

印刷ジョブが印刷キュー (コンピュータのメモリ) または印刷スプーラ (Windows 2000 または XP) 内で待機状態になっている場合は、その場所で印刷ジョブを削除します。

[スタート] を選択し、**[プリンタ]** をクリックします。 デバイス アイコンをダブルクリックし、プリント スプーラを開きます。 キャンセルする印刷ジョブを選択し、Delete キーを押します。 印刷ジョブがキャンセルされない場合は、コンピュータをシャットダウンして再起動する必要があります。

Windows プリンタ ドライバでの機能の使用

プリンタ ドライバを開く

操作	手順
プリンタ ドライバを開く	ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
印刷オプションの説明を表示する	プリンタ ドライバの右上にある **[?]** 記号をクリックしてから、プリンタ ドライバの任意の項目をクリックします。その項目に関する説明を示すポップアップ メッセージが表示されます。また、**[ヘルプ]** をクリックすると、オンライン ヘルプが開きます。

印刷機能のショートカットの使用

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[印刷機能のショートカット]** タブをクリックします。

注記： 旧バージョンの HP プリンタ ドライバでは、この機能は **[クイック設定]** と呼ばれていました。

操作	手順
印刷機能のショートカットを使用する	ショートカットを 1 つ選択し、**[OK]** をクリックして、事前定義されている設定でジョブを印刷します。
ユーザー定義の印刷機能のショートカットを作成する	a) 既存のショートカットを基準として選択します。b) 新しいショートカットの印刷オプションを選択します。c) **[別名で保存]** をクリックし、ショートカット名を入力し、**[OK]** をクリックします。

用紙と品質のオプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[用紙/品質]** タブをクリックします。

操作	手順
用紙サイズを選択する	**[用紙サイズ]** ドロップダウン リストからサイズを選択します。
ユーザー定義の用紙サイズを選択する	a) **[ユーザー定義]** をクリックします。 **[ユーザー定義用紙サイズ]** ダイアログ ボックスが開きます。 b) ユーザー定義サイズの名前を入力し、寸法を指定し、**[OK]** をクリックします。
給紙方法を選択する	**[給紙方法]** ドロップダウン リストからトレイを選択します。
用紙の種類を選択する	**[用紙の種類]** ドロップダウン リストから種類を選択します。
異なる用紙に表紙を印刷する 最初または最後のページを異なる用紙に印刷します。	a) **[特殊ページ]** 領域で、**[表紙]** または **[異なる用紙にページを印刷]** をクリックし、**[設定]** をクリックします。 b) オプションを選択し、白紙または印刷済みの表紙または裏表紙、あるいはその両方を印刷することを指定します。 または、最初または最後のページを異なる用紙に印刷することを指定するオプションを選択します。 c) **[給紙方法]** と **[用紙の種類]** の各

操作	手順
	ドロップダウン リストからオプションを選択し、**[追加]** をクリックします。 d) **[OK]** をクリックします。
印刷する画像の解像度を調整する	**[印刷品質]** 領域で、最初のドロップダウン リストからオプションを選択します。 各オプションについての詳細は、プリンタ ドライバのオンライン ヘルプを参照してください。
印刷する写真の品質を自動的に調整する	**[印刷品質]** 領域で、**[HP Real Life Technologies]** ドロップダウン リストからオプションを選択します。
印刷する写真から赤目を除去する	**[印刷品質]** 領域で、**[赤目の除去]** をクリックします。
印刷するページの光沢レベルを調整する	**[印刷品質]** 領域で、**[光沢レベル]** ドロップダウン リストからオプションを選択します。

文書の効果の設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[効果]** タブをクリックします。

操作	手順
選択した用紙サイズに収まるようにページを拡大縮小する	**[文書を印刷する用紙(&D)]** をクリックし、ドロップダウン リストからサイズを選択します。
実際のサイズに対する割合を指定してページを拡大縮小する	**[% (元のサイズに対する比率)]** をクリックし、パーセントを入力するか、スライダ バーを調整します。
透かしを印刷する	a) **[透かし]** ドロップダウン リストから透かしを選択します。 b) 透かしを最初のページだけに印刷するには、**[最初のページのみ]** をクリックします。このオプションを選択しなかった場合、透かしはすべてのページに印刷されます。
透かしを追加または編集する 注記： この機能を使用するには、プリンタ ドライバがコンピュータにインストールされている必要があります。	a) **[透かし]** 領域で **[編集]** をクリックします。**[透かしの詳細]** ダイアログ ボックスが開きます。b) 透かしの設定を指定し、**[OK]** をクリックします。

文書の仕上げオプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[レイアウト]** タブをクリックします。

操作	手順
両面印刷を行う	**[両面印刷]** をクリックします。文書を上で綴じる場合は、**[上綴じ]** をクリックします。
ブックレットを印刷する	a) **[両面印刷]** をクリックします。b) **[ブックレット レイアウト]** ドロップダウン リストで、**[左綴じ]** または **[右綴じ]** をクリックします。**[1 枚の用紙に印刷するページ数]** オプションが自動的に **[2 ページ/1 枚]** に変わります。

操作	手順
1 枚の用紙に複数ページを印刷する	a) **[1 枚の用紙に印刷するページ数]** ドロップダウン リストから、用紙 1 枚あたりのページ数を選択します。b) **[ページ境界線]**、**[ページの順序]**、**[印刷の向き]** に適切なオプションを選択します。
ページの印刷の向きを選択する	a) **[印刷の向き]** 領域で、**[縦]** または **[横]** をクリックします。b) ページのイメージを上下逆に印刷するには、**[180° 回転]** をクリックします。

製品の排紙オプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[排紙]** タブをクリックします。

注記： このタブで使用できるオプションは、使用している仕上げデバイスによって異なります。

操作	手順
ステイプル オプションを選択する	**[ステイプル]** ドロップダウン リストからステイプル オプションを選択します。
排紙ビンを選択する	**[ビン]** ドロップダウン リストから排紙ビンを選択します。

ジョブ保存オプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[ジョブ保存]** タブをクリックします。

操作	手順
全部数を印刷する前に 1 部だけ試し刷りする	**[ジョブ保存モード]** 領域で、**[試し刷り後に保留]** をクリックします。 1 部だけ印刷された後、 コントロールパネルに、残りの部数を印刷するかどうかを確認するメッセージが表示されます。
プライベート ジョブを製品内に一時的に保存して後で印刷する	a) **[ジョブ保存モード]** 領域で、**[プライベートジョブ]** をクリックします。 b) **[ジョブをプライベートに設定]** 領域で、4 桁の個人識別番号 (PIN) を入力します。
ジョブを製品内に一時的に保存する 注記： 製品の電源を切ると、これらのジョブは削除されます。	**[ジョブ保存モード]** 領域で、**[クイックコピー]** をクリックします。 ジョブが 1 部すぐに印刷され、その後コントロールパネルから追加の部数を印刷できます。
ジョブを製品内に永久的に保存する	**[ジョブ保存モード]** 領域で、**[保存ジョブ]** をクリックします。
永久的に保存したジョブをプライベートに設定して、印刷するには PIN が必要になるように設定する	a) **[ジョブ保存モード]** 領域で、**[保存ジョブ]** をクリックします。 b) **[ジョブをプライベートに設定]** 領域で、**[印刷の PIN]** をクリックして 4 桁の個人識別番号 (PIN) を入力します。
ユーザーが保存ジョブを印刷したときに通知を受信する	**[ジョブ通知オプション]** 領域で、**[印刷時にジョブ ID を表示]** をクリックします。
保存ジョブにユーザー名を設定する	Windows のデフォルトのユーザー名を使用する場合は、**[ユーザー名]** 領域で **[ユーザー名]** をクリックします。 別のユーザー名を設定する場合は、**[ユーザー定義]** をクリックして名前を入力します。
保存ジョブの名前を指定する	a) デフォルトのジョブ名を使用する場合は、**[ジョブ名]** 領域で **[自動]** をクリックします。 ジョブ名を指定する場合は、

操作	手順
	[ユーザー定義] をクリックして名前を入力します。 b) **[ジョブ名が存在する場合]** ドロップダウン リストからオプションを選択します。 既存の名前に数字を追加する場合は、**[ジョブ名と 1 ～ 99 までの数値を使用する]** を選択します。同じ名前のジョブを上書きする場合は、**[既存のファイルを置換]** を選択します。

カラー オプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[カラー]** タブをクリックします。

操作	手順
カラーの設定を手動で調整する	a) **[カラー オプション]** 領域で、**[手動]** をクリックし、**[設定]** をクリックします。b) エッジ コントロールの全般的な設定、またテキスト、グラフィックス、および写真の設定を調整できます。各オプションについての詳細は、ドライバのオンライン ヘルプを参照してください。
カラー印刷をオフにし、グレーの濃淡だけを使用する	**[カラー オプション]** 領域で、**[グレースケール]** をクリックします。
色のレンダリング方法を変更する	**[色域]** 領域で、ドロップダウン リストからオプションを選択します。各オプションについての詳細は、ドライバのオンライン ヘルプを参照してください。

サポートと製品のステータス情報の確認

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[サービス]** タブをクリックします。

操作	手順
製品に関するサポート情報を確認し、サプライ品をオンラインで注文する	**[インターネット サービス]** ドロップダウン リストでサポート オプションを選択し、**[Go!]** をクリックします。
サプライ品の残量を含む製品のステータスを確認する	**[デバイスおよびサプライ品のステータス]** アイコンをクリックします。HP 内蔵 Web サーバの **[デバイスのステータス]** ページが開きます。

詳細な印刷オプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[詳細設定]** タブをクリックします。

操作	手順
詳細な印刷オプションを選択する	任意のセクションで現在の設定をクリックしてドロップダウン リストを表示し、設定を変更します。
印刷部数を変更する	**[用紙/排紙]** セクションを開き、印刷する部数を入力します。2 部以上を選択した場合は、ページの丁合いを行うオプションを選択できます。

操作	手順
注記： 使用しているソフトウェア プログラムに、部数を指定する機能がない場合は、ドライバで部数を変更できます。 この設定を変更すると、すべての印刷ジョブの部数が変更されます。ジョブの印刷が完了したら、この設定を元の値に戻してください。	
カラー テキストをグレーの濃淡ではなく黒で印刷する	a) **[文書オプション]** セクションを開き、**[プリンタの機能]** セクションを開きます。b) **[テキスト全部を黒で印刷]** ドロップダウン リストで **[有効]** を選択します。
片面印刷か両面印刷かに関係なくすべてのジョブで同じようにレターヘッド用紙または印刷済み用紙をセットする	a) **[文書オプション]** セクションを開き、**[プリンタの機能]** セクションを開きます。b) **[代替レターヘッド モード]** ドロップダウン リストで **[オン]** を選択します。c) 製品で、両面印刷の場合と同じように用紙をセットします。
ページを印刷する順序を変更する	a) **[文書オプション]** セクションを開き、**[レイアウト オプション]** セクションを開きます。b) **[ページの順序]** ドロップダウン リストで、ページを文書と同じ順序で印刷するには **[前から後ろへ]** を、ページを逆の順序で印刷するには **[後ろから前へ]** を選択します。

10 カラーの使用

カラー管理

通常、カラー オプションを [自動] に設定すると、最も一般的な条件で印字品質が一番よくなります。ただし、ドキュメントによっては、カラー オプションを手動で設定した方が、より高い品質が得られる場合もあります。たとえば、多数の画像の入ったパンフレットやプリンタ ドライバのリストにない用紙で印刷する場合などがこれに相当します。

カラー設定を調整するには、プリンタ ドライバを使用します。詳しくは、Windows の場合は130 ページの「カラー オプションの設定」を、Macintosh の場合は69 ページの「カラー オプションの設定」を参照してください。

色の自動または手動の調整

[自動] カラー調整オプションは、文書の各エレメントに適用されるニュートラルなグレー処理、ハーフトーン、およびエッジ強調を最適化します。

注記： [自動] はデフォルト設定です。この設定は、ほとんどのカラー ドキュメントの印刷にお勧めします。

[手動] カラー調整では、テキスト、グラフィックス、写真に適用されるニュートラルなグレー処理、ハーフトーン、およびエッジ強調を調整できます。

手動カラー オプション

エッジ コントロール、ハーフトーン、およびグレー中間色のカラー オプションを手動で調整できます。

エッジ コントロール

[エッジ コントロール] 設定は、エッジのレンダリング方法を指定します。エッジ コントロールには、適合ハーフトーン設定、レゾリューション エンハンスメント テクノロジ (REt)、およびトラッピングという 3 つのコンポーネントがあります。適合ハーフトーン設定はエッジの鮮明度を上げます。トラッピングとは、隣接するオブジェクトのエッジをわずかに重ね合わせることによって、見当ずれを抑えることです。カラー REt オプションは、エッジを滑らかにします。

注記： オブジェクト間に空白がある、またはエッジにシアン、マゼンタ、イエローのわずかな影がある場合は、トラッピング レベルを上げるエッジ コントロール設定を選択します。

エッジ コントロールには次の 4 つのレベルがあります。

- **[最大]** は、最も強力なトラッピング設定です。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[標準]** は、デフォルトのトラッピング設定です。トラッピングは中程度です。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[薄め]** では最低レベルのトラッピングが設定されます。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[オフ]** は、トラッピング、適合ハーフトーン設定、カラー REt をオフにします。

ハーフトーン オプション

ハーフトーン オプションは、カラー出力の解像度と鮮明度を制御します。テキスト、グラフィックス、写真のハーフトーン設定は個別に選択できます。ハーフトーン オプションには、**[スムーズ]** および **[詳細]** の 2 つがあります。

- **[スムーズ]** オプションは、塗りつぶされた領域が広範囲にわたっている場合に適しています。また、細かいカラー グラデーションを平滑化することによって写真の品質も高くなります。均一で滑らかな結果を優先する場合は、このオプションを選択してください。
- **[詳細]** オプションは、線や色を厳密に区別しなければならないテキストやグラフィックス、パターンが入った画像や細密な画像に適しています。鮮明なエッジおよび細部を優先する場合は、このオプションを選択してください。

注記： 一部のソフトウェア プログラムでは、テキストやグラフィックスをビットマップ イメージに変換します。このような場合に、写真用のカラー オプションを設定すると、テキストやグラフィックスにまで影響します。

グレー中間色

[グレー中間色] 設定は、テキスト、グラフィックス、および写真で使用するグレー中間色を生成するための方法を指定します。

[グレー中間色] 設定には 次の 2 つの値があります。

- **[黒のみ]** は、黒いトナーだけを使用して無彩色 (グレーと黒) を印刷します。これによって、カラー印刷でなく白黒印刷されます。
- **[4 色]** は、全色のトナーを組み合わせることによって無彩色 (グレーと黒) を生成します。この方法では、有彩色への変化がよりスムーズで、深みのある黒が生成されます。

グレースケールでの印刷

グレースケール印刷とは、黒とグレーの濃淡で印刷することです。Windows では、**[グレースケールでの印刷]** オプションを選択します。Macintosh では、**[グレースケールで印刷]** オプションを選択します。

カラーの使用制限

このプリンタには **カラーの使用制限** 設定があります。ネットワーク管理者は、カラー トナーを節約するために、この設定を使用して、ユーザーのカラー印刷を制限することができます。カラー印刷ができない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

カラー印刷の制限

1. メニューを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して **システム セットアップ** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押して **カラーの使用制限** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

5. 次のいずれかのオプションを選択します。
   - **カラー無効**： どのユーザーもカラー印刷機能を使えないようにします。
   - **カラー有効** (デフォルト)： すべてのユーザーに対してカラー印刷機能の使用を許可します。
   - **権限がある場合はカラーを使用**： ネットワーク管理者が、カラー印刷を許可するユーザーやアプリケーションを選択します。このためには、内蔵 Web サーバーを使用します。
6. チェックマーク ボタン ✓ を押して設定を保存します。

カラーの使用の制限とレポート作成については、www.hp.com/go/coloraccess を参照してください。

RGB カラー (色域)

プリンタ ドライバから **[RGB カラー]** 設定を変更することができます。プリンタ ドライバへのアクセスについて詳しくは、130 ページの 「カラー オプションの設定」 (Windows) および 69 ページの「カラー オプションの設定」 (Macintosh) を参照してください。

[RGB カラー] 設定には、次の 5 つの値があります。

- ほとんどの印刷の用途で **[デフォルト (sRGB)]** を選択します。この設定では、プリンタは RGB カラーを sRGB として読み取ります。sRGB は Microsoft および World Wide Web Consortium (W3C) 認定の規格です。
- **[イメージの最適化 (sRGB)]** を選択すると、.GIF または .JPEG ファイルなどのビットマップ イメージを多く含む文書の印刷品質が向上します。この設定では、sRGB のビットマップ イメージのレンダリング用に最適のカラー マッチングが使用されます。この設定は、テキストやベクトル ベースのグラフィックスには影響しません。光沢紙でこの設定を使用すると、最良の結果が得られます。
- sRGB ではなく、*AdobeRGB* カラー スペースを使用する文書を印刷する場合は、**[AdobeRGB]** を選択します。たとえば、デジタルカメラの中には、AdobeRBG モードで撮影できるものがあります。また、Adobe PhotoShop で作成した文書は、AdobeRGB カラー スペースを使用します。AdobeRGB を使用するプロフェッショナル向けのソフトウェア プログラムから印刷する場合は、ソフトウェア プログラムでカラー マネージメントをオフにして、プリンタのソフトウェアでカラー スペースを管理できるようにします。
- 中間色の彩度を上げるには、**[カスタム プロファイル]** を選択します。あまりカラフルでないものがよりカラフルに表示されます。カスタム プロファイルは、www.hp.com/go/cljcp6015_software からダウンロードできます。

カラーのマッチング

プリンタとコンピュータのモニタはカラー生成方法が違うので、プリンタで印刷される色とコンピュータの画面の色を合わせるプロセスはかなり複雑です。モニタは、RGB (赤、緑、青) カラー処理を利用して光ピクセルで色を*表示*し、プリンタは、CMYK (シアン、マゼンタ、イエロー、黒) 処理で色を*印刷*します。

印刷物の色をモニタに表示される色と一致させる機能は、いくつかの要因の影響を受けます。これらの要因には次のものがあります。

- 用紙
- プリンタの着色剤 (インクやトナーなど)
- 印刷プロセス (インクジェット、プレス、またはレーザー方式など)
- 天井の照明
- 色を認識する個人の特性
- ソフトウェア プログラム
- プリンタ ドライバ
- コンピュータのオペレーティング システム
- モニタとその設定
- ビデオ カードとドライバ
- 動作環境 (湿度など)

画面に表示される色が印刷物の色と完全に一致しない場合は、上記の要因が考えられます。

通常、画面の色とプリンタで出力される色を一致させる一番よい方法は、sRGB カラーで印刷することです。

色見本のカラー マッチング

色見本および標準のカラー基準にプリンタの出力を一致させるプロセスは複雑です。一般的に、色見本の作成にシアン、マゼンタ、イエロー、および黒のインクが使用されている場合は、正確なカラー マッチングを得ることができます。通常、これらはプロセス色見本と呼ばれます。

色見本の中にはスポット カラーから作成されるものもあります。スポット カラーは特別に作成された色です。これらのスポット カラーの多くはプリンタの範囲外です。ほとんどのスポット色見本には、スポット カラーに CMYK 近似を提供するプロセス色見本が付属しています。

ほとんどのプロセス色見本では、色見本の印刷に使用されたプロセス標準が指定されます。通常は SWOP、EURO、または DIC です。プロセス色見本に最もよく合うようにするには、プリンタのメニューで対応するインク エミュレーションを選択します。プロセス標準がわからない場合は、SWOP インク エミュレーションを使用します。

カラー サンプルの印刷

カラー サンプルを使用するには、目的の色に最もよく一致するカラー サンプルを選択します。ソフトウェア プログラムでサンプルのカラー値を使用して、マッチさせるオブジェクトを指定します。カラーは、用紙のタイプと使用するソフトウェア プログラムにより異なります。カラー サンプルの使用方法については、www.hp.com/support/cljcp6015 をご覧ください。

コントロール パネルを使用してカラー サンプルを印刷するには、次の手順に従います。

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **情報** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. **CMYK サンプルの印刷** または **RGB サンプルの印刷** を選択します。

PANTONE® カラー マッチング

PANTONE には、複数のカラー マッチング システムがあります。PANTONE MATCHING SYSTEM® は普及度の高いカラー マッチング システムで、ソリッド インクを使用してさまざまな色調と色合いを生成します。このプリンタで PANTONE カラーを使用する方法については、www.hp.com/go/cljcp6015_software を参照してください。

注記： 生成された PANTONE カラーが、PANTONE の標準色と一致しない場合があります。正確な色については PANTONE の最新の出版物で確認してください。

高度なカラーの使用

HP ImageREt 4800

HP ImageREt 4800 プリント テクノロジは、優れた印字品質を得るために HP が独占開発した革新的なテクノロジです。HP ImageREt システムは、進化したテクノロジを統合し印刷システムの各要素を最適化することにより、業界から一線を画したものになっています。HP ImageREt の一部のカテゴリは、ユーザーのさまざまなニーズに対応するために開発されました。

このシステムでは、イメージ拡張、便利なサプライ品、高解像度イメージングを含む基幹的なカラー レーザー テクノロジを採用し、一般のオフィス文書や販促資料向けに卓越したイメージを提供します。HP カラー レーザー高光沢紙での印刷に最適な HP Image REt 4800 は、さまざまな環境条件に対応しており、サポートしているすべての用紙で優れた印刷品質を実現します。

用紙の選択

最高のカラーと画像の品質を得るには、プリンタのメニューまたはフロント パネルから適切な種類の用紙を選択することが重要です。

sRGB

sRGB (Standard red-green-blue) は、モニタ、入力デバイス (スキャナ、デジタル カメラ)、出力デバイス (製品、プリンタ、プロッタ) のための共通のカラー言語として、HP と Microsoft が独自に開発した国際的な色規格です。sRGB は、HP 製品、Microsoft オペレーティング システム、Web、および現在市販されているほとんどのオフィス用ソフトウェアで採用されている標準的なカラースペースです。また、現在の代表的な Windows コンピュータ モニタで使用されており、ハイビジョン テレビのコンバージェンスの規格にもなっています。

注記： お使いのモニタのタイプや部屋の照明といった要素が、画面上の色の表示に影響することがあります。

最新版の Adobe PhotoShop、CorelDRAW™、Microsoft Office など多くのソフトウェア プログラムでは、色を伝達するために sRGB を採用しています。また、Microsoft オペレーティング システムの標準カラースペースである sRGB は、一般ユーザーでも色彩をより正確に一致させることのできる一般的な精細度を利用してソフトウェア プログラムとデバイス間の色彩情報をやり取りする方法として、広く採用されるようになりました。sRGB を採用することによって、色彩の専門知識がなくても、プリンタ、コンピュータ モニタ、および他の入力デバイス (スキャナ、デジタル カメラ) 間で色を自動的に一致させることができます。

4 色での印刷 (CMYK)

シアン、マゼンタ、イエロー、および黒 (CMYK) は印刷プレスで使用されるインクです。そのプロセスは、4 色印刷とも呼ばれます。CMYK データ ファイルは通常、グラフィック アート (印刷および出版) 環境で使用され、その環境に由来します。プリンタは、PS プリンタ ドライバから CMYK カラーを受け入れます。プリンタの CMYK カラー レンダリングは、テキストやグラフィックスに豊かな色彩を再現するように設計されています。

CMYK インク セット エミュレーション (HP PostScript レベル 3 エミュレーション)

プリンタの CMYK カラー レンダリングを行うことで、標準的なオフセット プレスのインク セットをエミュレートできます。状況によっては、イメージやドキュメント内の CMYK カラー値がプリンタに適合しないことがあります。たとえば、ドキュメントが別のプリンタ用に最適化されている場合など

です。最良の結果を得るには、CMYK 値を HP Color LaserJet CP6015 シリーズ に適合させる必要があります。プリンタ ドライバから適切なカラー入力プロファイルを選択してください。

- **[デフォルト CMYK+]**： HP の CMYK+ テクノロジにより、大半の印刷ジョブで最適な印刷結果を得ることができます。
- **[Specification for Web Offset Publications (SWOP) (Web オフセット印刷仕様 (SWOP))]**。米国およびその他の国/地域の共通インク規格。
- **[Euroscale (ユーロスケール)]**： ヨーロッパおよびその他の国/地域で一般的なインクです。
- **[Dainippon Ink and Chemical (DIC)]**： 日本およびその他の国/地域で一般的なインクです。
- **[カスタマ プロフィール]**： 別の HP Color LaserJet プリンタをエミュレートする場合など、ユーザー定義の入力プロファイルを使用してカラー出力を正確に管理するには、このオプションを選択します。カラー プロファイルは、www.hp.com からダウンロードできます。

TrueCMYK

このモードは PS プリンタ ドライバの **[詳細設定]** タブで選択でき、Raster Image Processing (RIP) ソフトウェアなどのサード パーティ製の外部デジタル フロント エンドで組織内のドキュメント フローを管理する場合に使用します。通常、デジタル フロント エンドを使用しないと適切な結果を得ることはできません。このモードの詳細を見るには、www.hp.com で TrueCMYK を検索してください。

11 プリンタの管理とメンテナンス

情報ページ

情報ページには、プリンタ、およびその現在の設定の詳細が示されます。情報ページを印刷するには、次の手順に従います。

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン▼を押して 情報 を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
3. 下矢印ボタン▼を押して必要な情報を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押して印刷します。

ページに表示される情報について詳しくは、18 ページの 「情報メニュー」を参照してください。

HP Easy Printer Care

HP Easy Printer Care ソフトウェアの起動

次のいずれかの方法で HP Easy Printer Care ソフトウェアを起動します。

- **[スタート]** メニューで **[プログラム]**、**[Hewlett-Packard]**、**[HP Easy Printer Care]** の順に選択し、**[HP Easy Printer Care の起動]** をクリックします。
- Windows のシステム トレイ (デスクトップの右下隅) にある HP Easy Printer Care アイコンをダブルクリックします。
- デスクトップ アイコンをダブルクリックします。

HP Easy Printer Care ソフトウェアのセクション

HP Easy Printer Care ソフトウェアでは、ネットワークに接続されている複数の HP 製品や、コンピュータに直接接続されている製品に関する情報が表示されます。一部の製品では、次の表に示す一部の項目が表示されない場合があります。

各ページの右上にあるヘルプ ボタン (**[?]**) をクリックすると、そのページにあるオプションに関する詳細情報が表示されます。

セクション	オプション
[デバイス一覧] タブ ソフトウェアを起動したときに最初に表示されるページです。 注記： 別のタブからこのページに戻るには、ウィンドウの左側で **[マイ HP プリンタ]** をクリックします。	• **[デバイス]** リスト： 選択可能な製品を表示します。 注記： 製品情報は、リスト形式またはアイコンとして表示されます。表示形式は、**[表示方法]** オプションで決まります。 • このタブには、製品の現在のアラートに関する情報も表示されます。 • リスト内の製品をクリックすると、HP Easy Printer Care を介して、選択した製品の **[概要]** タブが表示されます。
[互換性のあるプリンタ]	HP Easy Printer Care ソフトウェアをサポートするすべての HP 製品のリストが表示されます。
[他のプリンタを検索] ウィンドウ **[マイ HP プリンタ]** リストに製品を追加できます。	**[デバイス]** リストにある **[他のプリンタを検索]** リンクをクリックすると、**[他のプリンタを検索]** ウィンドウが開きます。**[他のプリンタを検索]** ウィンドウには、その他のネットワーク プリンタを検出する機能があり、検出したプリンタを **[マイ HP プリンタ]** リストに追加してリスト内の製品をコンピュータから監視することができます。
[概要] タブ デバイスの基本的なステータス情報を表示します。	• **[デバイス ステータス]** セクション： このセクションには、製品の識別情報と製品のステータスが表示されます。プリント カートリッジが空になったなど、製品のアラート状態が表示されます。製品側で問題を解決したら、ウィンドウの右上にある更新ボタン をクリックすると、ステータスが更新されます。 • **[サプライ品 ステータス]** セクション： プリント カートリッジのトナー残量のパーセンテージや各トレイにセットされている用紙のステータスなど、サプライ品の詳細なステータスを表示します。 • **[サプライ品詳細]** リンク： 製品のサプライ品、注文情報、リサイクル情報に関する詳細を表示するサプライ品ステータス ページを開きます。

セクション	オプション
[サポート] タブ サポート情報へのリンクが表示されます。	• **[デバイス ステータス]** セクション： このセクションには、製品の識別情報と製品のステータスが表示されます。プリント カートリッジが空になったなど、製品のアラート状態が表示されます。製品側で問題を解決したら、ウィンドウの右上にある更新ボタン をクリックすると、ステータスが更新されます。 • **[デバイス管理]** セクション： HP Easy Printer Care に関する情報、詳細な製品の設定、および製品の使用状況レポートへのリンクが表示されます。 • **[トラブルシューティングおよびヘルプ]**： 問題解決に使用できるツール、オンラインの製品サポート情報、およびオンラインの HP 専門家へのリンクが表示されます。
[設定] タブ 製品の設定を行い、印刷品質の設定を調整し、特定の製品機能に関する情報を収集できます。 注記： 一部の製品では、このタブは使用できません。	• **[バージョン情報]**： このタブに関する一般情報が表示されます。 • **[一般]**： 製品に関する、たとえばモデル番号、シリアル番号などの情報や日付の設定が表示されます。 • **[情報ページ]**： 製品の情報ページを印刷するためのリンクが表示されます。 • **[機能]**： 製品の機能、たとえば両面印刷、使用可能なメモリ、および使用可能な印刷パーソナリティに関する情報が表示されます。設定を調整するには、**[変更]** をクリックします。 • **[印刷品質]**： 印刷品質の設定に関する情報が表示されます。設定を調整するには、**[変更]** をクリックします。 • **[トレイ/用紙]**： トレイとその構成に関する情報が表示されます。設定を調整するには、**[変更]** をクリックします。 • **[デフォルト設定の復元]**： 製品の設定を初期設定に戻すことができます。**[復元]** をクリックすると、設定が初期設定に戻ります。
[HP Proactive Support] 注記： この項目は、**[概要]** タブと **[サポート]** タブにあります。	有効にすると、HP Proactive Support によって印刷システムが定期的にスキャンされ、潜在的な問題が特定されます。スキャンの頻度を設定するには、**[詳細情報]** のリンクをクリックします。このページには、製品のソフトウェア、ファームウェア、および HP プリンタ ドライバのアップデートに関する情報も表示されます。推奨されるアップデートは適用するかどうかを選択できます。
[サプライ品の注文] ボタン 任意のタブで **[サプライ品の注文]** ボタンをクリックすると、**[サプライ品の注文]** ウィンドウが開き、オンラインでサプライ品を注文できます。 注記： この項目は、**[概要]** タブと **[サポート]** タブにあります。	• [注文] リスト： 製品ごとに注文可能なサプライ品を表示します。特定のサプライ品を注文するには、サプライ品のリストで必要なサプライ品の **[注文]** チェック ボックスをオンにします。リストは、製品名順、または注文を急ぐサプライ品名順に並べ替えることができます。リストには、**[マイ HP プリンタ]** リスト内のすべての製品のサプライ品情報が含まれます。 • **[サプライ品のオンライン ショップ]** ボタン： 新しいブラウザ ウィンドウに HP SureSupply Web サイトを開きます。**[注文]** チェックボックスがオンのサプライ品がある場合は、それらのサプライ品に関する情報が Web サイトに転送され、選択したサプライ品を購入するためのオプションに関する情報が Web サイトに表示されます。 • **[買い物リストを印刷]** ボタン： **[注文]** チェック ボックスをオンにしたサプライ品の情報を印刷します。

セクション	オプション
[アラート設定] リンク 注記： この項目は、**[概要]** タブと **[サポート]** タブにあります。	**[アラート設定]** をクリックすると、[アラート設定] ウィンドウが開き、各製品のアラートを設定できます。 ● アラートはオンまたはオフです。警告機能を有効または無効にします。 ● **[プリンタ アラート]**： このオプションを選択すると、重大なエラーのみ、またはすべてのエラーに関するアラートを受け取ります。 ● **[ジョブ アラート]**： この機能がサポートされている製品で、特定の印刷ジョブに関するアラートを受け取ることができます。
[カラー制御] 注記： この項目は、カラー アクセス制御をサポートする HP カラー製品だけに使用できます。 注記： この項目は、**[概要]** タブと **[サポート]** タブにあります。	この機能を使用すると、カラー印刷を許可または制限できます。

内蔵 Web サーバ

内蔵 Web サーバーを使用すると、プリンタのコントロール パネルの代わりにコンピュータを使って、プリンタのステータスの確認、プリンタのネットワーク設定の構成、印刷機能の管理を行えます。内蔵 Web サーバーを使用して実行できる機能の例を次に示します。

注記： プリンタを直接コンピュータに接続している場合は、内蔵 Web サーバの代わりに HP Easy Printer Care を使用してプリンタのステータスを表示します。

- プリンタのステータス情報の表示
- サプライ品すべての寿命の確認と新しいサプライ品の注文
- トレイ設定の表示と変更
- プリンタのコントロール パネルのメニューの表示と変更
- 内部ページの表示と印刷
- プリンタとサプライ品に関する通知の受信
- ネットワーク設定の表示と変更

内蔵 Web サーバーを使用するには、Microsoft Internet Explorer 5.01 以降、または Windows、Mac OS、および Linux (Netscape のみ) 向けの Netscape 6.2 以降をインストールする必要があります。HP-UX 10 と HP-UX 11 では、Netscape Navigator 4.7 が必要です。内蔵 Web サーバは、プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合に機能します。IPX ベースの接続では機能しません。内蔵 Web サーバーを起動して使用する場合は、インターネットに接続する必要はありません。

プリンタをネットワークに接続すると、自動的に内蔵 Web サーバが使えるようになります。

注記： 内蔵 Web サーバーの使用方法については、プリンタの CD-ROM に収録されている*『内蔵 Web サーバー ユーザーズ ガイド』*を参照してください。

ネットワーク接続を使用して内蔵 Web サーバを開く

1. コンピュータの Web ブラウザのアドレスまたは URL フィールドに、プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力します。IP アドレスまたはホスト名を確認するには、設定ページを印刷します。詳しくは、142 ページの 「情報ページ」を参照してください。

   注記： URL を開いたら、いつでもすぐに表示できるようにお気に入り (ブックマーク) に追加することができます。

2. 内蔵 Web サーバには、プリンタの設定や情報を表示する次の 3 つのタブがあります。

   - **[情報]** タブ
   - **[設定]** タブ
   - **[ネットワーキング]** タブ

   各タブについて詳細しくは、147 ページの 「内蔵 Web サーバのセクション」を参照してください。

内蔵 Web サーバのセクション

タブまたはセクション	オプション
[情報] タブ プリンタ、ステータス、および設定に関する情報を表示します。	● **[デバイスのステータス]**： プリンタのステータスと HP サプライ品の寿命を表示します。寿命が 0% のときはサプライ品が空になっていることを示します。各トレイにセットされている印刷用紙のタイプとサイズも表示されます。デフォルトの設定を変更する場合は、**[設定の変更]**をクリックします。 ● **[設定ページ]**： 設定ページの情報を表示します。 ● **[サプライ品のステータス]**： HP サプライ品の寿命を表示します。寿命が 0% のときはサプライ品が空になっている状態を示します。このページには、サプライ品の製品番号も表示されます。新しいサプライ品を注文するには、ウィンドウの左側の **[その他のリンク]** にある **[サプライ品の購入]** をクリックします。 ● **[イベント ログ]**： プリンタのすべてのイベントとエラーの一覧を表示します。 ● **[使用状況ページ]**： 用紙のサイズと種類別に、印刷したページ数を表示します。 ● **[診断ページ]**： プリンタに名前を付け、会社名を表示し、プリンタにアセット番号を割り当て、管理用の主な連絡先を入力できます。HP のサポート担当者がこの情報を尋ねる場合があります。 ● **[デバイス情報]**： プリンタのネットワーク名、アドレス、およびモデル情報を表示します。この情報をカスタマイズする場合は、**[設定]** タブの **[デバイス情報]** をクリックします。 ● **[コントロール パネル]**： **[印字可]**、**[スリープ モード オン]** など、コントロール パネルからのメッセージを表示します。 ● **[印刷]**： 印刷準備の整ったジョブをプリンタに送信します。
[設定] タブ コンピュータからプリンタを設定します。	● **[デバイスの設定]**： プリンタのデフォルトを設定します。このページには、コントロール パネルを使用して、従来型のメニューが表示されます。 ● **[電子メール サーバ]**： ネットワーク プリンタ専用です。**[警報]** ページと一緒に使用して、電子メールで受け取る警告を設定します。 ● **[警報]**： ネットワーク プリンタ専用です。さまざまなプリンタやサプライ品に関する警告を電子メールで受信するように設定します。 ● **[自動送信]**： プリンタの設定とサプライ品に関する自動電子メールを特定の電子メール アドレスに送信するように設定します。 ● **[セキュリティ]**： **[設定]** および **[ネットワーキング]** タブにアクセスするためのパスワードを設定します。内蔵 Web サーバの任意の機能を有効または無効にします。 ● **[その他のリンクの編集]**： 別の Web サイトへのリンクを追加またはカスタマイズできます。このリンクは、内蔵 Web サーバのすべてのページの **[その他のリンク]** 領域に表示されます。 ● **[デバイス情報]**： プリンタに名前を付け、アセット番号を割り当てます。プリンタに関する情報を受信する主要な連絡先の名前と電子メールアドレスを入力します。 ● **[言語]**： 内蔵 Web サーバの情報を表示する言語を指定します。 ● **[日付と時刻]**： ネットワーク タイム サーバと時間の同期をとります。 ● **[スリープ復帰時刻]**： プリンタのスリープ復帰時刻を設定または編集します。 ● **[カラー制限]**： カラー印刷を許可または制限します。個々のユーザーまたは特定のソフトウェア プログラムから送信されたジョブの権限を指定します。 注記： **[設定]** タブはパスワードで保護できます。プリンタがネットワークに接続されている場合は、このタブで設定を変更する前に必ず管理者に相談してください。

タブまたはセクション	オプション
[ネットワーキング] タブ コンピュータからネットワーク設定を変更できます。	プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合は、ネットワーク管理者が、このタブを使用して、ネットワークに関係のある設定を制御できます。プリンタが直接コンピュータに接続されている場合や、HP Jetdirect プリント サーバ以外を使用してネットワークに接続されている場合は、このタブは表示されません。 注記： **[ネットワーキング]** タブはパスワードで保護できます。
[その他のリンク] インターネットに接続するさまざまなリンクが表示されます。	● **[HP Instant Support™]**： 問題の解決方法が掲載されている HP の Web サイトに接続します。 ● **[サプライ品の購入]**： HP SureSupply Web サイトに接続し、プリント カートリッジや用紙などの HP 純正サプライ品の購入オプションの情報を表示します。 ● **[製品サポート]**： 製品のサポート サイトに接続し、さまざまなヘルプ トピックを検索できます。 ● **[手順の表示]**： プリンタの特定の操作手順を示します。 注記： これらのリンクを使用するには、インターネットにアクセスできる環境が必要です。ダイヤルアップ接続を使用しており、内蔵 Web サーバを最初に起動したときにインターネットに接続しなかった場合は、これらの Web サイトにアクセスする前にインターネットに接続する必要があります。インターネットに接続する場合は、内蔵 Web サーバをいったん閉じて再起動しなければならない場合があります。

HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用

HP Web Jetadmin は、ネットワークに接続された周辺装置のインストール、監視、およびトラブルの解決をリモートで実現する Web ベースのソフトウェア ソリューションです。分かりやすいブラウザ インタフェースによって、HP 製プリンタと HP 製以外のデバイスを含む幅広いデバイスのクロスプラットフォーム管理が容易になります。問題が発生する前に事前に管理できるので、ネットワーク管理者はユーザーに影響が及ぶ前に問題を解決することができます。この無料の拡張管理ソフトウェアは、www.hp.com/go/webjetadmin_software からダウンロードしてください。

HP Web Jetadmin 用のプラグインを入手するには、**[プラグイン]** をクリックした後、必要なプラグインの名前の横にある **[ダウンロード]** リンクをクリックします。新しいプラグインが使用可能になると、HP Web Jetadmin ソフトウェアから自動的に通知されます。**[製品の更新]** ページの指示に従うと、HP Web サイトに自動的に接続されます。

HP Web Jetadmin をホスト サーバーにインストールすると、Windows 用の Microsoft Internet Explorer 6.0 や Linux 用の Netscape Navigator 7.1 など、対応している Web ブラウザを通じて任意のクライアントから使用することができます。HP Web Jetadmin ホストにアクセスしてください。

注記： ブラウザは Java 対応である必要があります。Apple PC からのアクセスには対応していません。

セキュリティ機能

ここでは、プリンタで利用できる重要なセキュリティ機能について説明します。

内蔵 Web サーバーの保護

内蔵 Web サーバにアクセスするためのパスワードを割り当てて、権限のないユーザーがプリンタの設定を変更できないようにします。

1. 内蔵 Web サーバーを開きます。「146 ページの 「内蔵 Web サーバ」」を参照してください。
2. **[設定]** タブをクリックします。
3. ウィンドウの左側にある **[セキュリティ]** をクリックします。
4. **[新規パスワード]** の横にパスワードを入力し、**[パスワードの確認]** の横にもう一度パスワードを入力します。
5. **[適用]** をクリックします。パスワードをメモして、安全な場所に保管してください。

Secure Disk Erase

プリンタのハード ドライブの削除したデータが不正にアクセスされるのを防ぐには、HP Web Jetadmin ソフトウェアの セキュア ディスク消去機能を使います。この機能を使用すると、印刷ジョブをハード ドライブから安全に消去することができます。

Secure Disk Erase 機能には、次のレベルのディスク セキュリティが用意されています。

- **安全でない高速消去**。これは、単純なファイル テーブル消去機能です。ファイルへのアクセスは削除されますが、実際のデータはその後のデータ保存操作によって上書きされるまでディスクに残ります。これは最も高速なモードです。安全でない高速消去はデフォルトの消去モードです。
- **安全な高速消去**。ファイルへのアクセスが削除され、固定の同一文字パターンでデータが上書きされます。これは安全でない高速消去よりも低速ですが、すべてのデータが上書きされます。安全な高速消去は、米国国防総省 5220-22.M ディスク メディア消去に関する要件を満たしています。
- **安全なクリーニング消去**。このレベルは安全な高速消去モードと似ています。ただし、データが永続的に残留することを防ぐアルゴリズムを使用して、データが繰り返し上書きされます。このモードではパフォーマンスが低下します。安全なクリーニング消去は、米国国防総省 5220-22.M ディスク メディア クリーニングに関する要件を満たしています。

影響を受けるデータ

セキュア ディスク消去機能の影響を受ける (対象となる) データは、印刷中に作成される一時ファイル、保存したジョブ、試し刷り後の保留ジョブ、ディスクベースのフォント、ディスクベースのマクロ (フォーム)、アドレス帳、HP およびサードパーティ製アプリケーションです。

注記： 保存したジョブは、適切な消去モードを設定した後で、プリンタの **ジョブ取得** メニューで削除した場合だけ安全に上書きされます。

この機能は、デフォルト設定、ページ数などのデータを保存するのに使用されるフラッシュベースの非揮発性 RAM (NVRAM) に保存されているデータには影響を与えません。この機能は、システム RAM ディスク (使用している場合) に保存されているデータには影響を与えません。この機能は、フラッシュベースのシステム ブート RAM に保存されているデータには影響を与えません。

セキュアディスク消去モードを変更しても、変更前からあったデータが上書きされることはなく、ディスク全体が直ちにクリーニングされることもありません。消去モードの変更後に、プリンタがジョブの一時データを消去する方法が変わるだけです。

補足情報

HP セキュア ディスク消去機能について詳しくは、HP サポート パンフレットか、www.hp.com/go/webjetadmin を参照してください。

ジョブの保存

プライベート ジョブを安全に印刷するには、個人ジョブ機能を使用します。ジョブは、コントロール パネルで正しい PIN を入力した場合だけ印刷できます。詳しくは、113 ページの 「ジョブ保存機能の使用」を参照してください。

コントロール パネル メニューのロック

プリンタの設定が変更されるのを防ぐには、コントロール パネルのメニューをロックします。これによって、権限のないユーザーは SMTP サーバーなどの設定を変更できなくなります。次に、HP Web Jetadmin ソフトウェアを使用して、コントロール パネルのメニューへのアクセスを制限する方法について説明します。(149 ページの 「HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用」を参照。)

1. HP Web Jetadmin プログラムを開きます。
2. **[Navigation]** パネルのドロップダウン リストにある **[DEVICE MANAGEMENT]** フォルダを開きます。**[DEVICE LISTS]** フォルダに移動します。
3. プリンタを選択します。
4. **[DEVICE TOOLS]** ドロップダウン リストで、**[Configure]** を選択します。
5. **[Configuration Categories]** リストから **[Security]** を選択します。
6. **[Device Password]** に入力を行います。
7. **[Control Panel Access]** セクションで、**[Maximum Lock]** を選択します。これによって、権限のないユーザーは構成にアクセスできなくなります。

リアルタイム クロックの設定

日付と時刻を設定するには、リアルタイム クロック機能を使用します。日付と時刻の情報は、保存するジョブにアタッチされるので、最も新しいジョブを識別できるようになります。

リアルタイム クロックの設定

日付の設定	1. メニュー ボタンを押します。 2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。 3. 下矢印ボタン ▼ を押して **システム セットアップ** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。 4. チェックマーク ボタン ✓ を押して **日付/時刻** を選択します。 5. 下矢印ボタン ▼ を押して **日付** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。 6. 正確な年月日を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押して保存します。
日付形式の設定	1. メニュー ボタンを押します。 2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。 3. 下矢印ボタン ▼ を押して **システム セットアップ** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。 4. チェックマーク ボタン ✓ を押して **日付/時刻** を選択します。 5. 下矢印ボタン ▼ を押して **日付形式** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。 6. 年月日を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押して保存します。
時刻の設定	1. メニュー ボタンを押します。 2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。 3. 下矢印ボタン ▼ を押して **システム セットアップ** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。 4. チェックマーク ボタン ✓ を押して **日付/時刻** を選択します。 5. 下矢印ボタン ▼ を押して **時刻** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。 6. 正確な時、分、および午前/午後の設定を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押して保存します。
時刻形式の設定	1. メニュー ボタンを押します。 2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。 3. 下矢印ボタン ▼ を押して **システム セットアップ** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。 4. チェックマーク ボタン ✓ を押して **日付/時刻** を選択します。 5. 下矢印ボタン ▼ を押して **時刻形式** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。 6. 適切な **時刻形式** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押して保存します。

サプライ品の管理

最高の印刷結果を得るためには、HP 純正プリント カートリッジを使用してください。

プリント カートリッジの保管

使用するまでは、プリント カートリッジをパッケージから出さないでください。

△ **注意：** 損傷を防ぐために、プリント カートリッジを長時間 (2、3 分以上) 光に当てないでください。

HP 製以外のプリント カートリッジに関する規定

Hewlett-Packard 社では、新品または再生品のどちらについても、HP 製以外のプリント カートリッジのご利用はお勧めしておりません。

注記： HP 製以外のプリント カートリッジが原因で故障が発生した場合、HP の保証やサービス契約は適用されません。

新しい HP 製プリント カートリッジを取り付けるには、「155 ページの 「プリント カートリッジの交換」」を参照してください。使用済みカートリッジをリサイクルするには、新しいカートリッジに付属している以下の手順に従ってください。

HP の不正品ホットラインと Web サイト

HP 製プリント カートリッジを取り付けたときに、HP 製ではないことを示すメッセージがコントロール パネルに表示された場合は、HP 不正品ホットラインに連絡するか (北米の場合はフリーダイヤル 1-877-219-3183)、www.hp.com/go/anticounterfeit にアクセスしてください。弊社はそのカートリッジが純正品かどうかを調べ、問題を解決するための措置をとるお手伝いをします。

以下の点にお気付きの場合は、お使いのプリント カートリッジが HP 純正プリント カートリッジではない可能性があります。

- プリント カートリッジに問題が多発している。
- カートリッジが通常のものと違って見える (たとえば、パッケージが HP 製のものと異なるなど)。

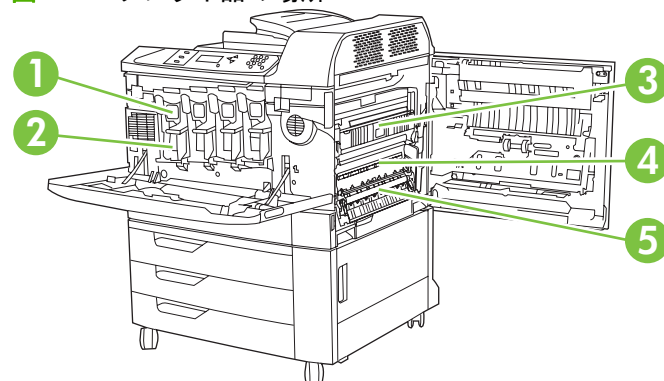
サプライ品交換

HP 純正サプライ品を使用している場合は、サプライ品の寿命が近づくと自動的に通知されます。サプライ品の注文が通知されても、サプライ品を交換する必要が生じるまでには十分時間があります。サプライ品の注文方法について詳しくは、259 ページの 「サプライ品とアクセサリ」を参照してください。

サプライ品の場所

サプライ品はラベルと青いプラスチック ハンドルで識別します。

次の図に各サプライ品の場所を示します。

図 11-1 サプライ品の場所

1	プリント カートリッジ
2	イメージ ドラム
3	フューザ
4	トランスファー ユニット
5	トランスファー ローラー

サプライ品交換のガイドライン

サプライ品を簡単に交換できるように、プリンタのセットアップ時に次のガイドラインに従ってください。

- プリンタの正面と右側に、サプライ品を取り外すための十分なスペースを確保します。
- プリンタを平らでしっかりした場所に置きます。

サプライ品の取り付け手順については、各サプライ品に付属のインストール ガイドを参照してください。詳しくは、www.hp.com/go/cljcp6015_software にアクセスしてください。アクセスした後、**[問題の解決]** を選択してください。

△ 注意： Hewlett-Packard の純正サプライ品を使用することをお勧めします。HP 以外の製品を使用すると、Hewlett-Packard の保証期間延長またはサービス契約の対象外のサービスを必要とする問題が発生する場合があります。

サプライ品の交換予定時期

次の表に、サプライ品の交換予定時期および各部品の交換を要求するコントロール パネル メッセージを示します。使用条件と印刷内容によって結果は異なります。

項目	プリンタ メッセージ	ページ数	おおよその時期
プリント カートリッジ	**<カラー> カートリッジを交換してください**	黒： 16,500 ページ [1] シアン、マゼンタ、イエロー： 21,000 ページ [1]	黒： 3 か月 シアン、マゼンタ、イエロー： 4 か月
イメージ ドラム	**<カラー> ドラムを交換してください**	35,000 ページ [1]	
イメージ トランスファー キット	**トランスファー キットを交換してください**	150,000 ページ [2]	36 か月
イメージ フューザ キット	**フューザ キットを交換してください**	100,000 ページ	25 か月
ローラー キット	**ローラー キットを交換してください**	150,000 ページ	36 か月
ステイプル カートリッジ	**ステイプル カートリッジを交換してください**	5000 回	
ブックレット メーカーのステイプル カートリッジ	**ステイプル カートリッジ 2 と 3 を交換してください**	ブックレット 2,000 部	

[1] カートリッジ寿命の数値は ISO 標準テストに基づいて算出されています。

[2] 月あたり 4,000 ページとしての、おおよその寿命

プリント カートリッジの交換

プリント カートリッジの寿命が終わりに近づくと、コントロール パネルに交換の準備を勧めるメッセージが表示されます。コントロール パネルにカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されるまでは、プリンタは現在のプリント カートリッジを使用して印刷を続けることができます。

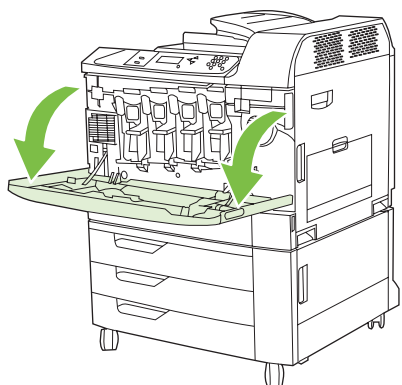
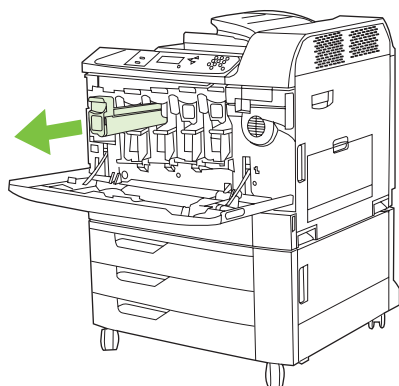
プリンタは 4 色を使用し、色ごとにプリント カートリッジがあります。黒 (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、およびイエロー (Y) です。

コントロール パネルに「**<カラー> カートリッジを交換してください**」というメッセージが表示されたら、プリント カートリッジを交換します。このメッセージには、交換が必要な色も示されます (HP の純正カートリッジを取り付けている場合)。プリント カートリッジの箱にも、交換手順の説明が付属しています。

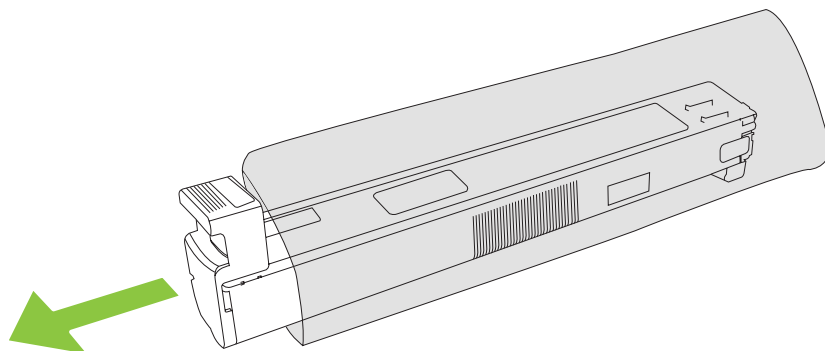
△ **注意：** トナーが衣服に付いた場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で洗濯してください。お湯を使うと、トナーが布に染み着きます。

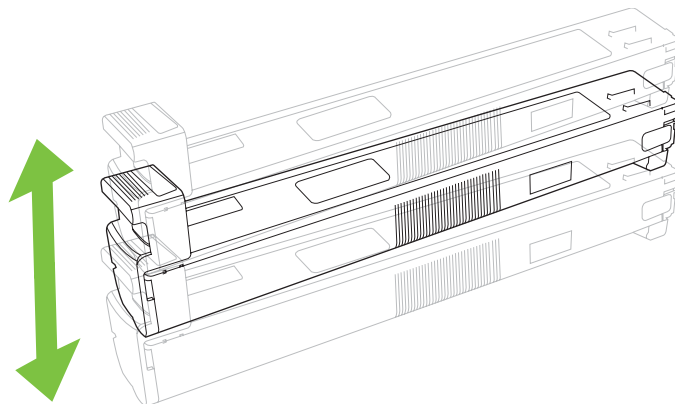
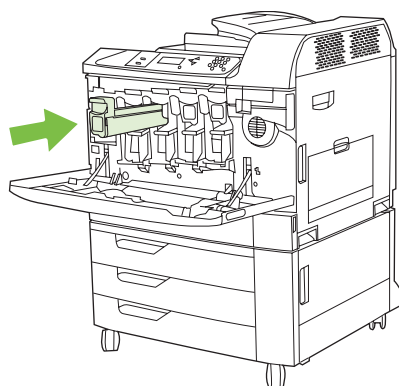
注記： 使用済みプリント カートリッジのリサイクルの詳細は、プリント カートリッジの箱に記載されています。

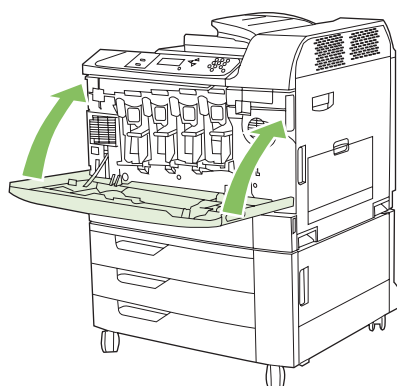
プリント カートリッジの交換

1. 正面ドアの両側にある持ち手をつかんで下ろし、正面ドアを開きます。

2. 使用済みプリント カートリッジのハンドルをつかんで引き出します。

3. 使用済みプリント カートリッジを、保護用の袋に入れて保管します。使用済みプリント カートリッジのリサイクルの詳細は、プリント カートリッジの箱に記載されています。

4. 同様に、他のプリント カートリッジも取り出します。

5. 保護用の袋から新しいプリント カートリッジを取り出します。

注記： 保護用の袋は、後で使用するときのために安全な場所に保管しておいてください。

6. プリント カートリッジの両側を持ち、5 ～ 6 回上下に振ります。

7. プリント カートリッジをスロットに合わせて、カチッと音がするまで押し込みます。

8. 同様に、他のプリント カートリッジも挿入します。

9. 正面ドアの両側にある持ち手をつかみ、正面ドアを上げて閉じます。

使用済みプリント カートリッジのリサイクルについては、新しいプリント カートリッジに付属している指示書に従ってください。

イメージ ドラムの交換

イメージ ドラムの寿命が近づくと、コントロール パネルに交換品の注文を促すメッセージが表示されます。コントロール パネルにイメージ ドラムの交換を指示するメッセージが表示されるまでは、プリンタは現在のイメージ ドラムを使用して印刷を続けることができます。

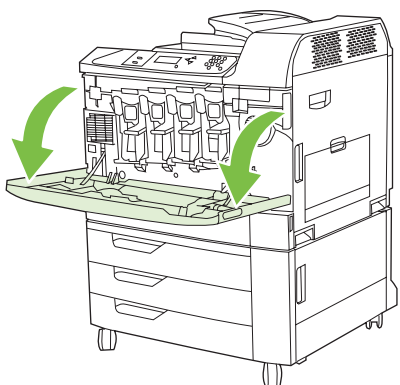
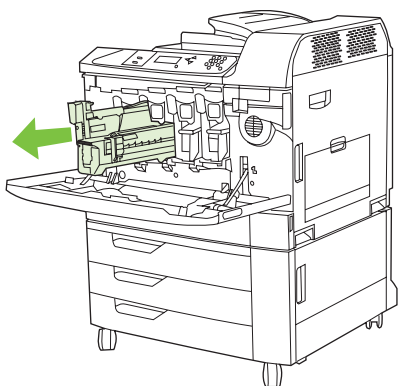
プリンタは 4 色を使用し、色ごとにイメージ ドラムがあります。黒 (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、およびイエロー (Y) です。

コントロール パネルに「**<カラー> ドラムを交換してください**」というメッセージが表示されたら、イメージ ドラムを交換します。このメッセージには、交換が必要な色も示されます (HP 社の純正のカートリッジが取り付けられている場合)。交換用の指示書がイメージ ドラムに同梱されています。

注記： トナーが洋服に付いた場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で洗ってください。温水を使用するとトナーが布に染み込みます。

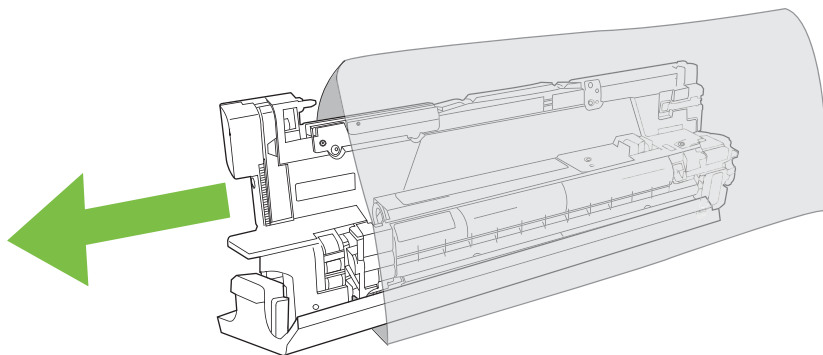
注記： 使用済みイメージ ドラムのリサイクルについては、イメージ ドラムの箱に記載されています。

イメージ ドラムの交換

1. 正面ドアの両側にある持ち手をつかんで下ろし、正面ドアを開きます。

2. 片方の手で使用済みイメージ ドラムを持ち上げ、もう片方の手を添えて、プリンタからゆっくりと引き出します。

注記： イメージ ドラムを再使用する場合は、ドラムの下部にある緑色のシリンダには手を触れないでください。ドラムが損傷することがあります。

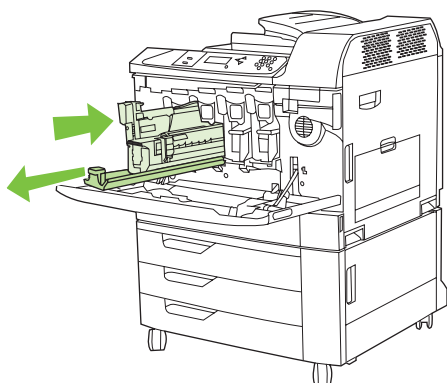
3. 使用済みイメージ ドラムを、保護用の袋に入れて保管します。使用済みイメージ ドラムのリサイクルについては、イメージ ドラムの箱に記載されています。

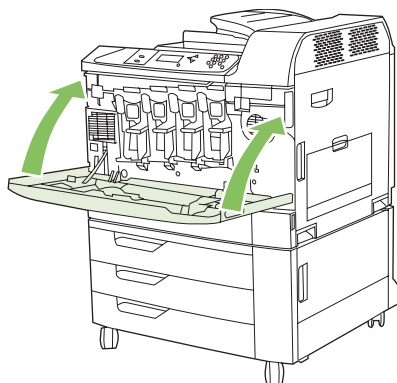
4. 同様に、他のイメージ ドラムも取り出します。

5. 保護用の袋から新しいイメージ ドラムを取り出します。

注記： 保護用の袋は、後で使用するときのために安全な場所に保管しておいてください。

注記： イメージ ドラムを振らないでください。

注記： イメージ ドラムの下部にある緑色のシリンダには手を触れないでください。ドラムが損傷することがあります。

6. イメージ ドラムをスロットに合わせて、カチッと音がするまで押し込みます。 イメージ ドラムの下部に付いているグレーの保護カバーは、イメージ ドラムを挿入すると自動的に外れます。このカバーは破棄してかまいません。

7. 同様に、他のイメージ ドラムも挿入します。

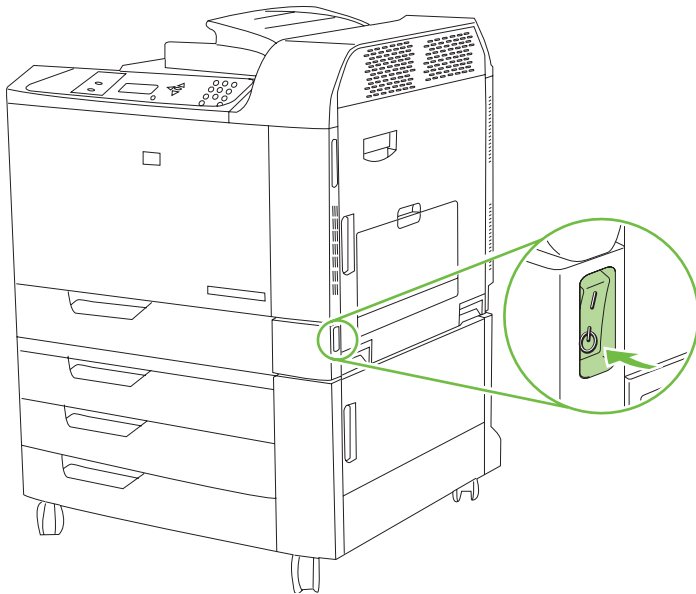
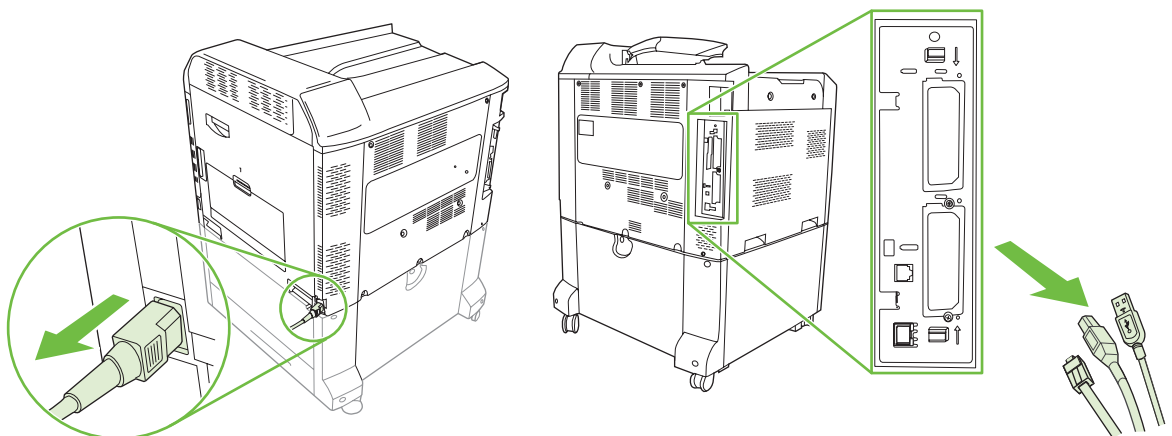
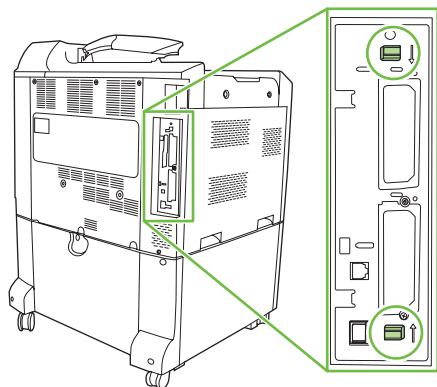
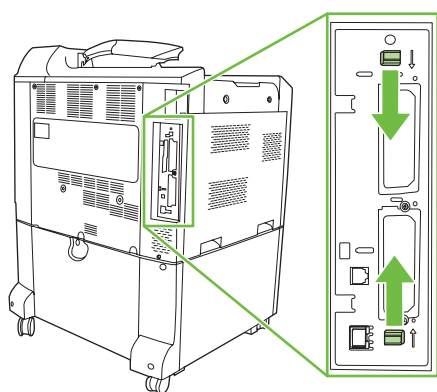
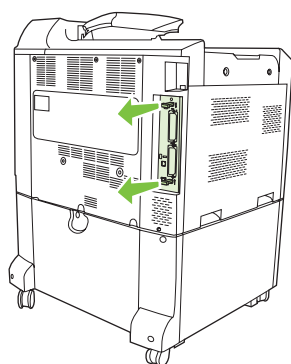
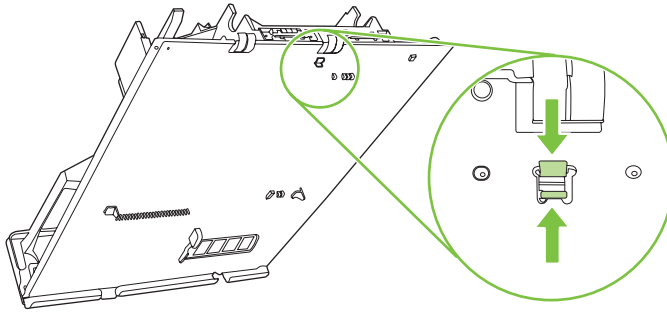
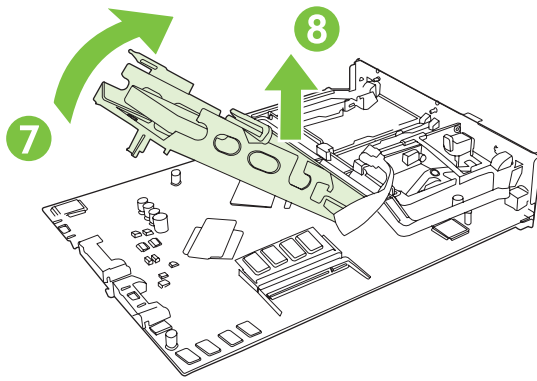
8. 正面ドアの両側にある持ち手をつかみ、正面ドアを上げて閉じます。

使用済みイメージ ドラムのリサイクルについては、新しいイメージ ドラムに付属している指示書に従ってください。

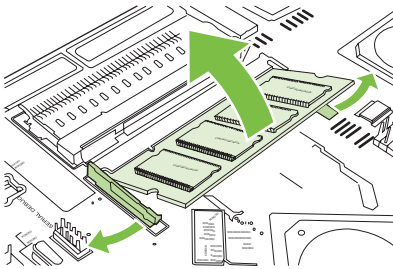
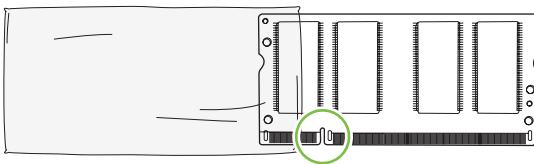
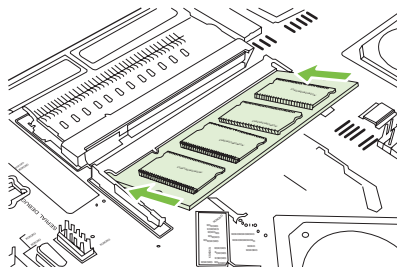
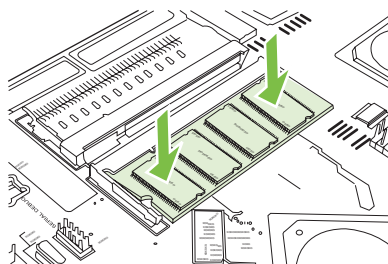
メモリの装着

プリンタにデュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) を装着するとメモリを追加できます。

△ **注意：** 静電気は DIMM に損傷を与えます。DIMM を取り扱うときは、静電気防止用リスト ストラップを着用するか、頻繁に DIMM の静電気防止パッケージの表面に触れてから、プリンタの露出した金属部に触れるようにしてください。

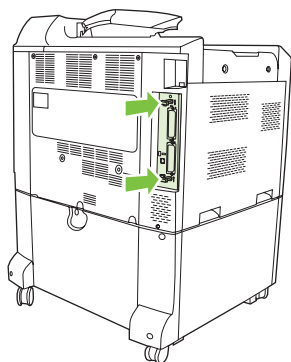
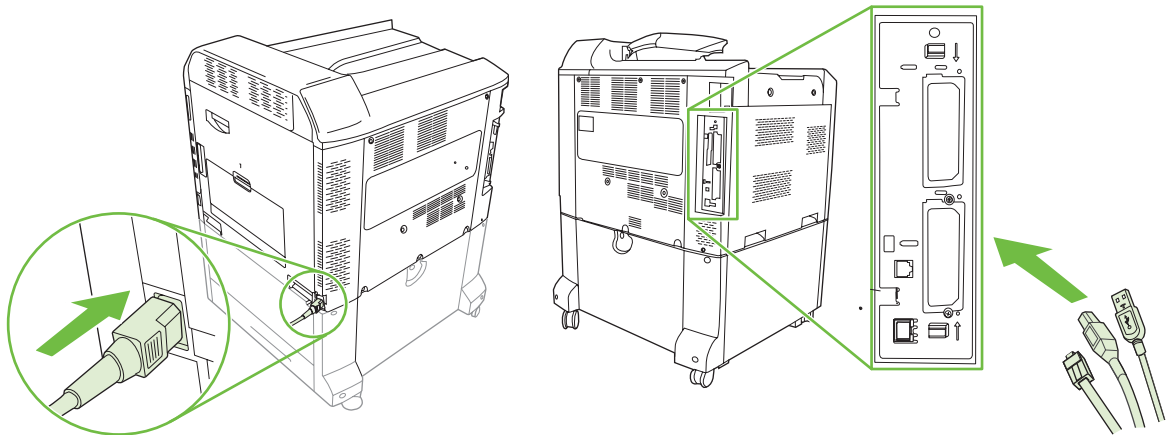
DDR メモリ DIMM の装着

1. プリンタの電源を切ります。

2. すべての電源ケーブルとインタフェース ケーブルを取り外します。

3. プリンタの背面のフォーマッタ ボードにある黒のフォーマッタ圧力解放タブを見つけます。

4. 黒いタブが向き合うように軽く押します。

5. 黒いタブを軽く引き、フォーマッタ ボードをプリンタから引き出します。引き出したフォーマッタ ボードを清潔で平らな接地面に置きます。

6. DIMM をスロット 2 に追加する場合は、フォーマッタ ボードの底面にあるハード ディスク リリース タブの位置を確認してから、タブをつまんでハード ディスク アセンブリの一端を取り外します。

7. 他端のヒンジ タブがはずれるまで、ハード ディスク アセンブリの一端を上方向に回転します。

8. ハード ディスク アセンブリを挿入したままで横付けにすると、スロット 2 に DIMM を追加または交換する空間を確保できます。

9. いずれかのスロットに装着されている DIMM を交換するには、DIMM の両側にあるラッチを開き、DIMM を少し傾けながら押し上げて引き出します。

10. 静電気防止パッケージから DIMM を取り出します。DIMM の下端にある位置合わせ用切り込みの位置を確認します。

11. DIMM の端をつかみ、少し傾けながら DIMM の位置合わせ用切り込みを DIMM スロットのバーに揃え、DIMM を押し込んで固定します。金属製の接触部が見えなくなれば、正しく装着されています。

12. 両側のラッチで固定されるまで DIMM を押します。

注記： DIMM を装着できない場合は、DIMM 下端の切り込みと DIMM スロットのバーがずれていないことを確認してください。それでも DIMM を挿入できない場合は、DIMM のタイプが間違っていないことを確認してください。

13. スロット 2 にアクセスするためにハード ディスク アセンブリを移動した場合は、ヒンジ タップを再びかみ合わせ、フォーマッタ ボード上でカチッと音がするまでリリース タブを押し込みます。

14. スロットの下部の溝にフォーマッタ ボードを合わせ、ボードをプリンタ側へスライドします。カチッと音がするまで圧力リリース タブを押し込んでください。

注記： フォーマッタ ボードへの損傷を避けるために、フォーマッタ ボードが溝にはまっていることを確認します。

15. 電源ケーブルとインタフェース ケーブルをつなぎ直し、プリンタの電源を入れます。

16. 新しいメモリを有効にする方法は、次のセクションを参照してください。

メモリを Windows に認識させる

1. **Windows XP** および **Windows Server 2003 (標準の [スタート] メニューの場合)**: **[スタート]**、**[設定]**、**[プリンタと FAX]** の順にクリックします。

   または

   Windows 2000、**Windows XP**、**Windows Server 2003 (クラシック [スタート] メニューの場合)**: **[スタート]** をクリックし、それから **[設定]**、**[プリンタ]** の順にクリックします。

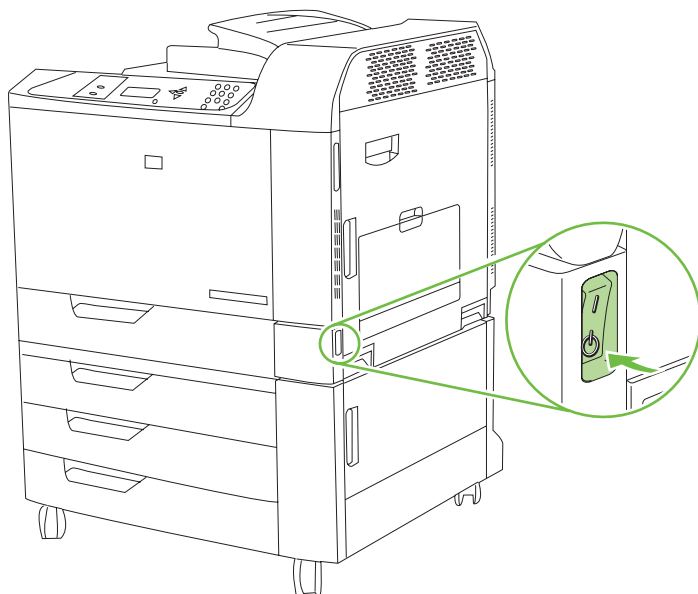
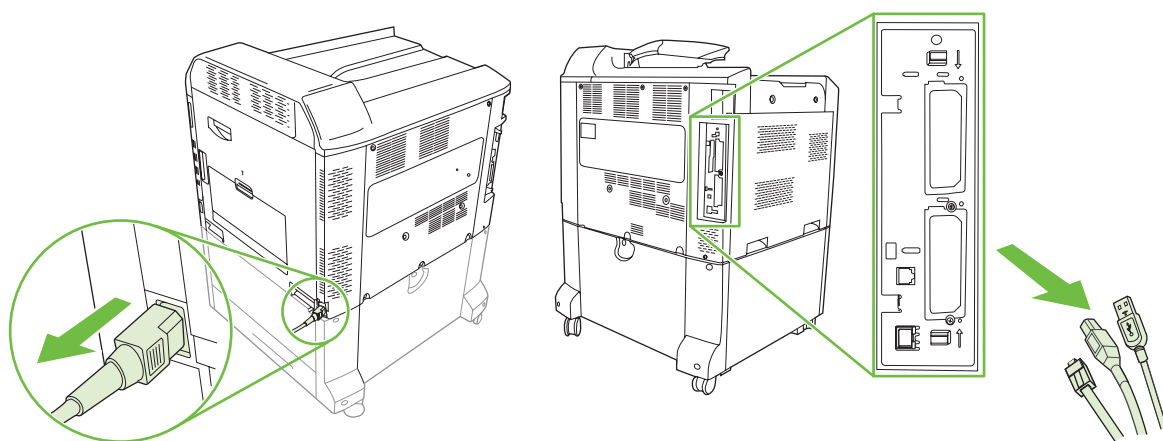
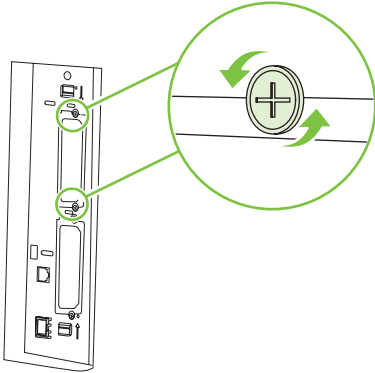
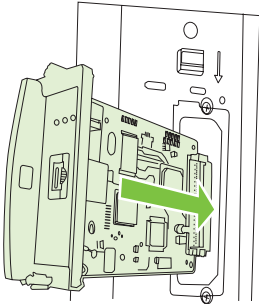
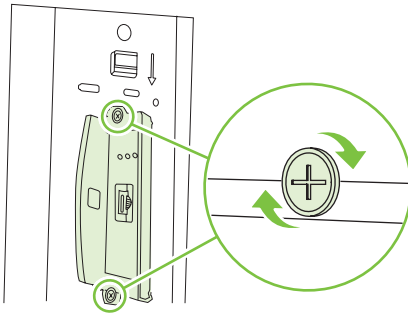
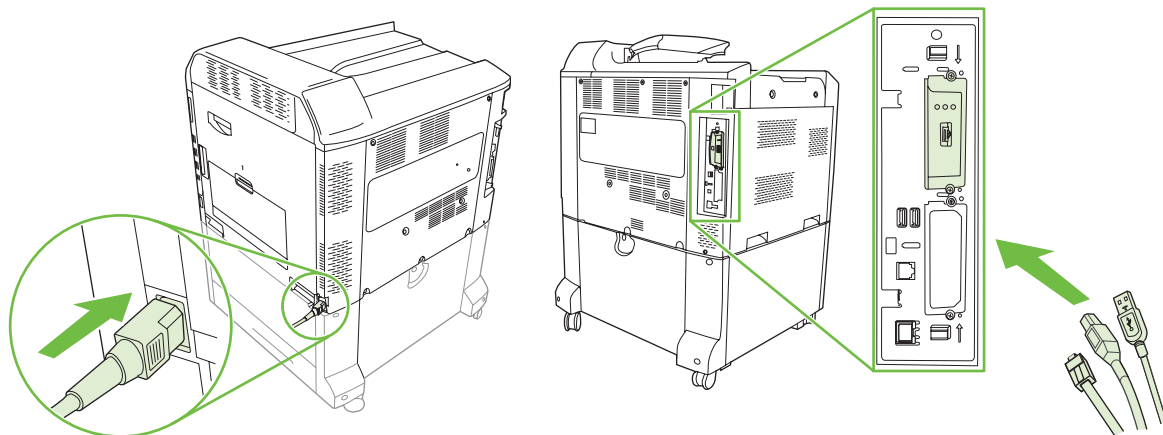
   または

   Windows Vista: **[スタート]**、**[コントロール パネル]** の順にクリックし、**[ハードウェアとサウンド]** カテゴリで **[プリンタ]** をクリックします。

2. ドライバ アイコンを右クリックし、**[プロパティ]**を選択します。
3. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。
4. **[インストール可能オプション]** 領域を展開します。
5. **[プリンタのメモリ]** の横に表示されるインストール済みメモリの合計容量を選択します。
6. **[OK]** をクリックします。

HP Jetdirect または EIO プリント サーバ カード、EIO ハード ディスクの取り付け

プリンタには、外付け I/O (EIO) スロットが 2 個あります。 空いているスロットに HP Jetdirect プリント サーバ カードまたはハード ディスクを取り付けることができます。

1. プリンタの電源を切ります。

2. 電源コードおよびインターフェイス ケーブルをすべて抜きます。

3. 空いている EIO スロットを見つけます。EIO スロットのカバーを固定している 2 本のネジを緩め、カバーを取り外します。取り外したネジとカバーは不要です。破棄しても差し支えありません。

4. HP Jetdirect プリント サーバー カードを EIO スロットにしっかりと差し込みます。

5. プリント サーバー カードに付属する固定ネジを差し込んで締めます。

6. 電源ケーブルと残りのインタフェース ケーブルをつなぎ直し、プリンタの電源を入れます。

7. 設定ページを印刷します。ネットワークの設定とステータス情報を示す HP Jetdirect 設定ページも印刷されるはずです。

   このページが印刷されない場合は、プリンタの電源を切り、プリント サーバ カードをいったん取り外してから、スロットにしっかりと差し込んでください。

8. 次のいずれかの手順を実行します。

   - 正しいポートを選択します。具体的な方法については、コンピュータまたはオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
   - ソフトウェアを再インストールし、そのときにネットワーク インストールを選択します。

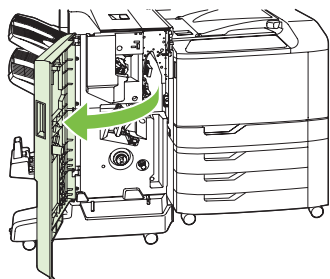
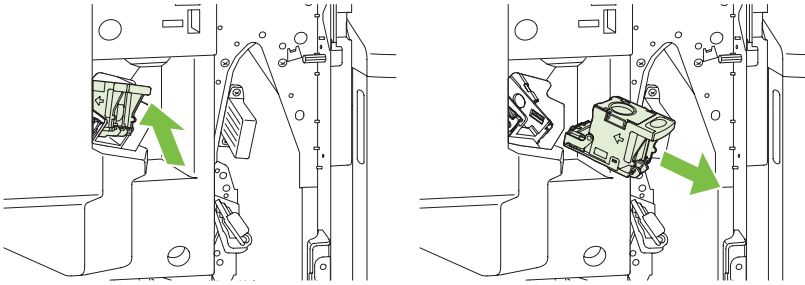
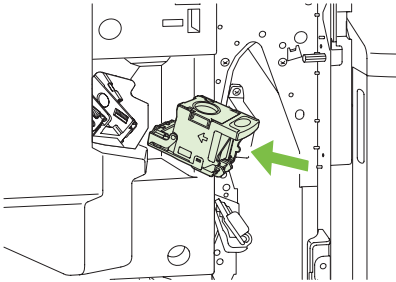
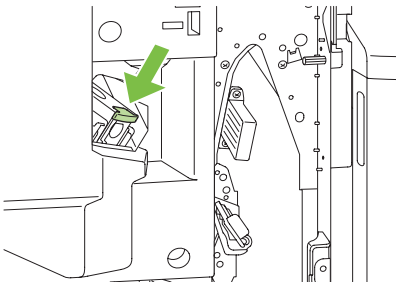
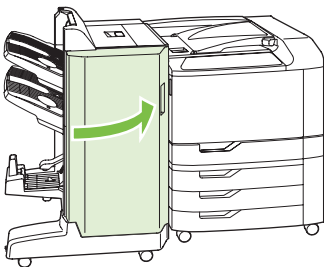
ステイプル カートリッジの交換

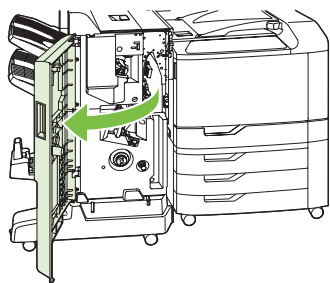
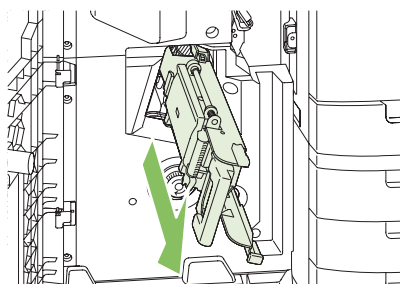
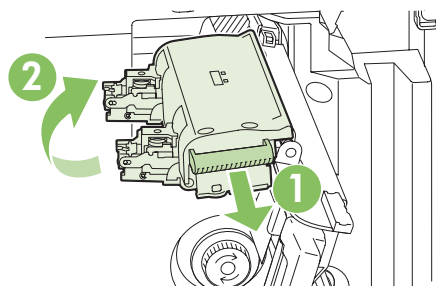
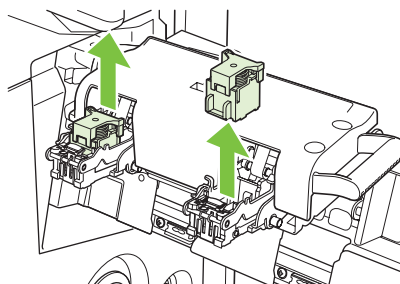
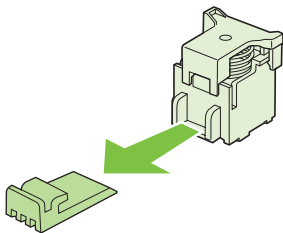
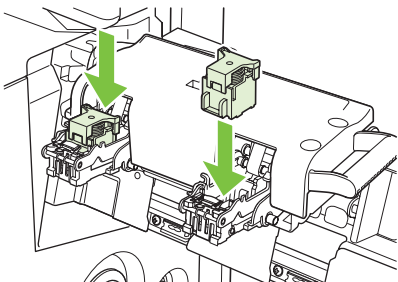
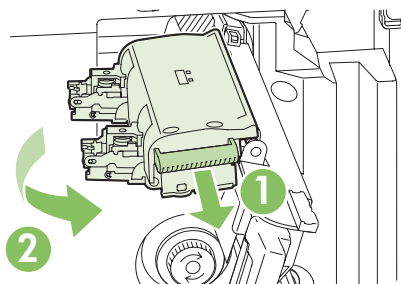
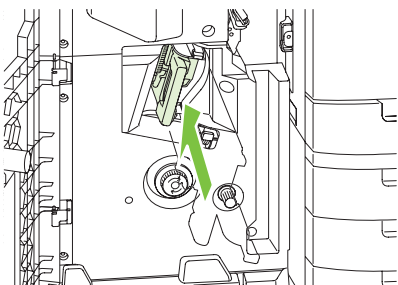
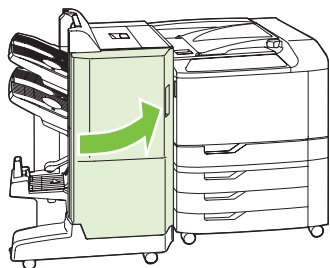
ステイプル留めの途中で、オプションの HP 3 ビン ステイプラ/スタッカ アクセサリまたは HP ブックレット メーカー/フィニッシャ アクセサリのステイプルがなくなった場合は、プリンタが自動的に停止します (停止するように設定している場合)。ステイプルがなくなっても印刷を続行するように設定している場合は、ステイプル留めを行わずに印刷が続けられます。

注記： ステイプラ/スタッカまたはブックレット メーカーのステイプルがなくなった場合のみ、ステイプル カートリッジ ユニットを交換してください。その他の場合にステイプル カートリッジを取り外すと、エラーが発生する可能性があります。

注記： ステイプラ/スタッカまたはブックレット メーカーのステイプルがなくなると、ステイプラ ユニットは自動的にデフォルトの位置に戻ります。

ステイプル カートリッジの交換

1. ブックレット メーカーまたはステイプラ/スタッカの正面ドアを開きます。

2. ステイプル カートリッジを押し上げて、ブックレット メーカーまたはステイプラ/スタッカから取り外します。

3. 交換用のステイプル カートリッジ ユニットをステイプラ ユニットに挿入します。

4. カチッと音がして所定の位置まで収まるまで、ステイプル カートリッジ ユニットをステイプラ ユニットに押し込みます。

5. 正面ドアを閉じます。

ブックレット メーカーの中綴じステイプル カートリッジの交換

1. ブックレット メーカーの正面ドアを開きます。

2. 青いハンドルをつかみ、ステイプル カートリッジをブックレット メーカーから引き出します。

3. ステイプル カートリッジ ユニットの小さな青色のハンドルをつかんで手前に引き出し、ステイプル カートリッジ ユニットを回転させて垂直に立てます。

4. 各ステイプル カートリッジの端をしっかりとつかんで引き上げ、ステイプル カートリッジをステイプル カートリッジ ユニットから取り外します。

5. 新しいカートリッジを取り出し、プラスチック製の梱包用キャップを取り外します。

6. カートリッジとステイプル カートリッジ ユニットの矢印が一致するように新しいカートリッジを持ち、ステイプル カートリッジ ユニットに挿入します。

7. ステイプル カートリッジ ユニットのハンドルを手前に引き出し、下に回転させて元の位置に戻します。ロックされる位置までハンドルを押します。

8. ステイプル カートリッジをブックレット メーカー/フィニッシャに押し込みます。

9. ブックレット メーカーの正面ドアを閉じます。

プリンタのクリーニング

プリンタを使っているうちに、トナーや細かいほこりが内部にたまる場合があります。これが原因で、印刷の品質が落ちることがあります。プリンタをクリーニングすると、このような問題を防止または軽減できます。

プリント カートリッジを交換したときや、印刷の品質が低下したときは、用紙経路とプリント カートリッジ付近をクリーニングします。可能な限り、プリンタに埃やごみがたまらないようにしてください。

外装のクリーニング

やわらかい湿った糸くずの出ない布を使用して、デバイスの外装からほこり、染み、汚れを拭き取ります。

トナー漏れのクリーニング

衣服や手にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。お湯で洗うと染みになります。

ファームウェアのアップグレード

プリンタには、リモート ファームウェア アップデート (RFU) 機能があります。ここでは、プリンタのファームウェアをアップグレードする方法を説明します。

現在のファームウェア バージョンの確認

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して、**情報** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して **設定の印刷** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

ファームウェアのデートコードは、設定ページの **プリンタ情報** セクションに表示されます。ファームウェアのデートコードの形式は、 YYYYMMDD XX.XXX.X です。最初の文字列は日付で、YYYY は年、MM は月、DD は日を表します。たとえば、
20061125

で始まるファームウェアのデートコードは 2006 年 11 月 25 日を表します。

HP Web サイトからの新しいファームウェアのダウンロード

ファームウェアの最新バージョンがあるかどうかを調べるには、www.hp.com/go/cljcp6015_firmware にアクセスします。このページには、新しいファームウェア バージョンをダウンロードする手順が記載されています。

新しいファームウェアのプリンタへの転送

注記： プリンタが「印刷可」状態のときに、.RFU ファイルのアップデートを受け取ることができます。

アップデートに必要な時間は、I/O 転送時間とプリンタの再初期化にかかる時間によって異なります。I/O 転送時間は、ホスト コンピュータがアップデートを送信する速度など、いくつかの要素によって異なります。ファームウェアのダウンロードが終了する前 (コントロール パネルのディスプレイに **アップグレードを受信しています** と表示されている間) に、リモート ファームウェアのアップデートが中断した場合は、ファームウェア ファイルをもう一度送信する必要があります。アップデート中 (コントロール パネルのディスプレイに **アップグレードを実行しています** と表示されている間) に電源が切れると、アップデートが中止され、コントロール パネルのディスプレイに **アップグレードを再送信しています** というメッセージ (英語のみ) が表示されます。この場合は、USB ポートを使用してアップグレードを送信する必要があります。また、キューで RFU ジョブより前にあるすべてのジョブは、アップデート処理の前に完了されます。

FTP を使用してブラウザからファームウェアをアップロードする

注記： ファームウェアのアップデートは、不揮発性ランダム アクセス メモリ (NVRAM) のフォーマットの変更を伴います。デフォルト設定から変更されているメニュー設定がデフォルト設定に戻る可能性があり、デフォルトと異なる設定にする場合はもう一度変更する必要があります。

1. 設定ページを印刷して、EIO Jetdirect ページの TCP/IP アドレスをメモします。
2. ブラウザ ウィンドウを開きます。
3. ブラウザのアドレス フィールドに、「
   ftp://<アドレス>

」と入力します。この <アドレス> は、プリンタのアドレスです。たとえば、TCP/IP アドレスが 192.168.0.90 の場合は、「
ftp://192.168.0.90

」と入力します。

4. ダウンロードした .RFU ファイルの場所を確認します。

5. ブラウザ ウィンドウ内の **[PORT]** アイコンに .RFU ファイルをドラッグ アンド ドロップします。

注記： プリンタの電源が自動的に切れて、もう一度入り、アップデートが有効になります。アップデートが完了すると、コントロールパネルに **印字可** と表示されます。

Microsoft Windows で FTP を使用してネットワーク接続でファームウェアをアップグレードする

注記： ファームウェアのアップデートは、不揮発性ランダム アクセス メモリ (NVRAM) のフォーマットの変更を伴います。デフォルト設定から変更されているメニュー設定がデフォルト設定に戻る可能性があり、デフォルトと異なる設定にする場合はもう一度変更する必要があります。

1. HP Jetdirect ページの IP アドレスをメモします。HP Jetdirect ページは、設定ページを印刷したときに 2 ページ目に印刷されるページです。

   注記： ファームウェアをアップグレードする前に、プリンタがスリープ モードになっていないことを確認します。また、コントロール パネルのディスプレイですべてのエラーが修正されていることも確認します。

2. コンピュータで MS-DOS コマンド プロンプトを開きます。

3. ファームウェアが保存されているフォルダに移動します。

4. 次の文字列を入力します。ftp TCP/IP ADDRESS> たとえば、TCP/IP アドレスが 192.168.0.90 の場合は、「ftp 192.168.0.90」と入力します。

5. キーボードの Enter キーを押します。

6. ユーザー名の入力を求められたら、Enter キーを押します。

7. パスワードの入力を求められたら、Enter キーを押します。

8. コマンド プロンプトで「bin」と入力します。

9. Enter キーを押します。**[200 Types set to I, Using binary mode to transfer files]** というメッセージがコマンド ウィンドウに表示されます。

10. 「put」、次にファイル名を入力します (たとえば、ファイル名が CP6015.rfu の場合は、「CP6015.rfu」と入力します)。

11. ダウンロードが開始され、プリンタのファームウェアが更新されます。これには数分かかることがあります。プリンタやコンピュータを操作せずに、処理が終わるまで待ちます。

    注記： アップグレードが完了したら、プリンタの電源が自動的に切れ、もう一度入ります。

12. コマンド プロンプトで「bye」と入力して、ftp コマンドを終了します。

13. コマンド プロンプトで「exit」と入力して、Windows インターフェイスに戻ります。

HP Web Jetadmin を使用してファームウェアをアップグレードする

この手順では、コンピュータに HP Web Jetadmin Version 7.0 以降をインストールしている必要があります。149 ページの 「HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用」を参照してください。HP の Web サイトから .RFU ファイルをダウンロードしたら、次の手順に従って、HP Web Jetadmin を使用して 1 台のプリンタを更新します。

1. HP Web Jetadmin を起動します。
2. **[Navigation]** パネルのドロップダウン リストで **[Device Management]** フォルダを開きます。**[Device Lists]** フォルダに移動します。
3. **[デバイス リスト]** フォルダを展開して、**[すべてのデバイス]** を選択します。デバイスのリストで、アップデートするプリンタをクリックします。

   複数の HP Color LaserJet CP6015 シリーズ プリンタのファームウェアをアップグレードする場合は、Ctrl キーを押しながらプリンタの名前をクリックして、必要なプリンタをすべて選択します。
4. ウィンドウの右上隅にある **[Device Tools]** のドロップダウン ボックスを見つけます。アクション リストから **[Update Printer Firmware]** を選択します。
5. **[All Available Images]** ボックスに .RFU ファイルの名前が表示されていない場合は、**[Upload New Firmware Image]** ダイアログ ボックスの **[Browse]** をクリックし、この手順の開始時に Web サイトからダウンロードした .RFU ファイルの場所に移動します。ファイル名が表示されている場合は、ファイル名を選択します。
6. **[Upload]** をクリックして、.RFU ファイルをハード ドライブから HP Web Jetadmin サーバーに移動します。アップロードが完了したら、ブラウザ ウィンドウが更新されます。
7. **[Printer Firmware Update]** ドロップダウン メニューで .RFU ファイルを選択します。
8. **[ファームウェアのアップデート]** をクリックします。選択した .RFU ファイルがプリンタに送信されます。コントロール パネルには、アップグレードの進行状況を示すメッセージが表示されます。アップグレード処理の最後に、コントロール パネルに **印字可** というメッセージが表示されます。

MS-DOS コマンドを使用して、USB 接続でファームウェアをアップグレードする

ネットワーク接続を使用してファームウェアを更新するには、次の手順を実行します。

1. コマンド プロンプト (MS-DOS ウィンドウ) で、「
   copy /B ファイル名> ¥¥コンピュータ名>¥共有名>

   」と入力します。ここで、<ファイル名> はパスを含む .RFU ファイルの名前、<コンピュータ名> はプリンタを共有しているコンピュータの名前、<共有名> はプリンタの共有名です。例 : C:¥>copy /b C:¥6015FW.RFU ¥¥YOUR_Computer¥cljcp6015

   注記： ファイル名またはパスにスペースが含まれている場合、ファイル名またはパスを引用符で囲む必要があります。たとえば、「
   C:¥>copy /b "C:¥MY DOCUMENTS¥6015FW.RFU" ¥¥YOUR_computer¥cljcp6015

   」のように入力します。
2. キーボードの Enter キーを押します。コントロール パネルに、ファームウェアのアップグレードの進捗状況を表すメッセージが表示されます。アップグレード処理の最後に、コントロール パネルに **印字可** というメッセージが表示されます。**1 ファイルがコピーされました** というメッセージが、コンピュータの画面に表示されます。

HP Jetdirect ファームウェアのアップグレード

プリンタの HP Jetdirect ネットワーク インタフェースには、プリンタのファームウェアとは別にアップグレードするファームウェアがあります。この手順では、コンピュータに HP Web Jetadmin Version 7.0 以降をインストールしている必要があります。149 ページの 「HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用」を参照してください。HP Web Jetadmin を使用して HP Jetdirect ファームウェアを更新するには、次の手順に従います。

1. HP Web Jetadmin プログラムを起動します。
2. **[Navigation]** パネルのドロップダウン リストで **[Device Management]** フォルダを開きます。**[Device Lists]** フォルダに移動します。
3. 更新するプリンタを選択します。
4. **[Device Tools]** ドロップダウン リストで、**[Jetdirect Firmware Update]** を選択します。
5. **[Jetdirect firmware version]** の下に HP Jetdirect のモデル番号および現在のファームウェア バージョンが表示されます。これらの情報を書き留めてください。
6. www.hp.com/go/wja_firmware にアクセスします。
7. HP Jetdirect のモデル番号の一覧にスクロールダウンし、書き留めたモデル番号を見つけます。
8. モデルの現在のファームウェア バージョンを見て、メモしたバージョンより新しいかどうかを調べます。新しい場合はファームウェアのリンクを右クリックし、Web ページに表示される手順に従って、新しいファームウェア ファイルをダウンロードします。ファイルの保存先は、HP Web Jetadmin ソフトウェアが実行されているコンピュータの [<drive>:¥PROGRAM FILES¥HP WEB JETADMIN¥DOC¥PLUGINS¥HPWJA¥FIRMWARE¥JETDIRECT] フォルダである必要があります。
9. HP Web Jetadmin で、メイン プリンタ リストに戻り、デジタル送信機能をもう一度選択します。
10. **[Device Tools]** ドロップダウン リストで、**[Jetdirect Firmware Update]** を再度選択します。
11. HP Jetdirect ファームウェア ページで、ファームウェアの新しいバージョンが **[Jetdirect Firmware Available on HP Web Jetadmin]** の下に表示されます。**[Update Firmware Now]** ボタンをクリックして Jetdirect ファームウェアを更新します。

12 問題の解決

一般的な問題の解決

プリンタが正しく応答しない場合は、次のチェックリストに示す操作を順番どおり行ってください。手順の途中で、指示どおり操作できなくなった場合は、対応するトラブルの解決手順に従ってください。特定の手順を終了したところで問題が解決された場合は、チェックリストの後続の手順を実行する必要はなく、そこで作業を終了できます。

トラブルシューティングのチェックリスト

1. プリンタの印字可ランプが点灯していることを確認します。ランプが点灯していない場合は、次の手順を実行します。

   a. 電源ケーブルの接続を確認します。

   b. 電源スイッチがオンになっていることを確認します。

   c. 電源電圧がプリンタの電源設定に適合していることを確認します (電圧仕様については、プリンタ背面のラベルを参照してください)。テーブルタップの電圧が仕様に合っていない場合は、プリンタを壁のコンセントに直接差し込みます。既に壁のコンセントを使用している場合は、別のコンセントで試してみます。

   d. 同じ電気回路のコンセントを使用しているプリンタのコードはすべて抜きます。

   e. いずれの方法でも電源が回復しない場合は HP カスタマ ケアまでご連絡ください。

2. ケーブル接続を確認します。

   a. プリンタとコンピュータまたはネットワーク ポートとの間のケーブル接続を調べ、 しっかり接続されていることを確認します。

   b. 可能な場合は別のケーブルを使用して、ケーブル自体に不具合がないかどうかを確認します。

   c. ネットワーク接続を確認します。252 ページの 「ネットワーク印刷に関するトラブルの解決」を参照してください。

3. プリンタのステータスが「印字可」になっている場合は、コントロール パネルのディスプレイに何かメッセージが表示されていないかどうかを確認します。エラー メッセージが表示されている場合は、182 ページの 「コントロール パネルのメッセージ」を参照してください。

4. 使用している印刷用紙が仕様を満たしていることを確認します。

5. 設定ページを印刷します (142 ページの 「情報ページ」を参照してください。HP Jetdirect ページも印刷されます)。

   a. 設定ページが印刷されない場合は、用紙がセットされているトレイが少なくとも 1 つあることを確認します。

   b. 紙詰まりがある場合は、204 ページの 「紙詰まり」を参照してください。

6. 設定ページが印刷された場合は、次の項目を確認します。

   a. 設定ページが正しく印刷される場合は、プリンタのハードウェアが正常に動作しています。問題は、ご使用のコンピュータ、プリンタ ドライバ、またはプログラムにあります。

   b. ページが正しく印刷されない場合は、プリンタのハードウェアに問題があります。HP カスタマ サポートに問い合わせてください。

7. 次のオプションのいずれかを選択します。

Windows: **[スタート]** をクリックし、**[設定]** をポイントして、**[プリンタ]** または **[プリンタとFAX]** をクリックします。**[HP Color LaserJet CP6015]** をダブルクリックします。

または

Mac OS X の場合： **[プリント センター]** (Mac OS X v. 10.3 の場合は **[プリンタ設定ユーティリティ]**) を開き、**[HP Color LaserJet CP6015]** の行をダブルクリックします。

8. HP Color LaserJet CP6015 シリーズのプリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。プログラムを確認して、HP Color LaserJet CP6015 シリーズのプリンタ ドライバが使用されていることを確認します。

9. 過去に正しく機能していた別のプログラムを使用して、簡単なドキュメントを印刷します。これで問題が解決される場合は、問題はご使用のプログラムにあります。これで問題が解決されない (ドキュメントが印刷されない) 場合は、次の手順を実行してください。

   a. プリンタ ソフトウェアがインストールされている別のコンピュータから印刷してみます。

   b. プリンタをネットワークに接続している場合は、USB ケーブルを使用して、プリンタをコンピュータに直接接続します。プリンタを正しいポートに付け替えるか、ソフトウェアを再インストールして新しい接続方法を選択します。

出荷時の設定に戻す

プリンタを出荷時の設定に戻すには、**リセット** メニューを使用します。

1. メニュー ボタンを押します。

2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

3. 下矢印ボタン ▼ を押して、**リセット メニュー** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

4. 下矢印ボタン ▼ を押して **出荷時の設定に戻す**を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

詳しくは、42 ページの 「リセット メニュー」を参照してください。

プリンタの性能に影響を与える要因

印刷の所要時間は、次のような要因に影響されます。

- 1 分あたりのページ数 (ppm) で測定されるプリンタの最高速度
- 特殊な用紙の使用 (OHP フィルム、厚手の用紙、カスタム サイズの用紙など)
- プリンタの処理時間とダウンロード時間
- グラフィックスの複雑さおよびサイズ
- 使用しているコンピュータの速度
- USB 接続
- プリンタの I/O 設定
- 搭載しているプリンタ メモリの容量

- ネットワーク オペレーティング システムおよび構成 (使用可能な場合)
- プリンタのパーソナリティ (HP JetReady、PCL、または PS)

注記： プリンタ メモリを増設すると、メモリの問題が解決したり、複雑なグラフィックスの処理が向上したり、ダウンロード時間が短縮されたりしますが、最高印刷速度 (ppm) は変わりません。

中間色の自動校正

中間色をきれいに印刷するために、プリンタでトナーの混合が定期的に自動調整されるように設定できます。ページの中央にカラーの帯が入ったページが定期的に印刷される場合は、[自動中間色校正] オプションが有効になっています。デフォルトは、**オフ** です。このオプションを無効にすると、このページが印刷されないようになります。

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して **印刷品質** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押して **中間色の自動校正** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
5. 下矢印ボタン ▼ を押して **オフ** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

コントロール パネルのメッセージのタイプ

プリンタのステータスや問題を示すメッセージには、次の 4 種類あります。

メッセージの種類	説明
ステータス メッセージ	現在のプリンタの状態を示します。プリンタの動作状態を表しているので、メッセージを消す必要はありません。プリンタの状態が変わるとメッセージも変わります。プリンタがオンラインになっていて、使用中ではなく印刷待ちの状態で、保留の警告メッセージもない場合は常に「**印字可**」と表示されます。
警告メッセージ	警告メッセージは、データおよび印刷エラーをユーザーに通知します。通常、これらのメッセージは、**印字可** やステータス メッセージの代わりに表示され、チェックマーク ボタン ✓ を押すまで表示されたままになります。クリア可能な警告メッセージもあります。**解除可能な警告** を **ジョブ** に設定している場合は、次の印刷ジョブを受信するとこれらのメッセージが消去されます。
エラー メッセージ	エラー メッセージは、用紙の補給や紙詰まりの解消など、何らかの処置が必要なことを通知します。 自動継続可能なエラー メッセージもあります。メニューで **自動継続** を設定している場合は、このエラー メッセージが 10 秒間表示された後、通常の動作が続行されます。 注記： この 10 秒間にボタンをどれか押すと、**自動継続** の設定が無効になり、押したボタンの機能が優先されます。たとえば、停止 ボタンを押すと印刷が停止し、ジョブをキャンセルするためのオプションが表示されます。
重大なエラー メッセージ	プリンタが故障していることを示します。プリンタの電源をいったん切って入れ直すとクリアできるメッセージもあります。**自動継続** 設定は、これらのメッセージに影響を及ぼしません。重大なエラー メッセージが消えない場合は、カスタマ ケア センタへご連絡ください。

コントロール パネルのメッセージ

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
<カラー> カートリッジの注文が必要。残り XXXX ページ未満	表示されたカートリッジの寿命が近づいています。印刷の準備はできているので、表示された推定残りページ数程度は印刷できます。このページ数は、このプリンタの使用履歴に基づいて計算されています。	新しいカートリッジを注文してください。カートリッジの交換が必要になるまで、印刷を続行できます。
<カラー> カートリッジを交換してください	検出されたプリント カートリッジが寿命に達しました。印刷は続行できます。	指定されたカラー カートリッジを交換します。155 ページの 「プリント カートリッジの交換」
<カラー> カートリッジを取り付けてください **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	プリント カートリッジが取り外されたか、正しく取り付けられていません。	プリント カートリッジを交換するか正しく取り付け直して、印刷を継続します。155 ページの 「プリント カートリッジの交換」 を参照してください。
<カラー> カートリッジを注文してください	表示されたプリント カートリッジの寿命が近づいています。 サプライ品の交換が必要になるまで印刷は続行されます。	新しいプリント カートリッジを注文してください。
<カラー> ドラムの注文が必要です。残り XXXX ページ未満です。	表示されたドラムの寿命が近づいています。印刷の準備はできているので、表示された推定残りページ数程度は印刷できます。このページ数は、このプリンタの使用履歴に基づいて計算されています。	新しいドラムを注文してください。ドラムの交換が必要になるまで、印刷を続行できます。
<カラー> ドラムを交換してください **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	サプライ品交換 メニューで [残量少で停止] が設定されています。表示されたイメージ ドラムの残量が下限を下回りました。	イメージ ドラムを交換するか、チェックマーク ボタン ✓ を押して、イメージ ドラムの寿命が切れるまで使用を続けます。 1. 正面のドアを開きます。 2. 該当するイメージ ドラムを交換します。 3. ドアを閉じます。
<カラー> ドラムを交換してください **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	表示されたイメージ ドラムが寿命に達しています。	イメージ ドラムを交換します。 1. 正面のドアを開きます。 2. 該当するイメージ ドラムを交換します。 3. ドアを閉じます。
<カラー> ドラムを取り付けてください **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	<カラー> に示されている色のドラムが外されているか、正しく取り付けられていません。	イメージ ドラムを交換するか付け直します。詳しくは、157 ページの 「イメージ ドラムの交換」 を参照してください。
<カラー> ドラムを注文してください。	表示されたドラムの寿命が近づいています。 サプライ品の交換が必要になるまで、印刷を続行できます。	新しいドラムを注文してください。
<カラー> のモーターを回転中 **終了するには 停止 を押します**	コンポーネント テストが実行されています。選択されたコンポーネントは <カラー> カートリッジ モーターです。	このテストを停止する準備が整ったら、**停止** を押します。
<レポート> を印刷中	表示されたレポートを印刷しています。印刷が終了すると、オンラインの [印字可] 状態に戻ります。	操作は必要ありません。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
<排紙ビン名> が一杯です **排紙ビンからすべての用紙を取り除きます**	特定の排紙ビンが一杯です。	ビンを空にして印刷を続行してください。排紙ビンには、標準の上部ビン、オプションの左上ビン、左中央ビン、下部ブックレットがあります。
10.32.00 純正品でないサプライ品 **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	純正品ではないプリント カートリッジが装着されています。	1. 純正のカートリッジを取り付けたのに同じメッセージが表示される場合は、HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) に問い合わせてください。 2. このプリント カートリッジをそのまま使用する場合は、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
10.91.00 プリント カートリッジ エラー **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ** **黒プリント カートリッジを交換してください** **続けるには、電源を切り、入れ直します**		黒プリント カートリッジが故障しているので、交換する必要があります。メッセージを書き留めて、サポート担当者に連絡してください。カートリッジを交換したら、プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。
10.91.09 プリント カートリッジ エラー **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ** **カラー プリント カートリッジを交換してください** **続けるには、電源を切り、入れ直します**		シアン、マゼンタ、またはイエローのプリント カートリッジが故障しているので、交換する必要があります。メッセージを書き留めて、サポート担当者に連絡してください。カートリッジを交換したら、プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。
10.91.XY <カラー> カートリッジを交換してください	トナーの補充エラーが発生しました。	プリント カートリッジを交換します。 それでも問題が解決しない場合は、対応するイメージ ドラムを交換してください。
10.XX.YY サプライ品のメモリ エラー **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	プリント カートリッジに、読み書きできない e-ラベルがあるか、e-ラベルがありません。	プリント カートリッジを付け直すか、新しいプリント カートリッジを取り付けます。
10.XX.YY サプライ品のメモリ エラー **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	読み書きできないイメージ ドラムがあります。 10.10.00-10.10.03：プリント カートリッジの e ラベルがありません。 10.10.05-10.10.08：イメージ ドラムの e ラベルがありません。 10.00.00-10.00.03：プリント カートリッジ e ラベルが壊れています。 10.00.05-10.00.08：イメージ ドラムの e ラベルが壊れています。	1. 正面のドアを開きます。 2. 該当するイメージ ドラムを交換します。 3. ドアを閉じます。
11.XX 内部クロック エラー **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	プリンタのリアル タイム クロックでエラーが発生しました。	プリンタの電源を入れ直したときは、常に、コントロール パネルで日付と時刻を設定します。詳しくは、12 ページの 「コントロール パネルの使用」を参照してください。 それでもエラーが解決しない場合は、フォーマッタの交換が必要な場合があります。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
13.12.XX 左アクセサリでの紙詰まり	サードパーティ製の排紙アクセサリで紙詰まりが発生しています。	1. 画面に表示される手順に従い、詰まった用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いてもメッセージが消えない場合は、HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) に連絡してください。
13.JJ.NT トランスファーとフューザでの紙詰まり	右ドア内のトランスファーまたはフューザで紙詰まりが発生しています。	注意： プリンタの使用中はフューザが高温になっています。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。 1. 右のドアを開きます。 2. トランスファー アクセス パネルを開き、詰まっている用紙をすべて取り除きます。 3. フューザを取り外し、詰まっている用紙をすべて取り除きます。 4. フューザを再び取り付けて、トランスファー アクセス パネルを閉じます。 5. 右のドアを閉じます。
13.JJ.NT トランスファー部分での紙詰まり	右ドア内のイメージ トランスファーで紙詰まりが発生しています。	1. 右のドアを開きます。 2. トランスファー アクセス パネルを開きます。 3. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。 4. トランスファー アクセス パネルを閉じます。 5. 右のドアを閉じます。
13.JJ.NT トレイ <X> の紙詰まり	表示されたトレイで紙詰まりが発生しています。	1. 表示されたトレイを開きます。 2. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。 3. チェックマーク ボタン ✓ を押します。
13.JJ.NT トレイ 1 の紙詰まり	トレイ 1 で紙詰まりが発生しています。	1. トレイ 1 に詰まっている用紙をすべて取り除きます。 2. チェックマーク ボタン ✓ を押します。
13.JJ.NT フューザ巻きつきによる紙詰まり	フューザで紙詰まりが発生しています。	注意： プリンタの使用中はフューザが高温になっています。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。 1. 右のドアを開きます。 2. フューザの青いレバーをロック解除位置まで回します。 3. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		4. 青いレバーをロック位置まで回します。 5. 右のドアを閉じます。 今後の紙詰まりを防ぐには、**薄手メディア**印刷モードを **オン** に設定します。詳しくは、21 ページの 「印刷品質メニュー」を参照してください。
13.JJ.NT フューザ部分での紙詰まりです	両面印刷ユニットと紙送り付近で紙詰まりが発生しました。	注意： プリンタの使用中はフューザが高温になっています。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。 1. 右のドアを開きます。 2. フューザの青いレバーをロック解除位置まで回します。 3. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。 4. 青いレバーをロック位置まで回します。 5. 右のドアを閉じます。
13.JJ.NT 右ドア内部での紙詰まり	右ドア内の両面印刷ユニットと紙送り付近で紙詰まりが発生しています。	1. 右のドアを開きます。 2. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。 3. 右のドアを閉じます。
13.JJ.NT 右下ドア内部での紙詰まり	右下ドア付近で紙詰まりが発生しています。	1. 右下のドアを開きます。 2. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。 3. 右下のドアを閉じます。
13.JJ.NT 上部カバー内での紙詰まり	上部カバーで紙詰まりが発生しています。	1. 上部カバーを開きます。 2. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。 3. 上部カバーを閉じます。
13.JJ.NT 上部排紙ビンの上での紙詰まり	両面印刷ユニット付近で紙詰まりが発生しています。	1. 排紙ビンの上の両面印刷ユニット付近に詰まっているすべての用紙を取り除きます。 2. チェックマーク ボタン ✓ を押します。
20 メモリ不足 **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	プリンタに送ったデータの量が、プリンタのメモリを超えています。送信したマクロやソフト フォントが多すぎるか、複雑なグラフィックスが含まれている可能性があります。	チェックマーク ボタン ✓ を押して、転送済みのデータを印刷します (データの一部がなくなる可能性があります)。印刷ジョブのデータを少なくします。
22 EIO X バッファ オーバーフロー **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	指定されたスロット (x) の EIO カードに転送されたデータが多すぎます。誤った通信プロトコルを使用している可能性があります。	チェックマーク ボタン ✓ を押して、転送済みのデータを印刷します (データの一部がなくなる可能性があります)。 ホストの設定を確認してください。メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス代理店に問い合わせてください (HP サポート

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		パンフレットか、www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください)。
22 USB I/O バッファ オーバーフロー **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	プリンタの USB バッファがオーバーフローしました。	チェックマーク ボタン ✓ を押して、転送済みのデータを印刷します (データの一部がなくなる可能性があります)。 ホストの設定を確認してください。メッセージが消えない場合は、HP の 正規サービス代理店に問い合わせてください (HP サポートパンフレットか、www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください)。 メッセージが消えない場合は、HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) に問い合わせてください。
22 内蔵 I/O バッファ オーバーフロー **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	内蔵 HP Jetdirect プリント サーバに送られたデータの量が多すぎます。	チェックマーク ボタン ✓ を押して、転送済みのデータを印刷します (データの一部がなくなる可能性があります)。 ホストの設定を確認してください。メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス代理店に問い合わせてください (HP サポートパンフレットか、www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください)。
40 EIO X 伝送不良	表示されたスロットの EIO カードとプリンタの接続が切断されました。	チェックマーク ボタン ✓ を押してエラーメッセージを消し、印刷を続行します。 EIO カードを付け直します。
40 シリアルの通信が不良です **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	データをコンピュータで送信する際に、シリアル データのエラー (パリティ、フレーミング、またはライン オーバーラン) が発生しました。	チェックマーク ボタン ✓ を押してエラーメッセージを消します (データがなくなります)。
40 内蔵 I/0 伝送不良 **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	一時的な印刷エラーが発生しました。	チェックマーク ボタン ✓ を押してエラーメッセージを消します (データがなくなります)。
41.3 トレイ <XX> の用紙は未設定のサイズです **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ** **トレイ <XX> [タイプ] [サイズ] のセット** **別のトレイを使うには✓ (チェックマーク ボタン) を押します。**	印刷するもののサイズと、トレイにある用紙のサイズが合っていません。	表示されたサイズと種類の用紙をトレイにセットするか、別のトレイを使用してください。
41.3 トレイ <XX> の用紙は未設定のサイズです **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ** **トレイ <XX> [タイプ] [サイズ] のセット** **別のトレイを使うには、✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	印刷するもののサイズと、トレイにある用紙のサイズが合っていません。	画面に表示されたサイズと種類の用紙をトレイにセットするか、別のトレイを使用してください。 別のトレイを使うには、✓ (チェックマーク ボタン) を押します。
41.5 トレイ <XX> の用紙は未設定のタイプです	設定している用紙の種類と、トレイにある用紙の種類が合っていません。	表示されたサイズと種類の用紙をトレイにセットするか、別のトレイを使用してください。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ **トレイ <X> [タイプ] [サイズ] のセット** **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**		別のトレイを使うには、✓ (チェックマーク ボタン) を押します。
41.5 トレイ <XX> の用紙は未設定のタイプです **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ** **トレイ <X> [タイプ] [サイズ] のセット** **別のトレイを使うには、✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	設定している用紙の種類と、トレイにある用紙の種類が合っていません。	表示されたサイズと種類の用紙をトレイにセットするか、別のトレイがある場合はそれを使用します。
41.7 エラー 継続する場合は、**[OK]** にタッチします。	レジストレーション領域に用紙が到達するのが遅れたため、紙詰まりが発生するところでした。	ヘルプ ボタン ? を押して詳細を確認します。 **クリアするには [✓] (チェックマーク ボタン) を押します。** 終了するには [?] を押します。 エラーが解消しない場合は、プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。 このエラーが再び表示される場合は、別のメディアを使用してください。 トラブルシューティングについて詳しくは、204 ページの 「紙詰まり」 を参照してください。
48.01 トランスファー ユニット エラー **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	印刷中にトランスファー ベルトが外れました。	プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。 メッセージが消えない場合は、HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) に問い合わせてください。
50.X フューザ エラー	フューザー エラーが発生しました。	正しいフューザが取り付けられていることを確認します。フューザを取付け直します。プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。 メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス代理店に問い合わせてください (HP サポート パンフレットか、www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください)。
51.<XY> エラー **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ** **51.<XY> エラー** **続けるには、電源を切り、入れ直します**	プリンタ エラーが発生しました。	プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。
52.<XY> エラー **続けるには、電源を切り、入れ直します**	プリンタ エラーが発生しました。	プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。
53.XY.ZZ RAM DIMM スロット <X> を確認	メモリ DIMM エラーが発生しました。 DIMM スロット 1 がフォーマッタ ボードの外側に向いています。 DIMM スロット 2 がハード	指定されたスロットにメモリ DIMM を取り付けます。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
	ディスクに最も近いフォーマッタ ボードの内側に向いています。	問題が解決しない場合は、メモリ DIMM を交換します。
54.<XX> エラー **続けるには、電源を切り、入れ直します**	プリンタの電源をいったん切って、入れ直す必要があります。	プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。 メッセージが消えない場合は、HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) に問い合わせてください。
55.XX.YY DC コントローラ エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します	プリント エンジンがフォーマッタと通信していません。	プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。 メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス代理店に問い合わせてください (HP サポート パンフレットか、www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください)。
56.X エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します	一時的な印刷エラーが発生しました。	プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。 メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス代理店に問い合わせてください (HP サポート パンフレットか、www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください)。
57.XX エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します	一時的な印刷エラーが発生しました。	プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。 メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス代理店に問い合わせてください (HP サポート パンフレットか、www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください)。
58.XX エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します	一時的な印刷エラーが発生しました。	プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。 メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス代理店に問い合わせてください (HP サポート パンフレットか、www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください)。
59.XY エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します	一時的な印刷エラーが発生しました。	プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。 メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス代理店に問い合わせてください (HP サポート パンフレットか、www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください)。
60.X エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します	**X** で指定されたトレイが正しく上げられていません。	プリンタのコントロール パネルの指示に従います。
66.XY.ZZ サービス エラー **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ** **66.XY.ZZ 入力デバイス エラー** **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	外部の用紙処理コントローラでエラーが発生しました。	1. プリンタの電源を切ります。 2. 外付け用紙処理デバイスのケーブルを抜き、接続し直します。 3. 電源を入れます。 4. 排紙ビンが上下するのを妨げているものが、用紙処理デバイスのそばにないことを確認します。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		メッセージが消えない場合は、HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) に問い合わせてください。
66.XY.ZZ 排紙デバイスの故障	外部の用紙処理アクセサリにエラーが発生しました。	1. プリンタの電源を切ります。 2. アクセサリが正しく取り付けられて、プリンタとアクセサリとの間に隙間がないことを確認してください。アクセサリでケーブルが使用されている場合は、ケーブルを抜き取ってから再び差し込みます。 3. 排紙装置内や排紙装置の周りに梱包材が残っていないことを確認してください。 4. プリンタの電源を入れます。 5. メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス代理店に問い合わせてください (HP サポート パンフレットか、www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください)。
68.X 永久記憶装置が一杯です **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	NVRAM がいっぱいです。NVRAM に保存されている設定の一部が、出荷時のデフォルト設定にリセットされた可能性があります。印刷は継続できますが、永久記憶装置でエラーが発生した場合は、予想外の動作が発生することがあります。	チェックマーク ボタン ✓ を押してメッセージを消します。メッセージが消えない場合は、プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。 メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポート パンフレットを参照するか、www.hp.com/support/cljcp6015 にアクセスしてください)。
68.X 永久記憶装置の書き込みに失敗 **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	プリンタの NVRAM に書き込めません。印刷は継続できますが、永久記憶装置でエラーが発生した場合は、予想外の動作が発生することがあります。	チェックマーク ボタン ✓ を押してメッセージを消します。メッセージが消えない場合は、プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。 それでもメッセージが消えない場合は、HP の正規サービス代理店に問い合わせてください (HP サポート パンフレットか、www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください)。
68.X 記憶装置エラー。設定が変更されました	プリンタの設定に無効なものがあります。出荷時のデフォルトにリセットされました。印刷は継続できますが、永久記憶装置でエラーが発生した場合は、予想外の動作が発生することがあります。	チェックマーク ボタン ✓ を押してメッセージを消します。メッセージが消えない場合は、プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。 それでもメッセージが消えない場合は、HP の正規サービス代理店に問い合わせてください (HP サポート パンフレットか、www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください)。
69.X エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します	一時的な印刷エラーが発生しました。	プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。 メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス代理店に問い合わせてください (HP

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		サポート パンフレットか、www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください)。
EIO <X> が機能しません **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	スロット <X> の EIO ディスクが正常に動作していません。	1. プリンタの電源を切ります。 2. 示されたスロットからディスクを取り外します。 3. 新しいディスクと交換します。 4. プリンタの電源を入れます。
EIO <X> ディスク始動中	スロット <X> の EIO ディスク デバイスのプラッタが回転しています。ディスクにアクセスするジョブは、待つ必要があります。	操作は必要ありません。
EIO <X> ディスク初期化中	表示された EIO ディスク デバイスを初期化しています。	操作は必要ありません。
EIO デバイス エラー **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	表示されたデバイスでエラーが発生しました。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
EIO は書き込み禁止です **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	ファイル システム デバイスが書き込み禁止に設定されているため、新しいファイルを書き込むことができません。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
EIO ファイル システムが一杯です **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	ファイル システムに空き容量がないため、PJL ファイル システム コマンドでファイル システムに何かを保存できませんでした。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
EIO ファイルの操作に失敗しました **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	PJL ファイル システム コマンドが、非論理的な処理を行おうとしました。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
HP 製ではないサプライ品が使用されています **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	HP 製以外のサプライ品が使用されています。	HP 製のサプライ品が HP 以外のものと交換されています。HP 製以外のサプライ品を使用したことが原因で修理が必要になっても、保証の対象にはなりません。機能が正常に動作しなかったり、不正確になったりする可能性があります。
HP 製ではないサプライ品が取り付けられています	再生品か模造品のカラーまたはモノクロ カートリッジが装着されました。これまでは、すべて HP 純正のサプライ品が使用されていました。このメッセージは、純正のカートリッジから、純正品以外に切り替えた場合にも表示されます。	HP 純正のカートリッジを装着するか、チェックマーク ボタン ✓ を押してメッセージを無効にします。
RAM ディスク デバイス エラー **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	表示されたデバイスでエラーが発生しました。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
RAM ディスクは書き込み禁止です **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	ファイル システム デバイスが書き込み禁止に設定されているため、新しいファイルを書き込むことができません。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
RAM ディスク ファイル システムが一杯です **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	ファイル システムに空き容量がないため、PJL ファイル システム コマンドでファイル システムに何かを保存できませんでした。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
RAM ディスク ファイルの操作に失敗しました **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	PJL ファイル システム コマンドが、非論理的な処理を行おうとしました。	チェックマーク ボタン ? を押してクリアします。
RFU ロード エラー <X> ポートで RFU を送信	ファームウェアのアップグレード中にエラーが発生しました。	メッセージが消えない場合は、HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) に問い合わせてください。
ROM ディスク デバイス エラー **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	表示されたデバイスでエラーが発生しました。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
ROM ディスクは書き込み禁止です **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	ファイル システム デバイスが書き込み禁止に設定されているため、新しいファイルを書き込むことができません。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
ROM ディスク ファイル システムが一杯です **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	ファイル システムに空き容量がないため、PJL ファイル システム コマンドでファイル システムに何かを保存できませんでした。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
ROM ディスク ファイルの操作に失敗しました **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	PJL ファイル システム コマンドが、非論理的な処理を行おうとしました。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
USB アクセサリ エラー **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	このメッセージは、接続された USB アクセサリが電力を消費しすぎる場合に表示されます。その場合、ACC ポートが無効になり、印刷は停止します。	印刷は継続できます。USB デバイスを取り外す必要があります。
USB 記憶装置 <X> は機能していません **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	USB 記憶装置のパラメータが正常に動作していません。	1. プリンタの電源を切ります。 2. USB 記憶装置アクセサリを新しいものに交換します。
USB 記憶装置 <X> は取り外されました **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	USB 記憶装置アクセサリが取り外されました。	1. プリンタの電源を切ります。 2. USB 記憶装置アクセサリを接続し直します。 3. プリンタの電源を入れます。
USB 記憶装置デバイス エラー **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	表示されたデバイスでエラーが発生しました。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
USB 記憶装置は書き込み禁止です **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	ファイル システム デバイスが書き込み禁止に設定されているため、新しいファイルを書き込むことができません。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
USB 記憶装置ファイル システムに空き容量がありません **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	ファイル システムに空き容量がないため、PJL ファイル システム コマンドでファイル システムに何かを保存できませんでした。	チェックマーク ボタン ? を押してクリアします。
USB 記憶装置ファイルの操作に失敗しました **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	PJL ファイル システム コマンドが、非論理的な処理を行おうとしました。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
アップグレードを再送信しています	ファームウェアのアップグレードが正常に終了しませんでした。	アップグレードを再試行します。
アップグレードを受信中	ファームウェアをアップグレードしています。	印字可 に戻るまで、プリンタの電源を切らないでください。
イベント ログをクリアしています	このメッセージは、イベント ログのクリア時に表示されます。イベント ログが消去されると、メニューが終了します。	操作は必要ありません。
ウォーミングアップ中	パワーセーブ モードが解除されました。	操作は必要ありません。
オプション トレイの接続が不良です	オプションのトレイが接続されていません。	1. プリンタの電源を切ります。 2. オプションのトレイを取り外して付け直します。 エラーメッセージが消えない場合は、HP の正規サービス代理店に問い合わせてください。HP サポート パンフレットか www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください。
カード スロット <X> 機能していません **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	スロット <X> のコンパクト フラッシュ カードが正常に動作していません。	示されたスロットからカードを取り外し、新しいカードに交換します。
カード スロット デバイス エラー **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	表示されたデバイスでエラーが発生しました。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
カード スロットは書き込み禁止です **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	ファイル システム デバイスが書き込み禁止に設定されているため、新しいファイルを書き込むことができません。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
カード スロット ファイル システムが一杯です **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	ファイル システムに空き容量がないため、PJL ファイル システム コマンドでファイル システムに何かを保存できませんでした。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
カード スロット ファイルの操作に失敗しました **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	PJL ファイル システム コマンドが、非論理的な処理を行おうとしました。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
カートリッジとドラムのペアを取り外すか取り付けます	このメッセージは、カートリッジの確認を無効にするときに、同じ色のプリント カートリッジとイメージ ドラムが外されていない場合に表示されます。	同じ色のカートリッジとドラムを、取り外すか取り付けます。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
	終了するには、停止 ボタンを押します。	
カラー RFU エラー <X> ポートで RFU 送信	ファームウェアのアップグレード中にエラーが発生しました。	メッセージが消えない場合は、HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) に問い合わせてください。
カラー バンド テストを実行中	カラー バンド テストが実行されています。	特に必要な操作はありません。
クリーニング中...	クリーニング ページの処理中です。	操作は必要ありません。
コード CRC エラー <X> ポートで RFU 送信	ファームウェアのアップグレード中にエラーが発生しました。	メッセージが消えない場合は、HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) に問い合わせてください。
サプライ品の注文	2 つ以上のサプライ品の交換が必要か、寿命が近づいています。	必要なサプライ品を注文してください。
サプライ品を取り付けてください **✓ (チェックマーク ボタン) を押しステータス表示**	交換する必要のあるサプライ品を確認するには、チェックマーク ボタン ✓ を押します。	サプライ品を装着するか、サプライ品が確実に装着されていることを確認してください。
サプライ品交換 **✓ (チェックマーク ボタン) を押しステータス表示**	2 つ以上のサプライ品の寿命が切れており、交換する必要があります。	交換する必要のあるサプライ品を表示するには、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
サプライ品交換 **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	少なくとも 2 つのサプライ品で印刷できる残りページ数が下限値に達しました。プリンタは、サプライ品を注文する必要がある場合に印刷を停止するように設定されています。	サプライ品が寿命に達するまで印刷を続けるには、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
サプライ品交換 - [空を無視] を使用中	サプライ品の寿命が切れた場合も印刷を続行するように設定されています。 注意： 上書きモードを使用すると、満足な印刷品質が得られないことがあります。なるべく「サプライ品交換 - [空を無視] を使用中」というメッセージが表示されたときに、サプライ品を交換してください。HP サプライ品プレミアム保護保証の適用は、サプライ品を上書きモードで使用した時点で終了します。	下矢印ボタン ▼ を押して、手順を確認します。
サプライ品交換 - 黒のみ使用	カラー サプライ (サプライ品) が空になったため、**カラー サプライがなくなりました** メニュー項目が **黒で自動継続** に設定されました。	印刷を続行するためのユーザー入力は不要です。印刷は黒で続行されます。カラー印刷するには、必要なカラー プリント カートリッジまたはドラムを交換してください。
しばらくお待ちください	データをクリアしています。	操作は必要ありません。
ジョブを保存できません	メモリ、または設定に問題があるため、ジョブを保存できません。	プリンタに増設メモリを取り付けます。
ステイプル カートリッジを注文してください **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	ステイプル カートリッジの残量が下限に達しました。ステイプルの交換が必要になるまで、印刷とステイプル留めが続行されます。	ステイプル カートリッジを注文してください。チェックマーク ボタン ✓ を押して印刷を続行します。
すべてのイメージ ドラムを取り外します **[停止] を押して終了します**	コンポーネントのテスト中にイメージ ドラムを取り外します。	1. 正面のドアを開きます。 2. すべてのイメージ ドラムを取り外します。 3. ドアを閉じます。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
すべてのカートリッジとドラムを取り外します	コンポーネントのテスト中にイメージ ドラムを取り外します。	1. 正面のドアを開きます。 2. イメージ ドラムとカートリッジを取り外します。 3. 正面のドアを閉じます。
スリープ モード オン	プリンタがスリープ モードです。ボタンを押すか、印刷可能データを受信するか、エラーが発生するとこのメッセージが消えます。	操作は必要ありません。
ソレノイドとモーター移動中 **終了するには 停止 を押します**	コンポーネントのテスト中で、現在ソレノイドとモーターを移動しています。	操作は必要ありません。
ソレノイド移動中 **終了するには 停止 を押します**	コンポーネントのテスト中で、現在ソレノイドを移動しています。	操作は必要ありません。
ディスク <X>% のクリーニング完了 **電源を切らないでください** **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	ハード ディスクまたはコンパクト フラッシュ ディスクをクリーニングしています。	電源は切らないでください。クリーニングが完了したら、プリンタが自動的に再起動します。それまでプリンタを使用することはできません。
ディスク フォーマット <X>% 完了。電源を切らないでください **ディスク <X>% のクリーニング完了** **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	ハード ディスクをクリーニング中です。	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
データを受信しました **✓ (チェックマーク ボタン) を押して最後のページを印刷**	最後のページを印刷するコマンドを待っています。	チェックマーク ボタン ✓ を押して最後のページを印刷します。
デバイスのシャット ダウン中...	プリンタをシャット ダウンしています。	操作は必要ありません。
デバイスを冷却しています...	プリンタの温度を下げるために、印刷を一時停止しています。	プリンタの使用率が高かったため、現在、プリンタを冷却して適切な動作温度に戻しています。操作は必要ありません。
トランスファー キットを交換してください **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	トランスファー キットが寿命に達しました。	トランスファー キットを交換します。 1. 右のドアを開きます。 2. トランスファー アクセス パネルを開きます。 3. ロックを上に押します。 4. トランスファー ユニットを取り付けます。 5. ロックを下に押します。 6. トランスファー アクセス パネルを閉じます。 7. 右のドアを閉じます。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
トランスファー キットを交換してください **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ** **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	サプライ品交換 メニューで [残量少で停止] が設定されています。表示されたトランスファー キットが、設定した下限を下回りました。	✓ を押してトランスファー キットの寿命が切れるまで印刷を続けるか、トランスファー キットを交換します。 トランスファー キットを交換します。 1. 右のドアを開きます。 2. トランスファー アクセス パネルを開きます。 3. ロックを上に押します。 4. トランスファー ユニットを取り付けます。 5. ロックを下に押します。 6. トランスファー アクセス パネルを閉じます。 7. 右のドアを閉じます。
トランスファー キットを注文してください	トランスファー キットの寿命が近づいています。印刷は続行できます。	新しいトランスファー キットを注文してください。
トランスファー キットを注文。残り XXX ページ未満 **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	トランスファー ユニットの寿命が近づいています。印刷の準備はできているので、表示された推定残りページ数程度は印刷できます。	このサプライ品で印刷できるページの数が、下限に達しました。サプライ品の交換の必要性が生じるまで、印刷は継続されます。
トランスファー ユニットを取り付けてください	トランスファー ユニットが外されているか、正しく取り付けられていません。	1. 右のドアを開きます。 2. トランスファー アクセス パネルを開きます。ロックを上に押します。 3. トランスファー ユニットを取り付けるか、調整します。 4. トランスファー アクセス パネルを閉じます。 5. 右のドアを閉じます。
トレイ <XX> [タイプ] [サイズ] **トレイのサイズまたはタイプを変更するにはチェックマーク ボタン ✓ を、このままの設定にしておくには左矢印ボタン ↩ を押します。**	トレイのタイプとサイズの現在の設定を示します。	サイズまたはタイプを変更するにはチェックマーク ボタン ✓ を、このままの設定にしておくには左矢印ボタン ↩ を押します。
トレイ <XX> [タイプ] [サイズ] 空	表示されたトレイが空です。現在の印刷にはこのトレイは必要ありません。	都合のよいときにトレイに給紙します。
トレイ <XX> が開いています **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	表示されたトレイが開いているか、または完全に閉じられていません。	トレイを閉じます。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
トレイ <XX> の用紙タイプが合っていません	表示されたトレイに、設定した種類と同じ用紙が入っていません。	指定されたトレイは、この状況が解消されるまで使用されません。印刷は、他のトレイを使って続行できます。 1. 該当するトレイに正しい用紙をセットします。 2. 用紙の種類の設定を確認します。
トレイ <XX> の用紙リフト待ちです	表示されたトレイの用紙をリフト中です。	操作は必要ありません。
トレイ 1 に [タイプ] [サイズ] をセットしてください **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続** **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	トレイ 1 に用紙がセットされていますが、ジョブで指定されているもの以外のタイプとサイズに設定されています。	1. 正しい用紙がセットされている場合は、チェックマーク ボタン ✓ を押します。 2. そうでない場合は、間違った用紙を取り除き、指定した用紙をトレイ 1 にセットします。 3. メッセージが表示されたら、セットされている用紙のサイズと種類を確認します。 4. 用紙ガイドが正しい位置にあることを確認します。 5. 別のトレイを使用するには、トレイ 1 から用紙を取り除き、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
トレイ 1 に [タイプ] [サイズ] をセットしてください **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	このメッセージは、トレイ 1 が選択されているのに用紙がセットされておらず、他の給紙トレイも使用できない場合に表示されます。	トレイ 1 に必要な用紙をセットして、チェックマーク ボタン ✓ を押してください。
トレイ 1 に [タイプ] [サイズ] をセットしてください **別のトレイを使うには、✓ (チェックマーク ボタン) を押します** **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	このメッセージは、トレイ 1 が選択されているのに用紙がセットされていない場合に、その他の給紙トレイを使用できるときに表示されます。	1. トレイに正しい用紙をセットします。 2. メッセージが表示されたら、セットされている用紙のサイズと種類を確認します。 3. または、チェックマーク ボタン ✓ を押して別のトレイを選択します。
トレイ 2 をいったん開いてから閉じます **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	出荷後、トランスファー ユニットが緩められていません。	トレイ 2 をいったん開いてから閉じます。
トレイ XX の用紙サイズが合っていません	表示されているトレイの用紙が、そのトレイに指定されているサイズと一致しません。	1. 正しい用紙をセットしてください。 2. 用紙の位置が正しいことを確認します。 3. メッセージが消えない場合は、HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) に問い合わせてください。
トレイ X は現在操作できません。トレイ サイズに任意サイズ/任意カスタムは使用できません。 **キャンセル中...**	**任意のサイズ** または **任意のカスタム** に設定されているトレイの位置合わせをしようとしています。**任意のサイズ** または **任意のカスタム** に設定している場合は、両面印刷の位置合わせはできません。	トレイを特定のサイズに設定し、そのトレイの位置合わせを設定します。
パスワードまたは名前が正しくありません。正しいログインを入力してください。	入力したユーザー名またはパスワードが正しくありません。	ユーザー名とパスワードを再入力してください。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
フォント/データをロードするにはメモリが足りません **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ** **USB 記憶装置 <X>** **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	プリンタのメモリが不足しているため、表示された場所からデータ (フォントまたはマクロなど) を読み込めません。	このメッセージを無視して印刷を続行するには、チェックマーク ボタン ✓ を押します。メッセージが消えない場合は、メモリを追加してください。
フューザ キットの注文が必要。残り XXX ページ未満 **? を押してヘルプ**	フューザの寿命が近づいています。印刷の準備はできているので、表示された推定残りページ数程度は印刷できます。サプライ品の交換の必要性が生じるまで、印刷は継続されます。	新しいフューザ キットを注文してください。
フューザ キットを交換してください	フューザの耐用寿命が近づいています。印刷は続行できます。	注意： プリンタの使用中はフューザが高温になっています。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。 1. 右のドアを開きます。 2. 青いレバーをロック解除位置まで回します。 3. 新しいフューザを取り付けます。 4. 古いフューザを取り外します。 5. 青いレバーをロック位置まで回します。 6. 右のドアを閉じます。
フューザ キットを交換してください **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ** **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	サプライ品交換 メニューで [残量少で停止] が設定されています。表示されたフューザ キットが、設定した下限に達しました。	注意： プリンタの使用中はフューザが高温になっています。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。 チェックマーク ボタン ✓ を押してフューザ の寿命が切れるまで印刷を続けるか、フューザを交換します。 フューザを交換します。 1. 右のドアを開きます。 2. 青いレバーをロック解除位置まで回します。 3. 新しいフューザを取り付けます。 4. 青いレバーをロック位置まで回します。 5. 右のドアを閉じます。
フューザを取り付けてください **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	フューザが外されている、正しく取り付けられていません。	注意： プリンタの使用中はフューザが高温になっています。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。 1. 右のドアを開きます。 2. 青いレバーをロック解除位置まで回します。 3. フューザを取り付けるか、調整します。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		4. 青いレバーをロック位置まで回します。 5. 右のドアを閉じます。
プライベート ジョブの消去	保存されたプライベート ジョブを消去しています。	操作は必要ありません。
プリンタが再初期化されるまでお待ちください	このメッセージが表示されるのには、さまざまな理由があります。プリンタを再起動する前に、[RAM ディスク] 設定を変更しています。外部デバイスのモードを変更したので、自動的にプリンタの電源が切れて、再び入っています。ユーザーが診断モードを終了しました。エンジンはそのままで新しいフォーマッタが、またはフォーマッタはそのままで新しいエンジンがインストールされています。	操作は必要ありません。
プリンタを点検しています	内部テストを行っています。	操作は必要ありません。
プログラム <XX> をロード中 電源を切らないでください	プログラムとフォントはプリンタのファイル システムに保存され、プリンタの電源を入れると RAM に読み込まれます。番号 XX は、現在読み込んでいるプログラムの番号を示します。	操作は必要ありません。プリンタの電源を切らないでください。
モーター回転中 - 終了するには [停止] を押します	コンポーネントのテスト中です。選択されたコンポーネントはモーターです。	このテストを停止する準備が整ったら、**停止** を押します。
ローラー キットの注文が必要。残り XXX ページ未満	表示されたローラー キットの寿命が近づいています。印刷の準備はできているので、表示された推定残りページ数程度は印刷できます。このページ数は、このプリンタの使用履歴に基づいて計算されています。	新しいローラー キットを注文してください。
ローラー キットを交換してください **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	**ローラー キットで処理できる残りページ数が下限に達しました。**	ローラー キットを交換せずに印刷を続行するには、チェックマーク ボタン ✓ を押します。 ローラー キットを交換します。 1. 右のドアを開きます。 2. トランスファー アクセス パネルを開きます。 3. ローラー キットを交換します。 4. トランスファー アクセス パネルを閉じます。 5. 右のドアを閉じます。
ローラー キットを交換してください **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ** **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	サプライ品交換 メニューで [残量少で停止] が設定されています。ローラー キットの寿命が切れました。	ローラー キットを交換せずに印刷を続行するには、チェックマーク ボタン ✓ を押します。 ローラー キットを交換します。 1. 右のドアを開きます。 2. トランスファー アクセス パネルを開きます。 3. ローラー キットを交換します。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		4. トランスファー アクセス パネルを閉じます。 5. 右のドアを閉じます。
ローラー ユニットの取り付け **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	ローラー ユニットが外されているか、正しく取り付けられていません。	1. 右のドアを開きます。 2. トランスファー アクセス パネルを開きます。 3. ローラー ユニットを取り付けるか、調整します。 4. トランスファー アクセス パネルを閉じます。 5. 右のドアを閉じます。
一時停止 [印字可] に戻るには 停止 を押します。	プリンタが一時停止しています。表示待ちのエラー メッセージはありません。I/O では、メモリがいっぱいになるまで継続してデータを受信します。	停止ボタンを押します。
印刷が停止しました **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	印刷/停止テストで時間切れになりました。	続行するには、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
印字可	プリンタがオンラインで、印刷する準備ができています。ディスプレイ上に、保留状態のステータスまたはデバイス関連のメッセージはありません。	操作は必要ありません。
印字可 <IP アドレス>	プリンタがオンラインで、使用する準備ができています。	操作は必要ありません。
右のドアを閉じます **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	プリンタの右側のドアが開いています。	1. ドアを閉じます。 2. メッセージが消えない場合は、HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) に問い合わせてください。
右下のドアを閉じてください	右下のドアが開いています。	右下のドアを閉じます。
永久記憶装置を初期化しています	プリンタに電源を入れたときに、永久記憶装置が初期化されていることを示します。	操作は必要ありません。
外部アクセサリのファームウェアが壊れています **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	給紙または排紙アクセサリのファームウェアが壊れています。	ファームウェアをアップグレードする必要があります。別の給紙または排紙アクセサリが使える場合は、印刷を続行できますが、壊れた外部アクセサリを使用すると、紙詰まりが発生することがあります。アップグレード手順を確認し、最新のファーウェアをダウンロードするには、www.hp.com/support/cljcp6015 にアクセスしてください。
外部アクセサリ ファームウェアの再送信	給紙または排紙アクセサリのファームウェアが壊れています。	別の給紙トレイや排紙ビンが使える場合は、印刷を続行できます。壊れたアクセサリを使用すると、紙詰まりしやすくなります。
外部デバイスの初期化中	外部の用紙処理デバイスを初期化しています。	操作は必要ありません。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
給紙経路が開いています **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	プリンタと外部の用紙処理デバイス間の給紙経路が開いています。印刷を続行するには、閉じる必要があります。	給紙経路を閉じます。
互換性のないフューザ	互換性のないフューザが取り付けられています。	**注意：** プリンタの使用中はフューザが高温になっています。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。 1. 右のドアを開きます。 2. 青いレバーをロック解除位置まで回します。 3. 互換性のないフューザを取り外します。 4. 正しいフューザを取り付けます。 5. 青いレバーをロック位置まで回します。 6. 右のドアを閉じます。
互換性のないローラー キット	取り付けられているローラー キットは互換性がありません。	1. 右のドアを開きます。 2. 互換性のないローラー キットを取り外します。 3. 正しいローラー キットを取り付けます。 4. 右のドアを閉じます。
校正のリセットが保留中です **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ** **処理中...**	すべてのジョブが処理されると、校正がリセットされます。	その前にリセットを開始するには、停止 ボタンを押してすべてのジョブをキャンセルします。
校正中...	校正中に表示されます。	操作は必要ありません。
仕上げデバイスが機能しません **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	仕上げデバイスでエラーが発生しました。	ヘルプ ボタン **?** を押してヘルプを表示します。
実行中... 用紙経路のテスト	用紙経路をテストしています。	操作は必要ありません。
手差し <タイプ> <サイズ> **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	このメッセージは、トレイ 1 が選択されているのに用紙がセットされていない場合に、その他の給紙トレイを使用できるときに表示されます。	必要な用紙をトレイにセットします。既に用紙をトレイにセットしている場合は、ヘルプ ボタン **?** を押してメッセージを消してから、チェックマーク ボタン ✓ を押して印刷します。別のトレイを使用する場合は、トレイ 1 から用紙を取り除き、ヘルプ ボタン **?** を押してメッセージを消してから、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
手差し <タイプ> <サイズ> **✓ を押して継続** **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	このメッセージは、トレイ 1 が選択されているのに用紙がセットされていない場合に、その他の給紙トレイを使用できるときに表示されます。	必要な用紙をトレイにセットします。 メッセージを無視して、他のトレイの用紙を使用するには、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
手差し <タイプ> <サイズ> **別のトレイを使うには、✓ (チェックマーク ボタン) を押します** **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	指定したジョブでは、手差しでセットする必要があります。	必要な用紙をトレイにセットします。既に用紙をトレイにセットしている場合は、ヘルプ ボタン **?** を押してメッセージを消してから、チェックマーク ボタン ✓ を押して印刷します。別のトレイを使用する場合は、トレイ 1 から用紙を取り除き、ヘルプ ボタン

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		? を押してメッセージを消してから、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
出荷時の設定に復元中	出荷時のデフォルトに戻しています。	操作は必要ありません。
純正品ではないサプライ品が使用されています	HP 以外のサプライ品が使われています。	HP 純正のサプライ品を購入した場合は、www.hp.com/go/anticounterfeit を参照してください。HP 製以外のサプライ品を使用したことが原因で修理が必要になっても、保証の対象にはなりません。HP は、一部の機能の正常動作や有効性を保証しかねます。
処理中...	現在ジョブを処理していますが、まだ用紙を送っていません。用紙の移動が始まると、このメッセージは、ジョブが印刷されているトレイを示すメッセージに変わります。	操作は必要ありません。
処理中...<X> /<Y> 枚	現在、丁合い印刷を処理しています。このメッセージは、合計 Y セットのうち X 番目を現在処理していることを示します。	操作は必要ありません。
処理中... トレイ <X> を使用	表示されたトレイの用紙を使用しています。	操作は必要ありません。
消去...	保存されているジョブを消去しています。	操作は必要ありません。
上部カバーを閉じます	上部カバーが開いています。	上部カバーを閉じます。
診断モード準備完了 **[停止] を押して終了します**	プリンタが診断モードに入っています。	このモードを終了するには、停止 ボタンを押します。
選択したパーソナリティは使用できません。 **✓ (チェックマーク ボタン) を押して継続**	このプリンタで使用できない言語 (パーソナリティ) を印刷ジョブで使おうとしています。ジョブは印刷されず、メモリから消去されます。	別の言語のプリンタ ドライバを使用するか、可能であれば必要な言語を追加してください。使用可能なパーソナリティを確認するには、設定ページを印刷してください。(142 ページの 「情報ページ」 を参照。)
内蔵ディスクが機能していません	内部ディスクが正常に動作していません。	プリンタの電源をいったん切ってから入れ直します。メッセージが消えない場合は、HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) に問い合わせてください。
内蔵ディスク デバイス エラー **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	表示されたデバイスでエラーが発生しました。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
内蔵ディスクは書き込み禁止です **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	ファイル システム デバイスが書き込み禁止に設定されているため、新しいファイルを書き込むことができません。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
内蔵ディスク ファイル システムが一杯です **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	ファイル システムに空き容量がないため、PJL ファイル システム コマンドでファイル システムに何かを保存できませんでした。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。
内蔵ディスク ファイルの操作に失敗しました **クリアするには ✓ (チェックマーク ボタン) を押します**	PJL ファイル システム コマンドが、非論理的な処理を行おうとしました。	チェックマーク ボタン ✓ を押してクリアします。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
内蔵ディスク回転中	内蔵ディスクが回転しています。ディスクにアクセスするジョブは、待つ必要があります。	操作は必要ありません。
日付/時刻= YYYY/MMMM/DD HH:MM **✓ (チェックマーク ボタン) を押して変更** **スキップは 停止 を押します**	プリンタで現在の日付と時刻を設定します。	チェックマーク ボタン ✓ を押して日付と時刻を設定するか、[停止] ボタンを押して設定をスキップします。
排紙アクセサリ ブリッジ エラー **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	排紙アクセサリ ブリッジでエラーが発生しました。	1. プリンタの電源を切ります。 2. 排紙アクセサリ ブリッジが正しく接続されていることを確認します。 3. 電源を入れます。 メッセージが消えない場合は、HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) に問い合わせてください。
排紙アクセサリ ブリッジが接続されました **続けるには、デバイスの電源をいったん入れ直します**	プリンタの電源が入ったままで、排紙アクセサリ ブリッジが取り付けられました。印刷を継続できません。	1. プリンタの電源を切ります。 2. 排紙デバイスを取り付けます。 3. プリンタの電源を入れます。
排紙アクセサリ ブリッジの切断 **? (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ**	プリンタの電源が入ったままで、排紙アクセサリ ブリッジが取り外されました。印刷を継続できません。	1. プリンタの電源を切ります。 2. 排紙アクセサリ ブリッジと排紙デバイスが正しく接続されていることを確認します。 3. 電源を入れます。 排紙アクセサリ ブリッジなしで印刷を続行するには、いったん電源を切り、標準の排紙トレイを取り付けてから電源を入れます。 メッセージが消えない場合は、HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) に問い合わせてください。
排紙デバイスの確認	排紙装置にエラーが発生しました。	排紙装置を取り外して、再度取り付けてください。
排紙デバイスを取り付けてください	外部排紙デバイスが取り付けられていません。	1. プリンタの電源を切ります。 2. 排紙デバイスのケーブルを接続します。 3. 電源を入れます。 排紙デバイスなしで印刷を続けるには、電源を切ってから排紙アクセサリ ブリッジを取り外し、電源を入れます。 エラーメッセージが消えない場合は、HP の正規サービス代理店に問い合わせてください。HP サポート パンフレットか www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください。

表 12-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
排紙用紙を手差しでセットしてください **✓ (チェックマーク ボタン) を押して裏面を印刷します。**	手差し両面印刷の片面の印刷が終わり、裏面を印刷するために用紙が戻されるのを待っています。	1. 用紙の向きを変えずに、排紙ビンから文書を取り除きます 2. 印刷された面を裏返しにします。 3. 文書をトレイ 1 にセットします。 4. ✓ を押して印刷を続けます。
復元中	設定を元に戻しています。このメッセージは、[カラー値の復元] などの復元処理中に表示されます。	操作は必要ありません。
復元中... [アクセサリ番号]	外部アクセサリの設定を元に戻しています。	操作は必要ありません。
保存されているジョブはありません	[ジョブ取得] メニューを選択したときに、取得するジョブがない場合に表示されます。	操作は必要ありません。
用紙サイズが異なるためステープルされません	外部の用紙処理デバイスに送信されたジョブに、異なるサイズの用紙が混ざっていたため、ステイプル留めできませんでした。	用紙サイズを 1 つにして印刷し直してください。
用紙経路をクリアしています	詰まっている用紙を排出しようとしています。	ディスプレイのボタンで処理状況を確認してください。
用紙経路を点検しています	紙が詰まっていないかどうかを確認中です。	操作は必要ありません。
要求を受け付けました。お待ちください	内部ページの印刷要求を受信しましたが、その前に現在のジョブを終了する必要があります。	操作は必要ありません。
両面印刷ジョブを処理しています **用紙には印刷終了まで触れないでください**	両面印刷時は、用紙が一時的に排紙ビンに入ります。ジョブが終了するまで用紙を取り除かないでください。	用紙が一時的に排紙ビンに入ったときに、用紙に手を触れないでください。ジョブが終了するとメッセージが消えます。
両面印刷ユニットの接続が不良です	両面印刷ユニットが正しく機能していません。	プリンタの電源を切って入れ直します。メッセージが消えない場合は、HP の 正規サービス代理店に問い合わせてください。HP サポート パンフレットを参照するか、www.hp.com/support/cljcp6015 にアクセスしてください。

紙詰まり

紙詰まりの一般的な原因

プリンタで紙詰まりが発生している。

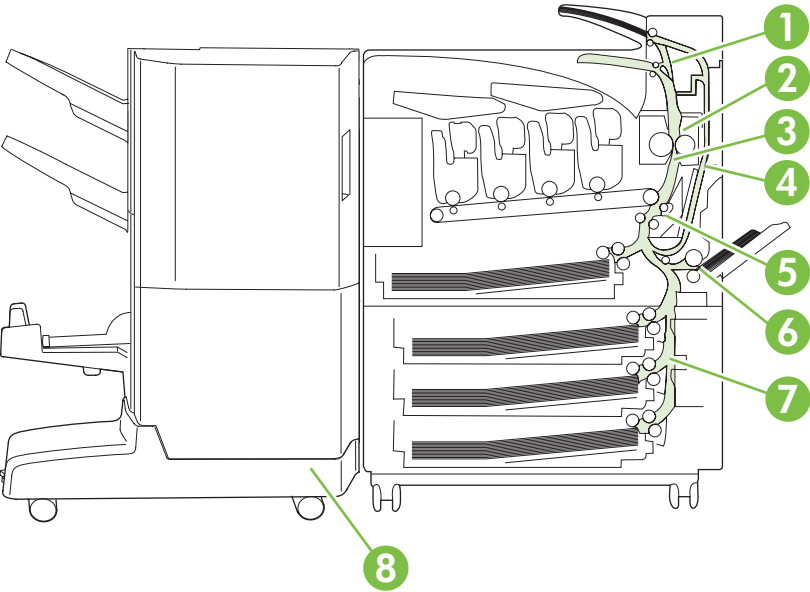
原因	解決方法
用紙が仕様を満たしていない	HP の仕様を満たす用紙のみを使用します。85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。
コンポーネントが正しく取り付けられていない	トランスファー ベルトとトランスファー ローラーが正しく取り付けられていることを確認します。
すでにプリンタやコピー機で一度使用された用紙を使用している	一度印刷またはコピーした用紙は使用しないでください。
給紙トレイが正しくセットされていない	給紙トレイから余分な用紙を取り出します。メディアの量がトレイの上限線を超えないようにしてください。 91 ページの 「用紙と印刷メディアのセット」を参照してください。
用紙が歪む	給紙トレイのガイドが正しく調整されていません。メディアが曲がらない程度に、適切な位置にしっかりと固定されるようにガイドを調整します。
複数の用紙がくっついたり貼り付いたりしている	用紙を取り出して、曲げたり、180° 回転したり、裏返したりします。その後、用紙を給紙トレイにセットし直します。
薄手の用紙に印刷したり、トナー使用量の多い印刷を行っているときに、用紙がフューザに巻き付く。これにより、フューザの遅延やフューザへの紙の巻き込みなど、紙詰まりのメッセージが表示される	[印刷品質] メニューの **薄手メディア** 最適化モードを **オン** にします。
排紙ビンに入る前に用紙を取り出した	製品をリセットします。用紙を取り出さずに完全に排紙ビンに入るまで待ちます。
両面印刷の実行中、文書の裏面の印刷が終了する前に用紙を取り出した	製品をリセットし、文書を印刷し直します。用紙を取り出さずに完全に排紙ビンに入るまで待ちます。
用紙の状態がよくない	用紙を交換します。
内部トレイ ローラーが用紙を取り込まない	用紙が 220g/m^2 より厚い場合は、トレイから給紙されない場合があります。 ローラーが摩耗している。ローラーを交換してください。
用紙の端がギザギザになっている	用紙を交換します。
用紙にミシン目が付いている、または用紙がエンボス加工されている	ミシン目の付いた用紙やエンボス加工された用紙は分離しにくいため、 トレイ 1 から 1 枚ずつ挿入してください。
デバイスのサプライ品の耐用寿命が切れている	プリンタのコントロール パネルにサプライ品の交換を促すメッセージが表示されていないかをチェックするか、サプライ品ステータス ページを印刷してサプライ品の寿命を確認します。142 ページの 「情報ページ」を参照してください。
用紙が正しく保管されていなかった	トレイにセットされている用紙を交換してください。用紙は、管理された環境で元のパッケージに入れて保管する必要があります。
プリンタの梱包材が完全に取り除かれていない	梱包用のテープ、ボール紙、プラスチック製の保護キャップをプリンタから取り除いたことを確認します。

プリンタの紙詰まりが解消されない場合は、HP カスタマ サポートまたは HP 認定のサービス代理店までお問い合わせください。

紙詰まりの場所

紙詰まりの場所を特定するには、以下の図を参照してください。用紙が詰まった場所と紙詰まりを取り除く方法は、コントロール パネルにも表示されます。

注記： 紙詰まりを取り除くためにプリンタ内部を開ける必要のある箇所には、緑色のハンドルまたは緑色のラベルが付いています。

図 12-1 紙詰まりの場所

1	エリア 1: 排紙ビンの周辺
2	エリア 2: フューザの周辺
3	エリア 3: トランスファー ユニットの周辺
4	エリア 4: 両面印刷ユニットの周辺 (HP Color LaserJet CP6015dn、x、xh の各モデルのみ)
5	エリア 5: トレイ 2 ピックアップ ローラーの周辺
6	エリア 6: トレイ 1 の周辺
7	エリア 7: オプションのトレイ 3、4、5 の周辺
8	エリア 8: オプションの仕上げデバイスの周辺

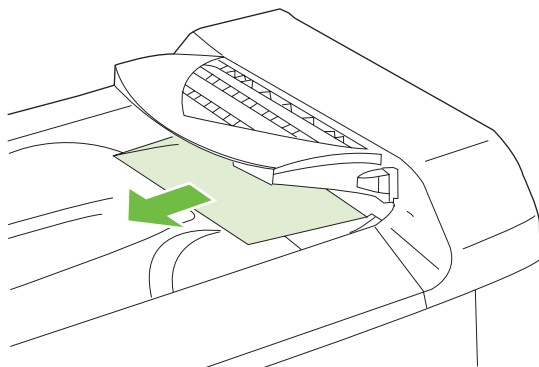
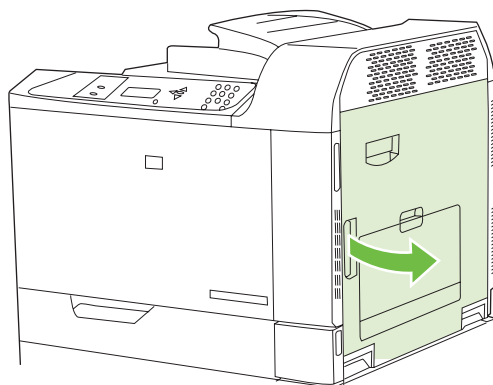
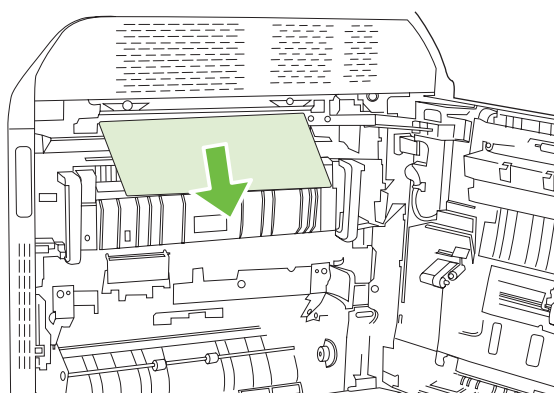
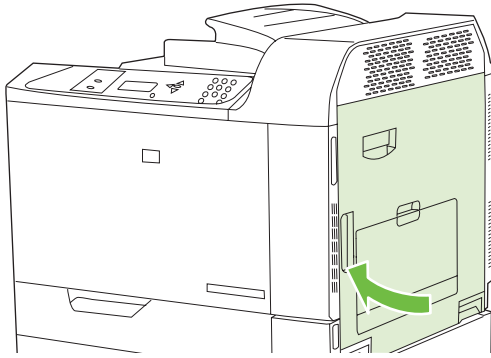
紙詰まりの解消

紙詰まりが発生した場合、コントロール パネルに紙詰まりの場所が表示されます。次の表に、コントロール パネルに表示されるメッセージと、紙詰まりを取り除く手順が記載されているセクションを示します。

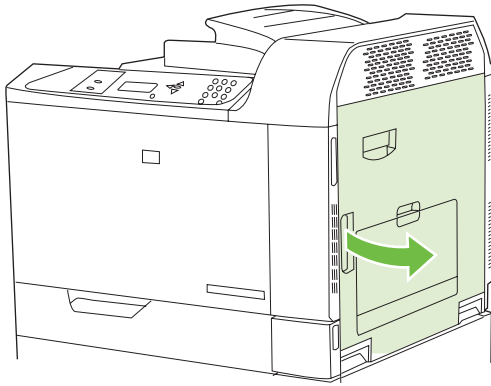
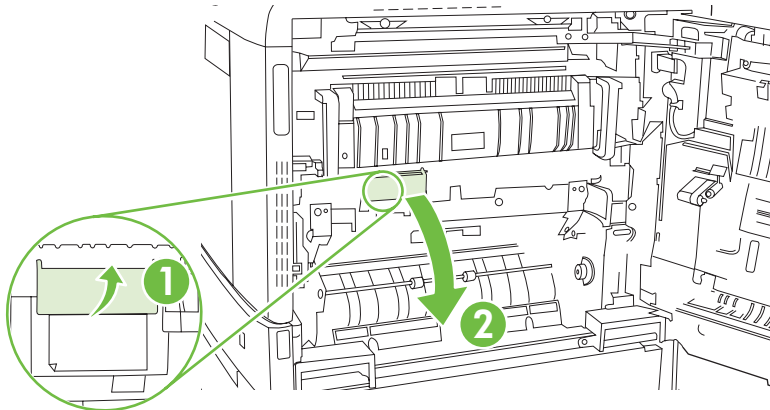
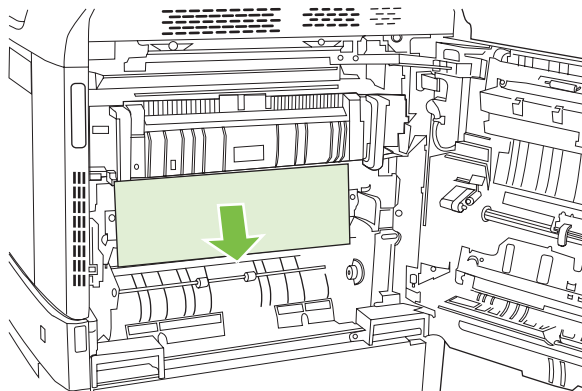
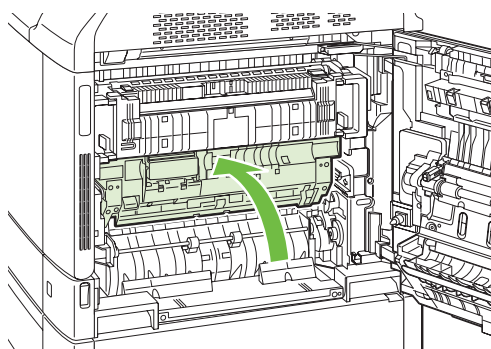
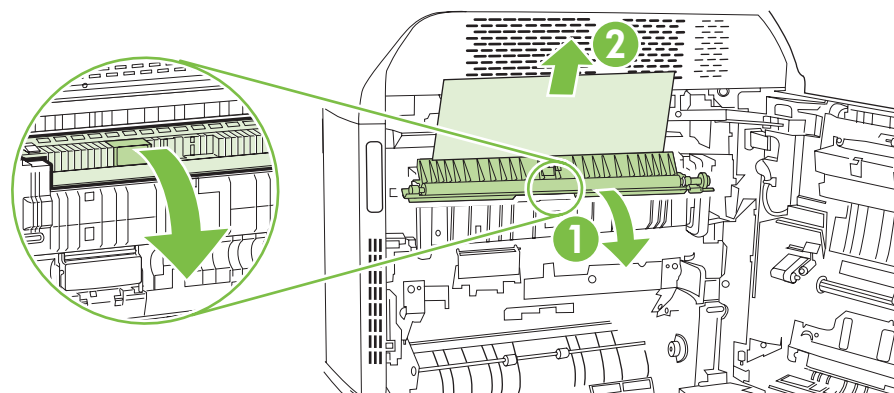
警告！ プリンタ内の部品に触れる際には、感電を防止するため、ネックレスやブレスレットをはじめとする金属製品を外してください。

紙詰まりの種類	手順
エリア 1: **13.XX.YY 上部排紙ビンの上での紙詰まり** **13.XX.YY 上部カバー部での紙詰まり**	207 ページの 「エリア 1: 排紙ビンの紙詰まりを取り除く」 を参照してください。
エリア 2: **13.XX.YY フューザでの紙詰まり** **13.XX.YY フューザ巻き込みによる紙詰まり** **13.XX.YY トランスファーとフューザでの紙詰まり**	208 ページの 「エリア 2 とエリア 3： フューザとトランスファーの紙詰まりを取り除いてください」 を参照してください。
エリア 4: **13.XX.YY 右ドア内部での紙詰まりです**	212 ページの 「エリア 4: 両面印刷ユニットの紙詰まりを取り除く」 を参照してください (HP Color LaserJet CP6015dn、x、xh のみ)。
エリア 5: **13.XX.YY トレイ 2 の紙詰まり** **13.XX.YY トランスファー部分での紙詰まりです**	216 ページの 「エリア 5: トレイ 2 およびプリンタ内部の用紙経路の紙詰まりを取り除く」 を参照してください。
エリア 6: **13.XX.YY トレイ 1 の紙詰まり**	218 ページの 「エリア 6: トレイ 1 の紙詰まりを取り除く」 を参照してください。
エリア 7: **13.XX.YY トレイ 3 の紙詰まりです** **13.XX.YY トレイ 4 の紙詰まりです** **13.XX.YY トレイ 5 の紙詰まりです** **13.XX.YY 右下ドア内部での紙詰まりです** **13.XX.YY 給紙アクセサリの紙詰まり**	223 ページの 「エリア 7: オプションのトレイ 3、4、5 の紙詰まりを取り除く」 を参照してください。
エリア 8: **13.XX.YY 左アクセサリの紙詰まり** **13.XX.YY 上部カバー内部での紙詰まりです**	226 ページの 「エリア 8: オプションのフィニッシャの紙詰まりを取り除く」 を参照してください。

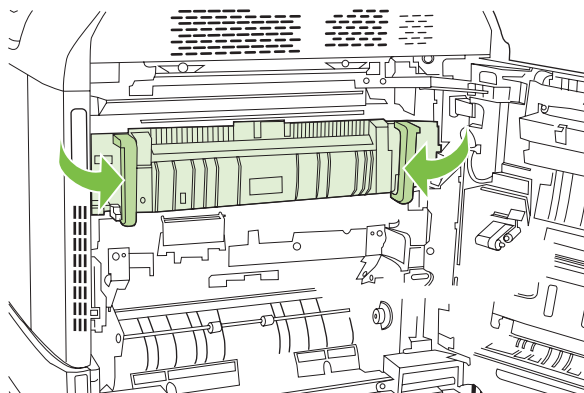
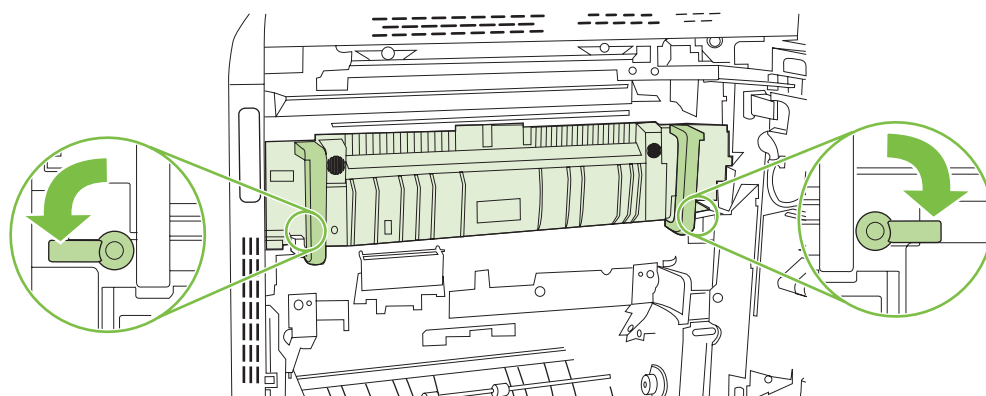
エリア 1: 排紙ビンの紙詰まりを取り除く

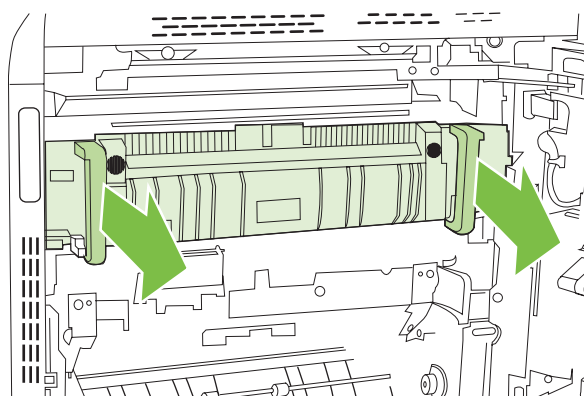
1. 排紙ビンに詰まっている用紙が見える場合は、ゆっくりと引いて取り除きます。

2. 右のドアを開きます。

3. 排紙ビンに入りかけた用紙がある場合は、ゆっくりと引いて取り除きます。

4. 右のドアを閉めます。

エリア 2 とエリア 3： フューザとトランスファーの紙詰まりを取り除いてください

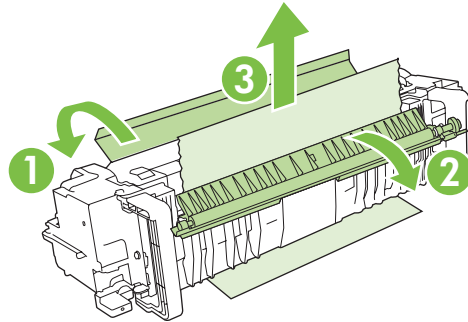
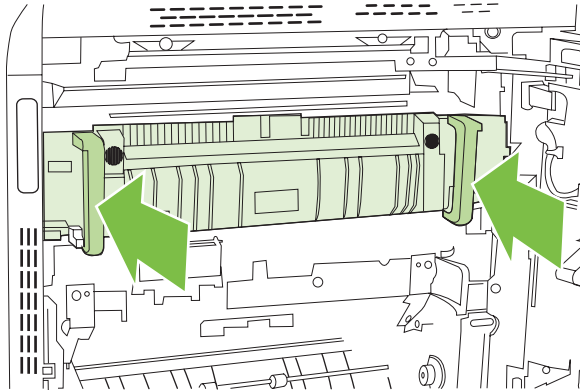
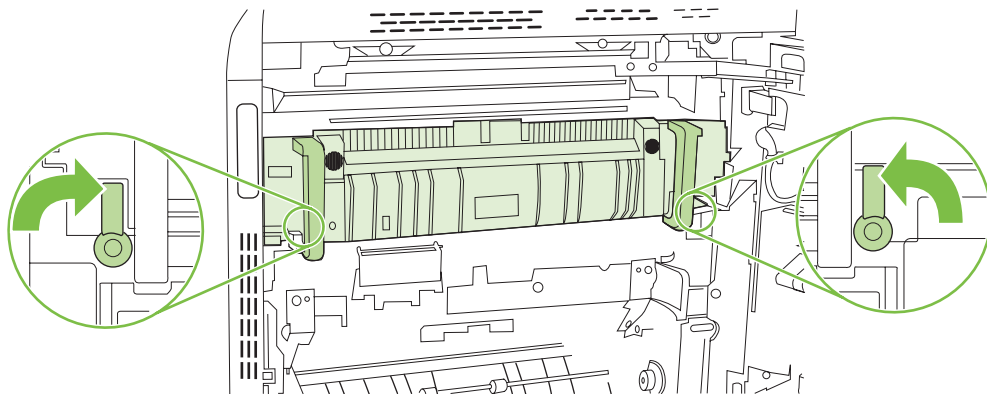
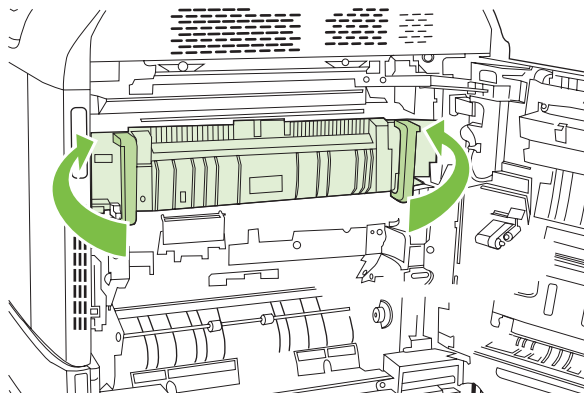
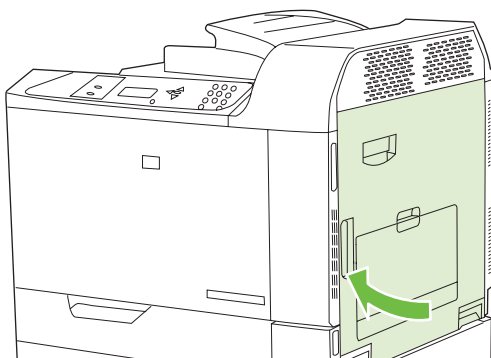
△ **注意：** プリンタの使用中はフューザが高温になっています。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。

1. 右のドアを開きます。

2. トランスファー アクセス パネルの緑色のハンドルを上げて、パネルを開きます。

3. フューザの下部に詰まっている用紙が見える場合は、下方向にゆっくりと引いて取り除きます。

4. トランスファー アクセス パネルを閉めます。

5. フューザの上にあるフューザ紙詰まりアクセス ドアを開き、詰まっている用紙があれば取り除きます。その後、フューザ紙詰まりアクセス ドアを閉めます。

6. フューザ内部の見えないところにも用紙が詰まっている場合があります。フューザを取り外し、内部に詰まった用紙がないかどうかを確認します。

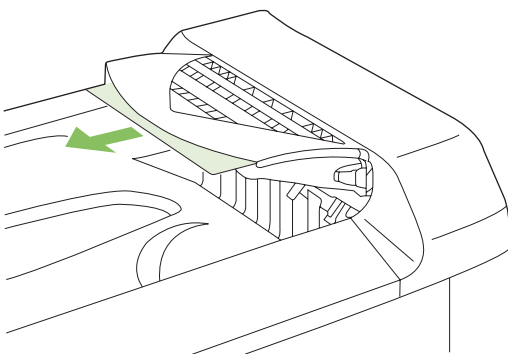
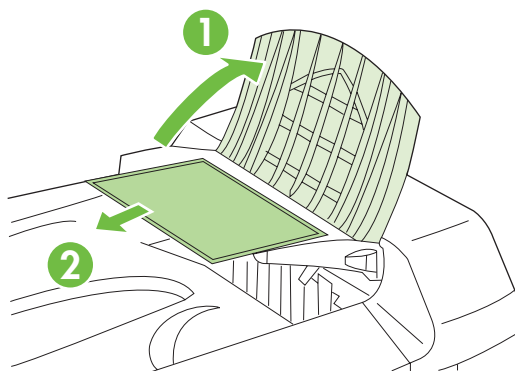
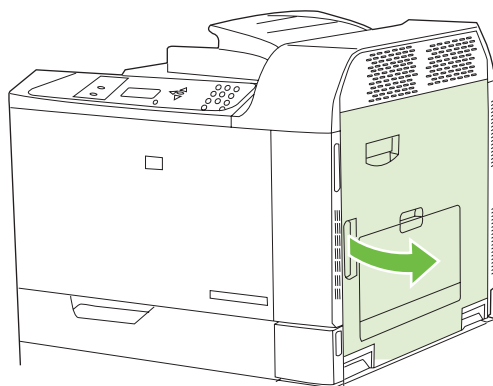
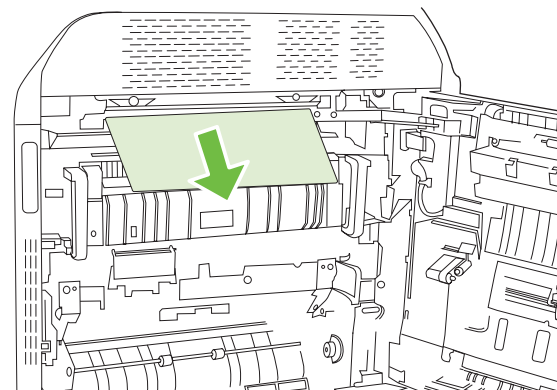
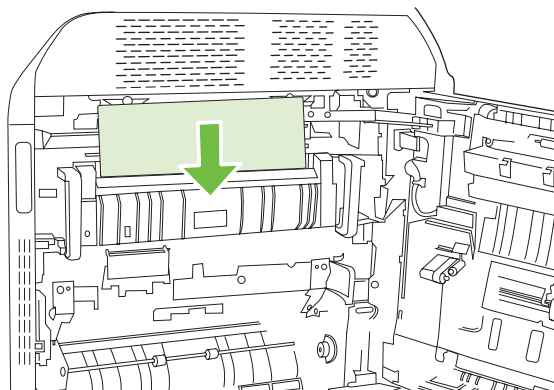
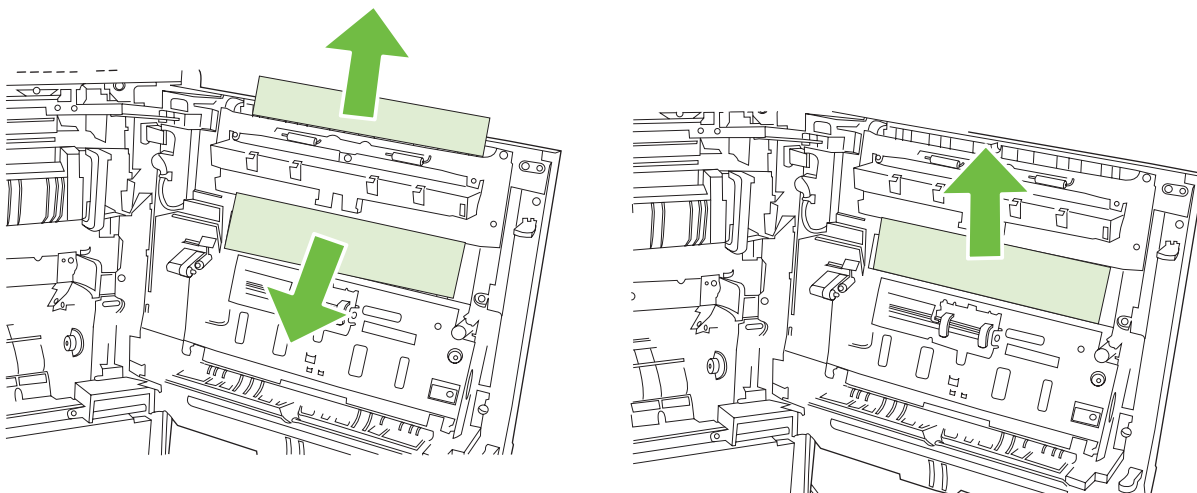
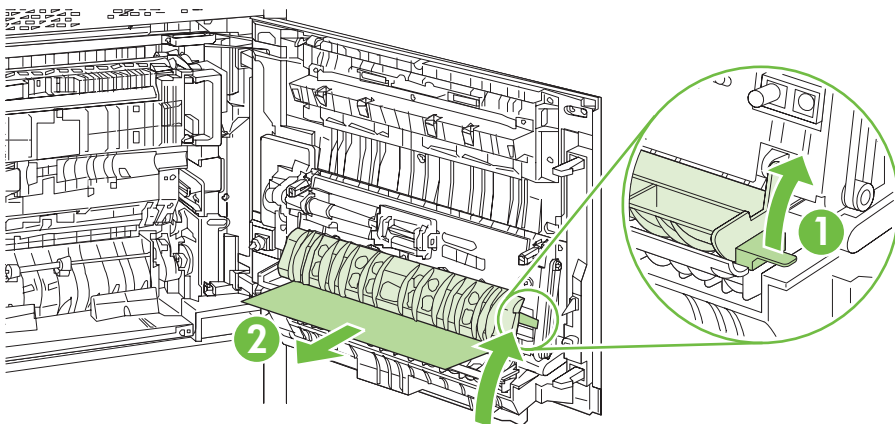
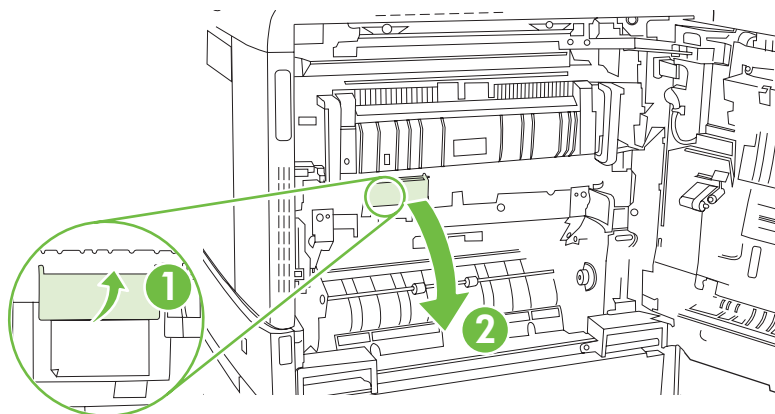
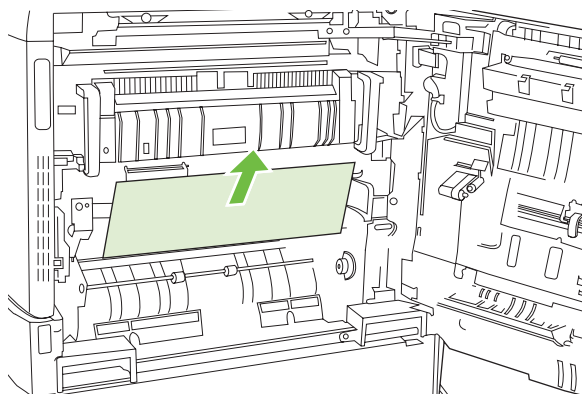
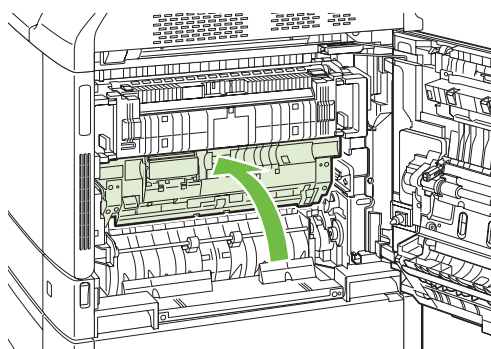
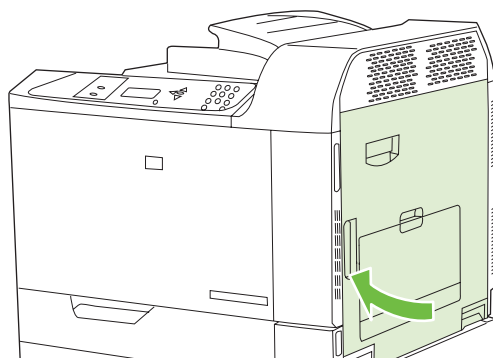
△ 注意： プリンタの使用中はフューザが高温になっています。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。

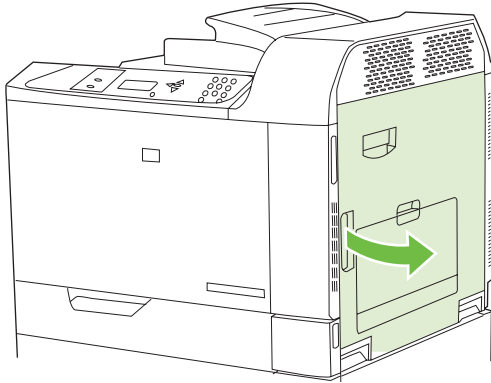
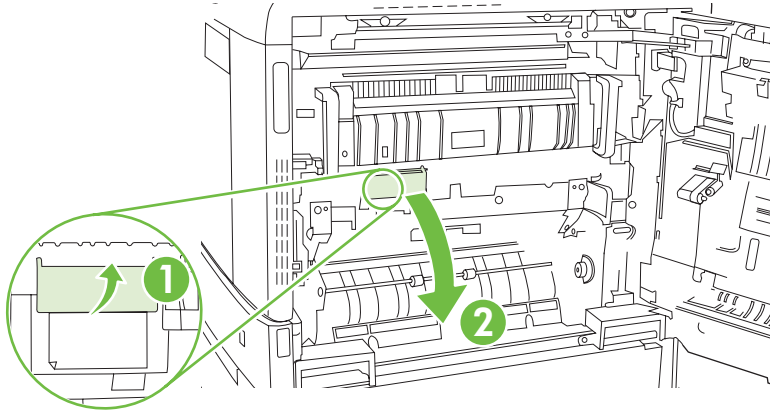
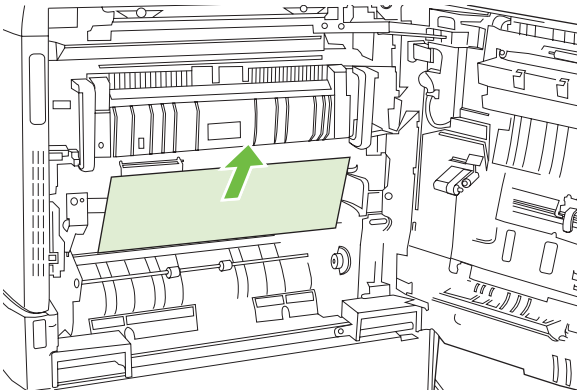
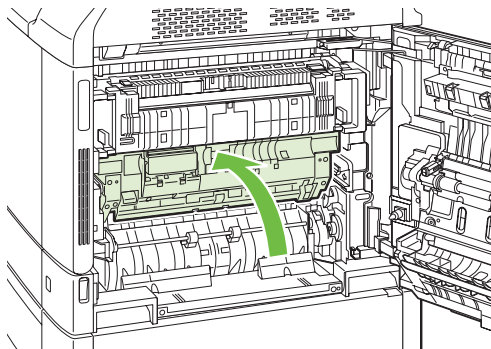
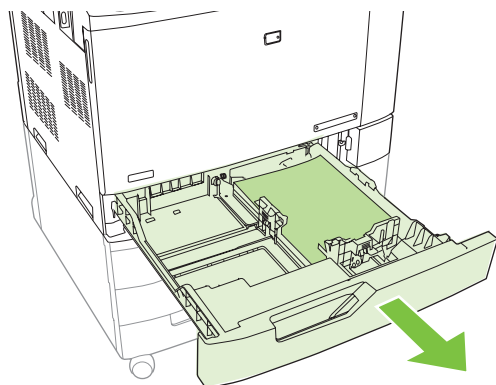
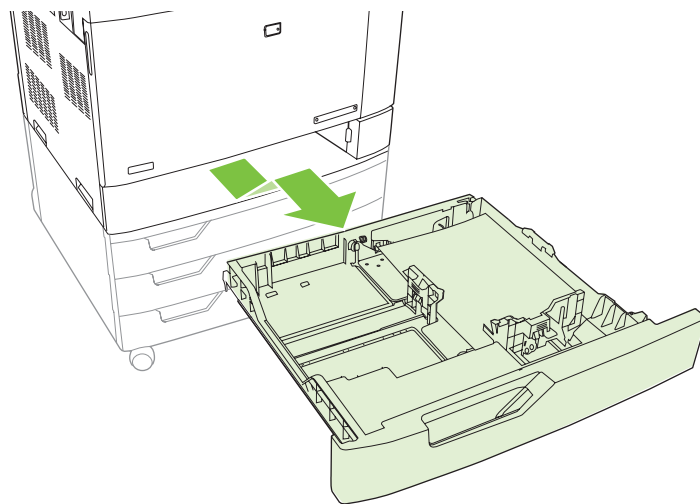
a. 2 つの青色のフューザ ハンドルを手前に引きます。

b. フューザ リリース レバーを下方向に回して開きます。

c. フューザ ハンドルをつかんでまっすぐに引き、フューザを取り外します。

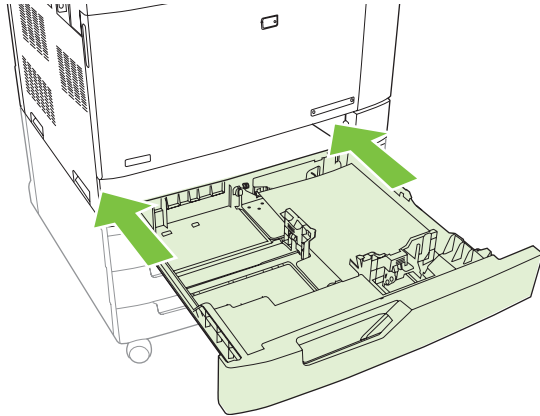
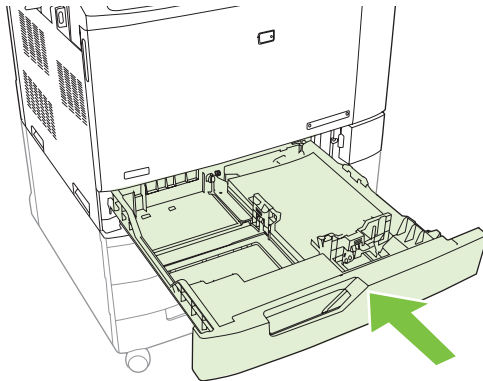
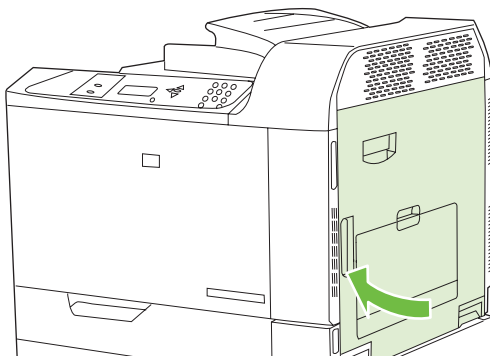
△ 注意： フューザの重量は 5kg (11 ポンド) です。落とさないように注意してください。

d. フューザ紙詰まりアクセス用の後部ドアを後方に、正面ドアを前方に回転させて開きます。フューザ内部に用紙が詰まっている場合は、ゆっくりとまっすぐに引いて取り除きます。用紙が破れた場合は、紙片をすべて取り除いてください。

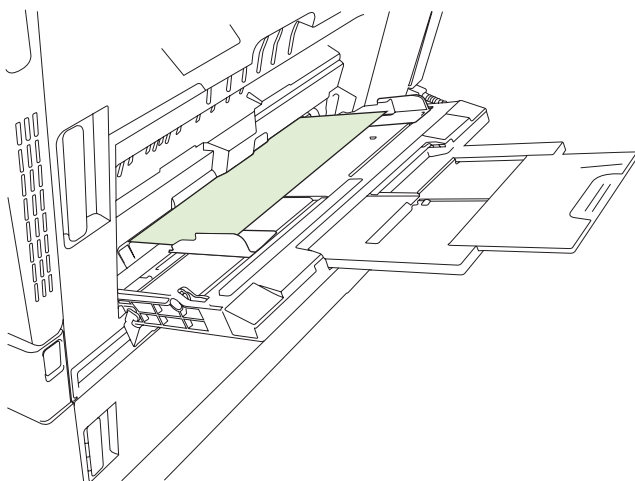
△ **注意：** フューザ本体が冷めていても、内部のローラーが高温の場合があります。フューザ ローラーが冷めるまで、触らないようにしてください。

e. フューザ紙詰まりアクセス ドアを両方とも閉め、プリンタに付いている矢印の向きにフューザを合わせます。フューザをプリンタ内に完全に押し込みます。

f. フューザ リリース レバーを上方向に回して、所定の位置でフューザをロックします。

g. フューザ ハンドルを後方に押して閉めます。

7. 右のドアを閉めます。

エリア 4: 両面印刷ユニットの紙詰まりを取り除く

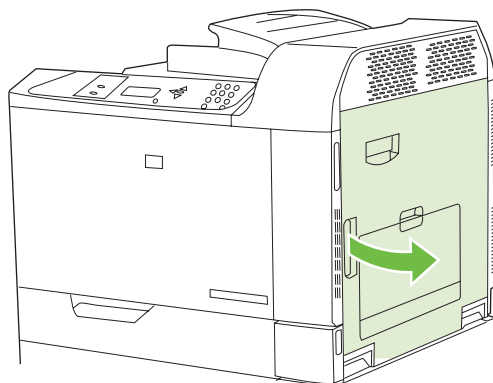
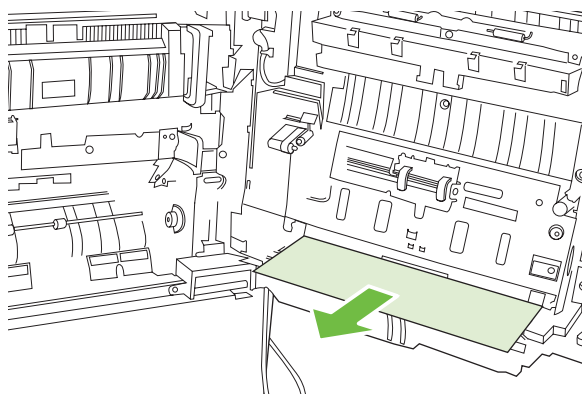
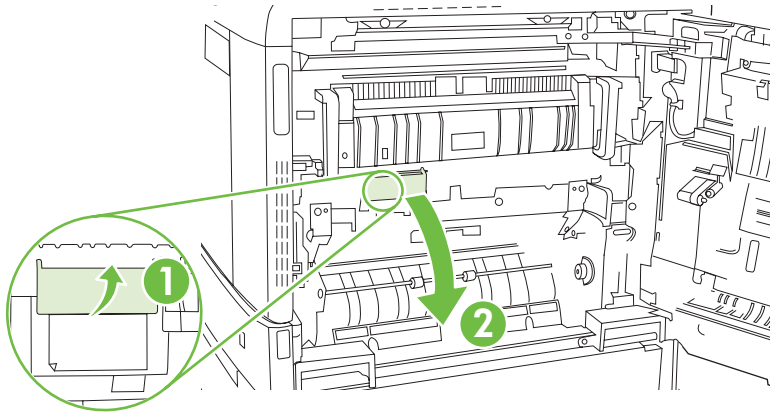
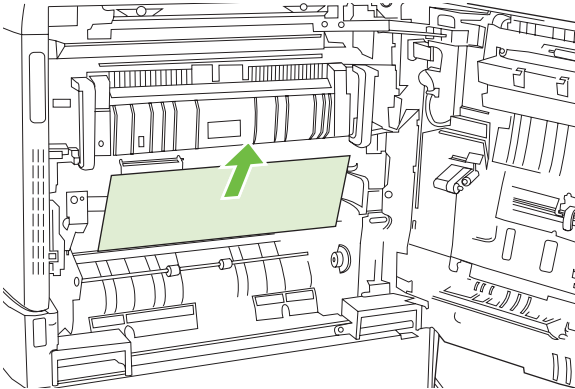
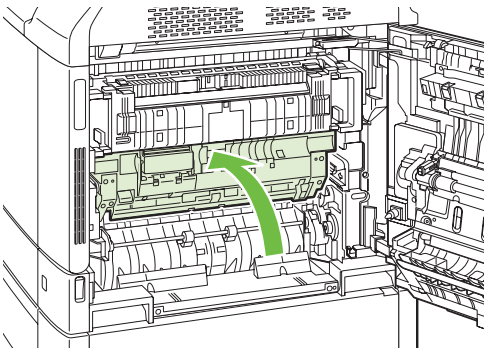
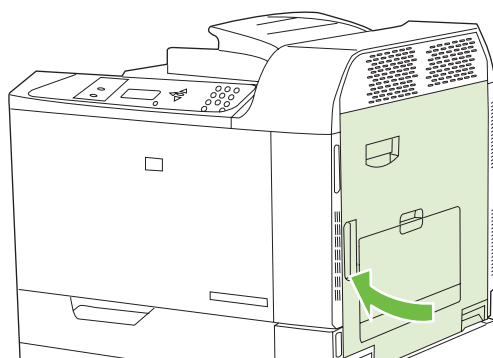
注記： この手順は、HP Color LaserJet CP6015dn、de、x、xh の各モデルでのみ実行します。

1. 両面印刷ユニットの排紙エリアに詰まっている用紙が見える場合は、ゆっくりと引いて取り除きます。

2. 両面印刷ユニットの排紙エリアに詰まっている用紙が見えない場合は、両面印刷スイッチバック トレイを開きます。詰まっている用紙をゆっくりと引いて取り除きます。

3. プリンタの内部に詰まった用紙がないか確認します。右のドアを開きます。

4. 両面印刷ユニットの下に用紙が詰まっている場合は、下方向にゆっくりと引いて取り除きます。

5. 右のドアの内側に用紙が詰まっている場合は、ゆっくりと引いて取り除きます。

6. 右のドアの内側にある用紙フィードのカバーを持ち上げます。用紙が詰まっている場合は、ゆっくりとまっすぐに引いて取り除きます。

7. トランスファー アセンブリの緑色のハンドルを上げて、パネルを開きます。

8. 用紙経路から用紙をゆっくりと引き出します。

9. トランスファー アクセス パネルを閉めます。

10. 右のドアを閉めます。

エリア 5: トレイ 2 およびプリンタ内部の用紙経路の紙詰まりを取り除く

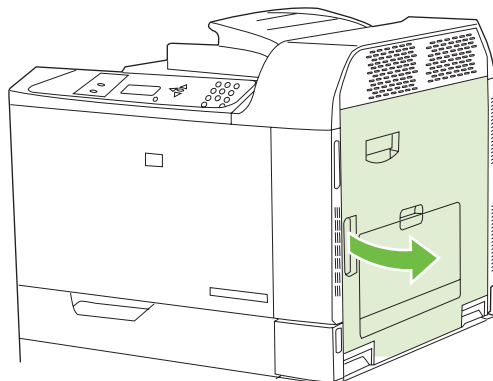
1. 右のドアを開きます。

2. トランスファー アクセス パネルの緑色のハンドルを上げて、パネルを開きます。

3. 用紙経路から用紙をゆっくりと引き出します。

4. トランスファー アクセス パネルを閉めます。

5. トレイ 2 を開き、用紙が正しくセットされていることを確認します。

6. トレイを引き、軽く持ち上げてプリンタから取り外します。

7. プリンタ内部の給紙ローラーから用紙を取り除きます。

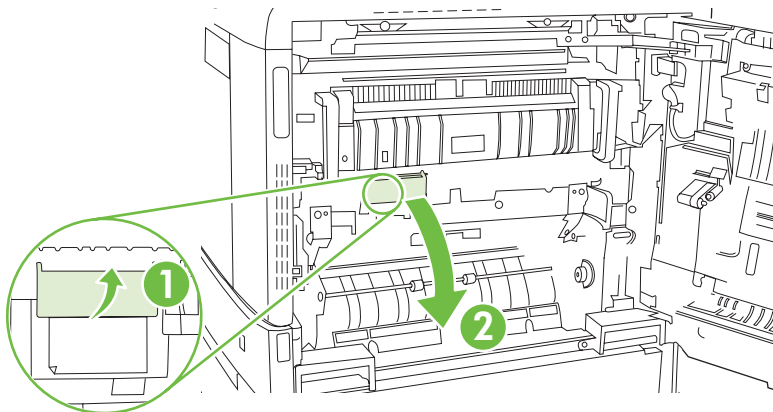
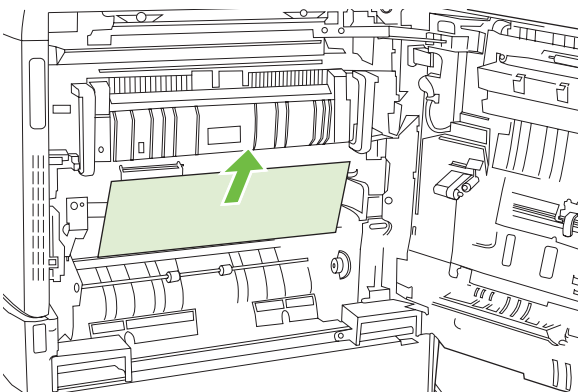
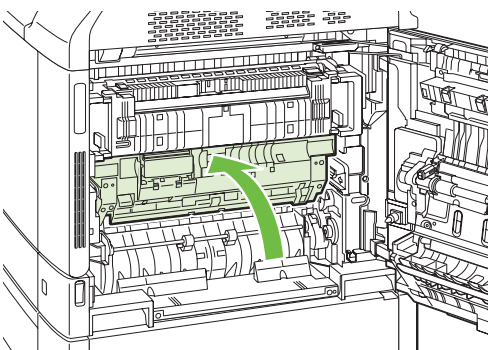
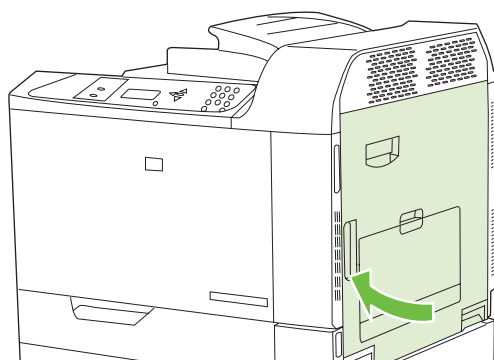
8. トレイ 2 の両側のローラーの位置を合わせて、プリンタに押し込みます。

9. トレイを閉めます。

10. 右のドアを閉めます。

エリア 6: トレイ 1 の紙詰まりを取り除く

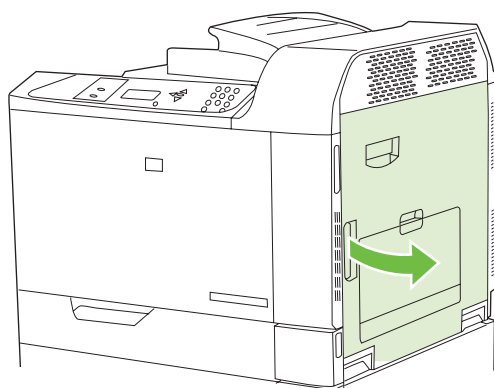
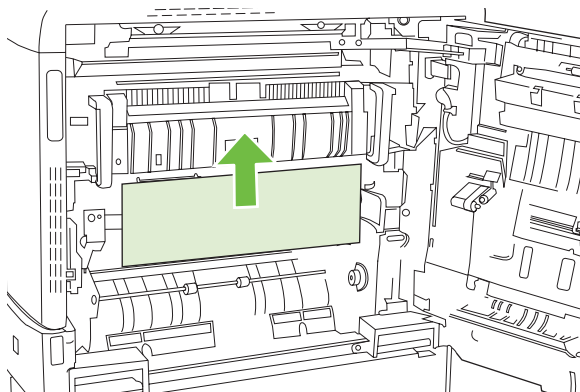
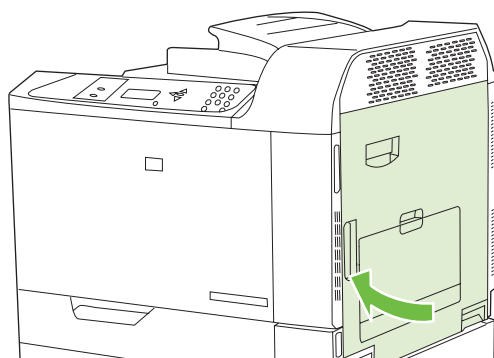
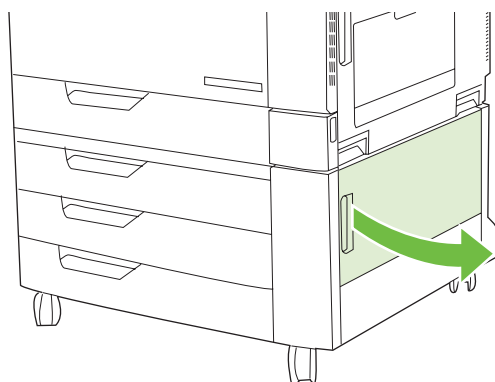
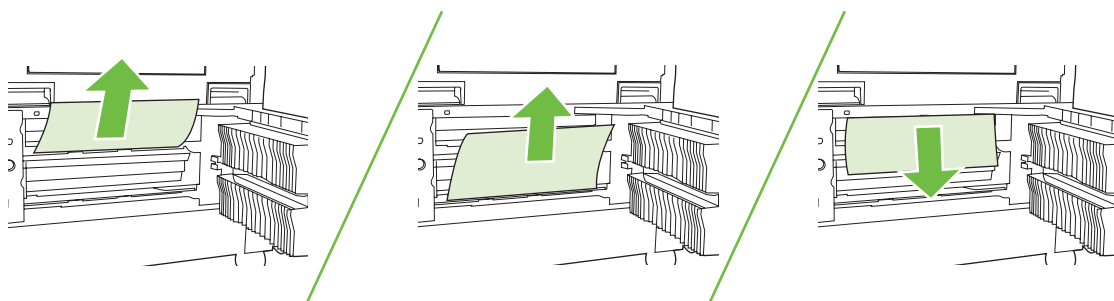
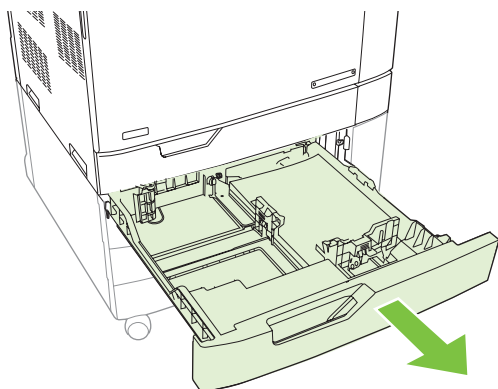
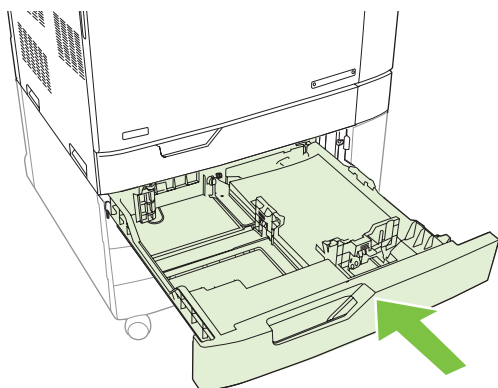
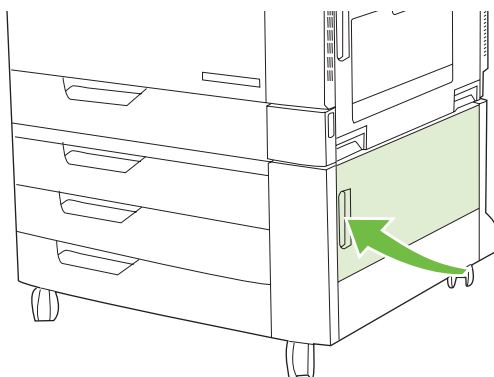
注記： トレイ 1 に詰まっている用紙が見えている場合でも、右のドアを開けてプリンタの内部から用紙を取り除いてください。

1. 右のドアを開きます。

注記：　長い用紙 (11x17、12x18、A3、およびバナー用紙) の紙詰まりを取り除くには、右のドアを開く前に、詰まっている用紙を切り取るか、破っておきます。

2. 右のドアの内側に詰まっている用紙が見える場合は、下方向にゆっくりと引いて取り除きます。

3. 用紙が内部の用紙経路に詰まっている場合は、トランスファー アクセス パネルの緑色のハンドルを上げて、パネルを開きます。

4. 用紙経路から用紙をゆっくりと引き出します。

5. トランスファー アクセス パネルを閉めます。

6. 右のドアを閉めます。

バナー用紙印刷時の紙詰まりを取り除く

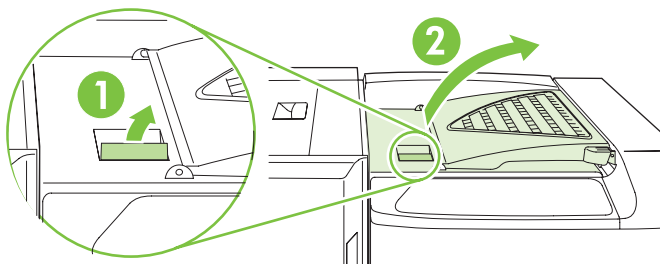
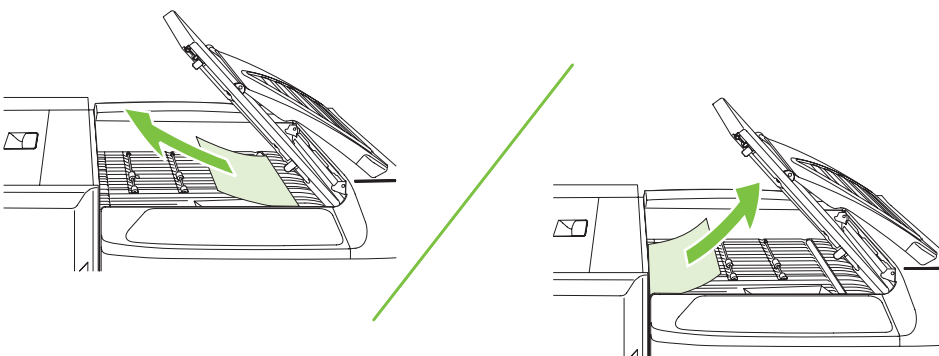
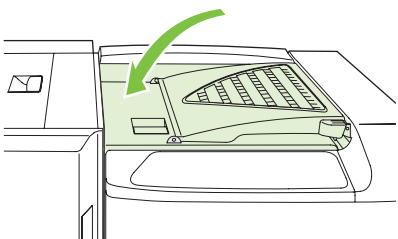
バナー用紙の印刷中に紙詰まりが発生した場合は、排紙ビンから排紙方向に、またはトレイ 1 から給紙方向と反対の方向にゆっくりと引いて、用紙経路から用紙を取り除きます。用紙を取り除いた後、右のドアを開いてから閉じると、コントロール パネルの紙詰まりメッセージが消えます。用紙を取り除くことができない場合は、次の手順に従います。

1. 右のドアを開きます。

注記： 非常に厚いバナー用紙をトレイ 1 から給紙し、用紙がプリンタに完全に引き込まれる前に紙詰まりが発生した場合、トレイ 1 の根元の部分で用紙を切ってから、右のドアを開け、用紙を引いてトレイ 1 のローラーから用紙を取り除いてください。

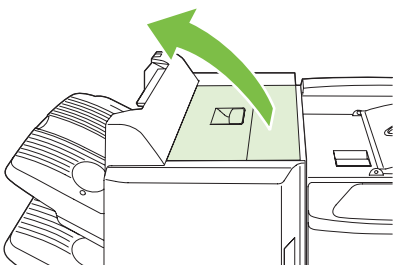
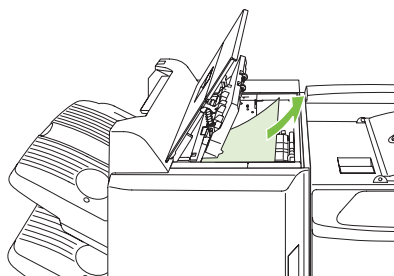
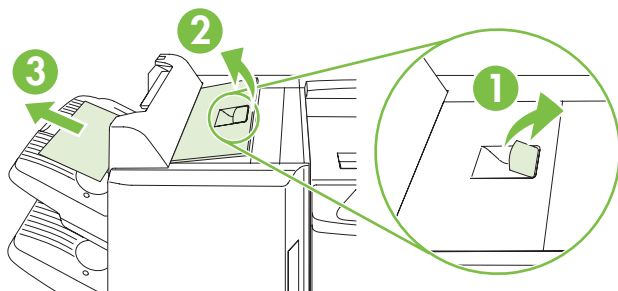
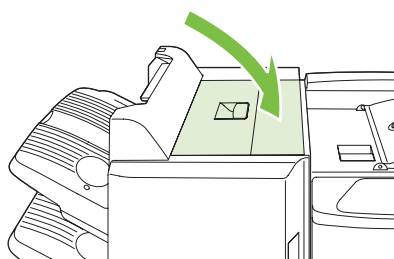
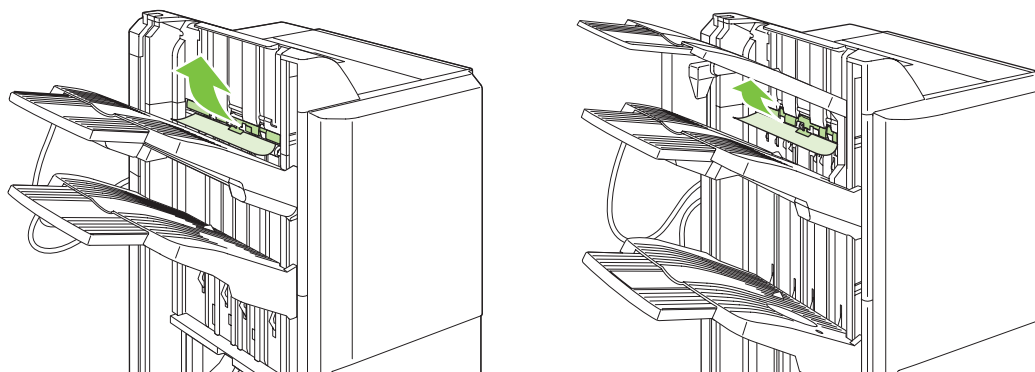
2. トランスファー アクセス パネルの緑色のハンドルを上げて、パネルを開きます。

3. 用紙経路から用紙をゆっくりと引き出します。

4. トランスファー アクセス パネルを閉めます。

5. 右のドアを閉めます。

エリア 7: オプションのトレイ 3、4、5 の紙詰まりを取り除く

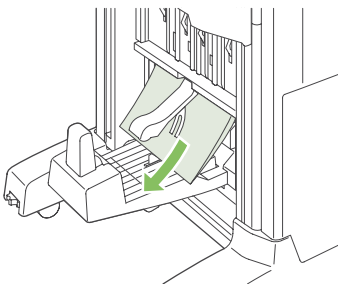
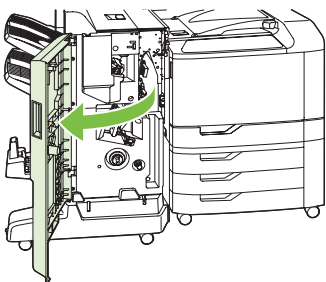
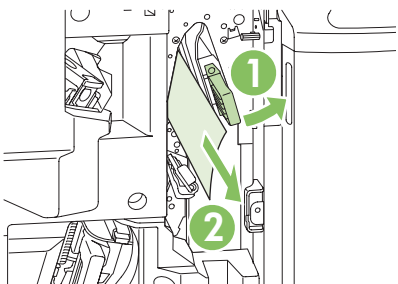
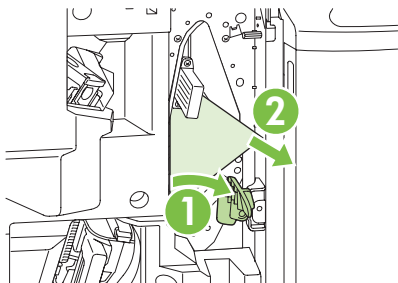
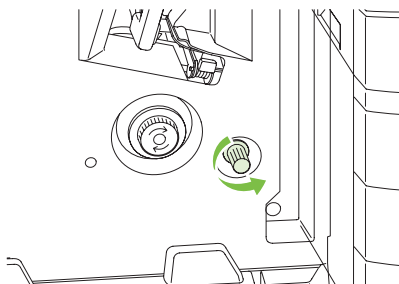
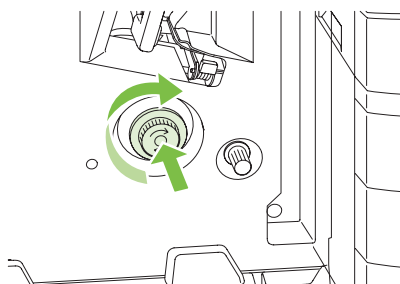
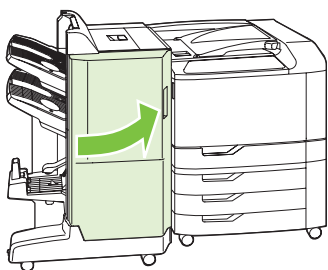
1. 右のドアを開きます。

2. 給紙エリアに詰まっている用紙が見える場合は、ゆっくりと引いて取り除きます。

3. 右のドアを閉めます。

4. 右下のドアを開きます。

5. 詰まっている用紙をゆっくりと引いて取り除きます。

6. コントロール パネルのメッセージで指示されたトレイを開き、用紙が正しくセットされていることを確認します。

7. トレイを閉めます。

8. 右下のドアを閉めます。

エリア 8: オプションのフィニッシャの紙詰まりを取り除く

排紙アクセサリ ブリッジの紙詰まりを取り除く

1. 排紙アクセサリ ブリッジの上部カバーのラッチを上げ、上部カバーを開きます。

2. 詰まっている用紙をゆっくりと引いて取り除きます。

3. 排紙アクセサリ ブリッジの上部カバーを閉めます。

仕分けエリアの紙詰まりを取り除く

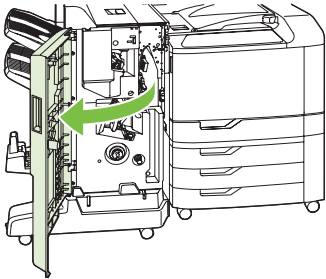
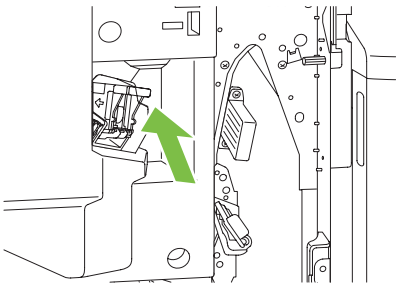
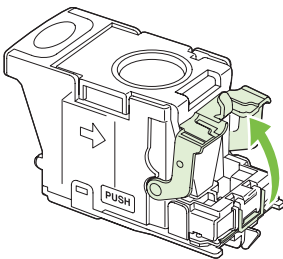
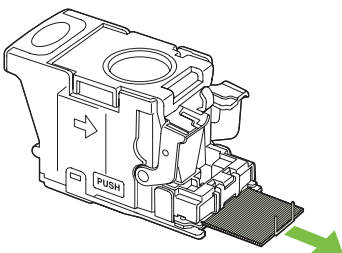
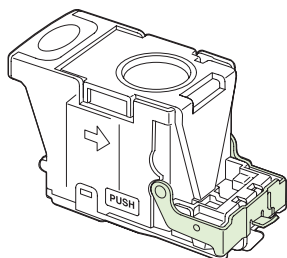
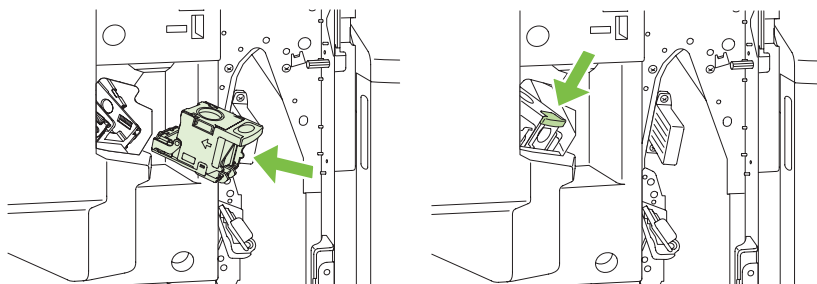
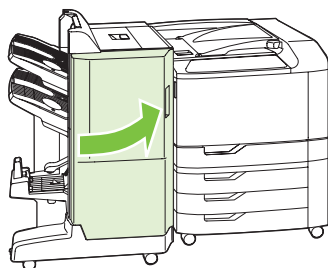
1. フィニッシャの上部カバーのラッチを上げ、上部カバーを開きます。

注記： 上部カバーを開くと、排紙ビン ローラーへの圧力が解放されます。

2. 排紙ビンまたは仕上げデバイスの内部から、詰まっている用紙を取り除きます。

3. 仕上げデバイスの上部カバーを閉めます。

4. 排紙ビンのスイング ガイド パネルを持ち上げます。詰まっている紙が見える場合は、ゆっくりと引き出します。

ブックレット メーカーの紙詰まりを取り除く

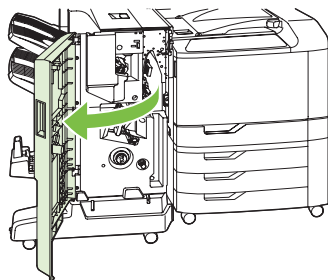
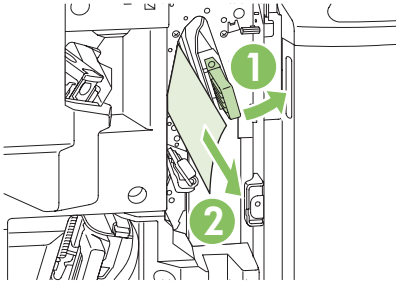
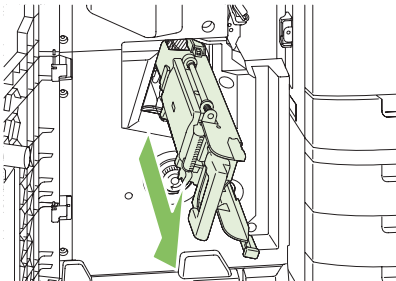
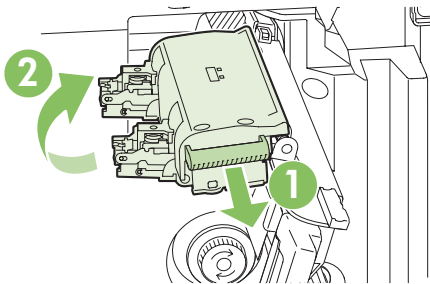
1. ブックレット排紙ビンに詰まっている用紙が見える場合は、ゆっくりと引いて取り除きます。

2. ブックレット メーカーの正面ドアを開きます。

3. 上部の給紙ガイドを右側に押し、詰まっている用紙があれば取り除きます。

4. 下部の給紙ガイドを右側に押し、詰まっている用紙があれば取り除きます。

5. 2 つある緑色のダイアルのうち、右側の小さなほうが位置合わせノブです。この位置合わせノブを反時計回りに回します。

6. 2 つある緑色のダイアルのうち、左側の大きなほうが紙詰まり解除ノブです。この紙詰まり解除ノブを押し込み、時計回りに回すと、詰まっている紙が排紙ビンへ排紙されます。

7. ブックレット メーカーの正面ドアを閉めます。

ステイプルの詰まりを除去する

メイン ステイプラの詰まりを除去する

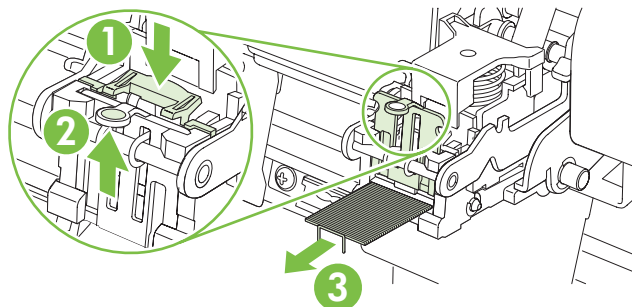
HP 3 ビン ステイプラ/スタッカ と HP ブックレット メーカー/フィニッシャのそれぞれの仕上げデバイスの上部には、メイン ステイプラが備わっています。

1. フィニッシャの正面ドアを開きます。

2. ステイプル カートリッジを取り外すには、緑色のハンドルを上方に引っ張って、カートリッジを引き出します。

3. ステイプル カートリッジの背後にある小さなレバーを引き上げます。

4. ステイプル カートリッジからはみ出ている破損したステイプルを取り除きます。破損したステイプルが含まれていた一連のステイプルをすべて取り除きます。

5. ステイプル カートリッジの背後にあるレバーを下げます。カチッという音がするまでレバーを下げてください。

6. ステイプル カートリッジをフィニッシャに戻し、カチッという音がするまで緑色のハンドルを押し下げます。

7. フィニッシャの正面カバーを閉めます。

ブックレット メーカーのステイプルの詰まりを除去する

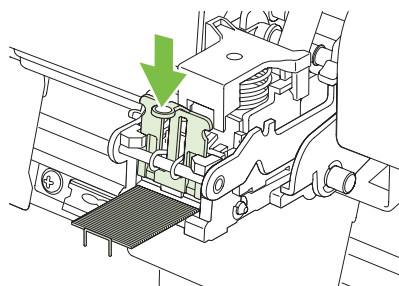
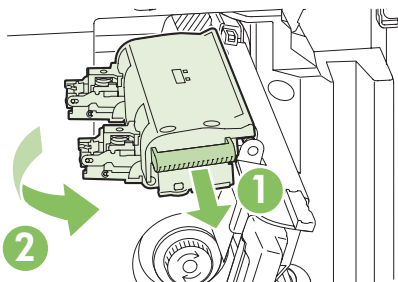
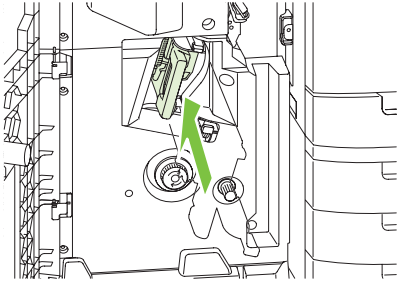
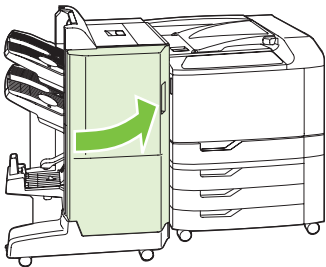
ブックレット メーカーには、メイン ステイプラの下に、中綴じ用ステイプラも備わっています。中綴じ用ステイプラには、2 つのステイプル カートリッジがあります。

1. ブックレット メーカーの正面ドアを開きます。

2. 上部の給紙ガイドを右側に押し、詰まっている用紙があれば取り除きます。

3. ステイプル カートリッジの青いハンドルをつかみ、まっすぐに引き出します。

4. ステイプル カートリッジの青いハンドルをつかんで手前に引き出してから、ステイプル カートリッジを回転させて垂直に立てます。

5. 各ステイプル カートリッジにステイプルが詰まっていないかどうかを確認します。

   a. 各ステイプル カートリッジの緑色のプラスチック タブを押して、詰まり除去プレートを持ち上げます。

   △ **注意：** この作業を行う際は、指や手をステイプル カートリッジの下に置かないでください。

   b. 詰まっているステイプルをすべて取り除きます。破損したステイプルと、そのステイプルが含まれれいた一連のステイプルをすべて取り除きます。

   c. 詰まり除去プレートを下に押して閉めます。

   △ **注意：** この作業を行う際は、指や手をステイプル カートリッジの下に置かないでください。

6. ステイプル カートリッジを手前に引き出し、回転させて元の位置に戻します。ハンドルを押して、所定の位置でロックします。

7. ステイプル カートリッジをブックレット メーカーに押し込みます。

8. ブックレット メーカーの正面ドアを閉めます。

紙詰まりの復旧

このプリンタには紙詰まり復旧機能が備わっており、詰まったページを再印刷することができます。次のオプションがあります。

- **自動** – 十分なメモリがある場合に、紙詰まりしたページが再印刷されます。
- **オフ** – 紙詰まりしたページは再印刷されません。最後の数ページを保存するためにメモリを使用しないので、パフォーマンスは最適化されます。

  注記：　このオプションを選択した場合、用紙切れの状態で両面印刷を行うと、一部のページが抜けてしまうことがあります。

- **オン** – 紙詰まりしたページが常に再印刷されます。印刷した最後の数ページを保存するために余分なメモリが割り当てられます。このため、パフォーマンスが低下する場合があります。

紙詰まり復旧機能の設定

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して **システム セットアップ** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押して **紙詰まり復旧** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
5. 下矢印ボタン ▼ または上矢印ボタン ▲ を押していずれかのオプションを選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
6. メニューを押して **印字可** に戻ります。

用紙処理に関する問題

『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』にある仕様を満たす用紙だけを使用してください。

プリンタが一度に複数の用紙を給紙する

プリンタが一度に複数の用紙を給紙する

原因	解決方法
給紙トレイがいっぱいです。トレイを開き、用紙の量がトレイの上限線を超えていないことを確認します。	給紙トレイから余分な用紙を取り出します。
印刷された用紙が互いにくっついています。	用紙を取り出し、曲げたり、前後や上下を逆にした後、トレイに再びセットします。 **注記：** 用紙を扇形に広げないでください。用紙を扇形に広げると静電気が発生し、用紙が互いにくっつく原因になります。
用紙がこのプリンタの仕様に合っていません。	このプリンタの HP 仕様を満たす用紙のみを使用します。
トレイが正しく調整されていません。	用紙ガイドが、使用する用紙サイズと合っていることを確認します。

間違ったサイズの用紙が給紙される

間違ったサイズの用紙が給紙される

原因	解決方法
正しいサイズの用紙が給紙トレイにセットされていません。	給紙トレイに正しいサイズの用紙をセットします。
ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで、正しいサイズの用紙が選択されていません。	ソフトウェア プログラムとプリンタ ドライバの設定が正しいかどうかを確認してください。ソフトウェア プログラムの設定は、プリンタ ドライバやコントロール パネルの設定よりも優先されます。また、プリンタ ドライバの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます。詳しくは、55 ページの 「プリンタ ドライバ設定の変更 (Windows)」、または63 ページの 「プリンタ ドライバ設定の変更 (Macintoss)」を参照してください。
コントロール パネルで、トレイ 1 用の正しいサイズの用紙が選択されていません。	コントロール パネルで、トレイ 1 用の正しいサイズの用紙を選択します。
給紙トレイの用紙サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、コントロール パネルを使用して、トレイに設定されている用紙サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	用紙ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

間違ったトレイから給紙される

間違ったトレイから給紙される

原因	解決方法
別のプリンタのドライバを使用しています。	このプリンタのドライバを使用します。
指定したトレイは空です。	指定したトレイに用紙をセットします。

間違ったトレイから給紙される

原因	解決方法
給紙トレイの用紙サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、コントロール パネルを使用して、トレイに設定されている用紙サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

用紙が自動的に給紙されない

用紙が自動的に給紙されない

原因	解決方法
ソフトウェア プログラムで手差しが選択されています。	トレイ 1 に用紙をセットするか、既に用紙がセットされている場合は、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
正しいサイズの用紙がセットされていません。	正しいサイズの用紙をセットします。
給紙トレイは空です。	給紙トレイに用紙をセットします。
前回、紙詰まりした用紙が完全に取り除かれていません。	プリンタを開き、給紙経路にある用紙を取り除きます。
給紙トレイの用紙サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、コントロール パネルを使用して、トレイに設定されている用紙サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	後ろ側と幅の用紙ガイドが用紙に触れていることを確認します。
手差し印刷の設定が**常に使用** になっています。トレイに用紙が入っていても、手差しで給紙するようにというメッセージが表示されます。	トレイを開いて用紙をセットし直し、トレイを閉じます。 または、手差し印刷の設定を **セットしてから使用** に変更します。トレイが空の場合だけ、手差しのメッセージが表示されるようになります。
プリンタの **要求されたトレイを使用** 設定が **優先** に設定されていますが、要求されたトレイが空です。プリンタは別のトレイを使用しません。	要求されたトレイに用紙をセットします。 または、**デバイスの設定** メニューの設定を **優先** から **最初** に変更します。指定されたトレイに用紙がセットされていない場合は、プリンタが別のトレイを使用します。

トレイ 2、3、4、または 5 から給紙されない

トレイ 2、3、4、または 5 から給紙されない

原因	解決方法
正しいサイズの用紙がセットされていません。	正しいサイズの用紙をセットします。
給紙トレイは空です。	給紙トレイに用紙をセットします。
プリンタのコントロール パネルで、給紙トレイの用紙タイプが正しく選択されていません。	プリンタのコントロール パネルで、給紙トレイに合った用紙タイプを選択します。
前回、紙詰まりした用紙が完全に取り除かれていません。	プリンタを開き、給紙経路にある用紙を取り除きます。紙詰まりのフューザ領域を注意して調べます。
オプションのトレイが給紙トレイ オプションとして表示されません。	オプション トレイは、装着されている場合にしか表示されません。オプション トレイが正しく装着されているかどうか確

トレイ 2、3、4、または 5 から給紙されない

原因	解決方法
	認してください。プリンタ ドライバが、オプション トレイを認識できるように設定されていることを確認します。
オプションのトレイが間違って取り付けられています。	設定ページを印刷して、オプションのトレイが取り付けられていることを確認します。取り付けられていない場合は、トレイが正しくプリンタに接続されていることを確認します。
給紙トレイの用紙サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、コントロール パネルを使用して、トレイに設定されている用紙サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

OHP フィルムまたは光沢紙が給紙されない

OHP フィルムまたは光沢紙が給紙されない

原因	解決方法
ソフトウェアまたはプリンタ ドライバで正しい用紙タイプが指定されていません。	ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで正しい用紙タイプが選択されていることを確認します。
給紙トレイがいっぱいです。	給紙トレイから余分な用紙を取り出します。トレイ 2、3、4、または 5 には、光沢紙または光沢 OHP フィルムを 200 枚以上、OHP フィルムを 100 枚以上セットしないでください。トレイ 1 については、高さの上限線を超えないようにしてください。
他のトレイにある用紙が OHP フィルムと同じサイズで、プリンタはデフォルトで他のトレイを使うように設定されています。	OHP フィルムまたは光沢紙のセットされた給紙トレイが、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで選択されていることを確認します。プリンタのコントロール パネルを使用して、セットした用紙タイプにトレイを設定します。
OHP フィルムまたは光沢紙をセットしたトレイがタイプに合わせて正しく設定されていません。	OHP フィルムまたは光沢紙のセットされた給紙トレイが、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで選択されていることを確認します。プリンタのコントロール パネルを使用して、セットした用紙タイプにトレイを設定します。
OHP フィルムまたは光沢紙が、サポートされている用紙の仕様を満たしていない可能性があります。	このプリンタの HP 仕様を満たす用紙のみを使用します。
湿度が高いために、光沢紙が給紙されなかったり、一度に複数枚給紙されることがあります。	最良の結果を得るには、トレイ 2、3、4、または 5 に光沢紙をセットします。 湿度の高い環境では、なるべく光沢紙に印刷しないようにしてください。光沢紙に印刷する場合は、用紙の包装を取り除き、数時間放置してから印刷すると、給紙しやすくなります。ただし、湿度の高いところに放置すると、ブリスタ (気泡状の印刷不良) が発生することがあります。

△ **注意：** HP カラー レーザー プレゼンテーション用紙 (光沢) (Q2546A、Q2547A) は、このプリンタではサポートされていません。 この用紙を使用すると、フューザで紙詰まりが発生し、フューザの交換が必要になる場合があります。 この用紙の代わりに、HP Color LaserJet プレゼンテーション用紙 (ソフト光沢) (Q6541A) および HP Color LaserJet ブローシャ用紙 (光沢) (Q6611A、Q6610A) の使用をお勧めします。 サポートされている用紙タイプの一覧については、88 ページの 「サポート対象の用紙タイプ」を参照してください。

封筒が詰まる、または封筒がプリンタに給紙されない

封筒が詰まる、または封筒がプリンタに給紙されない

原因	解決方法
封筒がサポートされていないトレイにセットされています。封筒を給紙できるのは、トレイ 1 のみです。	トレイ 1 に封筒をセットします。
封筒がめくれているか折れています。	別の封筒を試します。封筒は管理された環境で保存してください。
水分含有率が高すぎるため、封筒が密着しています。	別の封筒を試します。封筒は管理された環境で保存してください。
封筒の向きが間違っています。	封筒が正しくセットされていることを確認します。
このプリンタでは、封筒を使用できません。	*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide* を参照してください。
トレイ 1 は封筒以外のサイズに設定されています。	トレイ 1 のサイズを封筒用に設定します。

印刷出力がめくれている、またはしわが寄っている

印刷出力がめくれている、またはしわが寄っている

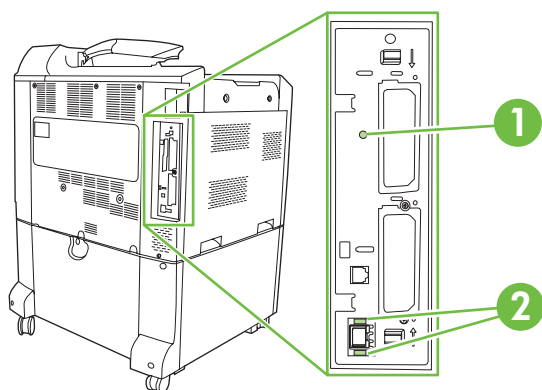
原因	解決方法
用紙がこのプリンタの仕様に合いません。	このプリンタの HP 仕様を満たす用紙のみを使用します。
用紙が折れているか汚れています。	用紙を給紙トレイから取り除き、良好な状態の用紙をセットします。
印刷速度を下げる必要があります。	[印刷品質] メニューの **用紙カール** オプションを **短縮** に設定し、最高速度を 10ppm (デフォルトは 40ppm)、3/4 速度を 7.5ppm (デフォルトは 30ppm) に下げます。
プリンタの動作環境の湿度が非常に高くなっています。	印刷環境の湿度が仕様範囲内かどうかを確認してください。
大きな塗りつぶされた領域を印刷しています。	大きな塗りつぶされた領域は、非常にめくれやすくなります。別のパターンを印刷してみます。
使用した用紙の保存状態が悪く、湿気を吸収しています。	用紙を取り除き、新しい、未開封の用紙と交換します。
用紙の端がぎざぎざです。	用紙を取り出し、曲げたり、前後や上下を逆にした後、給紙トレイに再びセットします。用紙を扇形に広げないでください。問題が解決しない場合は、用紙を交換します。
特定の用紙タイプがトレイに設定されていないか、ソフトウェアで選択されていません。	用紙に合わせてソフトウェアを設定します (ソフトウェアのマニュアルを参照)。用紙に対応するトレイの設定については、91 ページの 「用紙と印刷メディアのセット」を参照してください。
以前印刷した用紙を使用しています。	用紙は再使用しないでください。

両面印刷できないか、正しく両面印刷しない

両面印刷できないか、正しく両面印刷しない

原因	解決方法
両面印刷しようとしている用紙はサポートされていません。	両面印刷する用紙がサポートされていることを確認します。
プリンタ ドライバが両面印刷に合わせて設定されていません。	プリンタ ドライバを設定して、両面印刷を有効にします。
印刷済みフォームまたはレターヘッドの裏面に最初のページが印刷されています。	レターヘッドのある面 (印刷面) を下向きにし、ページの上部が奥になるように、印刷済みフォームおよびレターヘッドをトレイ 1 にセットします。トレイ 2、3、4、および 5 の場合は、印刷面を上向きにし、ページの上部が奥になるようにセットします。
この機種では、自動両面印刷することはできません。	HP Color LaserJet CP6015n では、自動両面印刷することはできません。
プリンタが両面印刷用に設定されていません。	Windows の場合は、次の手順に従って、自動設定機能を使用します。 1. **[スタート]** ボタンをクリックし、**[設定]** をポイントとして、**[プリンタ]** (Windows 2000 の場合) または **[プリンタと FAX]** (Windows XP の場合) をクリックします。 2. HP 製品のアイコンを右クリックし、**[プロパティ]** または **[印刷設定]** をクリックします。 3. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。 4. **[インストール可能オプション]** で、**[自動設定]** リストの **[今すぐ更新]** をクリックします。

フォーマッタのランプについて

フォーマッタに付いている 3 つの LED には、プリンタが正しく機能しているかどうかが示されます。

1	電源確認 LED
2	HP Jetdirect LED

HP Jetdirect LED

内蔵 HP Jetdirect プリント サーバーには 2 つの LED が備わっています。黄色の LED はネットワーク活動を示し、緑色の LED は接続状態を示します。黄色の LED が点滅している場合は、ネットワーク トラフィックがあることを意味します。緑色の LED が点灯していない場合は、接続が確立されなかったことを意味します。

接続エラーが発生した場合は、ネットワーク ケーブルのすべての接続箇所を確認します。また、プリンタのコントロールパネルのメニューを使用して、内蔵プリント サーバーを手動で設定することもできます。

1. メニューボタンを押します。
2. 下矢印ボタン▼を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
3. 下矢印ボタン▼を押して **I/O** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
4. 下矢印ボタン▼を押して **内蔵 Jetdirect メニュー** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
5. 下矢印ボタン▼を押して **リンク速度** を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押します。
6. 適切な速度を選択し、チェックマーク ボタン✓ を押して設定を保存します。

電源確認 LED

電源確認 LED には、フォーマッタが正しく機能しているかどうかが示されます。プリンタの電源を入れた後の初期化中は、電源確認 LED がすばやく点滅した後、消えます。プリンタの初期化が完了すると、規則的にオンとオフを繰り返します。

電源確認 LED が消えている場合は、フォーマッタで問題が発生している可能性があります。HP の正規サービス代理店問い合わせてください。HP のサポートに関するパンフレットか、www.hp.com/go/cljcp6015_firmware を参照してください。

画質の問題の解決

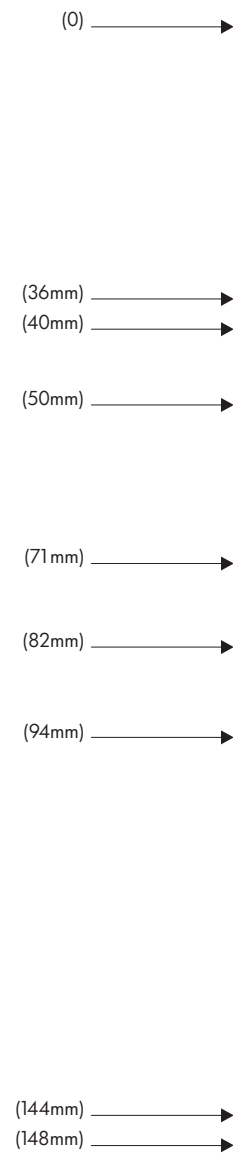
このセクションでは、印字品質に関する問題とその解決方法について説明します。印字品質に関する問題は、多くの場合、プリンタが正しく保守されていることの確認、HP の仕様に合った用紙の使用、クリーニング ページの印刷などによって簡単に解決できます。

さまざまな印刷品質の問題

不適切な用紙を使用すると、印刷品質の問題が発生することがあります。

- HP の用紙仕様を満たしている用紙を使用します。
- 用紙の表面が粗すぎます。HP 仕様を満たす用紙のみを使用します。
- プリンタ ドライバの設定または用紙トレイの設定が間違っている可能性があります。プリンタのコントロール パネルで用紙トレイを設定していること、および使用している用紙に合ったドライバ設定を選択していることを確認してください。
- プリント モードの設定に誤りがあるか、用紙が推奨仕様を満たしていない可能性があります。
- 使用している OHP フィルムのトナー定着は、使用目的に適していません。HP Color LaserJet プリンタ用の OHP フィルムだけを使用してください。
- 用紙の水分含有率にばらつきがあるか、高すぎるか、または低すぎます。別のソースまたは未開封の用紙を使用します。
- 用紙にトナーをはじく部分があります。別のソースまたは未開封の用紙を使用します。
- 使用しているレターヘッドが粗い用紙に印刷されています。なめらかなコピー用紙を使用します。これで問題が解決した場合は、レターヘッドを印刷した業者に、使用した用紙がこのプリンタの仕様に合っているかどうかを確認してください。
- 印刷の最適化モードを使用すると、印刷品質の問題が解決する場合があります。21 ページの「印刷品質メニュー」を参照してください。

連続した欠陥の定規

ページ上、欠陥が定期的に繰り返される場合は、この定規を使用して原因と欠陥を識別します。定規の一番上を最初の欠陥に置きます。次に発生する欠陥の横のマークは、どのコンポーネントが交換を必要としているかを示します。

36mm	イメージ ドラムの現像ローラー 4 つのイメージ ドラムのいずれかの欠陥により、印刷品質が劣化します。
40mm	イメージ ドラムの荷電ローラー 4 つのイメージ ドラムのいずれかの欠陥により、ラベル紙を給紙する際に斑点が現れる場合があります。
50mm	トランスファー ユニットのトランスファー 1 ローラー (トランスファー キット)
71mm	ローラー キットのトランスファー 2 ローラー (トランスファー キット)
82mm	トランスファー ユニットの張力 (トランスファー キット)
94mm	イメージ ドラム 4 つのイメージ ドラムのいずれかの欠陥により、印刷品質が劣化します。
144mm	フューザの圧力ローラー (フューザ キット)
148 mm	フューザの溶解ローラー (フューザ キット)

新しいイメージ ドラムを注文する前に、別の HP Color LaserJet CP6015 シリーズのイメージ ドラム (入手可能な場合) を装着して、問題の原因がインク ドラムにあるかどうかを確認します。

欠陥が 94.0mm 間隔で繰り返される場合は、フューザを交換する前にインク ドラムを交換します。

OHP フィルムの欠陥

OHP フィルムでは、他の用紙で発生する画質の問題の他に、OHP フィルム特有の不具合が発生することがあります。さらに、OHP フィルムは印刷経路を通過するときに曲がりやすいので、用紙を取り扱うコンポーネントに注意する必要があります。

注記： 印刷した OHP フィルムは、少なくとも 30 秒間冷ましてから取り扱ってください。

- プリンタ ドライバの **[用紙]** タブで、用紙タイプとして **[OHP フィルム]** を選択します。さらに、トレイが OHP フィルムに合わせて正しく設定されていることを確認します。
- OHP フィルムがこのプリンタの仕様を満たしていることを確認します。
- OHP フィルムが排紙ビン内で互いにくっつく場合は、印刷品質メニューの **メディア温度** を **短縮** に設定します。249 ページの 「手動印刷モードの使用」を参照してください。
- OHP フィルムは端を持って取り扱います。手の脂分が OHP フィルムの表面に付着すると、しみや汚れの原因になります。
- 塗りつぶされたページの終端の小さい、ランダムな濃い領域は、OHP フィルムが排紙ビン内で互いにくっつく原因になります。少量に分けてジョブを印刷してください。
- 印刷された色が、思ったとおりの色でなかった場合は、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで別の色を選択してください。
- 反射式オーバーヘッドプロジェクターを使用している場合、代わりに標準オーバーヘッドプロジェクターを使用します。

環境に関連する印刷品質の問題

プリンタの動作環境の湿度が非常に高いか、乾燥しすぎている場合は、印刷環境が仕様の範囲内かどうかを確認してください。275 ページの 「環境仕様」を参照してください。最適化モードを使用すると、環境による問題を解決できる場合があります。249 ページの 「手動印刷モードの使用」を参照してください。

紙詰まりに関連する印刷品質の問題

- すべての用紙が用紙経路から取り除かれていることを確認します。
- 紙詰まりを取り除いたすぐ後に、2 ～ 3 ページ印刷してプリンタをクリーニングします。
- 用紙がフューザを通過していない場合は、後続の文書のイメージが印刷されません。2 ～ 3 ページ印刷してプリンタをクリーニングしてください。

画質の最適化と改善

次に、画質の問題を解決する手順をいくつか示します。

これらの手順に従っても画質が上がらない場合は、www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください。

仕様どおりの用紙を使う

プリンタでサポートされていない用紙や他のメディアを使用すると、さまざまなの問題の原因になります。 サポートされている用紙タイプの一覧については、88 ページの 「サポート対象の用紙タイプ」を参照してください。

プリンタを校正する

校正とは、印刷の品質を最適化することです。画質に問題がある場合は、プリンタを校正してください。

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して **印刷品質** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押して **今すぐ完全に校正** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

この手順に従っても問題が解決しない場合は、次の操作を行います。

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して **印刷品質** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押して **中間色校正** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。

正しい種類の用紙を選択する

注記： 手順は変わることがあり、共通ではありません。

プリンタに数種の用紙セットする場合は、使用する用紙の種類を指定します。

1. 用紙トレイを取り付けたら、コントロール パネルのボタンを使用して、用紙の種類を指定します。詳しくは、92 ページの 「トレイ 2、3、4、5 への用紙のセット」を参照してください。次の表を参考にして、最適な種類を選択してください。印刷する時点で、プリンタ ドライバで同じ種類の用紙を選択します。
2. コンピュータから印刷ジョブを送信する場合は、ソフトウェア プログラムの**[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
3. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
4. **[用紙/品質]** タブを選択します。
5. **[用紙の種類]** ドロップダウン ボックスで、**[詳細....]** を選択し、プリンタにセットされている用紙に最適な種類を選択します。

   HP Color LaserJet CP6015 の PCL 6 プリンタ ドライバを使用している場合は、**[通常印刷]** ショートカットを選択し、**[用紙の種類]** を選択します。HP Universal Printing PS ドライバを使用している場合は、**[用紙/品質]** タブを選択し、**[用紙の種類]** を選択します。
6. プリンタにセットされている用紙に最適な種類を選択します。

   ドライバで最適な用紙の種類を選択するときに、次の表を参考にしてください。デフォルトの用紙の種類と、ドライバとプリンタのコントロール パネルに表示される種類を対応させていま

す。たとえば、125 g/m^2 の光沢紙を使用する場合は、プリンタ ドライバで [超厚光沢 131-175 g/m^2] を選択します。

標準の種類と重量	プリンタ ドライバとコントロール パネルで選択できる種類
• 標準 • 厚手用紙 1 • 厚手用紙 2 • 厚手用紙 3 • 光沢紙 1 • 光沢紙 2 • 光沢紙 3 • 光沢 OHP フィルム • OHT	指定なし
薄手用紙 1 60-74 g/m^2	薄手用紙 60-74 g/m^2
標準 75-90 g/m^2	中間 85-95 g/m^2
厚手用紙 1 91-120 g/m^2	厚手用紙 111-130 g/m^2
厚手用紙 2 121-163 g/m^2	超厚手 131-175 g/m^2
厚手用紙 3 164-220 g/m^2	厚紙 176-220 g/m^2
光沢紙 1 91-120 g/m^2	厚手光沢紙 111-130 g/m^2
光沢紙 2 121-160 g/m^2	超厚光沢紙 131-175 g/m^2
光沢紙 3 161-220 g/m^2	厚紙光沢紙 176-220 g/m^2
光沢 OHP フィルム	HP 耐久紙
OHT	カラー レーザー OHP フィルム
ラベル紙	ラベル紙
封筒	封筒
封筒 2	厚手封筒
指定 1 60-90 g/m^2	粗めの用紙
指定 2 >91 g/m^2	厚手粗めの用紙

フューザをクリーニングする

クリーニング ページを印刷して、フューザにトナーや用紙の細かいほこりがたまらないようにします。ほこりがたまると、印刷したページの表または裏に斑点が現れることがあります。

印刷の品質に問題がある場合は、クリーニング ページを使用することをお勧めします。

クリーニングが行われている間は、プリンタのコントロール パネルのディスプレイに **クリーニング中** と表示されます。

クリーニング ページは、コピー用紙に印刷してください (ボンド紙や厚手の用紙、粗めの用紙は使いません)。クリーニングが終了すると、空白のページが印刷されます。このページは破棄してください。

クリーニング ページの作成と使用

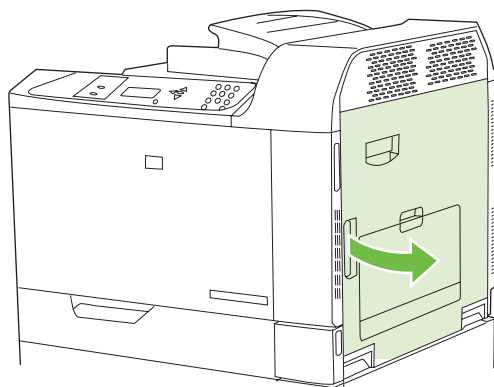
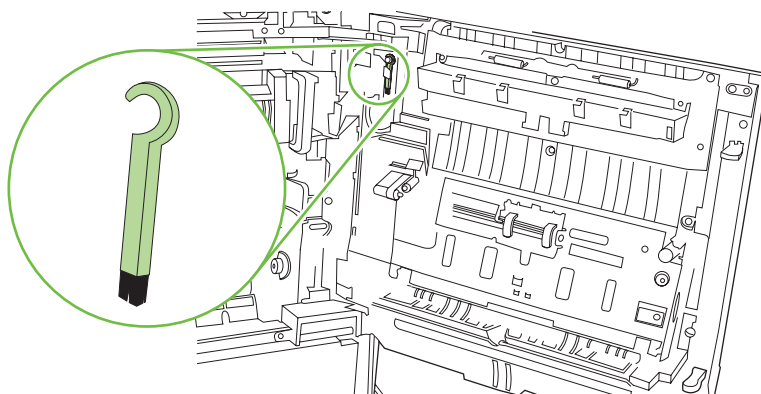
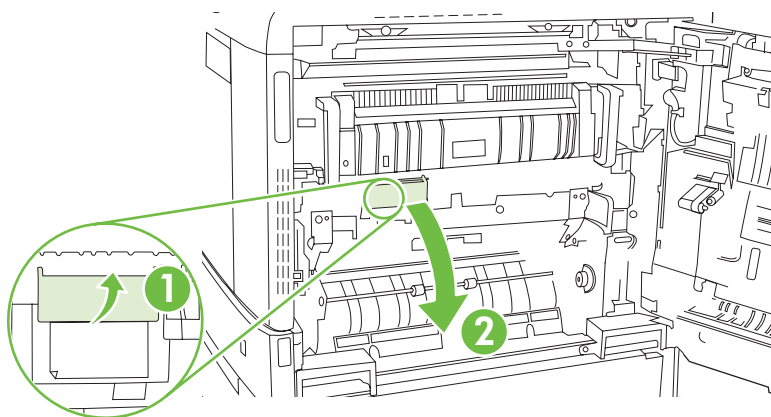
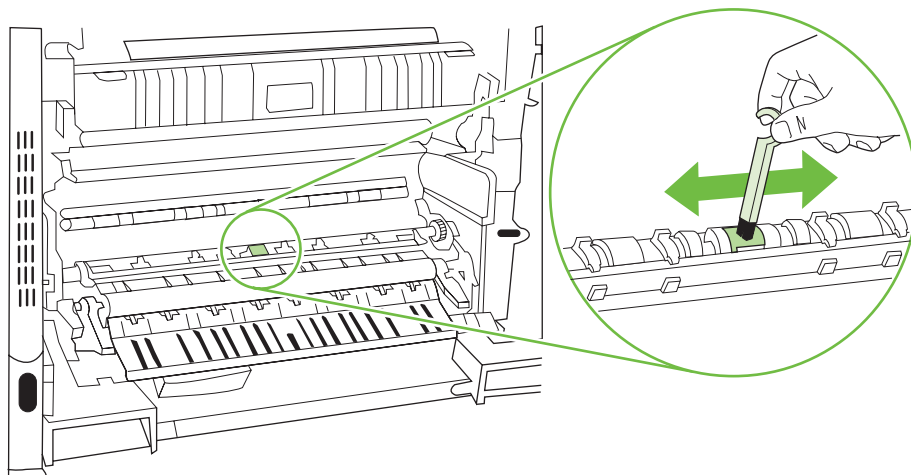
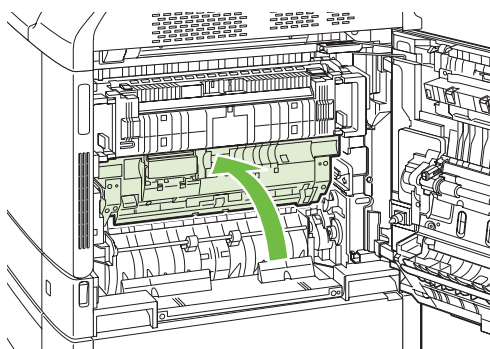
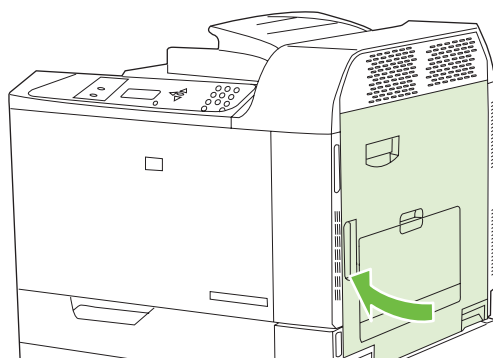
1. メニュー ボタンを押します。
2. 上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押して **デバイスの設定** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押して **印刷品質** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押して **クリーニング ページの処理** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
5. 印刷したページを破棄します。これでクリーニング完了です。

エラー メッセージが表示された場合の処置

イベント ログに「**54.<XX> エラー**」というメッセージがある場合は、印刷品質の問題を解決して、これ以上エラーが発生しないようにするために、プリンタの保守作業が必要になることがあります。

1. プリンタの右側のドアをいったん開いてから閉じ、イベント ログに「**54.<XX> エラー**」という最新イベントを記録させます。
2. メニュー ボタンを押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して、**情報** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
4. 下矢印ボタン ▼ を押して **診断** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
5. 下矢印ボタン ▼ を押して **イベント ログの印刷** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
6. ログで最後に発生したイベントを確認します。
    - このイベントが「**54.OE.01 メディア センサー**」の場合は、サービス技術者がレジストレーションの二次転写装置を交換する必要があります。HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) にこのエラー コードを報告してください。
    - 「**54.OE.02 メディア センサー**」の場合は、プリンタのトランスファー キットを交換する必要があります。HP のサポート担当者 (www.hp.com/support/cljcp6015) にこのエラー コードを報告してください。
    - 「**54.OE.03 メディア センサー**」場合は、次の手順に従って、レジストレーションの 2 番目のトランスファー アセンブリとメディア センサーをクリーニングする必要があります。

レジストレーションの二次転写装置のクリーニング

1. 右のドアを開きます。

2. クリーニング ブラシを見つけて取り外します。

3. トランスファー アクセス パネルの緑色のハンドルを上げて、パネルを開きます。

4. クリーニング ブラシでメディア センサーをクリーニングします。

5. トランスファー アクセス パネルを閉じ、クリーニング ブラシをホルダに戻します。

6. 右のドアを閉じます。

手動印刷モードの使用

手動印刷モードを使用して、画質の問題を解決できるかどうかを確認します。このオプションは、コントロール パネルの [印刷品質] メニューの [最適化] サブメニューにあります。21 ページの 「印刷品質メニュー」を参照してください。

- **用紙カール**： **短縮** に設定すると、最高速度を 40ppm から 10ppm に、3/4 速度を 30ppm から 7.5ppm に落とし、用紙が曲がらないようにします。
- **定義済みの回転**： ページに水平方向の線ができる場合は、この機能を **オン** にします。ただし、プリンタが起動するのに時間がかかります。
- **フューザ温度**： 印刷した画像が同じページの下部または次のページにぼんやりとした影となって繰り返し写る場合は、用紙タイプやプリント モードの設定がご使用の用紙と合っているかをまず確認します。それでもこの問題が解決しない場合は、フューザ温度機能を代替設定のいずれかに変更します。まず **代替 1** 設定を試し、問題が解決するかどうか調べます。解決しない場合は **代替 2**、**代替 3** の順に試します。**代替 2** や **代替 3** に設定すると、1 つの印刷ジョブから次のジョブまでの間隔が大幅に延びる場合があります。
- **トレイ 1**： トレイ 1 から印刷するときに用紙の裏面にしみができる場合は、このモードを **代替** に設定します。この設定にすると、クリーニングの頻度が上がります。
- **光沢モード**： 写真などの光沢仕上げの印刷ジョブで、2 ページ目以降の光沢が落ちる場合は、この機能を **高** に設定します。
- **薄手メディア**： 薄手の用紙への印刷や印字率の高い印刷で、特に、フューザ遅延またはフューザへの紙の巻き込みによる紙詰まりのメッセージが頻繁に表示される場合は、この機能を **オン** に設定します。
- **メディア温度**： 用紙がくっついて排紙される場合は、この機能を **短縮** に設定します。
- **環境**： 周りの温度が非常に低い場合に、パフォーマンスを最適化します。温度が低い場所に設置しているプリンタで、印刷した画像にブリスタ (気泡状の印刷不良) などの問題が発生する場合は、この機能を **オン** に設定します。
- **ラインの電圧**： 電圧が低い場合に、パフォーマンスを最適化します。供給電圧が低い場所に設置しているプリンタで、印刷画像にブリスタ (気泡状の印刷不良) などの問題が発生する場合は、この機能を **オン** に設定します。
- **クリーニング頻度**： 出力したページに 38mm 間隔で繰り返し印刷不良が見られる場合は、この機能を **代替** に設定します。これにより、C ローラーのクリーニング頻度が上がります。また、印刷速度が低下したり消耗品の交換頻度が上がったりすることもあります。
- **ダブルブレード バイアス**： 出力したページに白く短い縦線が現れる場合は、この機能を **代替** に設定します。これにより、印刷出力に黒っぽい点が発生することがあります。何回か印刷して、この設定でよいかどうかを確認してください。
- **ごみ箱**： 印字率の低い印刷ジョブで、特に、出力の長さ方向に縞模様が発生する場合は、この機能を **代替** に設定します。
- **景背**： 印刷したページの背景の陰影が濃い場合は、この機能をオンにします。オンにすると、光沢が下がることがあります。
- **厚手モード**： 厚手の用紙をスムーズに給紙するために、速度を **30ppm** または **24ppm** に設定します。

- **定義済みの回転**： ページに水平方向の線ができる場合は、この機能を **オン** にします。ただし、プリンタが起動するのに時間がかかります。
- **トラッキング コントロール**： 転写電圧を調整して、カラーの安定性を向上します。このモードを **オン** に設定していることを確認します。

印刷品質トラブルの解決ページ

印刷品質トラブルの解決ページを使用して、印刷品質の問題を診断して解決します。

1. メニュー ボタンを押します。
2. 下矢印ボタン ▼ を押して **診断** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押します。
3. 下矢印ボタン ▼ を押して、**印刷品質のトラブルの解決** を選択し、チェックマーク ボタン ✓ を押して印刷します。

印刷が終わったら、プリンタが **印字可** 状態に戻ります。印刷されたページの手順に従います。

性能に関する問題

問題	原因	解決方法
ページは印刷されるが、空白のまま排紙される。	プリント カートリッジに密封テープが残っている可能性があります。	プリント カートリッジから密封テープが完全にはがされていることを確認します。
	文書の空白ページを印刷した可能性もあります。	印刷した文書に白紙のページがないか確認します。
	製品が正しく機能していない可能性があります。	製品を調べる場合は、設定ページを印刷します。
ページの印刷に時間がかかる。	メディアのタイプが厚手の場合、印刷ジョブに時間がかかることがあります。	異なるタイプのメディアを印刷します。
	複雑なページは印刷に時間がかかることがあります。	最高の印刷品質を実現するために、熱処理が実行されますが、そのために印刷速度が低下することがあります。
	まとめて印刷する部数が多い場合に幅の狭い用紙を使うと、印刷が遅くなることがあります。	別のサイズの用紙を使うか、小さなバッチに分けて印刷してください。
ページが印刷されない。	メディアが正しく給紙されていない可能性があります。	用紙がトレイに正しくセットされていることを確認します。 問題が解決しない場合は、ピックアップ ローラーと仕分けパッドの交換が必要なことがあります。詳細については、268 ページの 「カスタマ サポート」を参照してください。
	デバイスで紙詰まりが発生しています。	紙詰まりを除去します。詳細については、204 ページの 「紙詰まり」を参照してください。
	USB ケーブルに不具合があるか、正しく接続されていない可能性があります。	● USB ケーブルを両端とも取り外し、接続し直します。 ● 以前に印刷したことのあるジョブを印刷します。 ● 別の USB ケーブルを使用します。
	コンピュータで別のデバイスが実行されています。	製品が USB ポートを共有していない可能性があります。製品と同じポートに外付けのハード ドライブまたはネットワーク スイッチボックスが接続されている場合は、他のデバイスが干渉している可能性があります。製品を接続して使用する場合は、他のデバイスの接続を切断するか、コンピュータの別々の USB ポートに接続する必要があります。

ネットワーク接続に関するトラブルの解決

プリンタでネットワーク接続の問題が発生している場合は、このセクションの指示に従って解決してください。

ネットワーク印刷に関するトラブルの解決

注記： プリンタの CD-ROM を使って、ネットワーク上にプリンタをインストールしてセットアップすることをお勧めします。

- ネットワーク ケーブルがプリンタの RJ45 コネクタにしっかり差し込まれていることを確認します。
- フォーマッタ上のリンク LED が点灯していることを確認します。240 ページの 「フォーマッタのランプについて」を参照してください。
- I/O カードが使用可能な状態になっているかどうか確認します。設定ページを印刷します (142 ページの 「情報ページ」を参照)。HP Jetdirect プリント サーバがインストールされている場合、設定ページを印刷すると、2 ページ目にネットワーク設定とステータスが印刷されます。

  注記： HP Jetdirect プリント サーバーは、各種のネットワーク プロトコル (TCP/IP、IPX/SPX、Novell NetWare、AppleTalk、DCL/LLC など) をサポートしています。適切なプロトコルおよびネットワーク パラメータが正しく設定されていることを確認してください。

  HP Jetdirect の設定ページで、ご使用のプロトコルに関する次の項目を確認します。

  - HP Jetdirect 設定で、ステータスが「I/O Card Ready」になっている。
  - プロトコルのステータスが「Ready」になっている。
  - IP アドレスが記載されている。
  - 設定方法 (Config by:) が 正しく記載されている。どの方法が正しいか不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 別のコンピュータからジョブの印刷を試行します。
- プリンタがコンピュータと正しく連動していることを確認するには、USB ケーブルを使用して、プリンタをコンピュータに直接接続します。印刷ソフトウェアを再インストールする必要があります。過去に印刷を正しく実行できたプログラムを使用して、ドキュメントを印刷します。正しく印刷される場合、問題はネットワークにあることが考えられます。
- サポートが必要な場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。

ネットワークの通信状態の検証

HP Jetdirect の設定ページにプリンタの IP アドレスが表示されている場合は、ネットワーク経由でプリンタと通信できることを、以下の手順に従って確認してください。

1. **Windows** の場合：**[スタート]** をクリックし、**[ファイル名を指定して実行]** をクリックして、「
cmd

   」と入力します。MS-DOS のコマンド プロンプトが表示されます。

   または

   Mac の場合：**[アプリケーション]** をクリックし、**[ユーティリティ]** をクリックして、ターミナル アプリケーションを開きます。ターミナル ウインドウが表示されます。

2. 「
ping

   」に続けて、IP アドレスを入力します。たとえば、「
ping XXX.XXX.XXX.XXX

   」と入力します。"XXX.XXX.XXX.XXX" の部分には、HP Jetdirect の設定ページに表示されている IPv4 アドレスを入力してください。ネットワーク経由でプリンタと通信できる場合は、プリンタからの応答が一覧形式で出力されます。

3. IP アドレスがネットワーク上で競合していないかを、アドレス解決プロトコル (arp -a) コマンドを使用して確認します。プロンプトに「
arp -a

   」と入力します。出力された一覧で該当する IP アドレスを探し、その物理アドレスを、HP Jetdirect の設定ページ ([HP Jetdirect 設定] セクション) に表示されているハードウェアのアドレスと比較します。両者のアドレスが一致した場合、ネットワーク通信はすべて正常に機能しています。

4. プリンタのネットワーク接続が正常に動作しているかどうかを確認できなかった場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。

製品ソフトウェアの問題

問題	解決方法
製品のプリンタ ドライバが **プリンタ** フォルダに見当たらない	● 製品ソフトウェアを再インストールします。 注記： 実行しているアプリケーションをすべて閉じます。システム トレイにアイコンのあるアプリケーションを閉じる場合は、アイコンを右クリックして **[閉じる]** または **[無効]** を選択します。 ● USB ケーブルをコンピュータの別の USB ポートに差し込みます。
ソフトウェアのインストール中にエラー メッセージが表示された	● 製品ソフトウェアを再インストールします。 注記： 実行しているアプリケーションをすべて閉じます。タスク バーにアイコンのあるアプリケーションを閉じる場合は、アイコンを右クリックして **[閉じる]** または **[無効]** を選択します。 ● 製品ソフトウェアをインストールしているドライブの空き容量を確認します。必要に応じて空き容量をできるだけ増やし、製品ソフトウェアを再インストールします。 ● 必要な場合はデフラグを実行してから、製品ソフトウェアを再インストールします。
製品は印字可になっているのに、何も印刷されない	● 設定ページを印刷し、製品の機能を確認します。 ● すべてのケーブルが正しく配線され、また仕様範囲内であることを確認します。USB ケーブルおよび電源ケーブルも確認してください。新しいケーブルで接続してみます。

Macintosh に関する一般的なトラブルの解決

このセクションには、Mac OS X で発生する可能性のある問題が表形式でまとめられています。

表 12-2 Mac OS X に関する問題

プリンタ ドライバが、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されません。

原因	解決方法
プリンタ ソフトウェアがインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。	プリンタの PPD がハードドライブ フォルダ (Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<言語>.lproj) にあることを確認します。<言語> は、使用言語を表す 2 文字のコードです。必要であれば、ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。
PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルが壊れています。	PPD ファイルをハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj から削除します (<lang> は使用言語を表す 2 文字の言語コード)。ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。

プリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous/Bonjour ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティのプリンタ リストに表示されません。

原因	解決方法
プリンタが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、プリンタの電源が入っていること、および印字可ランプが点灯していることを確認します。USB または Ethernet ハブ経由で接続している場合、コンピュータに直接接続するか、異なるポートを試してください。
間違った接続タイプが選択されている可能性があります。	プリンタとコンピュータの接続方法に応じて、USB、IP 印刷、または Rendezvous/Bonjour が選択されていることを確認します。
間違ったプリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous/Bonjour ホスト名が使用されています。	設定ページを印刷して、プリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を確認します。設定ページのプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されたものと同じことを確認します。
インターフェイス ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インターフェイス ケーブルを交換します。品質の良いケーブルを使用していることを確認します。

プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティで選択したプリンタが、プリンタ ドライバで自動的に設定されません。

原因	解決方法
プリンタが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、プリンタの電源が入っていること、および印字可ランプが点灯していることを確認します。USB または Ethernet ハブ経由で接続している場合、コンピュータに直接接続するか、異なるポートを試してください。
プリンタ ソフトウェアがインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。	プリンタの PPD がハードドライブ フォルダ (Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<言語>.lproj) にあることを確認します。<言語> は、使用言語を表す 2 文字のコードです。必要であれば、ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。

表 12-2 Mac OS X に関する問題 (続き)

プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティで選択したプリンタが、プリンタ ドライバで自動的に設定されません。

原因	解決方法
PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルが壊れています。	PPD ファイルをハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj から削除します (<lang> は使用言語を表す 2 文字の言語コード)。ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。
インターフェイス ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インターフェイス ケーブルを交換します。品質の良いケーブルを使用していることを確認します。

印刷ジョブが選択したプリンタに送られませんでした。

原因	解決方法
プリント キューが停止している可能性があります。	プリント キューを再起動します。**[プリント モニタ]** を開き、**[ジョブを開始]** を選択します。
間違ったプリンタ名または IP アドレスが使用されています。まったく同じかよく似た名前、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を持つ別のプリンタが、印刷ジョブを受信した可能性があります。	設定ページを印刷して、プリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を確認します。設定ページのプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されたものと同じことを確認します。

Encapsulated PostScript (EPS) ファイルが正しいフォントで印刷されません。

原因	解決方法
この問題は一部のプログラムで発生します。	● EPS ファイル内に格納されているフォントを、印刷する前にプリンタにダウンロードしてみてください。 ● ファイルをバイナリ エンコードではなく ASCII フォーマットで送信してください。

サードパーティ製 USB カードから印刷できません。

原因	解決方法
このエラーは、USB プリンタ用のソフトウェアがインストールされていない場合に発生します。	サードパーティ製 USB カードを追加するときに Apple USB Adapter Card Support ソフトウェアが必要となる場合があります。このソフトウェアの最新版は Apple の Web サイトから入手できます。

表 12-2 Mac OS X に関する問題 (続き)

USB ケーブルで接続しているときに、ドライブを選択した後にプリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティにプリンタが表示されません。

原因	解決方法
この問題は、ソフトウェアとハードウェア コンポーネントのいずれかが原因で発生します。	**ソフトウェアで発生するトラブルの解決** ● お使いの Macintosh で USB がサポートされていることを確認します。 ● Macintosh のオペレーティング システムが Mac OS X バージョン 10.1 以降であることを確認します。 ● お使いの Macintosh に Apple 製の適切な USB ソフトウェアがインストールされていることを確認します。 **ハードウェアで発生するトラブルの解決** ● プリンタの電源が入っていることを確認します。 ● USB ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 ● 適切なハイスピード USB ケーブルが使用されていることを確認します。 ● チェーンにつながっている、電力を消費する USB デバイスが多すぎないことを確認します。チェーンに接続されているデバイスをすべて外し、ケーブルをホスト コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。 ● チェーンにおいて、バスパワー動作の USB ハブが 3 つ以上連続して接続されていないかを確認します。チェーンに接続されているデバイスをすべて外し、ケーブルをホスト コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。 注記： iMac のキーボードはバスパワー動作の USB ハブです。

A サプライ品とアクセサリ

パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文

パーツ、サプライ品、アクセサリを注文する方法はいくつかあります :

- HP から直接注文
- サービス プロバイダまたはサポート プロバイダを通じて注文
- 埋め込み Web サーバーを通じて直接注文 (ネットワーク接続されたプリンタ向け)
- HP Easy Printer Care ソフトウェアを使って直接注文します

HP から直接注文

以下のアイテムは HP から直接注文できます :

- **交換パーツ :** 米国で交換パーツを注文するには、www.hp.com/go/hpparts をご覧ください。米国以外では、お近くの HP 認定サービス センターにお問い合わせのうえ、パーツをご注文ください。
- **サプライ品とアクセサリ** : 米国からサプライ品を注文するには、www.hp.com/go/ljsupplies にアクセスしてください。その他の国から注文するには、www.hp.com/ghp/buyonline.html にアクセスしてください。

サービス プロバイダまたはサポート プロバイダを通じて注文

パーツまたはアクセサリを注文するには、HP 認定のサービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。

埋め込み Web サーバーを通じて直接注文 (ネットワーク接続されたプリンタ向け)

次の手順で、埋め込み Web サーバーから直接印刷用のサプライ品を注文してください。

1. コンピュータ上の Web ブラウザで、デバイスの IP アドレスまたはホスト名を入力します。ステータス ウィンドウが表示されます。
2. **[[その他のリンク]]** 領域で **[[サプライ品の注文]]** をダブルクリックします。消耗品を購入するサイトの URL が提供されます。
3. 注文する商品のパーツ番号を選択し、画面の指示に従います。

HP Easy Printer Care ソフトウェアを使って直接注文します

HP Easy Printer Care ソフトウェアは、プリンタの設定や監視、プリンタ用サプライ品の注文、トラブルシューティング、およびアップデートを簡単かつ効率的に行うためのプリンタ管理ツールです。HP Easy Printer Care ソフトウェアの詳細については、www.hp.com/easyprintercare を参照してください。

パーツ番号

注文に関する情報と在庫状況が、プリンタの耐用期間中に変更されることがあります。

アクセサリ

項目	説明	製品番号
HP Color LaserJet 500 枚用紙フィーダ x 1	500 枚用紙フィーダとキャビネット	CB473A
HP Color LaserJet 500 枚用紙フィーダ x 3	3 段 (各 500 枚) 用紙フィーダとキャビネット	CB474A
HP 3 ビン ステイプラ/スタッカ アクセサリ	排紙アクセサリ ブリッジ ユニット付き 3 ビン ステイプラ/スタッカ	Q6998A
HP 3 ビン ステイプラ/スタッカまたは HP ブックレット メーカー/フィニッシャ ステイプル カートリッジ (HP ブックレット メーカー/フィニッシャの上部カートリッジ)	5000 針入り予備カートリッジ	C8091A
HP ブックレット メーカー/フィニッシャ アクセサリ	排紙アクセサリ ブリッジ ユニット付き ブックレット メーカー フィニッシャ	Q6999A
HP ブックレット メーカー/フィニッシャ中綴じステイプル カートリッジ (下部カートリッジ)	2000 針入り予備カートリッジ	CC383A

プリント カートリッジ

項目	説明	製品番号
HP Color LaserJet プリント カートリッジ (黒)	16,500 ページ黒カートリッジ	CB380A
HP Color LaserJet プリント カートリッジ (シアン)	17,000 ページ シアン カートリッジ	CB381A
HP Color LaserJet プリント カートリッジ (イエロー)	17,000 ページ イエロー カートリッジ	CB382A
HP Color LaserJet プリント カートリッジ (マゼンタ)	17,000 ページ マゼンタ カートリッジ	CB383A

イメージ ドラム

品目	説明	製品番号
HP Color LaserJet イメージ ドラム (黒)		CB384A
HP Color LaserJet イメージ ドラム (シアン)		CB385A

品目	説明	製品番号
HP Color LaserJet イメージ ドラム (イエロー)		CB386A
HP Color LaserJet イメージ ドラム (マゼンタ)		CB387A

保守キット

項目	説明	製品番号
イメージ フューザ キット	110V	CB457A
イメージ フューザ キット	220V	CB458A
ローラー キット		CB459A
イメージ トランスファー キット		CB463A

ケーブルおよびインタフェース

項目	説明	製品番号
拡張 I/O (EIO) カード	HP Jetdirect 635n IPv6/IPsec プリント サーバー	J7961G
USB ケーブル	2m 標準 USB 互換デバイス コネクタ	C6518A

B　サービスおよびサポート

Hewlett-Packard 社製品限定保証

HP 製品	限定保障期間
HP Color LaserJet CP6015 シリーズ プリンタ	1 年間限定保証

HP は、エンド ユーザーに対して、購入日から上記の期間中、HP ハードウェアとアクセサリに材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、自らの判断に基づき不具合があると証明された製品の修理または交換を行います。交換製品は新品か、または新品と同様の機能を有する製品のいずれかになります。

HP は、HP ソフトウェアを正しくインストールして使用した場合に、購入日から上記の期間中、材料および製造上の瑕疵が原因でプログラミング命令の実行が妨げられないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、当該不具合によりプログラミング インストラクションが実行できないソフトウェア メディアの交換を行います。

HP は、HP の製品の動作が中断されないものであったり、エラーが皆無であることは保証しません。なお、HP が HP の製品を相当期間内に修理または交換できなかった場合、お客様は、当該製品を返却することで、当該製品の購入金額を HP に請求できます。

HP 製品には、新品と同等の性能を発揮する再生部品が無作為に使用されることがあります。

本保証は、以下に起因する不具合に対しては適用されません。(a)不適当または不完全な保守、校正に因るとき。(b) HP が供給しないソフトウェア、インタフェース、または消耗品に因るとき。(c) HP が認めない改造または誤用に因るとき。(d) 表示した環境仕様の範囲外での動作に因るとき。(e) 据付場所の不備または保全の不適合に因るとき。

特定目的のための適合性や市場商品力についての暗黙の保証は、上記で明記された保証の保証期間に限定されます。一部の国/地域では、暗黙の保証の保証期間を制限できない場合があるため、上記の制限や責任の排除はお客様に適用されない場合があります。本保証は特定の法律上の権利をお客様に認めるものです。また、お客様は、その国/地域の法律によっては、他の権利も認められる場合があります。 HP の限定保証は、HP が製品のサポートを提供し、かつ製品を販売している国/地域で有効です。お客様の受け取る保証サービスは、国/地域の標準規定によって異なる場合があります。HP は、法律または規制上の理由で製品を機能させる意図のなかった国/地域で動作するように製品の形態、整合性、または機能を変更しません。

現地の法律で許容されている範囲内において、本保証書の責任が、HP の唯一で排他的な責任です。現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害 (利益の逸失やデータの消失を含む) その他の損害に対して、HP およびそのサプライヤは一切責任を負いません。一部の国/地域では、付帯的または結果的な損害の排除や制限を認めない場合があり、上記の制限や排除はお客様に適用されない場合があります。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

プリント カートリッジとイメージ ドラムの限定保証書条項

この HP 製品は、材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

この限定保証は、(a) 補充、改変、再製または改ざんを施された製品、(b) 誤用、不適切な保管、またはプリンタ製品の公開されている環境仕様以外で操作した製品、(c) 通常の使用による疲弊した製品には適用されません。

限定保証サービスを受けるには、製品を購入店 (問題を記述した書面および印刷サンプルを添付) に返品するか HP カスタマ サポートにお問い合わせください。HP の裁量で、HP は、瑕疵があることが判明した製品を交換するか、またはお客様に購入代金を返金します。

現地の法律で許容されている範囲内において、上記の保証は排他的であり、その他の保証や条件は、書面または口頭を問わず、明示または黙示されることはありません。HP 社は、商品性、品質に対するお客様の満足、または特定目的に対する整合性を含むいかなる黙示的な保証または条件に対する責任も負いません。

現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害 (利益の逸失やデータの消失を含む) その他の損害に対して、HP およびその代理店は一切責任を負いません。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

Color LaserJet フューザ キット、トランスファー キット、およびローラー キットの限定保証条項

この HP 製品は、プリンタのコントロールパネルに耐用期限が近づいたことが表示されるまで、材料および仕上げに不具合がないことを保証します。

この限定保証は、(a) 改造、再生、または改ざんした製品、(b) 誤用、不適切な保管、またはプリンタ製品の公表されている環境仕様以外で使用した場合の問題、(c) 通常の使用により摩耗した製品には適用されません。

限定保証サービスを受けるには、問題を記述した書面を添付して製品を購入店に返品するか、HP カスタマ サポートにお問い合わせください。HP は、自らの判断で、不具合があると証明された製品を交換するか、またはお客様に購入価額を払い戻します。

現地の法律で許されている範囲内において、上記の保証は排他的であり、その他の保証や条件は、書面または口頭を問わず、明示および黙示されません。HP 社は、商品性、満足のゆく品質または特定の目的に対する適合性を含むいかなる黙示的な保証または条件に対する責任も負いません。

現地の法律で許されている範囲内において、契約あるいは法に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、間接的損害、必然的損害 (利益逸失やデータ消失を含む)、その他の損害に対して、HP 社およびその代理店は一切の責任を負いません。

ここに含まれている保証条項は、法律で許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

カスタマ自己修理の保証サービス

HP 製品には多くのカスタマ自己修理 (CSR) 部品が使用されているため、修理時間が最小限に抑えられ、欠陥部品の交換にも柔軟に対応できます。診断期間中に、CSR 部品を使用した修理が可能であると HP が判断した場合は、HP からお客様に直接その交換部品が発送されます。CSR 部品は、次の 2 つのカテゴリに分類されます。1) お客様ご自身が修理する義務のある部品。これらの部品交換を HP に依頼した場合は、このサービスに対する交通費および人件費はお客様が負担するものとします。2) お客様による修理がオプションである部品。これらの部品もカスタマ自己修理に含まれています。ただし、HP に交換を依頼しても、製品に指定されている保証サービスによっては、その一部とみなされ、無料で行われます。

部品の在庫状況および配達地域により、CSR 部品は翌営業日に届くように発送されます。配達地域によっては、当日配達または 4 時間以内の配達を指定できる場合がありますが、当日または 4 時間以内の配達には追加料金がかかります。サポートが必要な場合は、HP テクニカル サポート センターに電話でお問い合わせください。技術者がお客様の質問にお答えします。交換用の CSR 部品に同梱の資料には、欠陥部品を HP に返却いただく必要があるかどうかが指定されています。欠陥部品を HP に返却いただく必要がある場合は、定められた期間内 (通常、5 営業日以内) に欠陥部品を HP に発送しなければなりません。欠陥部品は、提供された梱包物に付属する文書とともに返却する必要があります。欠陥部品を返却されない場合は、交換部品の代金が HP から請求されます。カスタマ自己修理を利用した場合は、送料と部品返却料を HP が全額負担し、使用する宅配業者/運送業者は HP が決めるものとします。

カスタマ サポート

国/地域の電話サポートを受ける (保証期間中は無料) 製品名、シリアル番号、購入日、問題の説明をご用意ください。	各国/地域の電話番号については、パッケージに同梱されているお知らせ、または www.hp.com/support/ をご覧ください。
24 時間のインターネット サポートを受ける	www.hp.com/support/cljcp6015
Macintosh コンピュータと使用している製品のサポートを受ける	www.hp.com/go/macosx
ソフトウェア ユーティリティ、ドライバ、電子形式の情報をダウンロードする	www.hp.com/go/cljcp6015_software
サプライ品や用紙を注文する	www.hp.com/go/suresupply
HP 純正の部品やアクセサリを注文する	www.hp.com/buy/parts
追加の HP サービス契約または保守契約を注文する	www.hp.com/go/carepack

利用可能なサポートおよびサービス

HP は世界各地でさまざまなサービスおよびサポート オプションを販売しています。購入可能なサービスおよびサポート オプションは購入する国/地域によって異なります。

HP 社保守契約

HP 社では、幅広いサポートの需要を満たすため複数のタイプの保守契約をご用意しています。保守契約は標準保証に含まれていません。サポート サービスは国/地域によって異なります。ご利用可能なサービスについては、最寄りの HP 販売店にお問い合わせください。

オンサイト サービス契約

お客様のニーズに合ったサポートを提供するため、HP 社では 3 段階のオンサイト サービス契約で対応します。

優先オンサイト サービス

この契約では、HP 社の通常営業時間内にお電話を頂くと 4 時間以内に対応します。

翌日オンサイト サービス

この契約では、サービスを申し込まれた次の営業日までにサポートを提供します。対象時間の延長および HP 社が規定するサービス エリア外への出張は、ほとんどのオンサイト契約で可能です (追加料金)。

週間 (ボリューム) オンサイト サービス

この契約では、多数の HP 社製品をお持ちの企業を毎週定期的に訪問します。この契約は、プリンタ、プロッタ、コンピュータ、およびディスク ドライブを含む、25 台以上のワークステーション製品を使用している現場を対象としています。

C　製品の仕様

物理仕様

表 C-1 製品寸法

製品	高さ	奥行き	幅	重量[1]
HP Color LaserJet CP6015n	580mm	635mm	704mm	86.2kg
HP Color LaserJet CP6015dn	580mm	635mm	704mm	86.2kg
HP Color LaserJet CP6015de	580mm	635mm	704mm	86.2kg
HP Color LaserJet CP6015x	972.8mm	635mm	704mm	115.3kg
HP Color LaserJet CP6015xh	972.8mm	635mm	704mm	119.6kg

[1] プリント カートリッジなし

表 C-2 すべてのドアおよびトレイを完全に開いた状態での製品寸法

製品	高さ	奥行き	幅
HP Color LaserJet CP6015n	580mm	1079.5mm	983mm
HP Color LaserJet CP6015dn	580mm	1079.5mm	983mm
HP Color LaserJet CP6015de	580mm	1079.5mm	983mm
HP Color LaserJet CP6015x	972.8mm	1079.5mm	983mm
HP Color LaserJet CP6015xh	972.8mm	1079.5mm	983mm

電気的仕様

⚠ **警告！** 電源条件は、販売された国/地域によって異なります。動作電圧は変更しないでください。プリンタが損傷しても保証の対象にならない場合があります。

表 C-3 電源条件 (HP Color LaserJet CP6015 シリーズ)

仕様	110V モデル	230V モデル
電源条件	100 ～ 127V (± 10%) 50/60 Hz (± 2 Hz)	220 ～ 240V (± 10%) 50/60 Hz (± 2 Hz)
定格電流	12.0 A	6.0 A

表 C-4 消費電力 HP Color LaserJet CP6015 シリーズ (平均値、単位は W)[1、2]

製品モデル	印刷時 [3]	印刷可 [4]	スリープ (110V) [5、6]	スリープ (220V)	オフ
HP Color LaserJet CP6015n	1195 W	207 W	18.9 W	21.5W	0.1 W
HP Color LaserJet CP6015dn (欧州)	1195 W	207.5 W	(該当なし)	21.5W	0.2 W
HP Color LaserJet CP6015dn (欧州以外)	1195 W	207.5 W	18.9 W	該当なし	0.1 W
HP Color LaserJet CP6015de	1195 W	50 W	18.9 W	該当なし	0.1 W
HP Color LaserJet CP6015x	1195 W	208 W	18.9W	21.5W	0.1 W
HP Color LaserJet CP6015xh	1200 W	211.4 W	19.4 W	22W	0.1 W

1 数値は変更される場合があります。最新情報については、www.hp.com/support/cljcp6015 を参照してください。

2 消費電力は、標準電圧で測定されたすべての値のうちの最大値です。

3 HP Color LaserJet CP6015 シリーズの印刷速度はレター サイズで 40ppm、A4 サイズで 41ppm です。

4 印刷可モードでの放熱は 722BTU/時です。

5 印字可モードからスリープ モードへのデフォルトの移行時間は 60 分です。

6 スリープ モードからの回復時間は 125 秒以内です。

稼動音仕様

表 C-5 音量と音圧のレベル[1] (HP Color LaserJet CP6015 シリーズ)

発生騒音レベル	ISO 9296 準拠宣言
印刷時[2]	L_{WAd}= 6.8 ベル (A) [68 dB (A)]
印刷可	L_{WAd}= 5.8 ベル (A) [58 dB (A)]
音圧レベル	**ISO 9296 準拠宣言**
印刷時[2]	L_{pAm}=52.7 dB (A)
印刷可	L_{pAm}=40.3 dB (A)

[1] 数値は変更される場合があります。最新情報については、www.hp.com/go/cljcp6015_firmware を参照してください。

[2] HP Color LaserJet CP6015 シリーズの印刷速度は、フル カラーまたはモノクロのレター サイズおよび A4 サイズで 40ppm です。テスト時の構成 (HP Color LaserJet CP6015)： ベース モデル、A4 サイズ単純印刷

環境仕様

環境条件	推奨	許容値	保管時/スタンバイ時
温度 (プリンタおよびプリント カートリッジ)	17° ～ 25° C (62.6° ～ 77° F)	10 ～ 30° C (50 ～ 86° F)	0 ～ 35° C (32 ～ 95° F)
相対湿度	相対湿度 (RH) 30 ～ 70%	10% ～ 80% RH	5 ～ 95%
高度	該当せず	0m ～ 2500m	該当せず

D 規制に関する情報

FCC 規格

本装置をテストした結果、Class B デジタル デバイスの基準に達し、FCC 規則の Part 15 に準拠していることが確認されました。これらの基準は、居住空間に装置を設置した場合の受信障害に対するしかるべき防止策を提供することを目的としています。本装置は、無線周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があります。指示に従って本装置を設置し使用していない場合、無線通信に支障をきたす場合があります。しかし、特定の設置条件で障害が発生しないことを保証するものではありません。本装置の電源の投入時および切断時に、ラジオやテレビの電波受信に支障がある場合、次の処置の 1 つまたは複数を試すことをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、または設置場所を変える
- 装置と受信機の距離を広げる
- 受信機が接続されている電気回路とは別の回路上のコンセントに本装置を接続する
- 本装置の販売店、またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する

注記： HP が明示的に認めていないプリンタへの変更や改造を行うと、本装置を操作するユーザーの権利が無効になる場合があります。

FCC 規則の Part 15 の Class B 基準に準拠するには、シールド付きインタフェース ケーブルを使用してください。

製品の環境適合化プログラム

環境の保護

Hewlett-Packard 社は環境保全を考慮した上で、高品質の製品をお届けしています。この製品は、いくつかの点で環境への影響を最小限に抑えるように設計されています。

オゾン放出

この製品はオゾン ガス (O_3) をほとんど発生しません。

消費電力

印字可モードおよびスリープ モードでは、消費電力を大幅に節約することができます。これにより、製品のパフォーマンスを維持したまま、天然資源の保護およびコストの削減を実現できます。本製品の ENERGY STAR® 適合性については、製品データ シートまたは仕様シートでご確認ください。ENERGY STAR® 適合製品は、次の Web サイトでもご覧いただけます。

http://h50146.www5.hp.com/info/company/environment/productdesign/energyefficiency.html

用紙の使用

本製品のオプション機能である自動両面印刷機能 (用紙の両面に印刷する機能)、および N-up 印刷機能 (1 枚の用紙に複数のページを印刷する機能) を使用して用紙の使用量を減らすことで、天然資源の消費量も減らすことができます。

プラスチック

25g を超えるプラスチック部品には、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

HP LaserJet 用サプライ品

空になった HP LaserJet プリント カートリッジは、HP Planet Partners が無料で回収し、リサイクルします。新しい HP LaserJet プリント カートリッジおよびサプライ品の箱には多言語によるプログラムの説明が同梱されています。複数のカートリッジをまとめて回収すれば、環境税も節約できます。

HP は、製品の設計から製造、流通、使用、リサイクルに至るまで、環境保全に配慮した、独創的で高品質の製品およびサービスの提供に努めています。HP Planet Partners プログラムにお申し込みいただくと、弊社がお客様の使用済み HP LaserJet プリント カートリッジを適切にリサイクルいたします。使用済みカートリッジのプラスチックおよび金属部分から新しい製品を製造することで、数百万トンもの廃棄物削減を実現しています。カートリッジはご返却いたしかねますので、ご了承ください。環境保全にご協力いただき、ありがとうございます。

注記： 返却ラベルは、ご購入いただいた HP LaserJet プリント カートリッジを返却する場合にのみ使用してください。HP インクジェット カートリッジ、HP 製以外のカートリッジ、再充填または再生カートリッジ、および保証対象の返品にはこのラベルを使用しないでください。HP インクジェット カートリッジのリサイクルについては、www.hp.com/recycle をご覧ください。

回収およびリサイクル手順

米国およびプエルトリコ

HP LaserJet トナー カートリッジ ボックスの同梱されているラベルは、使用後の 1 つまたは複数の HP LaserJet プリント カートリッジの回収およびリサイクル用ラベルです。以下の該当する手順を実行してください。

カートリッジが複数 (2 個以上) の場合

1. HP LaserJet プリント カートリッジをそれぞれオリジナルのボックスおよびバッグに入れます。
2. 紐または梱包用テープを使用して、複数の箱をひとまとめにします。発送重量は、最大 31kg (70 ポンド) です。
3. 前払いの発送ラベルを 1 枚使用します。

または

1. 適切な箱を用意するか、www.hp.com/recycle から、または 1-800-340-2445 に連絡して、無料の回収専用箱を入手します (HP LaserJet プリント カートリッジを最大 31kg (70 ポンド) まで梱包可)。
2. 前払いの発送ラベルを 1 枚使用します。

1 個のカートリッジの回収

1. HP LaserJet プリント カートリッジをオリジナルのボックスおよびバッグに入れます。
2. 発送ラベルをボックスの前面に貼付します。

発送

リサイクル用に HP LaserJet プリント カートリッジを返却する場合は、必ず UPS を使用してください。次に UPS から配達があったとき、または UPS に集荷を依頼したときに担当者にお渡しください。または、正規の UPS 持ち込み場所まで荷物をお持ちください。お近くの UPS 持ち込み場所については、1-800-PICKUPS までご連絡いただくか、www.ups.com をご覧ください。USPS (米国郵政公社) ラベルを使用する場合は、USPS に集荷を依頼するか、USPS まで荷物をお持ちください。詳細をお知りになりたい場合、または追加のラベルや一括回収用の箱をご希望の場合は、www.hp.com/recycle をご覧になるか、1-800-340-2445 までご連絡ください。UPS の集荷料金には通常のレートが適用されます。この情報は、予告なしに変更される場合があります。

米国以外でのリサイクル品の回収

HP Planet Partners 返却およびリサイクル プログラムへのお申し込みについては、リサイクル ガイド (新しくご購入いただいたサプライ品に同梱されています)、または www.hp.com/recycle をご覧ください。お住まいの国/地域を選択すると、お使いの HP LaserJet 用サプライ品の返却方法が表示されます。

用紙

この製品では、用紙が『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide (HP LaserJet プリンタ ファミリー印刷メディアガイド)*』に記載されている基準に適合している場合に限り、再生紙を使用することができます。この製品には、EN12281:2002 に準拠する再生紙を使用することができます。

材料に関する規制

この HP 製品には、耐用期間経過後に特別な取扱いが必要になるバッテリが使用されています。

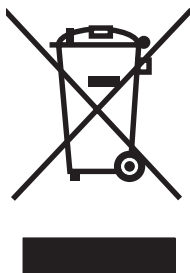
本製品に使用されているバッテリ

タイプ	フッ化炭素リチウム バッテリ
重量	0.8 グラム
実装位置	フォーマッタ ボード
ユーザーによる取り外し	不可

廢電池請回收

この製品には、コントロール パネルの液晶ディスプレイの蛍光灯に水銀が使用されているため、耐用期間経過後に特別な取扱いが必要になる場合があります。

リサイクル情報については、www.hp.com/go/recycle にアクセスするか、最寄りの代理店または米国電子工業会 (www.eiae.org) にお問い合わせください。

EU (欧州連合) が定める一般家庭の使用済み機器の廃棄

製品または製品のパッケージにこのマークが付いている場合、この製品を家庭廃棄物と一緒に捨てることは禁止されています。使用済み機器の廃棄は消費者が責任を負うものとし、電気・電子機器廃棄物のリサイクルを行うための指定された回収拠点に持って行く必要があります。使用済み機器の廃棄に分別収集およびリサイクルを実行することより、天然資源を保護し、人間の健康と環境を守るリサイクルを実現します。使用済み機器のリサイクルを行う回収拠点については、居住地区の市役所、家庭廃棄物の収集業者、または製品を購入した販売店にお問い合わせください。

化学物質安全性データシート (MSDS)

化学物質が使われているサプライ品 (トナーなど) の Material Safety Data Sheet (化学物質等安全データシート：MSDS) は HP の Web サイト www.hp.com/go/msds または www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/safety から入手可能です。

詳細について

これらの環境に関するトピック

- この製品やこの製品に関連する多くの HP 製品についての製品環境プロファイル
- HP 社の環境への貢献
- HP 社の環境管理システム
- HP 社の製品回収およびリサイクル プログラム
- 化学物質安全データシート (MSDS)

www.hp.com/go/environment または www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment にアクセスしてください。

適合宣言

適合宣言

適合規格： ISO/IEC 17050-1 および EN 17050-1

製造元：	Hewlett-Packard Company DoC#: BOISB-0601-00-rel. 1.0
製造元住所：	11311 Chinden Boulevard, Boise, Idaho 83714-1021, USA

次の製品の適合を宣言します。

製品名：	HP Color LaserJet CP6015 シリーズ
アクセサリ	CB 473A – 1 x 500 枚給紙トレイ/スタンド CB474A – 3 x 500 枚給紙トレイ/スタンド Q6999A – HP ブックレット メーカー/フィニッシャ アクセサリ Q6998A – 3 ピン ステイプラ/スタッカ アクセサリ
規制モデル番号： [2]	BOISB-0601-00
製品オプション：	すべて トナー カートリッジ/イメージ ドラム CB380A、CB381A、CB382A、CB383A、CB384A、CB385A、CB386A、CB387A

次の製品仕様に準拠しています。

安全性：	IEC 60950-1:2001 / EN60950-1 ： 2001 + A11 IEC 60825-1:1993 + A1 + A2 / EN 60825-1:1994 + A1 + A2 (クラス 1 レーザー/LED 製品) GB4943-2001
EMC (電磁適合性)：	CISPR 22:2005 / EN 55022:2006 - クラス B[1] EN 61000-3-2:2000 +A2 EN 61000-3-3:1995 + A1 EN 55024:1998 +A1 + A2 FCC タイトル 47 CFR、パート 15 クラス B / ICES-003、Issue 4 GB9254-1998, GB17625.1-2003

補足情報：

本製品は EMC Directive 2004/108/EC および Low Voltage Directive 2006/95/EC の要件に準拠し、それに基づいて CE マークを貼付しています。

本デバイスは FCC 規定 Part 15 に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提とします。(1) 本デバイスによって有害な干渉が発生することはありません。(2) 本デバイスは予期しない動作の原因となる干渉も含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

1) 本製品は、Hewlett-Packard パーソナル コンピュータ システムの標準的な構成でテスト済みです。

2) 規制の対象として、この製品には規制モデル番号が割り当てられています。この番号を製品名または製品番号と混同しないでください。

Boise, Idaho , USA

2008 年 2 月 1 日

規制に関する問い合わせ先：

ヨーロッパでの問い合わせ先：	最寄りの Hewlett-Packard 販売代理店およびサービス事務所、または Hewlett-Packard GmbH, Department HQ-TRE / Standards Europe, Herrenberger Straße 140, D-71034 Böblingen, Germany, (FAX： +49-7031-14-3143)
米国内の問い合わせ先：	Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, PO Box 15, Mail Stop 160, Boise, Idaho 83707-0015, USA, (電話番号： 208-396-6000)

揮発性の証明

ここでは、メモリに格納されたユーザー データの揮発性について述べています。また、機密データをプリンタから消去する方法についても説明します。

メモリのタイプ

揮発性メモリ

プリンタは、印刷やコピー中に、ユーザーのデータを保存するために揮発性メモリ (オンボード メモリ 64MB と換装メモリ 512MB の合計 576MB) を使用します。プリンタの電源を切ると、揮発性メモリの内容は消去されます。

不揮発性メモリ

プリンタは、システムの制御データやユーザーの環境設定を保存するために、不揮発性メモリ (EEPROM) を使用します。不揮発性メモリには、ユーザーの印刷データやコピー データは保存されません。コントロール パネルから [コールド リセット] または [出荷時のデフォルトの復元] を実行することにより、不揮発性メモリをクリアして、出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。

ハードディスク ドライブ メモリ

プリンタには、電源を切った後もデータを保持できる内蔵ハードディスク ドライブ (40GB 以上) が搭載されています。また、必要に応じて、コンパクト フラッシュ ストレージや外付けの EIO ハードディスクを追加することもできます。これらのデバイスに格納されるデータには、印刷ジョブ、サードパーティのソリューションなどがあります。このようなデータは、プリンタのコントロール パネルから消去できる場合もありますが、通常は HP Web Jetadmin のセキュア ストレージ消去機能 (Secure Storage Erase) を使用して消去する必要があります。セキュア ストレージ消去機能は、米国国防総省 (DOD) の仕様 5220-22.M に準拠しています。

安全規定

レーザー製品の安全性

米国食品医薬品局の医療機器・放射線製品センタ (CDRH) では、1976 年 8 月 1 日以降に生産されたレーザ製品の規定を定めています。米国で販売される製品では規定への準拠が必須です。このデバイスは、1968 年の放射線規制法に基づく米国保健社会福祉省 (DHHS) の放射線性能基準のもと、「クラス 1」のレーザ製品に認定されています。このデバイス内で放射される放射線は保護用の筐体および外部カバー内に密封されているので、ユーザーの通常の使用状況ではレーザ ビームが漏れることはありません。

⚠ **警告！** このユーザーズ ガイドに指定されていない制御を使用したり、調整を行ったり、手順を実行したりすると、危険な放射線が漏れる場合があります。

Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格)

Complies with Canadian EMC Class B requirements.

《 Conforme à la classe B des normes canadiennes de compatibilité électromagnétiques. « CEM ». »

VCCI 規格（日本）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

電源コード規格 (日本)

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

EMI 規格 (韓国)

B급 기기 (가정용 정보통신기기)

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서
주거지역에서는 물론 모든지역에서 사용할 수 있습니다.

レーザーに関する声明 (フィンランド)

LASERTURVALLISUUS

LUOKAN 1 LASERLAITE

KLASS 1 LASER APPARAT

HP Color LaserJet CP6015 シリーズ-laserkirjoitin on käyttäjän kannalta turvallinen luokan 1 laserlaite.Normaalissa käytössä kirjoittimen suojakotelointi estää lasersäteen pääsyn laitteen ulkopuolelle.

Laitteen turvallisuusluokka on määritetty standardin EN 60825-1 (1994) mukaisesti.

VAROITUS!

Laitteen käyttäminen muulla kuin käyttöohjeessa mainitulla tavalla saattaa altistaa käyttäjän turvallisuusluokan 1 ylittävälle näkymättömälle lasersäteilylle.

VARNING!

Om apparaten används på annat sätt än i bruksanvisning specificerats, kan användaren utsättas för osynlig laserstrålning, som överskrider gränsen för laserklass 1.

HUOLTO

HP Color LaserJet CP6015 シリーズ-kirjoittimen sisällä ei ole käyttäjän huollettavissa olevia kohteita.Laitteen saa avata ja huoltaa ainoastaan sen huoltamiseen koulutettu henkilö.Tällaiseksi huoltotoimenpiteeksi ei katsota väriainekasetin vaihtamista, paperiradan puhdistusta tai muita käyttäjän käsikirjassa lueteltuja, käyttäjän tehtäväksi tarkoitettuja ylläpitotoimia, jotka voidaan suorittaa ilman erikoistyökaluja.

VARO!

Mikäli kirjoittimen suojakotelo avataan, olet alttiina näkymättömälle lasersäteilylle laitteen ollessa toiminnassa.Älä katso säteeseen.

VARNING!

Om laserprinterns skyddshölje öppnas då apparaten är i funktion, utsättas användaren för osynlig laserstrålning.Betrakta ej strålen.

Tiedot laitteessa käytettävän laserdiodin säteilyominaisuuksista:

Aallonpituus 785-800 nm

Teho 5 mW

Luokan 3B laser

成分表 (中国)

有毒有害物质表

根据中国电子信息产品污染控制管理办法的要求而出台

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
打印引擎	X	0	X	X	0	0
控制面板	0	0	0	0	0	0
塑料外壳	0	0	0	0	0	0
格式化板组件	X	0	0	0	0	0
碳粉盒	X	0	0	0	0	0

3043

0：表示在此部件所用的所有同类材料中，所含的此有毒或有害物质均低于 SJ/T11363-2006 的限制要求。
X：表示在此部件所用的所有同类材料中，至少一种所含的此有毒或有害物质高于 SJ/T11363-2006 的限制要求。

注：引用的“环保使用期限”是根据在正常温度和湿度条件下操作使用产品而确定的。

索引

な

に

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

め

も

ゆ